

平成 20 年度
青年海外協力隊 現職教員特別研修
報告書

平成 20 年 4 月 7 日 JICA 地球ひろば

平成 20 年 4 月 8 日 筑波大学東京キャンパス大塚地区



筑波大学教育開発国際協力研究センター (CRICED)

文部科学省国際協カイニシアティブ教育協力拠点形成事業

青年海外協力隊派遣現職教員の支援

はじめに

筑波大学教育開発国際協力研究センター（CRICED）は平成 15 年度から文部科学省拠点システム構築事業として派遣現職教員の海外・国内での活動のサポートを行なってきました。派遣現職教員というのは現職教員特別参加制度を利用して青年海外協力隊に参加する公立学校の現職教員のことをいいます。この派遣現職教員のサポートは、国際協力イニシアティブ教育協力拠点形成事業各課題が協力して実施する体制に平成 18 年度から移行し、筑波大学教育開発国際協力研究センターは課題間の調整機能も果たすことになりました。青年海外協力隊現職教員特別研修（派遣前研修）はこうしたセンター業務の一環として行なわれています。

平成 20 年度青年海外協力隊現職教員特別研修は、文部科学省・筑波大学教育開発国際協力研究センター主催、国際協力機構青年海外協力隊事務局共催で、4 月 7 日は渋谷区広尾 JICA 地球ひろば、4 月 8 日は文京区大塚筑波大学東京キャンパスで行なわれました。研修初日は一般にも公開され、海外及び帰国後の活動に役立つ国際協力に関する講義、国際理解教育・開発教育に関する講義、すでに帰国している派遣現職教員の報告が行なわれ、派遣予定の現職教員 75 名の他にもこれから青年海外協力隊に参加しようとする学校教員や、教員の海外経験を学校現場に還元することに関心を持つ関係者など 144 名が参加しました。研修 2 日目は、国際協力イニシアティブ教育協力拠点形成事業各課題代表者によるこれまでの成果と課題を踏まえた具体的で詳細なサポート体制に関する講義、海外で実際に役立つ ICT 活用研修が行なわれました。本報告書にはこれらの講義や実習の資料も収めてあります。

以上の実務的な技能習得や情報伝達の他に派遣前研修では今後 2 年間で途上国で過ごす派遣現職教員同士がネットワークを作るきっかけとなることが期待されています。この 2 日間の派遣前研修は、私ども関係者にとりまして派遣現職教員の先生方と親交を深め、今後のサポート活動の足場を築く貴重な機会になりました。

本年度も研修実現には、文部科学省・国際協力機構・教育委員会をはじめとして多くの方々のご協力・ご配慮をいただきました。本研修の実施にあたってご尽力いただきました関係の皆様にあらためてお礼を申し上げますとともに、今後のご支援とご協力をお願いいたします。

2008 年 5 月 23 日

筑波大学教育開発国際協力研究センター（CRICED）

センター長 中田 英雄

教授 佐藤 真理子（平成 20 年度派遣現職教員のサポート担当）

准教授 磯田 正美

研究員 鎌田 亮一（平成 20 年度派遣現職教員のサポート実務担当）

目次

プログラム	1
文部科学省の教育協力について 梅澤 敦 (大臣官房国際課国際協力政策室長)	3
JICAボランティア事業について 笹館 孝一 (独立行政法人国際協力機構(JICA)青年海外協力隊事務局次長)	9
JICAの教育協力について 原 智佐 (JICA人間開発部基礎教育第一課長)	15
帰国後の社会還元について 白井 宏明 (JICA地球ひろば市民参加協力促進課)	21
派遣現職教員のサポートについて 磯田 正美 (筑波大学教育開発国際協力研究センター)	27
青年海外協力隊現職教員活動報告	
子どもたちに海外への興味を持たせよう！ ～パラグアイを中心に広がる南米音楽の世界～ 小澤 明子 (神奈川県相模原市立上溝小学校) (平成15年度1次隊、パラグアイ、音楽)	41
ベトナムと日本での活動 ～再び教壇に立つことを視野に入れて～ 真田 昇 (奈良県葛城市立新庄小学校) (平成17年度派遣、小学校教諭、ベトナム)	49
マーシャル共和国での取り組み 野原 俊之 (茨城県阿見町立朝日中学校) (平成17年度派遣、小学校教諭、マーシャル)	57
国際協カイニシアティブ教育協力拠点形成事業 平成19年度活動報告	
幼児教育分野における派遣隊員支援と幼児教育協力の質的向上 浜野 隆 (お茶の水女子大学)	61

海外派遣隊員の家政分野に関する活動支援教材等の開発	69
佐々井 啓 (日本女子大学)	
障害児教育分野における派遣隊員サポート事業の展開	77
前川 久男 (筑波大学)	
瀬戸口 祐二 (筑波大学)	
派遣現職教員の活動の幅を広げるハンズオン素材とその活動展開モデルの開発	81
服部 勝憲 (鳴門教育大学)	
環境教育協力者に対する環境教育実践指導と教育マテリアルの支援	91
村松 隆 (宮城教育大学)	
筑波大学附属小学校を拠点とした派遣現職教員支援システムの構築	97
田中 統治 (筑波大学)	
夏坂 哲志 (筑波大学附属小学校)	
NGOと大学との連携による食農環境教育支援システムの構築(フェーズ2)	103
藤本 彰三 (東京農業大学)	
三原 真智人 (東京農業大学)	
青年海外協力隊「現職教員特別研修」-保健教育-	117
大澤 清二 (大妻女子大学)	
ICT 研修	
JICA-netの活用	123
深江 靖子 (JICA社会開発部)	
派遣現職教員支援ホームページの説明	129
鎌田 亮一 (筑波大学)	
ICT研修	133
矢原 弘樹 (筑波大学)	
シュラーニ・ペーテル (筑波大学)	
鎌田 亮一 (筑波大学)	
林 大樹 (筑波大学)	
服部 海斗 (筑波大学システム情報工学研究科)	
内藤 慧 (筑波大学第三学類工学システム学類)	

平成20年度青年海外協力隊現職教員特別研修
プログラム(第1日目)

主催： 文部科学省・筑波大学教育開発国際協力研究センター

共催： 独立行政法人国際協力機構(JICA)

期日： 平成20年4月7日(月)

場所： JICA地球ひろば

司会： 佐藤真理子(筑波大学教育開発国際協力研究センター教授)

12:30～ 受付

13:00～13:10 文部科学省の教育協力について

梅澤 敦(文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室長)

13:10～13:25 「世界に飛び出すみんなの先生」(JICA-Netマルチメディア教材)

13:25～13:35 JICAボランティア事業について

笹館孝一(JICA青年海外協力隊事務局次長)

13:35～14:05 JICAの教育協力について

原 智佐(JICA人間開発部基礎教育第一課長)

14:05～14:15 休憩

14:15～15:35 帰国後の社会還元について

白井宏明(JICA地球ひろば市民参加協力促進課)

15:35～15:45 休憩

15:45～16:15 派遣現職教員のサポートについて

磯田正美(筑波大学教育開発国際協力研究センター准教授)

16:15～16:45 帰国隊員による報告1

小澤明子(平成15年度派遣 音楽 パラグアイ 神奈川県相模原市立上溝小学校)

子どもたちに海外への興味を持たせよう！

～パラグアイを中心に広がる南米音楽の世界～

16:45～17:15 帰国隊員による報告2

真田 昇(平成17年度派遣 小学校教諭 ベトナム 奈良県葛城市立新庄小学校)

ベトナムと日本での活動

～再び教壇に立つことを視野に入れて～

17:15～17:45 帰国隊員による報告3

野原俊之(平成17年度派遣 小学校教諭 マーシャル 茨城県阿見町立朝日中学校)

マーシャル共和国での取り組み

17:45～17:50 閉会挨拶

中田英雄(筑波大学教育開発国際協力研究センター長)

17:50～18:00 記念撮影

8:30～19:30 懇親会

平成20年度青年海外協力隊現職教員特別研修
プログラム(第2日目)

主催： 文部科学省・筑波大学教育開発国際協力研究センター
共催： 独立行政法人国際協力機構(JICA)
期日： 平成20年4月8日(火)
場所： 筑波大学東京キャンパス大塚地区
司会： 鎌田亮一（筑波大学教育開発国際協力研究センター研究員）

8:30～	受付		
9:00～9:05	講義A・Bについての説明		
	講義A：平成19年度「国際協カインシアティブ」教育協力拠点形成事業から 青年海外協力隊派遣現職教員支援活動の報告		
	<p>幼児教育分野における派遣隊員支援と幼児教育協力の質的向上 浜野 隆（お茶の水女子大学文教育学部）</p> <p>海外派遣隊員の家政分野に関連する活動支援教材等の開発 佐々井 啓（日本女子大学家政学部）</p> <p>障害児教育分野における海外青年協力隊派遣現職教員サポート体制の構築 －現職教員研修事業とテレサポートシステムの活用－ 前川 久男（筑波大学大学院人間総合科学研究所）</p> <p>休憩</p> <p>派遣現職教員の活動の幅を広げるハンズオン素材とその活動展開モデルの開発 服部 勝憲（鳴門教育大学教員教育国際協力センター）</p> <p>海外教育協力者に対する環境教育実践指導と教育マテリアルの支援 村松 隆（宮城教育大学附属環境教育実践研究センター）</p> <p>筑波大学附属小学校を拠点とした派遣現職教員支援システムの構築 坪田 耕三（筑波大学附属学校教育局）</p> <p>休憩</p> <p>NGOと大学との連携による食農環境教育支援システムの構築 三原 真智人（東京農業大学地域環境科学部）</p> <p>学校保健分野における教育協力の持続的な開発を目指す活動事業 大澤 清二（大妻女子大学人間生活科学研究所）</p>		
12:05～12:25	JICA-Net の活用 深江 靖子（JICA社会開発部JICA-Net課）		
12:30～12:45	派遣現職教員支援ホームページの説明 鎌田 亮一（筑波大学教育開発国際協力研究センター）		
	昼食		
13:50～13:40	講義B：ICT講習(73名)		
	矢原 弘樹 (CRICED研究員) (G501 30名)	鎌田 亮一 (CRICED研究員) (E157 23名)	シュラーニ・ペーテル/林 大樹 (CRICED研究員/技術職員) (E158 20名)
	<p>デジタルビデオ編集・「国際教育協カインシアティブ」ライブラリへのアクセス (50分)</p> <p>デジタルビデオ編集・「国際教育協カインシアティブ」ライブラリへのアクセス (50分)</p> <p>デジタルビデオ編集・「国際教育協カインシアティブ」ライブラリへのアクセス (50分)</p> <p>ブログ作成(50分)</p> <p>ブログ作成(50分)</p>		
16:40～16:50	アンケート記入・回収	アンケート記入・回収	アンケート記入・回収
16:50～16:55	研修終了挨拶	研修終了挨拶	研修終了挨拶

文部科学省の教育協力について

梅澤 敦

(大臣官房国際課国際協力政策室長)

ただいまご紹介いただきました、文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室長をしております梅澤でございます。今日は、これから現職教員特別参加制度を活用して青年海外協力隊員として途上国に赴任される皆様に、文部科学省における教育協力についてご説明させていただきます。

まず、我が国の政府開発援助、ODA がどのような仕組みで行われているか、簡単にご紹介します。我が国は、いわゆる要請主義と言いまして、原則として、途上国政府から要請を受けた案件について援助を行っています。それでは、それぞれの国からの要請全てについて援助を行っているかという点必ずしもそうではなくて、国際的な援助の取り組み、あるいは約束というものに基づいて、各国が支援、援助、協力に取り組んでいる。その大きなものが国連で決議されたミレニアム開発目標というものですし、教育だけに限って言えば、お手元の資料に進捗状況をレポートした冊子があるかと思えますけれども、万人のための教育、education for all、EFA というものそれに当たります。

そういった枠組みに基づいて先進国各国がそれぞれの方針の下に支援を行っていくわけですが、それでは日本がどういう方針に基づいてこの教育協力を進めているかと言いますと、大枠としてまず政府全体の方針として ODA 大綱というものが平成 15 年 8 月にまとめられており、これに基づいて進められているということになります。さらに基礎教育という分野に限ってみますと、2002 年の 6 月に成長のための基礎教育イニシアティブというのを日本政府が取りまとめまして、これに基づき、援助・協力が行われているわけです。

それでは実際にどういう機関がこの援助、教育協力というものを行っているのかと言いますと、その主体となっているのが皆さんが今回参加される制度を直接運用されている JICA、こちらが主に行っております。それ以外にも、相手方の政府にこういうことで必要な資金を提供して欲しいという要請に応じて、わが国の政府が提供する無償資金協力という枠組みがありますが、これについては外務省が主に担当しております。この無償資金協力については、今年の 10 月 1 日に、JICA が JBIC という有償資金協力を担当している部門と統合して新生 JICA になって、外務省が行っていた無償資金協力についても基本の部分は担当することとなり、3つの援助手法全てを担当する援助機関となるというような予定になっています。

今まで申し上げたように、実際に協力を行う、政府として援助を行うのは JICA であったり、それから中央官庁でいえば外交を担当しております外務省が主に担当しております。では文部科学省はどのようなことを行っておるかということですが、それがよく現れているのが予算面でして、文部科学省の ODA 予算というのは大体 400 億円くらいでございます。そのうち 98%が留学生の受け入れに必要な予算で、圧倒的に留学生関係の予算で占められております。では残りの予算でどのようなことを行っているかと言いますと、例えばユネスコですとか、国連大学、それから WIPO という知的所有権、知的財産権についての国際的な取り組みを担当している国連機関などに対して拠出するというような形で、一定

の事業に使われるように資金を提供したりしています。それ以外にも、予算としてはスポーツ交流ですとかいうのも少々あるというところで、主要な部分はほとんど留学生予算に占められています。

そうした中で私が所属している課で担当しておる国際協力イニシアティブ、こういった事業の予算もございませう。これは、一部 NGO も入っていますけれども、大学がこれまで蓄積してきた経験、知見を活用したり、あるいは大学が持っている研究機能を活用して、これまで我が国が行ってきた援助についての知見を整理、体系化して一定のモデルに仕上げたり、資料として取りまとめて、援助、国際協力の場で使いやすい形で提供する、そういったことを行うための予算として国際協力イニシアティブというものを実施しております。

この国際協力イニシアティブの中で 6 つほどの課題については、この皆さんが参加される現職教員派遣制度のためにということで行われている事業でございまして、明日午前中に 6 コマ時間をいただいてそれぞれの担当の先生方からご説明をいただきます。その他にもさまざまなテーマについてそれぞれの大学に委託を行いまして、実施していただいています。その中で明日は大妻女子大学から、学校保健を中心とした学校の環境改善についての取り組みについてご紹介いただきます。それともう 1 つ、東京農業大学が食の環境教育ということでインドシナの本川流域における環境教育といひますか、農業教育についての事例をご紹介いただきます。

明日のそれぞれの講義においては、一見それぞれご担当いただく教科や分野には直接関係しないようなものもあるかと思ひますが、おそらく現地に赴かれていろいろな場面で日本の教育について聞かれるようなこともあるかと思ひます。そういったことに対応する資料となるようなところもありますので、全てを覚えておくといひのはなかなか難しいと思ひますけれども、そのエッセンスだけでも吸収してそれが赴任地で活用されることを期待しております。特に現職教員の先生向けの事業ではない、学校保健の改善のものですとか、あるいは食の環境教育などについても、実際の現場で赴任してからすぐにご自身の担当以外のものに着手するといひのは難しいと思ひますけれども、赴任期間中にだんだん慣れてきて本来の職務として期待されていること以外にもいろいろな活動に取り組みたいといひる場合にいろいろヒントになるものであるかと思ひますので、どうぞ明日その内容を聞いておいていただきたいと思ひます。

元の文脈に戻りますと、文部科学省が国際協力として行っております国際協力イニシアティブについてご紹介しましたが、もう 1 つ大きな柱がこの青年海外協力隊の現職教員特別派遣制度でございませう。ご承知の通り、皆様方現職教員がこの青年海外協力隊に参加しやすいように様々な工夫をしている制度ですが、実際に参加できるように制度的に工夫しているだけでなく、赴任前、それから赴任中、それから帰国後のそれぞれのステージに応じた活動が十分にできるよう、あるいはサポートできるように様々な取り組みをしておるところでございませう。本日、それから明日行われる特別研修もその一貫になるという性質のものでございませう。

最後に、私ども文部科学省がこの現職教員特別派遣制度についてどのような意義があると考えておるかということについては、いくつかございます。もちろん、途上国の教育の質の向上に貢献するとか、そういった海外に対する日本の貢献として非常に効果があるということも当然ですし、それから日本の学校で教育の現場に立たれている先生方はまさに教育のプロですので、そういう経験を持たない協力隊の方よりもずっとずっと教える能力が高いと思いますし、そういう部分もなされるものと期待していますけれども、それともう一つ、帰国後今回の経験を日本に活かしてもらおう。日本というと多少大げさに聞こえるところもありますので、帰国後着任される学校の中で活かしてもらおうと、そういったものに期待しております。その大仰なことだけでなく、日々の教え方の中でできるだけ、やはり日本にいた以上に厳しい状況で先生方教えていただくことになろうかと思えますし、実際に子どもたちは厳しい環境で頑張って勉強しているということだろうと思えます。そういった経験をできるだけ日本の教育現場にも活かしていただきたいというふうに考えております。それから日本の教育や、さらにはもう一つ大げさに言えば日本というのはどういう国であるのか、あるいは日本人というのはどういう国民なのかというものを改めて考えていただく良い機会になるというふうに考えております。

こういった貴重な約 2 年間の派遣期間の中で、貴重な経験をして帰国されるというふうに我々も期待しておりますし、皆さんも今不安もある中で期待に胸を膨らませておられるのではないかと思います。文部科学省としても、さまざまな大学の皆さんと協力しながら皆さんの活動をサポートしていきたいと考えておりますので、どうぞ多大な成果を挙げて帰国されることをお祈りしまして本日の私からのご説明とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

JICA ボランティア事業について

笹館 孝一

(独立行政法人国際協力機構 (JICA) 青年海外協力隊事務局次長)

皆様、こんにちは。ただいまご紹介に預かりました青年海外協力隊事務局次長の笹館です。本日皆様はこの場にお集まりになり、今日から2日間の研修、そしていよいよ65日間の訓練へと入っていきます。

さて、協力隊への参加を考える方々が、その応募を躊躇してしまう三大要因というのがあります。1つ目は帰ってきたら就職どうなるのだろうという進路の問題。これは現職参加の皆様は既にクリアされているところなのでいいのですけれども、一般の人にとってはこれが非常に大きな問題になっています。

2つ目は語学です。現職教員参加のうち多くの方々が理数科教育隊員としての派遣です。他にも小学校、養護などでの参加もありますが、理科系の方々というのは一般的に語学については苦手意識をもっている方が多くいらっしゃいまして、躊躇する理由の大きな原因となっています。そこは是非とも申し上げたいところなのですが、皆様が直接これから体験する65日間の訓練、これは6、7割がたが語学の習得にあてられます。そしてその後は2年間現地で生きた語学を実地で学ぶことができます。したがってこれを不安というよりも、チャンスと捉えれば、自分にとって非常に大きな力になると考えればいただきたいということです。

3つ目、これは現地の治安や健康面での不安です。郷に入ったら郷に従えという言葉がありますが、社会文化的な背景あるいはその国の成り立ちも含めて現地任国の事情をよく知ることが大切です。日本とは異なります。これからの研修期間を通じてある程度そうした準備をしていていただきますが、机上で調べものをしていても分からないことが現地では起こりますので、実質的には現地に行ってから集中力を切らさないことが安全対策には重要となってきます。そういった意味も含め、訓練を控えて今日皆様は満を持して参加されていると思いますので、これからの2ヶ月一生懸命勉強に励み、準備していただければと思います。

そして今日皆様にこの場をお借りしましてお伝えしたいこと、それは皆様に対する期待です。協力隊事業の目的は3つあります。1つ目が、途上国と呼ばれる国々の開発に資するために皆様の技術や経験を生かしていただくということ。2つ目は国際交流、つまり人と人との付き合い、人と文化の相互理解に資することです。3つ目が海外での経験、特に途上国での経験を日本社会へフィードバックしていただくことです。先ほども申し上げました訓練期間中、そして現地での活動を通じて、皆様方自身がパワーアップしていただくことが、ひいては今申し上げた3つの目的全てに還元されてくるものですので、よろしくお願ひしたいと思います。

1つ目の現地に技術を落とすことに関してですが、先ほども文部科学省の方からお話がありましたとおり、協力隊の平均年齢は28歳なのですが、皆様方がその平均年齢を押し上げています。おそらく今年度も70名くらいが現職教員特別参加制度で参加されますし、他にも教員の方々が私立の学校からあるいは学卒直行の方々などが参加されますが、皆様方の平均年齢は30を越えています。そしてそれだけのことはあり、社会経験あるいは学校

現場での実務経験が豊富な集団となっています。ここで是非お願いしたいことなのですが、皆様、行かれますとまずご自身のことで精一杯なのが普通ですが、だんだんと余裕が出てきます。そうしましたら、学校現場やフィールドで悪戦苦闘している経験の浅い若い協力隊員を是非サポートしてあげてください。現地では職種ごとに複数の隊員が分科会を形成してお互い情報共有しながら、あるいは作った教材などを共有しながら、現地の開発のために協同する取り組みがそここで行われています。仮にそういった動きがないとしても、皆様が中心になって作っていただければと思います。また、現地での隊員活動を専門的見地から日本からバックアップしていただくシステムとして文部科学省が取り組んでいる国際教育協力イニシアティブもあります。さらに現地には JICA の専門家の方々、あるいは相手国政府関係者や他の援助機関にも専門家がおられますので、そういう方々とうまくコンタクトをとっていただき、いろいろなことを学んでいただきつつ、ご自身や他の隊員が活動期間中に専門的な見地からも能力向上が図れるような機会を意識してつくっていただければと思います。

それから 2 つ目は国際交流についてです。私自身も経験がありますが、現地にしばらくいますと日本を紹介するイベントを開催したいと思う気持ちが沸き起こってきます。これも活動に余裕が出てくる 1 年を経たころでしょうか、日本の学校でそうしたイベント関係を切り盛りされる機会が多かった先生方が、赴任後もイニシアティブをとって、このような企画を実施するケースは多いです。私はアフリカのニジェールという国に 4 年間赴任していましたが、その時も現職参加の教育分野系の隊員や青少年活動の隊員が中心になってそれぞれの隊員の任地でキャラバンの開催していました。ニジェールでは持ち回りが可能な開催に必要なグッズが揃ってまして、いつでもどこでもやる気があれば一定のレベルの紹介展ができる体制になっていました。皆様の派遣される国がどの程度のレベルまで整っているかは分かりませんが、こうした活動も普段の教室での協力活動と合わせて是非視野に入れていただけたらと思います。

そして最後に 3 つ目の途上国での経験の日本社会へのフィードバックに関してですが、これは、帰国後に学校という還元しやすいフィールドをもつ皆様だけではなく、多くの協力隊を経験した方々に体験していただきたい活動で、日本社会もそれを期待しています。しかしながら、現地に赴任中に私が感じたことは、活動中の隊員は活動に一生懸命になって、しばらくは日本のことを忘れてしまう傾向にあることです。皆様のようにいつも日本の派遣元のことも考えなくてはいけない立場とは意識が違うわけです。そこで、皆様の方から回りの隊員をときどき日本の現実に引き戻していただくということと、どのように準備すれば帰国後うまく体験を子どもたちあるいは市民の方々に伝えることができるのかというノウハウのところもぜひ教えてあげていただければと思います。日本でいきなり「アフリカ！」といっても引かれてしまうこともあるので、国際理解教育や開発教育のなかで紹介されている導入や伝え方のノウハウについて皆様方から発信していただければと思います。また、派遣中後半で結構なのですが、模擬授業というかたちで一人あたり 15 分でも

20分でもいいのですが、皆様プロの還元方法を隊員総会など多くの隊員が集まる機会を利用して披露していただくことを是非ご検討いただければと思います。またニジュールでの例ですが、現職教員特別参加制度で派遣された方々に一人15分程度で模擬授業を発表する機会を設けたことがあります。ある先生はニジュールの誰々ちゃんの日ということで、事細かに情報収集をして、何時には何をしてどうなってどういう関係でこういうことをやらなくてはいけないのかと綿密な下調査に基づき発表された方。別の先生はペーパーも何も用意せずに語るだけで聴衆をうならせる方法で授業をやっていました。これはとても感動的で私たちも涙が出てしまうほどで、先生はやはりこうしたプレゼン能力を一般隊員とは違ってレベルで持っているんだなということを感じました。つきましては、実際にやろうと思ったときに材料が足りないということだけは避けるために、現地にいる間に情報収集が必要であるという視点を一般の隊員の方々とも共有していただくような特段の配慮をお願いしたいと思います。

以上、協力隊の目的の3点につきまして皆様への期待ということでお話させていただきましたが、今回、平成20年度の春募集では「世界も、自分も、変えるシゴト」というキャッチコピーを掲げまして、協力隊員の募集をさせていただいています。協力隊活動イコール厳しい状況下に置かれた途上国に何らかの支援をという認識に加え、まさに自分も変える価値ある経験、キャリア形成につながる経験であるという一面があることも、全面に押し出させていただいて結構だと思います。参加者の能力が向上することがひいては先ほど申し上げた隊員派遣の目的につながりますので、ウィンウィンの関係を意識してこの2年間をご活用いただければと思います。

それではこれで私からのご挨拶に代えさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

以上

JICA の教育協力について

原 智佐

(JICA 人間開発部基礎教育第一課長)

JICAの基礎教育分野の協力

重点課題、プロジェクト、協力隊との連携

2008年度青年海外協力隊現職教員特別研修
2008.4.7

独立行政法人国際協力機構
人間開発部基礎教育第1課
原智佐

1

ポイント

- 基礎教育分野の協力の重点課題と協力事例
- 協力隊と技術協力プロジェクトの連携事例

2

基礎教育協力の重点課題

- 就学率向上
- 教育の質の向上
- 教育マネジメント改善
- ジェンダー格差の是正
- ノンフォーマル教育の拡充

課題別指針「基礎教育」平成17年5月、JICA

<http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject0101.nsf/fb3f33f4fe596c6149256b91001bf56c/a43ee3d1bbfb48b492570f2003d0972?OpenDocument>

3

就学率向上

- 2015年までにすべての子どもに無償で良質な初等教育を保障 (Education for All ダカール行動枠組み)
- 子供、家庭、コミュニティと学校の物理的距離(ハード面)と社会的・心理的距離(ソフト面)の改善の双方が重要

JICAの取組み

(ハード面)

- 1990年代半ば～、無償資金協力による小中学校建設(既存校の増改築を含む)
- スクールマッピング(ソフト面)
- 教員の養成・確保
- 教材の整備・配布
- 家庭やコミュニティの理解促進
- 行政や学校からコミュニティへの働きかけ

- ノンフォーマル教育等も就学率向上には重要

4

教育の質の向上

—背景と取組み—

背景

- 教師中心から児童中心へ
- 暗記中心から考える授業へ

JICAの取組み

- 理数科教育を中心とした教授法の改善
- 教材や指導書の開発
- (カリキュラム、教科書の改善)
- 現職教員研修(in-service training)
- 教員養成(pre-service training)
- 授業研究の普及

等

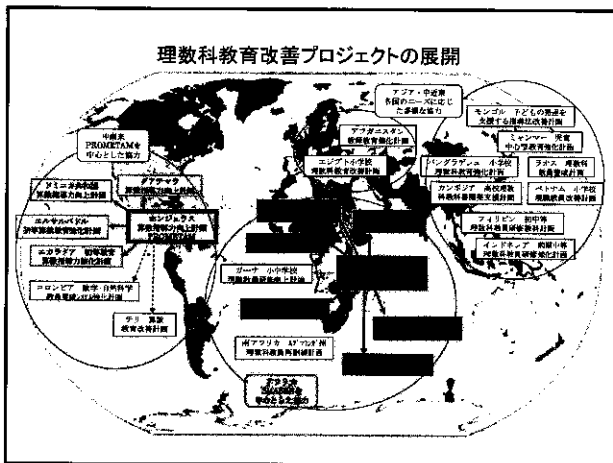
5

教育の質の向上

—理数科教育がなぜ重視されたか—

- 日本の理数科教育に対する評価
- 価値中立的
- ことばの壁が低い
- 科学的、論理的思考力の向上の重要性
- 教授法改善を行いやすい教科(特に理科における実験観察)
- 経済発展の基礎

6



理数科教育協カプロジェクトの事例 ケニア中等理数科教育強化計画プロジェクト1, 2 (1998-03、03-08)

(目的)

- 現職教員研修を通じた中等教育レベルの理数科教育の強化

(協力内容)

- 学校現場の調査に基づく研修内容の策定
- ディストリクト・トレーナーの研修(年間約1000人)
- ディストリクト・トレーナーによる現職教員研修(年間約16000人)
- ケニア側の人員・予算の投入により全国を対象の実施

8

理数科教育協カプロジェクトの事例 ケニア中等理数科教育強化計画プロジェクト1, 2

成果

- INSETのシステム構築
- 理数科教育の質的向上(特に授業法の改善)
- アフリカ諸国が理数科教育において共通の問題を抱えていることを確認し、周辺国との協力を開始した。

9

理数科教育協カプロジェクトの事例 ケニア中等理数科教育強化計画プロジェクト2 (2003-2008) (フェーズIIにおける広域協力の展開)

- ケニアにおける第三国研修の実施
- アフリカ6カ国でSMASSEと連携したプロジェクトが開始される。
マラウイ、ウガンダ、ナイジェリア、ザンビア、モザンビーク、ニジェール
- 域内会合の開催
情報の共有化、情報ネットワークの構築

10

教育行政、学校運営に関するマネジメント — 背景と取組み —

背景

- 教育の地方分権化
- School-based management
- 教育への住民参加

取組み

- 提案型小規模教育改善事業
- 学校運営委員会
- 地方教育行政官、学校管理者のキャパシティデベロップメント
- スクールマッピング、マイクロプランニング

11

教育行政、学校運営に関するマネジメントの事例 インドネシア 地域教育開発支援調査(1999~2005) 地方教育行政改善計画(2004~2008)

背景

- 1997年の経済危機による就学率低下
- 地方分権化の中での教育行政のキャパシティデベロップメント

取組み

- 住民参加によるボトムアップアプローチによる教育開発のためのプロポーザルの作成と事業実施
- 住民参加: 校長、教員代表、保護者代表、生徒代表、地域住民代表による学校委員会の設立
- 事業内容: 現職教員研修、授業研究、教材開発・購入、学校・教室の環境改善(黒板、机、椅子、教室の修理、トイレ等)等

12

教育行政、学校運営に関するマネジメント成果—
インドネシア
地域教育開発支援調査(1999~2005)
地方教育行政改善計画(2004~2008)

成果

- 就学者数の増加
- ドロップアウトの低下、欠席率の低下
- 教育の質の向上
- ↑
- パイロット事業による教師の能力向上、教育環境の改善
- パイロット事業実施を通じた親や地域の教育に対する関心、主体意識の高まり
- コミュニティと学校の関係強化
- これらを通じた校長、教師のモチベーションの向上

13

ジェンダー格差是正
—アプローチ—

アプローチ

- 女子の就学を阻害する要因の調査と改善(教科書等におけるジェンダーバイアスの除去、女性教員の増員、女子に配慮した学校施設)
- 地域社会、家庭の女子教育阻害要因の調査と改善(啓発活動、学校と保護者のコミュニケーション強化)
- 女性のロールモデルの創造
- 成人女性への識字教育

課題別指針「基礎教育」

14

ジェンダー格差是正の事例
イエメンアイズ州女子教育向上計画
(2005~08)

目的

地方行政、学校、コミュニティが参画する基礎教育改善事業

↓

学校、コミュニティ主体の女子教育促進の地方教育行政モデルの開発

取組み

- 学校、親、コミュニティ参加による女子教育向上のためのプログラム作成と事業実施
- 事業内容:女子教員の雇用、教室の建設改修、女子トイレ、水タンク、母親向け識字教室、裁縫教室(母親、女子児童)、
- 啓発活動(セミナー、ラジオCM、女性・母親の参加促進)

15

ノンフォーマル教育支援 —多様性—

内容

- 識字教育(子ども、成人)
- 学校教育の代替としてのノンフォーマル教育
- 職業教育、生涯教育

課題別指針「ノンフォーマル教育」04年9月

http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject0101_nsf/50e70e491615c34a492571c7002a982d/5c8ec3146876415e49256fb2000dc9ab?OpenDocument

「ノンフォーマル教育の拡充に向けて」05年5月

http://www.jica.go.jp/branch/fic/jigyo/report/field/200505_01.html

16

ノンフォーマル教育—事例—
アフガニスタン識字教育強化

目的

- 700万人以上の非識字者への識字教室の実施と持続的な識字教室実施のための識字局の能力強化

内容

- 識字局の能力強化(データ管理、教材作成・配布、識字スーパーバイザーの能力強化、NGO等との連携)
- 識字教室の面的展開(1万人対象、識字局が計画策定、モニタリングを行い、実際の識字教室はNGO委託により実施)

17

協力隊と技術協力プロジェクトの
連携事例

ベトナム

技プロ: 現職教員研修モデルの開発

協力隊: 小学校での活動

バングラデシュ

技プロ: 教員養成校・モデル校の教員件数モデル、教材開発の開発

協力隊: 開発されたモデルのパイロット校での試行

ケニア中等理数科教育強化を中心とした広域協力

技プロ: 現職教員研修制度の確立

協力隊: 情報、方向性を共有

ホンジュラス算数指導力向上プロジェクトを中心とした広域協力

技プロ: 理数科教材開発、普及

協力隊: 小学校での活動に際し、教材を共有

18

協力隊と技術協力プロジェクトの 連携類型

- 両者が個別に活動しているケース
- 両者は独立して活動しているが、補完的な活動をしているケース
- 協力隊が技術協力プロジェクトの中に位置づけられているケース

19

帰国後の社会還元について

白井 宏明

(JICA 地球ひろば市民参加協力促進課)



平成20年度青年海外協力隊
現職教員特別研修
配布資料

日付: 平成20年4月7日(月)
14:15~15:35
作成: JICA地球ひろば(広島センター)
市民参加協力促進課
白井 宏明

「帰国後の社会還元と開発教育」 について ～「世界の学校」と 「日本の学校」をつなげるために～



このプレゼンテーションの目的

平成20年度現職教員特別のみなさん(オリエンテーション受講者)75名を対象に、以下の2項目について理解・考察して頂くことを目的とします。

1. JICAの定義する「開発教育」(社会還元)及び「開発教育支援事業」について理解する。
2. 帰国後の「日本の学校」での活動は、「世界の学校」にいるときからすでに始まっていることを理解する。
3. その他
→ マルチメディア教材、ワークショップ手法を用います。



このプレゼンテーションの内容

1. JICAの開発教育及び開発教育支援事業
 - (1) 開発教育・国際理解教育とは (概論)
 - (2) JICAの開発教育支援メニュー
 - (3) JICAの開発教育支援事業の現状と課題
 - (4) 開発教育の担い手としての「現職教員」の意義
2. 「学習教材のつくりかた」
(マルチメディア教材)
3. 最後に ～みなさんをお願いしたいこと～



1. JICAの開発教育及び開発教育支援事業
 - (1) 開発教育・国際理解教育とは (概論)

- ・ 開発教育とは
貧困・飢餓、環境破壊など国際社会・地域社会の現状を知り、開発・環境・人権・平和をはじめ様々な問題についての理解を深め、国際協力・開発援助の重要性についての認識を深めるための教育、また、開発途上国と先進国との関係を含め国際社会の問題の解決に向け、なんらかの形で参加する態度や能力を養うことを目的とした教育。
(21世紀に向けてのODA改革懇談会・報告書による。)
- ・ 開発教育については、政府開発援助大綱(=ODA大綱、平成15年8月29日)の2. (3)にも明記されています。

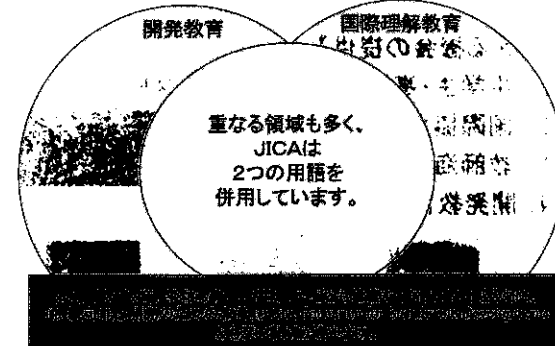


1. JICAの開発教育及び開発教育支援事業
 - (1) 開発教育・国際理解教育とは (概論)

- ・ 開発教育 (Development Education)
「援助の現場」=草の根やNGO等の活動から生まれた概念・教育
- ・ 国際理解教育 (International Understanding Education)
2つの流れ
1) ユネスコ(UNESCO)
1974年勧告(「国際理解、国際協力及び国際平和のための教育並びに人権及び基本的自由についての教育に関する勧告」)を見ると、取り扱うべき人類の主要課題として、民族、平和・軍縮、人権・人種差別、開発、人口、環境などの問題を提示。
2) 日本:
80年代以降に臨時教育審議会や中央教育審議会の答申「国際社会に生きる日本人の育成」を軸にし、主として「日本の伝統・文化への理解と尊重」「異文化理解」「外国語・外国語コミュニケーション能力の育成」をめざす。
(出展: DEAR(NPO法人開発教育協議会)のHP; 発表者が一部加工)



1. JICAの開発教育及び開発教育支援事業
 - (1) 開発教育・国際理解教育とは (概論)



jica 1. JICAの開発教育及び開発教育支援事業
(1) 開発教育・国際理解教育とは (概論)

jica 1. JICAの開発教育及び開発教育支援事業
(2) JICAの開発教育支援メニュー

- 開発教育の担い手は、直接的には教育現場の教育、開発教育を活動目的とするNGO、市民団体とさまざまであり、またその活動内容も多彩です。
- これら多様な「開発教育」の担い手の中にあって、学校等の継続的な教育現場を持たないJICAとしては、開発教育を側面から支援する「開発教育支援事業」に重点を置いています。
→ 特に、皆さんをはじめとする先生方が主役、JICAはそれをサポートするというスタンス。

jica 1. JICAの開発教育及び開発教育支援事業
(2) JICAの開発教育支援メニュー

【基本的な考え方】

- 開発途上国と日本の市民の「架け橋」としてのJICAの責務

1. 日本社会への開発途上国に係る「知見の還元」
2. 市民・子どもが、自主的に何が出来るかを「考える機会の提供」

jica 1. JICAの開発教育及び開発教育支援事業
(2) JICAの開発教育支援メニュー

【知見の還元】

1. 国際協力出前講座
→ 全国年平均2000件20万人が受講
2. 施設訪問の受入 (JICA地球ひろば 他)
3. 開発教育のための教材
 - 1) 産経広告社の「育て！子どもたち」(壁新聞)
 - 2) ホームページ「ぼくら地球調査隊」
<http://www.jica.go.jp/kids/pages/index.html>
 - 3) 「JICAフォトランゲージ・キット」

jica 1. JICAの開発教育及び開発教育支援事業
(2) JICAの開発教育支援メニュー

【考える機会の提供】

1. 中学生・高校生エッセイコンテスト
2. 国際協力実体験プログラム
3. 教師海外研修
4. 開発教育指導者研修

jica 1. JICAの開発教育及び開発教育支援事業
(3) JICAの開発教育支援事業の現状と課題

1. 開発教育支援事業の「量」から「質」への変換
2. H23年度学習指導要領改訂に向けた、開発教育の改善(カリキュラム、教材開発、講師育成)
3. NGO、市民(団体)等
ステークホルダーとの連携をどのように実施していくか？ (→ 協働関係の構築)
4. 教育委員会との連携 (既に、荒川区教委、神戸市教委、沖縄県教委との連携実績あり。)



1. JICAの開発教育及び開発教育支援事業
(4)開発教育の担い手としての「現職教員」の意義

- ・ ～ 現地にいる間から「帰国後に何ができるか・その準備」～
- ア) 現地に勤務中から、すでに帰国後の活動を意識しながら、現地での活動をしている隊員(現職教員)がいます(エチオピアなど)
- イ) いくつかの在外事務所でも開発教育を事業に取り入れています(ニジェール、マレーシアなど)
- ウ) 教材収集などを積極的に。



2. 「学習教材の作り方」
ここから少しだけワークショップ

JICAマルチメディア教材
「伝えよう、あなたの想いを～開発教育のススメ～」
(第4部 学習教材のつくりかた) をご覧下さい。

開発教育では、参加型教育手法
(e.g. ワークショップ、ファシリテーション)が重要視されています。

1. ●●の
2. ○○の
3. ▲▲をとおして
4. (日本/現地の子どもに)
5. △△を伝える。



3. 最後に ～みなさんをお願いしたいこと～

- 1) 帰国後の所属校における開発教育の実践を意識し、現地での活動実践を。
- 2) (帰国後) 同僚への「現職教員参加特別制度」への働きかけを。
→ (OB・OGからの口コミがもっとも効果的)
- 3) JICAとの連携を、ネットワークを。



関連書籍・資料・出典
ならびに 関係政策

【関連書籍・資料・出典】

- ・ 国際協力事業団(現・独立行政法人国際協力機構-JICA)
- 1) 国民参加型協力推進基礎講座「開発教育支援のあり方」調査研究 報告書 (1999年3月)
- 2) 調査研究 21世紀のJICAボランティア事業のあり方 報告書(平成14年9月)
- 3) ボランティア事業社会還元プログラム及び開発教育支援プログラム形成調査報告書～マレーシアを事例として～(平成18年7月)
- 4) 現職教員特別参加制度評価報告書(平成19年10月)
- 5) NGO-JICA協働会開発教育小委員会連絡誌 <http://www.jica.go.jp/jawtrc/naa/mstna/index.html#committee>
- ・ NPO法人 開発教育協議会(DEAR)
<http://2009.dear.or.jp/>
- ・ 外務省(ODAホームページ)
開発教育・国際協働教育ハンドブック(2001年3月)
http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/ak3k_kk3cenzu/fuse/bsk/index.html

【開発教育に書及した関係政策】

- ・ 21世紀に向けてのODA政策懇話会 (1998年1月開催)
- ・ 政府開発援助大綱(平成15年4月29日閣議決定)



- ・ ご清聴、ご参加ありがとうございました。
- ・ 詳細質問、ご意見等は、発表者まで。

JICA地球ひろば市民参加協力促進課

白井宏明 Shirai.Hiroaki@jica.go.jp

平成 20 年 4 月 7 日 (月)

氏名 _____

「学習教材の作り方」

ワークショップ

1. ●●の
2. ○○の
3. ▲▲をとおして
4. (日本／現地の子どもに)
5. △△を伝える。

派遣現職教員のサポートについて

礒田 正美

(筑波大学教育開発国際協力研究センター)

こんにちは。筑波大学の磯田です。写真をご覧ください。みなさん、すごくいい顔している。これは、3年前に派遣された皆さんです。もう帰国されています。文部科学省による派遣前研修は、今年で6年目になります。以前には、国の制度ではない形で、皆さんが派遣されていたので、この研修もありませんでした。私どもの教育開発国際協力研究センターは、派遣現職教育サポートついでいます。みなさんを背後で支えて下さる方、沢山いるのですが、みなさん同様に変わっていきます。定点でみなさんのこれからを末永く見守っていくのが私たちの役割です。

ご覧ください。この写真、私の勲章です。何がっていうとですね、小学校の一年生のような笑顔なんです。夢いっぱい。夢いっぱい、やってやるぞ、これからだという、挑戦する楽しさが、伝わってくる。そんないい写真に自分もいっしょに映っています。私がこの写真をどういう時使うかっていうと、管理職の先生方や他の学校の先生方に、こういった先生方が今派遣されてらっしゃるんですよ、厳しい国に派遣され、何をなさっているか皆さんご存知ですかって、そんな話をするときには使うんです。管理職の先生方に。

今日半日と明日1日までは、皆さんは現職教員でいらっしゃる。派遣現職教員ならでは、ということで、文部科学省側では皆さんにいろいろ期待していらっしゃいますし、JICAの皆さんも、皆さんに期待していらっしゃいます。それはすでにお話を伺ったのでわかると思いますが、その思いをもう一度伝えたい。そして、それから、わが子や後輩、帰ってきて生徒のため、私からのお願いの話もさせていただきたいです。先ほどの土屋さんのビデオの中に「〇〇を通して××を」という目標設定のお話がありました。みなさんであればこそ、わかる話です。なにせ、皆さんが普段、指導案に書く目標そのものではないですか。そのような現職教員の先生方であればこそという、私たちの役割や私たちの心の準備、それから、皆さんが何を愉しむのか、その楽しみ、挑戦内容の改善の重要性、こんな話をしたいと思います。

まず、文部科学省は、国際協力イニシアシブの活動の中で、青年海外教育隊員、派遣現職教員のサポートということをしています。活動の内容は、JICA 青年海外協力隊の「現職教員特別参加制度」により途上国に派遣される教員に対し、教育上の観点からのサポートする、現職教員の派遣実績が多い職種を対象に、教育制度面や現地での指導法に関する情報提供等をサポートする。そして、派遣前。今ですね。隊員の活動に役立つ教材、指導書等の教育モデル、その他資料等の作成・上記教材等の紹介・隊員の活動準備に対する教育上の助言等・隊員との連絡体制の構築をする。これを、今日と明日、行います。さらに、派遣中ですね。隊員の現地での活動に対する教育上の助言等・各実施者が作成した教材等の有効性の確認・改善する。先ほど、開発教育の話がありました。ご存知のとおり、国際理解教育という言葉も、文中に使われています。で、国際理解教育のサポートをする、ということが、この中に書かれています。で、私どもの役割、筑波大学教育開発国際協力研究センターの役割はですね、その全般調整となります。明日、課題代表者として、小学校では田中統治先生、養護・障害児教育では前川久男先生、家庭科では佐々井啓先生、環境

教育では村松隆先生、幼児教育では浜野隆先生、ハンズオン素材では服部勝憲先生。さらに、国際教育協カイニシアティブから、食農環境教育として三原真智人先生、学校保健として大澤清二先生が、派遣現職教員のサポート話をされることになっています。

私どもの役割ですが、ちょうどここに載っています。皆さん、ぜひライブラリというデータベースに入っていて、そのライブラリを利用して、皆さんの活動が自主的にできる、そのための情報が提供されています。それから、メーリングリストもごさいます。また、上から読みますと、派遣前研修、派遣中の活動支援、青年海外協力隊サポートのポータルサイトもごさいます。あとからまた紹介します。それから、これ大事なことです。明日お願いしますし、今日その大事さについても説明しますが、ライブラリへの派遣経験の登録についてもお願いしています。それから、帰国時オリエンテーション、帰国報告会もしています。

JICA 青年海外協力隊事務局は、ここから先、皆さんの活動を現地で直接サポートします。私どもは、JOCV 事務局と協力し教育委員会に皆さんの活動を紹介し、文部科学省のもとで日本側からサポートします。私たちが大切にしていること、それは、派遣現職教員の皆さんならではの活動を、いかに支援するかということです。青年海外協力隊員の活動は、日本のことはまずは忘れて現地のために活動する、まずはそこですが、派遣教育ならではの、ということです。そこには学卒で日本での教員経験のない皆さんもたくさん派遣されている、その中で皆さんが何を期待されているか。

話している私は、そのならではのとは何か、答えをもっていないんです。なぜかと言うと、皆さんが行った先それぞれの違った派遣先で、派遣現職教員ならではの、答えを見つけてほしいからです。私どもも、そのならではのを応援します。私どもは、そのならではのを生かす場、伝える場を設けて応援しています。イニシアティブには、様々なサポート活動があります。その活動からは、皆さんに共同しようと様々な提案をなげかけます。現職教育に限らず、国際教育の場をいかに提供するか、ということも考えています。

先ほどから皆さん大切なお話を、いろいろなことを学んでらっしゃると思うんですが、実は私、不満、ちょっと残念に思いました。皆さんメモを取ってらっしゃらない。みなさん、まだ実感がない。その話の大切さがまだわからないだと思います。次に印象強い話があると、前の話は忘れられてしまう。ですから、メモをしてくださるといいなあと思います。すでに伺ったお話の中で、今聞いても分からない話、たくさんあるんです。後から、あ、だからこんな話をしてたんだってわかります。この一日半は、皆さんにはきっかけです。そのきっかけを大切にしてくださいといいなあと思います。

これから研修が続きますが、派遣前研修と派遣前訓練、協力隊と文部科学省では中身も違う、派遣現職教員に対する特別な研修がこの一日半です。文部科学省側は、日本の教育界を背景とし、派遣現職教員としての皆さんの心と内容に語りかけます。協力隊では、語学・身体・心を鍛えます。私たちは、他の協力隊員の方と皆さんとは違うというお話をし、皆さんの日本での教育経験、教育内容を話題にします。すでに皆さんにあるものを土台に、

派遣されて、現地でさらに活躍してほしいと願っています。ひとつ大切なのは、職場での助け合い経験ですね。そして授業研究とも言われる、Plan Do See です。日本の先生方は、皆さん、そのプロフェッショナルです。

私は数学教育が専門なのですが、少しだけ現地の情報をお見せします。これは、ホンジュラスの事前調査の結果です。横軸が、教師としての経験年数、縦軸が、小学校4～5年まで算数テストの結果。このグラフのこの先生、教師経験 38 年、得点 10 点。どのくらいの学力かという、数が勘定できる範囲です。で、この先生は、先生になってから 38 年間、給料もらって、ずっとこれで教えてきた。複式学級だったりします。この先生が指導をして、子どもは育つのか、想像がつかます。皆さんが派遣される国も類似な状況にあります。いいですか？ もちろん、この先生も、子どもとともに生き、ともに楽しむ、子どもを育てているには相違ないと思います。そんな先生方に皆さんは何をすればよいのか、それって皆さんが普段教室で子供に対して挑んでいることとあまり変わりません。

先ほど、土橋さんから「何の何を、何を通して何を伝える」という話がありました。これは私たちが教員研修で必ず教える、指導目標の書き方の基本です。何の何を、という部分に、今、開発教育の中で、状況のこと・・・そのあたりが加わったわけです。

先生方が、共に育み、生きる楽しさを感じるわけですが、共感するだけではなく、その中でお互いを分かり合い、さらにその先を計画する。そんな技術を、日本の先生方は、培ってらっしゃる。であればこそ、これまで派遣された派遣現職教員の皆さんの評価が高いのです。

4月4日に朝日新聞の記事が出ていました。私のことが取り上げて頂いたので、紹介させていただきますが、まず、キャサリン・ルイズ先生のインタビューです。日本で授業研究を勉強して下さった米国の先生で、日本語が上手です。アメリカでは、教師同士が授業を見る事が無く、良い教材を共有する方法が無い。授業研究は、その意識を育てる。世界の宝だ、と言ってらっしゃいました。で、これは、自分のことで恐縮ですが、私は日本だけのものではなくなってきた、と言いました。なぜかという、これはもう、過去 20,30 年間、青年海外協力隊として、皆さんや皆さんの先輩が派遣されて、その国に関わってきたからです。ですのでこの記事は皆さんの先輩の活躍を紹介した記事でもあるのです。

話は変わりますが3月に、数学教育国際委員会 100 周年記念国際会議がローマでありました。そんな話、私に関係ないという顔、今、皆さんなさいました。凄く関係あるのです。30 年前に、ヨーロッパ以外では初めて、日本が委員長になりました。それがなぜか大切か、私は知らなかったのですが、30 年前には、ヨーロッパを飛び越えて日本まで、プレゼンスのある国はなかったのです。国際組織の中で。日本以外は、欧米以外はすべての国が途上国、日本だけが輝ける国だったのです。そして、その席で、シンガポールとフィリピンの方から、日本に対するたいへんな感謝の言葉を頂きました。特にフィリピンの方は、直接皆さんに関わるお話をされています。開発途上国では、他の国の支援が欠かせない。フィリピンでは、日本が支援してくれた。だから今の発展がある、そういう話がありました。

その会の出席者は、日本人はわずか 2 人でしたが、私は、そうだったのかと思いました。私が、今何を伝えたいか、わかりますか。

今、皆さんが派遣されて、先方が暖かく迎えてくださるのは、先人が培ってくれた土壌があるからです。掘り下げて言うならば、JICA が皆さんのこれまでの信用があるからです。さらに申し上げれば、皆さんを支援している県の先生や学校の先生方がいて、派遣することを認めてくださっている先生や文部科学省の仕組みがあるからです。そういった枠組みの中でやっているのだというのを、実感しました。

話がそれましたが、皆さんの夢を実現する方法です。お話しているのは、今まで皆さんがなさってきた授業の経験が役立つ、子ども中心の授業や学校での共同的な姿勢も、現地で活動する際に役立つというものです。もちろん、違う部分もたくさんあります。それが、先ほどのお話にもあった、現地の人の立場になって考えられるか、ということにかかわります。指導力を向上させるには、給与 UP など皆さんに対応できないこともございます。

今まで学んできた教育についての知識、内容についての知識、それをどう生かしていったらいいかという、実践で鍛える。であればこそ、皆さんが今、ある。これもひとつの事例なのですが、海外では、授業を互いにみる経験が無いのです。なぜかと言うと、それが評価になってしまうから。日本でもそういう時期があったのですよ。この写真はチリで日本の先生が通訳を通して授業を公開しているのですが、これを見ている現地の先生方は、600 人くらいいて、その中には授業をみたことのない方がたくさんいらっしゃる。私が親になって、教室に行きびっくりしたんですが、自分の子どもだけをみる。親ってこのように授業を見るんだと思いました。驚きです。

先生方同士が互いに授業をみにいく、それは、その先生との対話を楽しみにして授業をみにいくわけです。いずれにしても、皆さんがこれからいく国では、授業を互いにみたり議論したりする習慣がない、自分の子どもはどういう風に教室ですごしているかさえも見る機会のない、そういった国です。であればこそ、実現した際の喜びも大きい。

日本の教育経験のある皆さんでなければ出来ないことが、いくつかあります。チャレンジすること、心の交流をすることなどは、誰にも大切なことです。他の皆さん持っています。で、皆さんは、派遣されれば、現職教員が一人で、他の隊員が沢山。そういう環境におかれます。そうすると皆さんが、「日本ではこうだよ」、「こんなことができるといいな」って話を他の隊員とします。でも、日本の仲間さえ共同は容易ではない。まして、現地は違います。派遣された現職教員の方が「受け入れられるようになりました」っていうんです。私、この言葉最初分かりませんでした。現地で現地の人に我々が受け入れてもらえるようになった、ということじゃないです。現地の考え方を受け入れられるようになった、ってことです。そんな、ぜんぜん違う人のモデルになるのは容易ではないのです。ぜんぜん違う人の中で、どんな対応をしていったらいいか。先ほどの Plan Do See を考えるわけです。現地の人の気持ちが分かる、相手の気持ちになって考える、もちろん、相手の立場を尊重するのは勿論ですけど、その中でどういう風に改善していけばいいのか。どうした

ら子どもの目はより輝き、伸びていけるかってことを考える、皆さんが教室でしていることを、今度は広く社会で求められる。相手の立場にたって考えられる。日本でそのような経験のある先生方がそうおっしゃる。それほど容易に受け入れられないのです。

先ほど、何を通して何を伝えるというのが、日本の教育の基本だと言いましたが、現地では違いますよ。現地では、教育目標と言えば、ピタゴラスの定理なら、ただ、ピタゴラスの定理としか書いてないんです。それしか書いてないので、ピタゴラスの定理を教えるなら、どうやってもいい。最低限出来ることは、数を倍にしてたす計算をする、算数です。日本では、そういうことは、教える内容の一部なんですね。例えば、ピタゴラスの定理の証明を通して、証明と言うものが命題がいつでも成り立つことを示す方法であることを教える、とかですね。日本の目標の文章は単語ではなく長いんですよ。何を通して何を教える、って。

それは、先ほどの開発教育の中でも話題になったことで、日本の先生方はいつも計画していたことです。であればこそ、教材開発、下調べ、準備をなさる。みなさん、だから今準備をしている。

で、準備の際に役立つ web サイトの紹介をさせていただきますね。青年海外協力隊 現職教員特別研究のサポートと言うことで、私たちのこういうサイトがございます。非常にいいサイトですので、ご覧ください。で、その中に、活動マップというのがございます。いくと、皆さんの仕事は、アップされます。太平洋の中にぽつんと島があるんですよ。この島で、こういった先生が派遣されていて、こんな活動をしています、そんな皆さんの活躍ぶりが全部出てきます。そんな皆さんに、情報が手に入れば、ということです。明日、研修会をやります。皆さんが、自分で発言することも出来ます。貴重な言葉もたくさんあります。皆さんが、そこに行って見てください。どこにあるかは、先ほどのサイトに行けば分かります。で、メーリングリストを通して、情報を共有することも行っています。教科書何ですかという相談があったら、皆さんすぐ答えてくださった、そういったものです。

それから、最終的に役に立つサイトは、「国際協力イニシアティブ」ライブラリ、という文部科学省のサイトに入っています。これは、私たちも手伝いさせていただいている協力体制です。先輩の活動も、学習指導要領解説も、訳してあります。日本の皆さんが米国の教育課程を途上国に紹介する、こんなおかしなことはないでしょう。皆さんに使っていただくために訳してあるんです。これは、現地の指導案。皆さんの訳したものを送っていただければ、あとの人が役立ちます。例えば、指導案の目標、どう訳せばいいんですか。あの言葉、この言葉と言うのが分かるんですよ。これはベトナム語ですけども。さらなる他国語もありますよ。

データもたくさんあります。海外、現地からもヒットします。現地語のデータも登録できますので、なぜメキシコからこんなにヒットしているのかなあと調べて調べたら、かつてパナマに派遣された岐阜の牛尾先生が作った人気のサイトで、メキシコから見ました。すごいでしょ。このデータ、年間のヒット数がベスト25です。半分は協力隊の皆さんが登

録したデータです。皆さんが派遣された後、大切な情報、教材を登録して下さると、ヒットします。登録は、私たちが協力します。

最後に、私たちのセンターから、皆さんに役立つ情報を寄せているので、一つずつ紹介します。

研究員の鎌田です。研修用教材、日本の教育制度と教育実践を紹介します。パワーポイントで編集してあり、日本の教育について全般の紹介をするのに、日本語版と英語版を用意しました。図、表、写真を、可能な限り多く含んでいます。9の分野に分けて紹介していますので、海外で日本の教育について聞かれたときに使っていただけたらと思います。

次に、特別支援教育に関する情報です。

研究員の野澤です。1枚目はインドネシアで行った国際共同事業連合会の様子を収録したものです。2,3枚目が筑波大附属聴覚特別支援学校と視覚特別支援学校の教育です。4枚目が統合保育指導、5枚目が特別支援学級、6枚目が養護学校における児童研究になっています。ここまでが動画になっています。そして、7,8枚目が同じものの日本語版と英語版で、全国の特別支援学校の児童生徒の芸術作品、書道が収録されたものになっています。これを用途別に分けました。お役に立てば、うれしいです。

最後に、磯田から。算数・数学教育関連コンテンツの冊子を御覧ください。必要な情報は、すべてwebサイトに載っています。是非、ご利用ください。日本の有名なもの、世界に通用するものは全部載っています。

最後になります。私なりの伝えなかったこと、それはつなぐこと。それが私たちの役割です。いろいろなつなぎがあるんです。皆さんはそれぞれご自身で活躍するだけの力をお持ちです。不要に思うかもしれませんが、ですが、その活躍を紹介したり、認められたりするようにする、まずそのようなつなぎがあります。また、内容の改善。途上国でも、一番新しい情報がほしいんです。勿論、現状、環境に応じてなんです。日本で大切なことは何かを知っていて、現地で工夫の仕方を考える皆さんだからこそ出来ることがあります。大事ですが、皆さん、カバンに入れてもってけないんです。でも、今は、インターネットで繋がっています。ほとんどの派遣先とは、インターネットでつながります。皆さんが情報を得るお手伝いが二つ目のつなぎなんです。そして、これも大事なんです。派遣中に発信して、財産を蓄えてほしい。それをぜひ、つないでほしい。次の人に周りの人がいるから、今の自分がいるんですよ。これほど大切なことはないんです。みなさんが作った財産を、みなさん自身で次につなげるようにしてほしい。その仕組みを私たちは用意しています。

いよいよ最後になります。心の準備のお話も、内容の準備のお話もしました。楽なことばかりではないというお話もしましたが、それがあらかじめわかっているならば、その障害も予想通りの愉しみなチャレンジの対象になります。みなさんがチャレンジという心根で、派遣現職教員ならではの活躍をして下さることを期待しています。

ありがとうございました。

文部科学省 拠点システム構築事業「国際教育協力イニシアティブ」
<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/>

青年海外協力隊派遣現職教員のサポート

磯田正美

筑波大学教育開発国際協力研究センター(CRICED)

話題にしたいこと

- 私達の役割
- 心の準備
- 楽しいなこと
- 内容の改善の重要性

国際教育協力イニシアティブ
 我が国の国際教育協力の更なる向上を目的とした活動
 青年海外協力隊派遣現職教員のサポート

本活動内容：
 JICA青年海外協力隊の「現職教員特別参加制度」により途上国に派遣される教員に対し、教育上の観点からのサポートする。
 現職教員の派遣実績が多い職種を対象に、教育制度面や現地での指導法に関する情報提供等のサポートする。

隊員派遣前：隊員の活動に役立つ教材、指導書等の教育モデル、その他資料等の作成・上記教材等の紹介・隊員の活動準備に対する教育上の助言等・隊員との連絡体制の構築する。
 隊員派遣中：隊員の現地での活動に対する教育上の助言等・各実施者が作成した教材等の有効性の確認・改善する。
 帰国後：帰国隊員が行う国際理解教育へのサポートする。
 (指導案の作成や教材準備等)

筑波大学教育開発国際協力研究センターが全体調整する。

応援に役立つ内容・情報
<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/index.html>

**青年海外協力隊派遣現職教員のサポート
 平成19年度:6課題代表者**

- 小学校:筑波大学(代表:田中統治)
- 養護・障害児:筑波大学(代表:前川久男)
- 家庭科:日本女子大学(代表:佐々井 啓)
- 環境教育:宮城教育大学(代表:村松 隆)
- 幼児教育:お茶の水女子大学(代表:浜野 隆)
- ハンズオン素材:鳴門教育大学(代表:服部勝憲)
- 全体調整:
 筑波大学教育開発国際協力研究センター

4月8日:国際教育協力イニシアティブから
 食農環境教育:東京農業大学(代表:三原真智人)
 学校保健:大妻女子大学(代表:大澤清二)

国際教育協力イニシアティブ
 我が国の国際教育協力の更なる向上を目的とした活動
 青年海外協力隊派遣現職教員のサポート

本活動内容：
 JICA青年海外協力隊の「現職教員特別参加制度」により途上国に派遣される教員に対し、教育上の観点からのサポートする。
 現職教員の派遣実績が多い職種を対象に、教育制度面や現地での指導法に関する情報提供等のサポートする。

隊員派遣前：隊員の活動に役立つ教材、指導書等の教育モデル、その他資料等の作成・上記教材等の紹介・隊員の活動準備に対する教育上の助言等・隊員との連絡体制の構築する。
 隊員派遣中：隊員の現地での活動に対する教育上の助言等・各実施者が作成した教材等の有効性の確認・改善する。
 帰国後：帰国隊員が行う国際理解教育へのサポートする。
 (指導案の作成や教材準備等)


筑波大学教育開発国際協力研究センターが全体調整する。

目的
 派遣前、派遣中、帰国後における派遣現職教員の活動への継続的な支援体制を築くとともに、支援に関わるリソースならびにモデル事例の開発を行う。加えて、各採択課題による支援の実施を調整する。

■派遣現職教員ならではの活動をいかに支援するか？
 ■その活躍の意義をいかに伝え、広め、活かす場作りを応援するか？
 ■各課題といかに連携するか？
 ■現職教員に限らず、広く国際教育協力で役立つ情報をいかに提供するか？

1. 派遣前研修: 今何を学ぶ?

- 期日: 平成19年4月2, 3日
- 会場: 国際協力機構国際総合研修所・筑波大学東京キャンパス
- 内容: 国際理解教育研修
 イニシアティブ成果共有研修
 帰国隊員による報告会
 ICT活用研修など



派遣前研修と派遣前訓練

文部科学省側
 日本を
 背景とする内容

JICA側
 語学、語学、語学……、身体・心を鍛える、
 ……、派遣内容

任国に派遣されてから現地でチャレンジ、助け合う

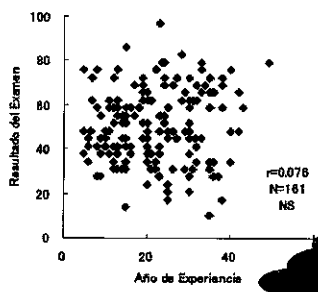
計画

実践

反省

2. 貴方が派遣される先: 現実に対する夢

ホンジュラス・ラパスの事前調査



配布資料
途上国と
日本の
算数・数学教育
p82参照

図 15 成績と経験年数の関係



みなさんの夢を実現する方策

授業研究: 指導力(教材力)を鍛える!

教育学
 Pedagogical
 Knowledge

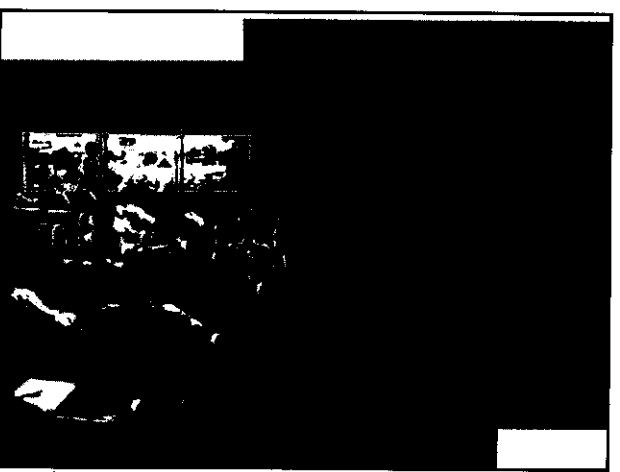
内容学
 Content
 Knowledge

指導力を発展させることができるのは?
Developing Pedagogical Content Knowledge

Plan

Research Lesson

Reflection



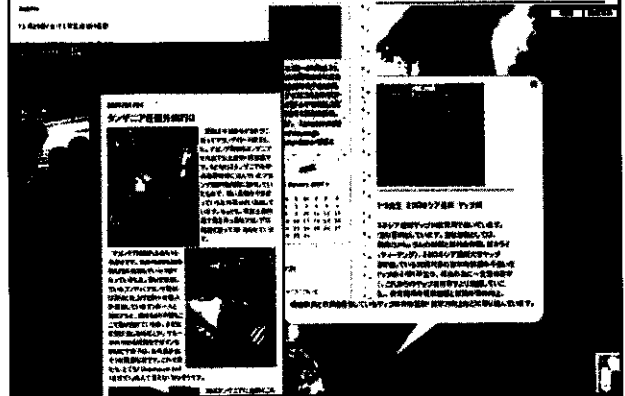
日本の学校、学習指導を知る 貴方しかできないこと

現職教員ならずとも誰にも大切なこと

- チャレンジ、人のつながり、心の交流……
- 現職教員ならではの
 - 大切な日本での教育経験／日本の学術／現場力／教材力
 - 逆転の発想で、相手の立場で認める海外の教育
 - 任地での協力隊員の要としての現職教員
 - 現職教員のノウハウを一般隊員へ
 - 現職教員のノウハウを任地で
 - 帰国後の還元



3. 派遣中の支援: 皆さんの活躍を公に示す場 自分で語る場



4. メーリングリストでの協同

海外でご活躍の先生方へ

日本は寒くなってまいりましたが、さて、本日は、海外の小学校教員お尋ねします。国によって教科書各園の小学校教科書を収集して、どのよにすれば、入手できるのでしょうか？費用は着払いで

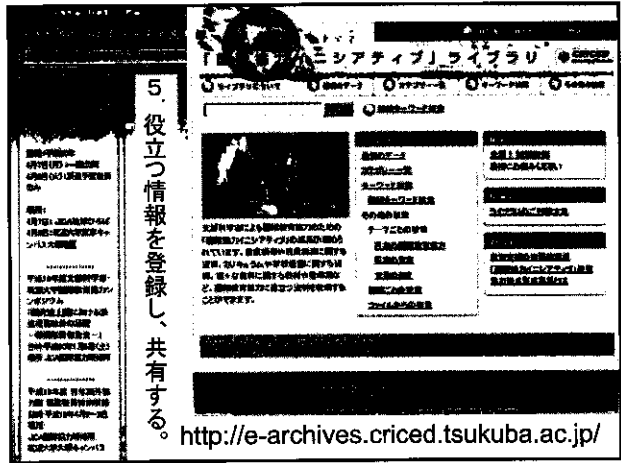
ケニアの教科書は普通に書店で購入可能です。「何年生の何の科目の教科書」が必要なのか指定していただければ、購入は可

JICA経由
そこから
着払い
私もしくは
ちなみに、
最初の20
版に10k
教科書は
10000k

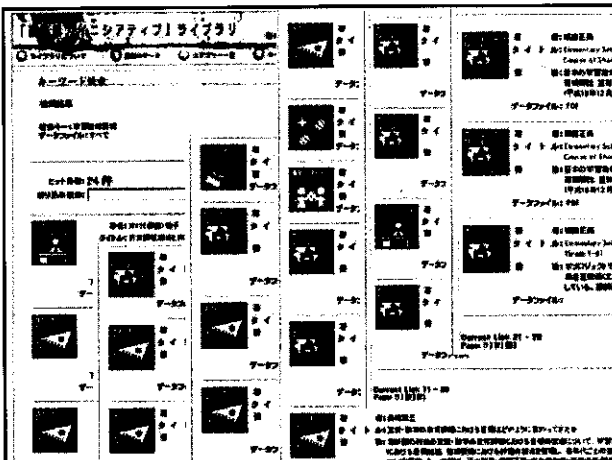
TEL:029-3546-4229(4時~6時) 29-3546-4230(6時~8時)
FAX:029-3546-4246(8時~9時)



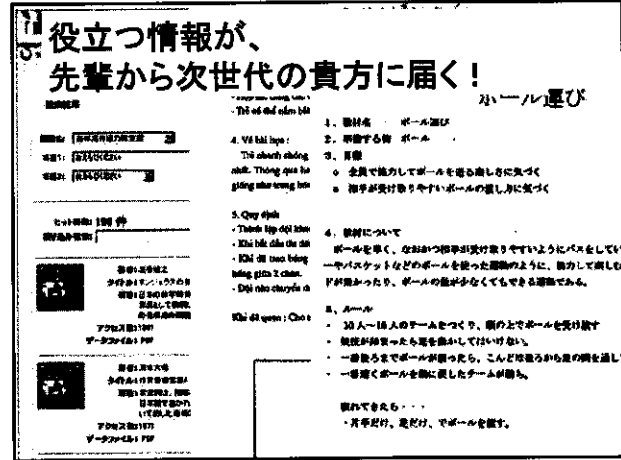
5. 役立つ情報を登録し、共有する。

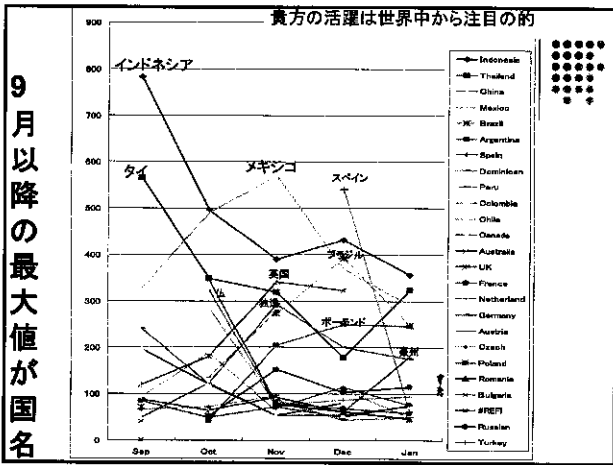


<http://e-archives.criced.tsukuba.ac.jp/>



役立つ情報が、 先輩から次世代の貴方に届く!





No.	氏名	年齢	性別	出身校	連絡先
1	佐藤 大志	20	男	東京都立大	03-XXXX-XXXX
2	田中 美咲	21	女	大阪府立大	06-XXXX-XXXX
3	山本 健太	22	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
4	鈴木 花子	23	女	京都市立大	075-XXXX-XXXX
5	高橋 誠一	24	男	神戸市立大	078-XXXX-XXXX
6	渡辺 真由	25	女	仙台市立大	022-XXXX-XXXX
7	伊藤 拓也	26	男	新潟市立大	025-XXXX-XXXX
8	佐々木 莉子	27	女	金沢市立大	076-XXXX-XXXX
9	松本 健太	28	男	富山県立大	077-XXXX-XXXX
10	中村 美咲	29	女	福井県立大	077-XXXX-XXXX
11	山崎 健太	30	男	滋賀県立大	077-XXXX-XXXX
12	佐藤 大志	31	男	岐阜県立大	057-XXXX-XXXX
13	田中 美咲	32	女	静岡県立大	054-XXXX-XXXX
14	山本 健太	33	男	愛知県立大	053-XXXX-XXXX
15	鈴木 花子	34	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
16	高橋 誠一	35	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
17	渡辺 真由	36	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
18	伊藤 拓也	37	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
19	佐々木 莉子	38	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
20	松本 健太	39	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
21	中村 美咲	40	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
22	山崎 健太	41	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
23	佐藤 大志	42	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
24	田中 美咲	43	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
25	山本 健太	44	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
26	鈴木 花子	45	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
27	高橋 誠一	46	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
28	渡辺 真由	47	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
29	伊藤 拓也	48	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
30	佐々木 莉子	49	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
31	松本 健太	50	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
32	中村 美咲	51	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
33	山崎 健太	52	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
34	佐藤 大志	53	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
35	田中 美咲	54	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
36	山本 健太	55	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
37	鈴木 花子	56	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
38	高橋 誠一	57	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
39	渡辺 真由	58	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
40	伊藤 拓也	59	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
41	佐々木 莉子	60	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
42	松本 健太	61	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
43	中村 美咲	62	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
44	山崎 健太	63	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
45	佐藤 大志	64	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
46	田中 美咲	65	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
47	山本 健太	66	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
48	鈴木 花子	67	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
49	高橋 誠一	68	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
50	渡辺 真由	69	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
51	伊藤 拓也	70	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
52	佐々木 莉子	71	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
53	松本 健太	72	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
54	中村 美咲	73	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
55	山崎 健太	74	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
56	佐藤 大志	75	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
57	田中 美咲	76	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
58	山本 健太	77	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
59	鈴木 花子	78	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
60	高橋 誠一	79	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
61	渡辺 真由	80	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
62	伊藤 拓也	81	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
63	佐々木 莉子	82	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
64	松本 健太	83	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
65	中村 美咲	84	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
66	山崎 健太	85	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
67	佐藤 大志	86	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
68	田中 美咲	87	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
69	山本 健太	88	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
70	鈴木 花子	89	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
71	高橋 誠一	90	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
72	渡辺 真由	91	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
73	伊藤 拓也	92	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
74	佐々木 莉子	93	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
75	松本 健太	94	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
76	中村 美咲	95	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
77	山崎 健太	96	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
78	佐藤 大志	97	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
79	田中 美咲	98	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
80	山本 健太	99	男	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX
81	鈴木 花子	100	女	名古屋市立大	052-XXXX-XXXX

順位	発表者	コマ数	種別	発表者
1	佐藤 大志	517	◎論文	佐藤 大志
2	田中 美咲	508	◎論文	田中 美咲
3	山本 健太	583	◎発表	山本 健太
4	鈴木 花子	549	◎発表	鈴木 花子
5	高橋 誠一	508	◎発表	高橋 誠一
6	渡辺 真由	477	◎論文	渡辺 真由
7	伊藤 拓也	441	◎論文	伊藤 拓也
8	佐々木 莉子	432	◎論文	佐々木 莉子
9	松本 健太	417	◎論文	松本 健太
10	中村 美咲	412	◎論文	中村 美咲
11	山崎 健太	407	◎論文	山崎 健太
12	佐藤 大志	406	◎論文	佐藤 大志
13	田中 美咲	389	◎論文	田中 美咲
14	山本 健太	385	◎論文	山本 健太
15	鈴木 花子	377	◎論文	鈴木 花子
16	高橋 誠一	376	◎論文	高橋 誠一
17	渡辺 真由	364	◎論文	渡辺 真由
18	伊藤 拓也	347	◎論文	伊藤 拓也
19	佐々木 莉子	342	◎論文	佐々木 莉子
20	松本 健太	338	◎論文	松本 健太
21	中村 美咲	325	◎発表	中村 美咲
22	山崎 健太	321	◎論文	山崎 健太
23	佐藤 大志	320	◎論文	佐藤 大志
24	田中 美咲	316	◎発表	田中 美咲
25	山本 健太	316	◎発表	山本 健太

6. 派遣中・帰国後の活動

平成18年11月11日
朝日新聞神奈川

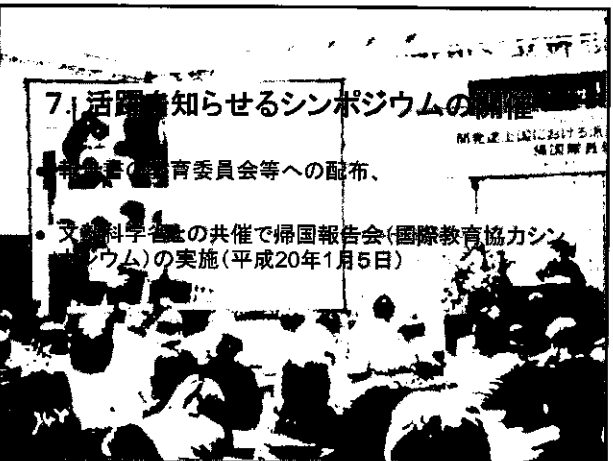
「国際理解教育」モデル事例

- 派遣現職教員であればこそ実現する「国際理解教育」モデルの提案
- インターネットを利用した国際交流授業を2カ国で実施
- 制約のあるインターネット環境に準じた指導計画や日本側と相手国側の協力を促す人的ネットワーク作りを経て、「国際教育」のモデル事例を開発

【インターネットライブ授業】
 パスポート：サトウチスト小学校(17次：秋山喜代)
 日本側講師：三ツ沢小学校(16次：迫田陽子)
 ペトナム：ニソン小学校(17次：真田勇)
 日本側司会：松原小学校(15次：清水大祐)

ネット交流授業

4年生同士、文化や習慣紹介



生徒を見る目が変わり

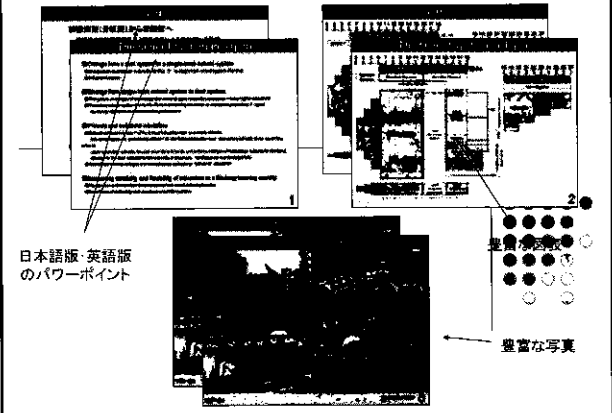
国際理解教育が成果を報告

国際理解教育の成果を報告するシンポジウムが開催された。参加者は、国際理解教育の重要性を認識し、実践的な取り組みを共有した。報告者は、国際理解教育が生徒の視野を広げ、グローバルな人材を育成する上で重要な役割を果たしていることを強調した。

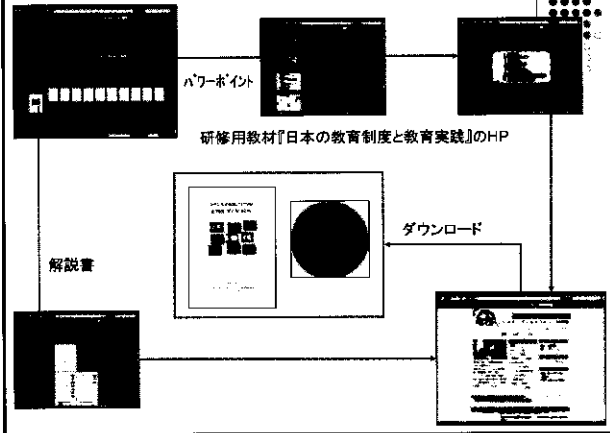
8. 同封資料の紹介！

- 「日本の教育制度と教育実践」
- 障害児教育関連コンテンツ by CD、DVD
- 算数・数学教育関連コンテンツ on Web

研修用教材『日本の教育制度と教育実践』の特徴



<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/keiei/>



特別支援教育 配付資料一覧

No.	内容
1	日本の特別支援学校の教育(視覚障害、聴覚障害、知的障害)を紹介する、実践の参考にする
2	筑波大学附属聴覚特別支援学校の教育-小学部・中学部の教育-(CD日/英)
3	筑波大学附属視覚特別支援学校の教育-小学部・中学部の教育-(CD日/英)
4	統合保育指導(DVD日/英)
5	特別支援学校における授業研究(DVD日/英)
6	茨城県立高島養護学校における授業研究(DVD日/英)
7	特別支援教育分野の芸術作品集(CD日)
8	Collection of Art Works by Children with Disabilities (CD英)

用途別の資料の使い方

用途	参考資料 NO.
日本の特別支援学校の教育(視覚障害、聴覚障害、知的障害)を紹介する、実践の参考にする	1, 4, 5, 6
日本の特別支援学校の教育(視覚障害、聴覚障害、知的障害)を紹介する、実践の参考にする	2, 3, 6
特別支援学校における授業研究(DVD日/英)	4, 5
途上国における教育実践を紹介する、実践の参考にする	1
特別支援教育分野の芸術作品集(CD日)	7, 8

算数・数学教育、情報教育関連コンテンツ

冊子「途上国と日本の算数・数学教育」pp.96-100

<http://math-info.criced.tsukuba.ac.jp/>



役立つコンテンツ: その一部



◎モデル授業を紹介する。
筑波大学附属小学校算数授業ビデオ多数、配信中(英語、スペイン語
字幕入り)

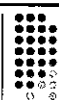
<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/math/video>

◎コンピュータを教室で使う。
無料で、マックでも、ウインドウズでも、ユニックスでも使えるソフト(作
図ツール、グラフツール)を、どこからでもダウンロードできる!
小学校でも使えるe教科書ができる。

<http://math-info.criced.tsukuba.ac.jp/software/>

◎世界で共有された教科書を利用する。
海外出版され、海外で手に入る日本の授業研究教科書:
日本語版、英語版(ビデオ付き)、スペイン語版(さらに増補)

話題にしたこと



- 私達の役割: つなぐこと
- 心の準備: 問い「派遣現職教員ならではの」
- 楽しみなこと: チャレンジ
- 内容の改善の重要性
 - 派遣前 所在を調べて、存在を知ってからでかけよう。
 - 派遣中 心の声を発信しよう。
財産を共有しよう。
帰国後につなげよう。

青年海外協力隊現職教員

活動報告

子どもたちに海外への興味を持たせよう！

～パラグアイを中心に広がる南米音楽の世界～

小澤 明子（相模原市立上溝小学校）

（平成15年度1次隊、パラグアイ、音楽）

帰国後の還元活動について

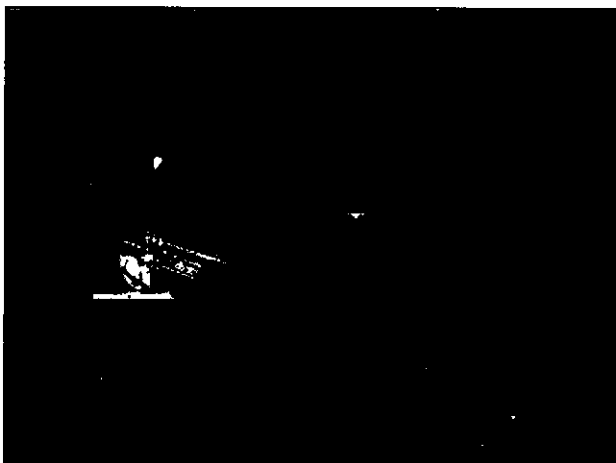
子どもたちに海外への 興味を持たせよう！

～パラグアイを中心に広がる南米音楽の世界～

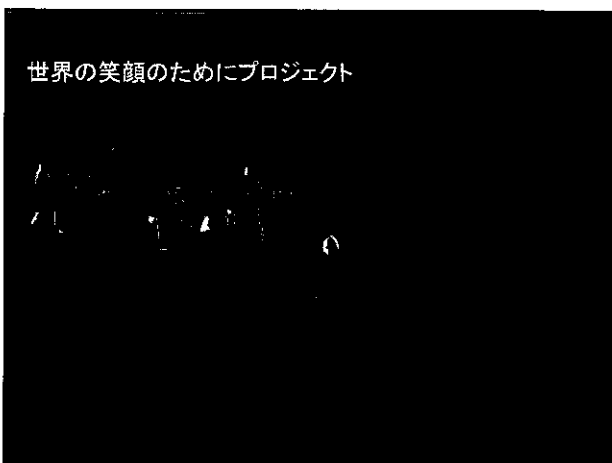
15-1 パラグアイ・音楽

小澤 明子

1. パラグアイでの活動



世界の笑顔のためにプロジェクト



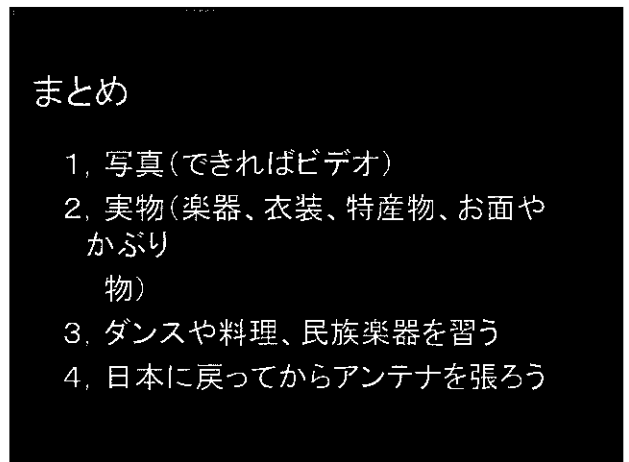
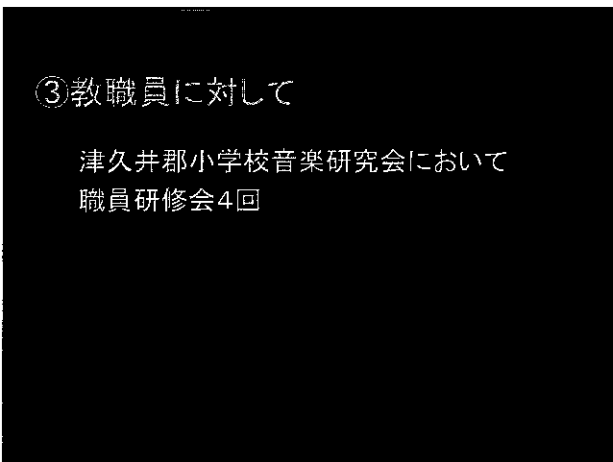
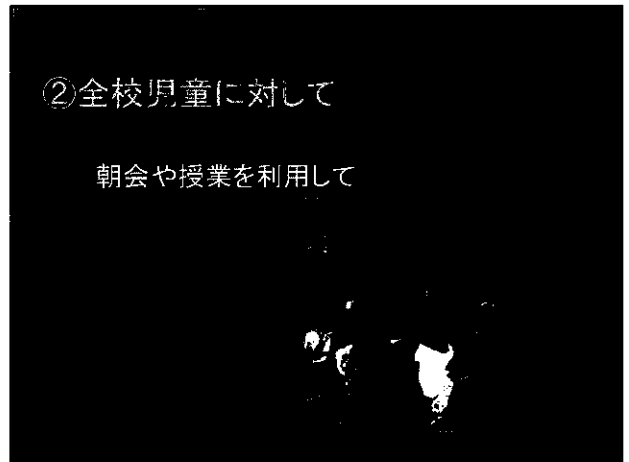
2. 派遣経験を生かして

①担任を持った4、5年生に対して

朝の挨拶、帰りの挨拶を各国語で
(英語、スペイン語、イタリア語、ドイツ語、フランス語、中
国語、ロシア語、グアラニー語など)
授業中での紹介(旗のクイズ、ニャンドウティドレス、
パラグアイハーフ体験)
運動会でパラグアイ人、ドミニカ共和国の人(JICA
研修員)を紹介
総合で「南米スペシャル」を企画

南米スペシャルの様子







Adios! Hasta luego!

帰国後の還元活動について

相模原市立上溝小学校 小澤明子（パラグアイ・音楽派遣 15年度1次隊）

1 国際理解教育の実践

(1) 帰国後実践してきたこと

①日頃の朝や帰りの挨拶を各国語で（一週間同じ言語で）

朝の挨拶や、健康観察で「元気です、まあまです」、給食をもらうときに「ありがとう」などの各国語を自然に覚えることができ、テレビやまんがなどで出てきたときに「知ってる!」と興味を持つことができた。また、「パラグアイ語を教えて!」と言ってきたときに、「パラグアイやそのほかブラジル以外の南米、中米は全部スペイン語なんだよ。」と答えることで、南米についての知識も広げることになったであろう。

資料1 学級通信（3月12日号）

どれくらい覚えているかな!?書いてみよう!

今回は一年間に覚えたいろいろな国のあいさつのおさらいです!

日本語	おはよう(こんにちは)	(はい、) 元気で す	まあまあ元気	ありがとう	さようなら またね
英語	グッ	グレ	ファ	サ	グッ
中国語	ニイ	ヘン	ハイスウエ	シェ	サイ
ドイツ語	グーテ	ゼア	グ	ダ	アウ チュ
スペイン語 (中南米)	ブエ	ムイ	アシ	グラ	アディ チャ
イタリア語	ボン	モル	コジ	グラッ	アッリ チャ
フランス語	ボン	トレ ウィ、	ビ	メル	オッ
ロシア語	ズド	オーチ	ハラ	スバ	ダッス
ポルトガル語(ブラ ジル)	ボン	ムイ	ベ	オブリ	アテ
ルーマニア語	ブナ	ダ、スン	?	ムル	ラ レバ
タイ語	サワッ	サバ	?	コー	ラー
タガログ語 (フィリピン)	マガン	マブ	イリ	サラ	アバ
ミャンマー語	ミン	ホデ、	?	チュー	ミン
グアラニー語(ブラ ジル)	ンバエイ	オーマル	イボ	アグイ	ジャジョ

②授業での紹介（旗のクイズ、チャンドウティドレス、パラグアイハーブ体験）

- ・17年度 川尻小4年生3クラス（約120名）各1時間
- ・18年度 上溝小4年生1クラス（32名）1時間
1年生4クラス（約120名）各20分間



1年生は興味津々

- ・19年度 上溝小5年生4クラス(約130名)各1時間
- 筑波大付属小4年生1クラス(約40名)40分間

旗のクイズとは・・・

パラグアイの旗は世界で唯一の裏表のある旗です。(図参照)
裏にはある動物がかかれています。さて何でしょう。



パラグアイの旗(表)

1. ライオン
2. ワシ
3. ねずみ (答えは下図)



筑波大付属小4年生への授業

③運動会でパラグアイ人、ドミニカ共和国の人(JICA研修員)を紹介

日本の文化にふれる機会として運動会に招待した。大きなパラグアイ人と肌の黒いドミニカ共和国の人に子どもたちは興味津々で取り囲み、「ブエノス ティアス!(おはよう)」、「アディオス!(さようなら)」と早速スペイン語で挨拶していた。

④町の音楽祭りでの企画(総合を利用して「南米スペシャル」を展開)

「南米スペシャル」

- 曲目1「メロディアス デ アメリカ」4年全クラス(108名)国旗や国の名物などを調べ作ったプラカードを上げながら歌う(写真1, 2)
- 2「花祭り(ポリビア)」1組(35名)ポリビアの楽器を使って(写真3)
- 3「パラグアイのクリスマス」2組(36名)
- 4「コンドルは飛んでいく(ペルー)」3組(37名)
- 5「ラバンパ(メキシコ)」4年全(108名)スペイン語で、振り付けもつけて



写真1 国名を書いているところ



写真2 歌いながらプラカードをあげる練習。うまくできました。

⑤全校朝会を利用してパラグアイの旗のクイズ、ニャンドウティドレス、ハーブのクイズと紹介

- ・川尻小(約600名) 20分
- ・上溝小(約800名) 15分

ハーブのクイズとは・・・

パラグアイハーブ(アルパ)の曲には動物や自然の音を模したものが多くありますが、次の曲は何の音を表した曲でしょう。(写真4)



写真3「花祭り」(ポリビア)を演奏
左端がボンボ、次がチャフチャフ、マトラカ(ポリビア隊員に借りました)



旗のクイズの答え: 1ライオン
ライオンは正義のシンボルです

- 1, ピリリータの最初の部分を演奏する
 答え：鳥（ピリリータという鳥の鳴き声を表している）
- 2, カスカーダの最初の部分
 答え：滝（カスカーダはスペイン語で滝）
- 3, トレンレチェロの最初の部分
 答え：列車（トレンレチェロは牛乳列車という意味）

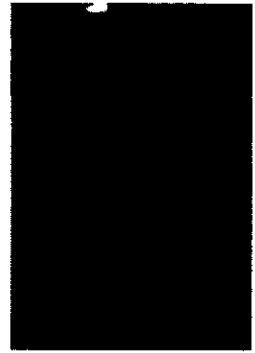


写真4 ハープの演奏

(2) 教職員に対して

- ①津久井郡小学校音楽部研究会においてパラグアイの教育事情、スペイン語の簡単な挨拶、文化（食べ物、国民性など）、ハープ演奏と体験の講座を持つ・1時間半
- ②職員研修会4回（配属校教員対象15分、湘北地区教員対象45分（写真5）、神奈川県教員対象25分、新採用へ国際理解教育模擬授業30分）でパラグアイの配属校の子どもたちと日本の教え子たちの「笑顔のために」のプロジェクトによる交流とパラグアイの教育事情、文化（食べ物、国民性など）、ハープを紹介

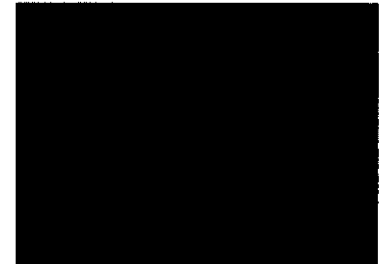


写真5 湘北地区教員研究会

2 まとめ ～これから派遣される方たちへ

現職教員派遣では現地での活躍はもちろんのこと、帰国後の活動にも焦点が置かれているだろう。そこで、これから派遣される方に現地でどういった物を集めておけば帰国後すぐに役に立つかまとめたいと思う。

・写真（できればビデオ）

現地の様子・・・自分が授業をしている様子、現地の先生が授業をしている様子、子どもたちから日本へのビデオメッセージ、よく食べる料理、珍しい料理、祭りの様子、貧しい家、貧しい人々（撮るのがなかなか難しいが）、裕福な家、きれいな町並みなど。

・実物

ハープ等の現地の楽器、打楽器（誰でも音が出せるので子どもたちがさわりやすい）衣装、特産物（置物のような物）、日本でパラグアイ人の友達を作って子どもたちに紹介するなど。やはり子どもたち（大人でも）には100話をするより1見せ、ふれさせるのが一番。

・衣装があるといい（ダンス、祭りの衣装など）お面やかぶり物も楽しい

ニヤンドウティドレスは高かったので（日本円で2万円）買うのを迷ったが買って良かった。派手なぐらいでも楽しい。任地にいる間も祭りの時など着て交流を図るといいだろう。

・ダンスや現地の楽器の演奏、現地の料理などを習ってみては

専門外でも、何かできると紹介しやすい。料理の場合、日本で手に入る材料でできるかも重要になる。実際に現地で何回か作ってみるとよい。

・日本に戻ってから地域の国際行事にアンテナを張ろう

地域の国際行事に目を向け、参加してみよう。市役所、駅などの公共の建物に行事の宣伝があるときがある。私はそれでJICAの研修員（パラグアイ人、ドミニカ共和国人、ペルー人）と友達になり、そのつながりで創価大学の留学生（ポリビア人、キューバ人、イスラエル人、アメリカ人）とも友達になった。また、八王子市では通訳ボランティアを募集していたので登録した。人の輪を広げることで、子どもたちにも紹介できる機会が増えるかもしれない。

帰国後1年目が勝負なのでがんばって下さい！！

ベトナムと日本での活動

～再び教壇に立つことを視野に入れて～

真田 昇（奈良県葛城市立新庄小学校）

（平成17年度派遣、小学校教諭、ベトナム）

道徳学習指導案

2007年6月27日(水)第3校時
第4学年4組 児童数 30名
指導者 真田 昇

1. 主題 ベトナムの子どもたち

【道徳の目標 (5)】

平和的な国際社会の実現に貢献できる人間を育成する。

教育基本法の前文に述べられているように、「世界の平和と人類の福祉に貢献」することは、日本国憲法において定められた国民の決意である。

平和は、人間の心の中に確立すべき道徳的課題でもある。日常生活の中で社会連帯の自覚に基づき、あるゆる時と所において自他協同の場を実現していく努力こそ、民主的で平和的な社会及び国家を実現する根本である。このような努力や心構えを、広く国家間ないし国際社会におよぼしていくことが、国際社会に平和をもたらし、人類の福祉に貢献することになる。

【中学年 4-(6)】

我が国の文化と伝統に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。

国とのかかわりに関するものであり、国を愛する心をもった児童を育てようとする内容項目である。主に、「第5学年及び第6学年」では4の(7)と(8)に発展している。

国を愛する心は、我が国の文化や伝統に関心をもち、それらと現在の自分とのかかわりを理解する中から芽生えてくるといえよう。それは、さらに、我が国の課せられている役割と責任を自覚し、世界の国々から信頼と尊敬を得られるように努めようとするものでなければならない。

この段階においては、特に郷土の文化や伝統とのかかわりから視野を広げて、我が国の文化と伝統に関心をもち、国を大切に愛する心を育てるとともに、外国の人々や文化にも関心をもてるようにしていくことが大切である。

2. 目標

- 日本と異なる文化や習慣をもっている外国(ベトナム…発展途上国)に関心をもつ。
- 自分たちと同世代のベトナムの子どもたちの生活の様子を通して、共通することや違いを知り、関心を深める。

3. 主題設定の理由

「日本は豊かだ。ベトナムは貧しい。」

ベトナムで生活した2年間に、私は幾度ともなく、このようなつづやきをベトナムの人々から聞いた。そのたびに答えに窮した。

日本とベトナムは、生活の様式が異なっている。水は井戸水を使い、下水道は全くない。家庭から出たゴミは路上に捨てられ、市場では冷蔵庫はなく、肉や魚などには無数のハエがたかっていた。大雨が降れば道路は陥没し、毎日のように停電があった。

ベトナムの人々の生活にも驚くことはたくさんあった。男性は昼間から酒を飲み、午後は仕

事をしない状態であった。学校は、教育制度が整っているものの、教師は、指導書通りに授業を進めているにすぎなく、体罰も日常的に存在した。

26年間、日本で暮らした私にとって、ベトナムに赴任した最初の1年間は、驚きと怒り、驚愕の日々だった。現地のベトナム語も満足にできないこともあり、言いたくても言えずに悔しい思いをすることもあった。何事についても、「もし、日本だったら…。」「なんとかならないだろうか。」と心の中で思うこともあった。

しかし1年を過ぎた頃から、日本にはない(失ってしまった)ベトナムの素晴らしさを感じるようになった。子どもたちは素直で、いじめなどはない。年長者を敬う儒教の精神が根付いていて、子どもたちは家族の一員としてほんとうによく働く。家族(同族)や地域のつながりが非常に強く、村をあげて子育てを行っていた。「そうしなければ生きていくことができない。」とベトナムの人々は口をそろえて言うのだが、私は日本がベトナムから見習うべき点がたくさんあるように思った。

青年海外協力隊としての2年間の活動を終えたとき、私が一番感じたことは、「教えたことより、学んだことの方が多かった。」ということだ。同時に、私自身が学んだことを、いかに日本の子どもたちに伝えていくかが大きな課題であるようにも感じた。

本時は、子どもたちと同世代のベトナムの子どもたちの一日に焦点をあてて授業を行う。その際、自分たちの生活と比較しやすいように、「校時表」を用いる。また、ベトナムの子どもたちの様子や学校、教室などの写真を見せ、自分たちの生活との相違点を見つけさせたい。

そのなかでも特に、ベトナムでは子どもたちが家族の一員として、労働を担っていることに気づかせていきたいと考えている。日本の子どもたちの様子を見てみると、お手伝いは家族から言われたらするといった受け身の形で、自分から進んで行っていないように感じる。

一方で、ベトナムでは、その年齢相応のお手伝いをするのが当然だと考えられている。子どもたちが担うお手伝いは、子守り、掃除、牛の散歩や世話、調理、片づけなどであり、これらは我々の感覚でいうお手伝いではなく、すでに家族の一員として労働の一端を担っていると書いてもいい。

こうした事実から日本の子どもたちには、ベトナムの子どもたちが、家族の一員として責任をもって仕事をしていることを学ばせたいと考えている。その際、「子どもなのに仕事をして可哀想だ。」という感想になるのではなく、写真の様子や私自身の体験から、ベトナムの子どもたちにとっては当たり前であり、決して苦役であったりするものではなく、むしろ自分から積極的に仕事をしているという側面があることを押さえさせたいと考えている。

世界を知ることは日本を知ることである。同じように世界の子どもたちの生活を知ることから、子どもたち自身の生活をもう一度見直させたいと考え、この授業に取り組むことにした。

子どもの実態

本学級は、男子16名、女子14名の学級である。子どもたち同士たいへん仲がよく、教師の指示をきっちりと守ることができる子どもたちである。自分たちで注意しあうこともできるようになってきた。一人一人、たいへん素直で真面目な子どもなのだが、その分、教師の指示を待つ傾向が強く、自分たちで考え、行動するという力がまだまだ育っていない気がする。

子どもたちには、四月当初から折に触れてベトナムの話をしてきた。簡単な挨拶や数字などのベトナム語であったり、食べ物や大衆文化などであった。こうした話から子どもたちは非常にベトナムに興味を持つようになってきた。この興味を、子どもたち自身の生活を見つめ直すきっかけにしていきたいと考えている。

5, 本時案 (1/1)

目 標	①日本と異なる文化や習慣をもっている外国(ベトナム…開発途上国)に関心をもつ。 ②自分たちと同世代のベトナムの子どもたちの生活の様子を通して、共通することや違いを知り、関心を深める。		
活動内容	教 師 の 支 援	児 童 の 活 動	準 備 物
ベトナムに興味を持つ。	「ベトナムについて知っていることを発表しましょう。」 「先生が暮らしていたベトナムのことを紹介します。」 ・ベトナムの地理 ・ベトナム語	ベトナムについての知っていることを発表する。	世界地図
学校の様子を知る。	「校時表を見て、気が付いたことを発表しましょう。」	登校や時間目が早いこと、昼休みが3時間近くあることなど、ベトナムの気候と密接に関わっていることを知る。 また、1日に7時間もの授業時間があることを知る。	校時表 感想シート
放課後の暮らしを考える。	「ベトナムの子どもたちは放課後、どんなことをしているか考えましょう。」	牛の散歩や農作業、子守り、料理などしていることを知る。	
振り返りをする。	「子どもたちが描いた将来の絵や作文を紹介します。」 「このようなベトナムの子どもたちの生活をどう思いますか。」	ベトナムの子どもたちが、懸命に生活している姿に気づく。	絵 感想シート
ベトナムの子どもたちの様子を、映像で観る。			ビデオ

ご指導欄

6.資料 青年海外協力隊とは

(1)青年海外協力隊事業の経緯

青年海外協力隊はJICA(独立行政法人:国際協力機構)の行っている協力事業の一つで、1965年に始まった。この事業は日本人ボランティアが発展途上国で2年間、現地の人たちと共に働き、一緒に生活をするというもので、発展途上国の経済・社会の発展及び復興への寄与、そして日本と隊員受け入れ国との間との友好親善及び相互理解の深化を目標としている。また、ボランティア経験の日本社会への還元も期待されている。事業開始以来、すでに2万5000人以上のボランティアが派遣され、世界約80カ国で活動を行っている。

(2)青年海外協力隊とは

青年海外協力隊とは20歳から39歳までの日本の青年で、自らの能力、経験を活かし、情熱をもって発展途上国の経済的な発展や国づくりに寄与したいと考えている人たちである。派遣された隊員たちはその土地に住む人たちと一緒に生活し、その土地の言葉を使い、さまざまな分野でボランティア活動を行っている。

(3)青年海外協力隊の活動内容

青年海外協力隊は任地で一定の成果を残すことだけが目的ではなく、その土地の社会に溶け込み、現地の人たちと草の根の交流を図ることが期待されている。隊員たちがその土地の人々と共に生活をし、働くことにより、彼らが何を必要としているのか、彼らと同じ視点で把握することができる。そして、そこから課題を解決する方法を、現地の人とともに考えることができる。さらに隊員は現地の人たちに日本の文化を紹介し、交流のかけ橋になる。

(4)ベトナムでの活動概要

ベトナムでは1995年に協力隊の派遣が始まった。これまでに150人を超える隊員が派遣されている。派遣開始後の4年間は、首都ハノイにおける日本語教師の活動のみに限られていたが、隊員の真摯な活動姿勢が関係者から評価され、1999年からはホーチミン市へのスポーツ隊員が派遣された。これを機に、その後、他地域への隊員派遣が実現。ここ数年、派遣数の増加とともに、地方展開、職種の多様化が進み、約40職種の隊員が派遣されている。配属先も、村レベルの行政機関から研究所まで様々である。

(5)現職教員特別参加制度

青年海外協力隊事業では文部科学省と協力し、2004年度より現職の教員を隊員として派遣する制度を採用している。日本の学校に籍を置いたまま原則2年間途上国において協力隊事業に従事する。現地での教育活動を終えたあと、帰国し日本の公立校に復職する。

ベトナムと日本での活動 ～再び教壇に立つことを視野に入れて～

青年海外協力隊 平成17年度1次隊
ベトナム 小学校教諭
奈良県葛城市立新庄小学校
真田昇(さなだ のぼる)
n_sanada1978@y.boo.co.jp



お話しする内容

- ベトナムでの主な活動
- ベトナムにいながら、日本の学校のための活動
- 日本に帰国した後を考えての活動
- 最後に



ベトナムでの主な活動

- 体育の授業(5年生)
- 図工の授業(3～5年生)
- 雑談の中で...「日本を伝える」

【貴重】赤白曜(卒業生から回収) 作品のデータ ドラえもん 外付けハード(USB接続)
絵はがき 原爆の写真 日本の遊び「だるま落とし」「パタパタ」「刺玉」(100均)
【番外編】耳かき 爪切り 木工用ボンド ホイッスル 音楽・映画(自己回復のため)



ベトナムにいながら、日本の学校のための活動

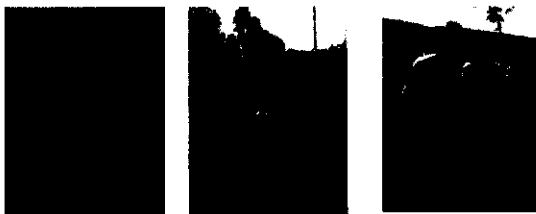
- 通信 勤務校/転勤した先生/地元のJICA
- ブログ 卒業生や保護者・友人のために
- インターネットライブ授業

ベトナムの学校と日本の学校を「ヤフーメッセンジャー」「スカイプ」でつなく。
お互いに「ふるさと」紹介。日本とベトナムの友好巨大壁画作り。
筑波大学の支援。



日本に帰国した後を考えての活動

- 写真(日本の人々に伝えたいのは)
- 日本と同じ点・違う点
- 人とのつながりを作っておく



最後に

誰かのためでなく、自分のために

- 日本は忙しい。
- 自分がいなくても日本の学校は動いている。
- 自分が思っているほど、周りは「すごい」と思っていない。
- 日本は日本。ベトナムはベトナム。
- 「学級経営/教科指導ができてこそ」の伝家の宝刀。
- 人事は慎重に。。。

マーシャル共和国での取り組み

野原 俊之（茨城県阿見町立朝日中学校）

（平成17年度派遣、小学校教諭、マーシャル）

マーシャル共和国での取り組み

17年度1次隊マーシャル派遣
小学校教諭 野原 俊之

派遣国の概要

- ・ 霞ヶ浦 ・ ネックレス
- ・ 最高峰 ・ 東京ドーム
- ・ 夏夏夏夏 ・ あめだま
- ・ エンマン ・ 指計算機

派遣内容

- 現地教員の指導力向上
- 教員向け研修会の実施
- モデル授業の企画・実施



- 児童の基礎学力向上
- 教材の開発
- 現地教員への働きかけ

児童の基礎学力向上

日々の授業

- ・ ルールを大切にすること
- ・ 指導内容の吟味
- ・ T・Tの活用

課外活動

- ・ 補修クラス
- ・ サマースクール

教材作成

ワークシート

- ・ 現地語の説明
- ・ 段階的な内容

補助教材

- ・ 分かりやすく
- ・ 使いやすく
- ・ 算数セットの活用

現地教員への取り組み

ワークショップ オープンクラス

- ・ ニーズに応える
- ・ 継続性
- ・ 日々の授業に直結

派遣前には

- ・ 情報収集を密に
- ・ 得意分野を再確認
- ・ 言語や生活は気付くと慣れていきます
- ・ 日本文化の「ねた」
- ・ ネットワーク作り

派遣中→帰国後

- ・ リアルタイムの情報発信
- ・ 記録の蓄積
- ・ データの共有
- ・ 後任との連携
- ・ 自分自身を磨くチャンス
- ・ 活動報告の準備

活動をふりかえって

- ・ 長くて短い1年9ヶ月
- ・ 派手さを求めず、日頃の積み重ねを大切に
- ・ 日本人 → ノハラ
- ・ 種をまく気持ち

国際協力イニシアティブ
教育協力拠点形成事業

平成19年度活動報告

幼児教育分野における派遣隊員支援と幼児教育協力の質的向上

浜野 隆

(お茶の水女子大学文教育学部教育科講座)

【幼児教育】
 幼児教育分野における派遣隊員支援と
 幼児教育協力の質的向上

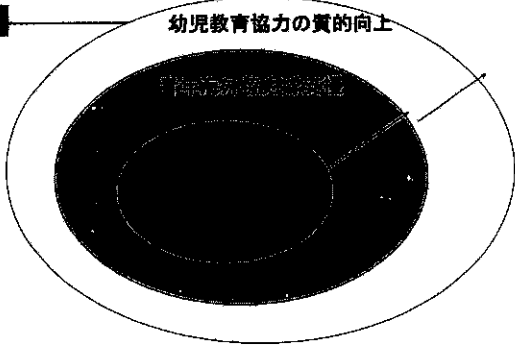
浜野 隆
 (お茶の水女子大学)

1. 事業の目的・方法

- 目的: 幼児教育分野の青年海外協力隊の支援を通じた幼児教育協力の質的向上
- 1. 協力隊活動広報・調査
- 2. お悩み相談: 派遣前、派遣中、帰国後
 (メールでの相談受付、Q&A集の作成)
- 3. 教材・資料の作成・配布
- (ハンドブックの多言語翻訳、ビデオ、国際動向パンフ)

活動テーマ: 「幼児教育分野における派遣隊員支援と幼児教育協力の質的向上」

幼児教育協力の質的向上



2. 今年度の活動・成果

- (1) 広報・調査活動
- 昨年度に続き、公立幼稚園・私立幼稚園調査に対する広報活動の継続。昨年度アンケート結果の送付。
- 私立幼稚園関係者に対する理解を深めるために、雑誌「私幼時報」に青年海外協力隊の活動を紹介。
- 青年海外協力隊の広報紙 [JOCV news] に本事業の紹介を掲載し、その内容を国内幼児教育関係者にも配布。
- 保育者養成機関(大学・短大)、保育所へのアンケート調査(広報)。

(2) 幼児教育協力の国際動向に関する情報集約・提供

- 隊員を取り巻く国際機関の援助の理解
- (UNICEF等UNの影響をかなり受けている)
- ① ECD国際動向パンフレット作成
- 国際社会の開発課題とECD支援との接点、途上国の乳幼児を取り巻く状況をマクロな視点から理解する重要性に言及し、そのための基本的知識や情報源を提供する。
- ② 「EFAグローバルモニタリングレポート2007年版」フルレポートの翻訳。

(3) 派遣候補生および派遣中隊員からの質問受付と助言

- 「幼児教育ハンドブック」配布。
- 現在は「幼児教育ハンドブック[2]幼児教育協力Q&A」の作成が進行中(本日記布資料)。現地調査(スリランカ、モルディブ)
- 前年度に引き続き、現在派遣されている隊員から質問を集約し、回答できるものについては回答を送付。
- 隊員の広域研修への助言、本学が実施している地域別研修(中西部アフリカ幼児教育)への候補生の参加を通じて、派遣前情報の入手、派遣先スタッフとのネットワーク作りを支援。
- 「幼児教育ハンドブック」の多言語化を進め、翻訳済み部分については即時、隊員メールリストに送信。

現地調査: モルディブ

- 最も恵まれない子どもたちに特に配慮を行った総合的な乳幼児期のケアと教育 (ECCE) の拡大及び改善を図ること
(2000年ダカールの行動枠組みより)

- 2002年よりユニセフの支援を受け、「Play Based Learning」に基づく幼児教育を展開するため、教育省幼児教育課が幼稚園教諭隊員を複数要請する

隊員の活動の様子(モルディブ)



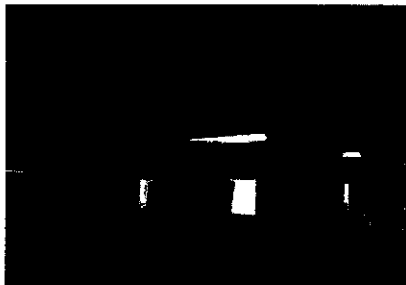
隊員活動の様子(モルディブ)



現地調査: スリランカ

- 3年前には停戦合意までこぎつけられていた平和への努力が、停戦破棄となりコロンボ市民を巻き込んだ自爆テロも起こっている
- 国の産業として紅茶のプランテーションが隊員たちの任地に深くかかわっている(人口17%のタミル人の4%がエステート(茶園と製茶工場を生活単位とした病院・学校・労働者のハウスなどがある集合体)の労働者。また、紅茶のプランテーションの40%はエステートで、60%は自作農でシンハラ人が占めている)

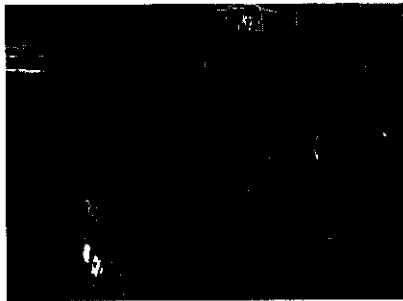
隊員の活動の様子(スリランカ、I隊員)



隊員の活動の様子(スリランカ、I隊員)



隊員の活動の様子(スリランカ、I隊員)



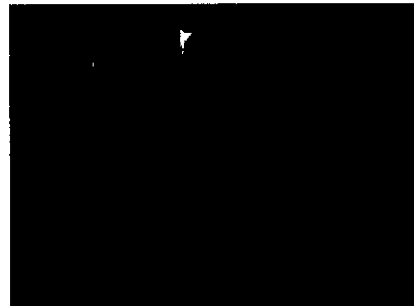
隊員活動の様子(スリランカ、S1隊員)



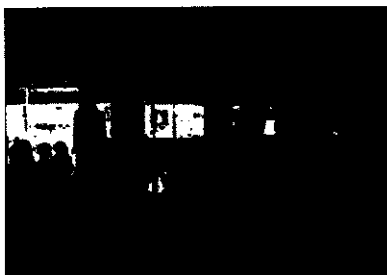
隊員活動の様子(スリランカ、S1隊員)



隊員活動の様子(スリランカ、S1隊員)



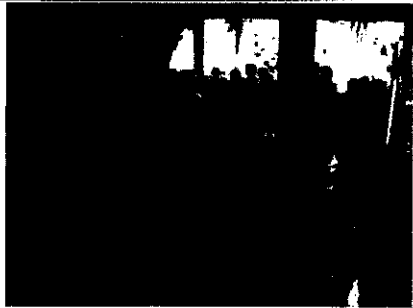
隊員活動の様子(スリランカ、S2隊員)



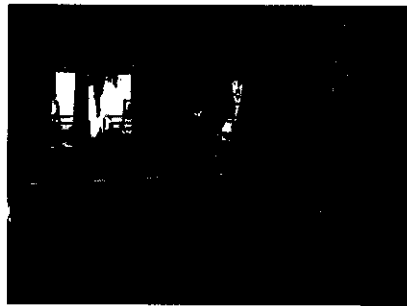
隊員活動の様子(スリランカ、S2隊員)



隊員活動の様子(スリランカ、S2隊員)



隊員活動の様子(スリランカ、S2隊員)



3. 派遣中隊員がかかえる悩み

- 1. 任国の教育事情
- 2. 文化の違い
- 3. 要請に関する問題
- 4. JOCVに対する理解が乏しい
- 5. CP(カウンターパート)との関係
- 6. 活動の内容・方向性について
- 7. 語学・コミュニケーションの問題

■ 私には、特定のカウンターパートがないのですが、活動に
してどのような点に留意したらいいでしょうか。

■ 任国の教育に対してどこまで日本的な考えが良いのか、必
要なのかわりません。子ども中心主義の伝達をすべきかどうか、
判断する方法を教えてください。

- 3. 任国には任国の保育の型があり、その国式の保育にどこま
で手を入れていいかわりません。活動の方向性を決めるい
い方法はあるでしょうか。
- 4. 現在の活動は、個に対してアプローチしている状況なので、
広がりを感じています。「点」に対する活動を「面」に広
げていくにはどのようにしたらいいでしょうか。
- 5. 配属先のJOCVに対する理解が乏しくて困っています。すで
に赴任して10ヶ月になりますが、いまだに自分の配属先で私の
位置づけをきちんと決められていません。相談できる現地の相
手もいません。どうしたらいいでしょうか。

■ 6. カウンターパートや指導主事が忙しく、時間が合わないた
め十分なコミュニケーションの時間が取れません。そのため、
講習会の準備などにも支障をきたすことがあります。何かい
い方法はないでしょうか。

■ 7. 国民性の相違かもしれませんが、私の任国では、部下や
上司の許可なしに仕事ができず、自主的な仕事が考えられ
ません。指導主事が絶対的な権威をもっており、間違ってい
ても間違っているといえない雰囲気があります。私はときどき
自分の思ったとおりのことを言うのですが、耳を傾け
てもらえません。

■ 8. 要請内容と現場のニーズが結びつきません。現場での需
要がわかりません。そのため、活動の方向性が見えなくて
困っています。どのように活動の方向性を見つけていったら
いいでしょうか。

■ 9. 語学力の問題もありますが、相手とのコミュニケーション
が難しいいつも感じます。そのため、信頼関係を築くことが
うまくできていません。信頼関係を築くための何かいい方法
はあるでしょうか。

■ 10. 自分が担当しているエリアの規模が大きすぎるので広く
浅い活動になってしまうのではないかと不安を感じます。どの
ような点に注意して活動したらいいでしょうか。

■ 11. 巡回先が多く各園との深いかかわりがなかなか難しいと
感じます。どのような点に注意して活動したらいいでしょうか。

■ 12. 任国の人が受身(時には怠け者)で困っています。なかな
か指導主事自身で物事を企画したり提案しても、私にやらせよ
うというアジがみられます。現地の人々のやる気を引き出すい
い方法はあるでしょうか。

■ 13. 露骨に物質的要求をされます。うまくかわす方法を教えて
ください。

■ 14. 講習会を定期的に行っているのですが、その内容が浸透
(定着)しにくいというのが悩みです。講習会を成功させるコツ
は何かありますか。

■ 15. 赴任先がお休みのパカンス中、どんな活動をしていいか
わかりません。完全に休んでいる隊員の方もいますが、それ
でいいのかどうか疑問に思うときもあります。何かいいアドバ
イスがあればお願いします。

- 16. ニーズがわからない
- 17. 自分のやったことの効果が見えない(これまで何代も入って、何が変わったのか。実感が持てない)。
- 18. 協力の効果をどう確認したらいいのか。
- 19. 相手国の教育にどこまで介入していいのかわからない。
- 20. 体罰やスパルタ式教育に疑問を感じるが、どうすべきか
- 21. 任国の3歳児と日本の3歳児の発達の度合いは同じようなものと考えていいか？違うとしたらどれくらい違うのか？
- 22. 現地では、衛生についての感覚が日本と大きく違います。幼稚園はごみだらけですが、先生も子どもも全然気にしていません。どこまで衛生環境について手を入れていいのかわかりません。
- 23. 任地で、比較的若い職員の人には柔軟性があり、私の言うことをよく理解してくれますが、権力のある年配の先生方は柔軟性がなく、聞く耳を持ちません。その結果、私のやっていることは全く現地に浸透しません。何かいい方法はありますでしょうか。

JICAからのコメント

- 寄せられた多くの悩みは、幼児教育分野のみならず、他分野の隊員もかかえている(であろう)問題
- 幼児教育のみならず、他分野の隊員にとっても参考になるようなものを。
- 質問によっては、JOCV事務局が答えたほうがいいものもある。

派遣中隊員ニーズ(まとめと対応)

- ①活動の方向性に関して第三者の立場、専門的な立場からのコメントがほしい
 - →拠点での対応：(Q&A集や隊員の集会に参加してのコメント)
- ②派遣先のニーズを把握したり、活動の効果を確認したりするための調査手法
 - →拠点での対応：(Q&A集で対応)
- ③資料や教材が現地語になっていると良い
 - →幼児教育ハンドブックの多言語翻訳

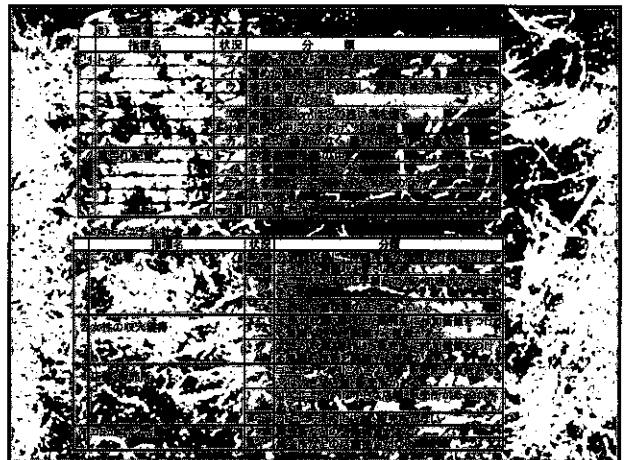
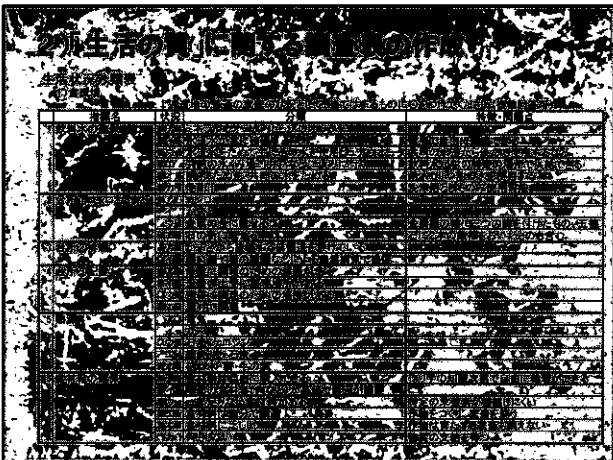
4. 最終成果物に向けた進捗状況

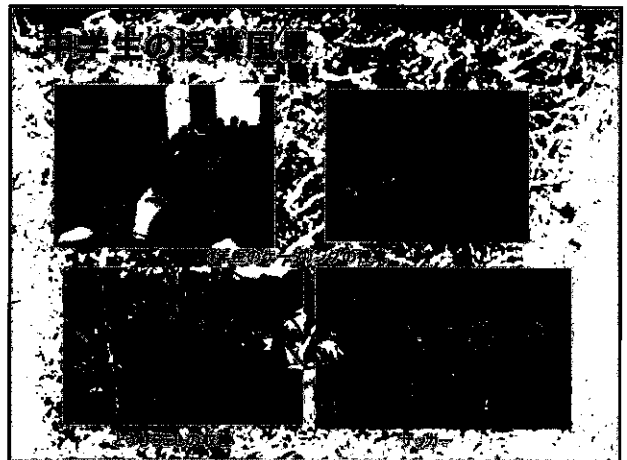
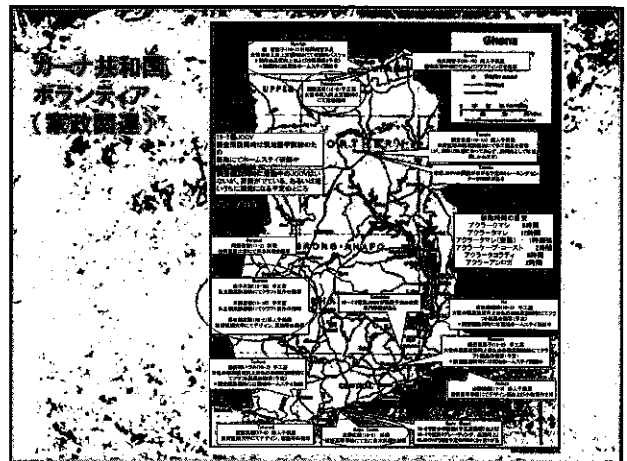
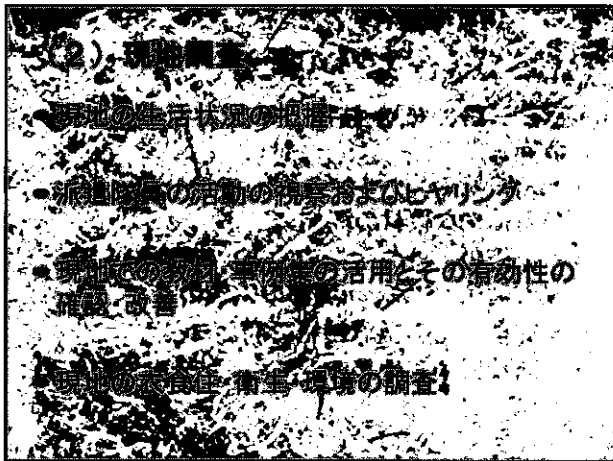
- 「Q&A集」は、本日配布資料が現状。来年度、さらなる海外調査を通じ、QもAもより深い内容のものにすることが課題。
- 回答については専門家の意見も交え作成していく。
- 「EFAグローバルモニタリングレポート2007年版」「国際動向パンフレット」は、ドラフトが完成
- 幼児教育ハンドブックの多言語化は、フランス語、ベトナム語、ラオス語が完成。
- 国内の幼児教育関係者調査(広報)はすべて終了

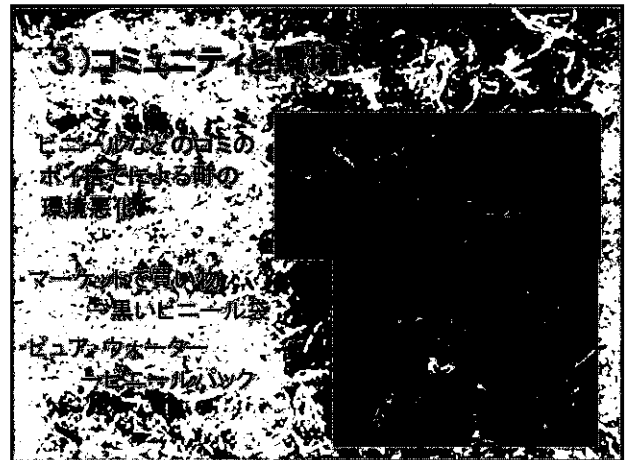
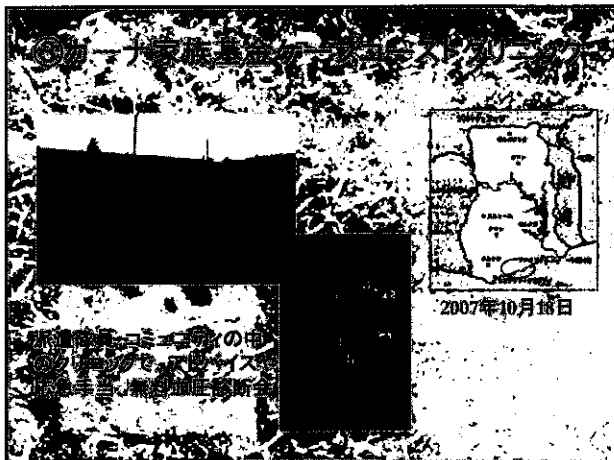
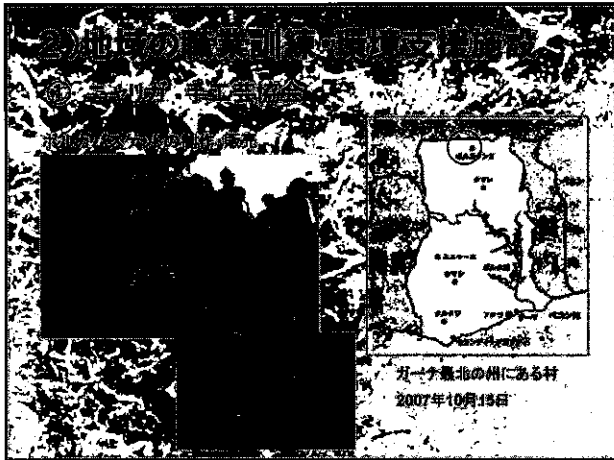
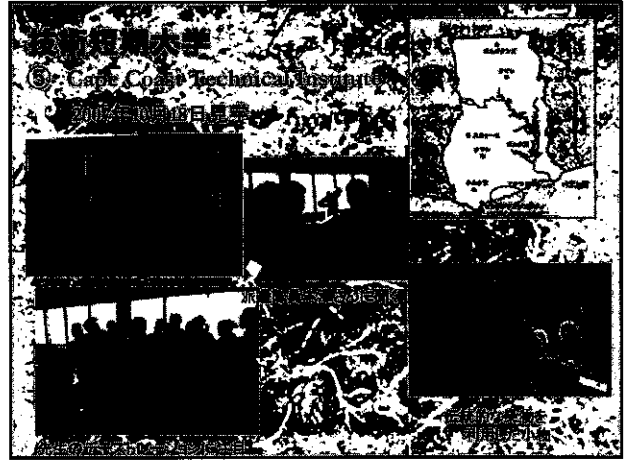
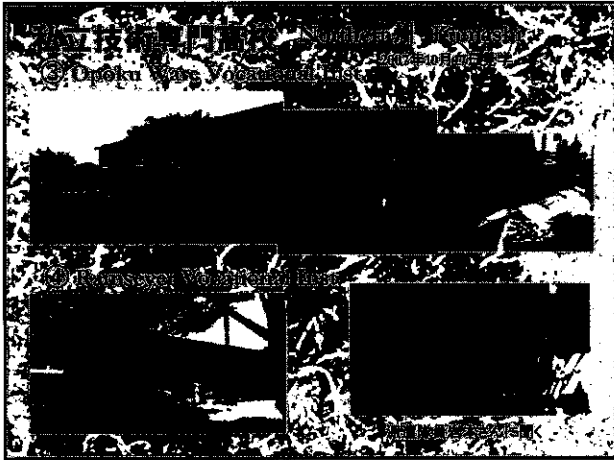
海外派遣隊員の家政分野に関する活動支援教材等の開発

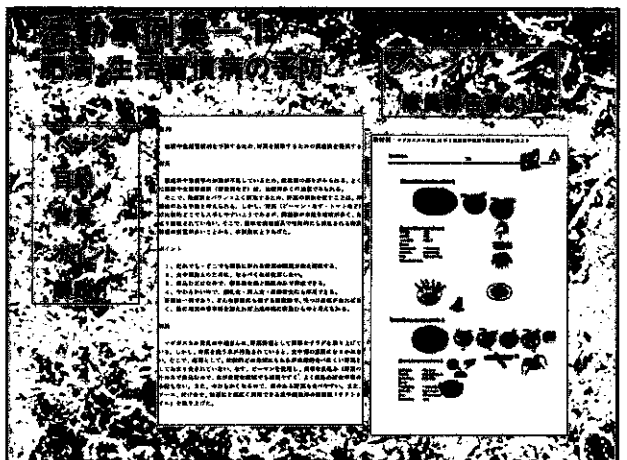
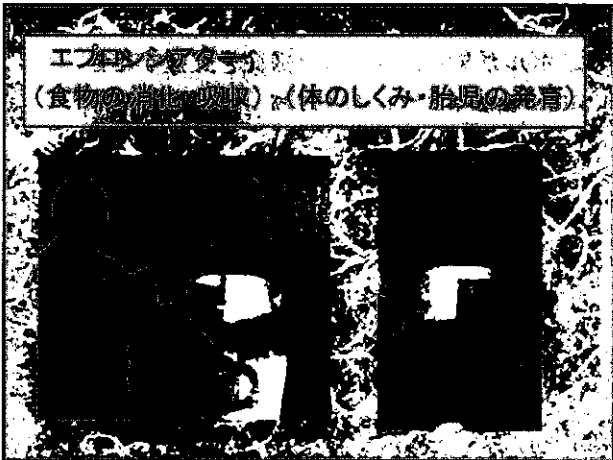
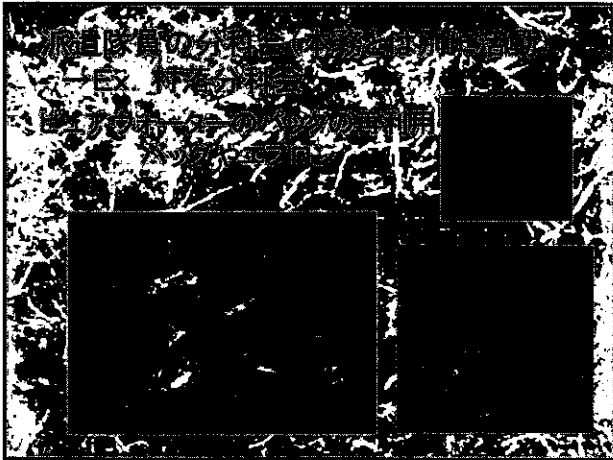
佐々井 啓

(日本女子大学家政学部被服学科)









3.4ページ 活動事例集

Activity icons and descriptions for the 3.4 page example.

Activity descriptions and instructions for the 3.4 page example.

活動事例集

Activity description on the left side of the 3.5 page example.

Main activity description and instructions for the 3.5 page example.

Activity description on the right side of the 3.5 page example.

3.6ページ 活動事例集

参加型学習
ワークシート案

Activity description and instructions for the 3.6 page example.

Activity description on the right side of the 3.6 page example.

活動事例集-3

乳児の離乳食-食材選び

目的
背景
ポイント
解説

Main activity description and instructions for the 3.5 page example.

Activity description on the right side of the 3.5 page example.

3.8ページ 活動事例集

参加型学習
ワークシート案

Activity description and instructions for the 3.8 page example.

Activity description on the right side of the 3.8 page example.

活動事例集-4

環境も考えた消費生活-リサイクル

1ページ 目的 背景 ポイント 解説

Main activity description and instructions for the 3.8 page example.

Activity description on the right side of the 3.8 page example.

1974年11月

11月

11月1日 星期一

11月2日 星期二

11月3日 星期三

11月4日 星期四

11月5日 星期五

11月6日 星期六

11月7日 星期日

11月8日 星期一

11月9日 星期二

11月10日 星期三

11月11日 星期四

11月12日 星期五

11月13日 星期六

11月14日 星期日

11月15日 星期一

11月16日 星期二

11月17日 星期三

11月18日 星期四

11月19日 星期五

11月20日 星期六

11月21日 星期日

11月22日 星期一

11月23日 星期二

11月24日 星期三

11月25日 星期四

11月26日 星期五

11月27日 星期六

11月28日 星期日

11月29日 星期一

11月30日 星期二

11月

11月1日 星期一

11月2日 星期二

11月3日 星期三

11月4日 星期四

11月5日 星期五

11月6日 星期六

11月7日 星期日

11月8日 星期一

11月9日 星期二

11月10日 星期三

11月11日 星期四

11月12日 星期五

11月13日 星期六

11月14日 星期日

11月15日 星期一

11月16日 星期二

11月17日 星期三

11月18日 星期四

11月19日 星期五

11月20日 星期六

11月21日 星期日

11月22日 星期一

11月23日 星期二

11月24日 星期三

11月25日 星期四

11月26日 星期五

11月27日 星期六

11月28日 星期日

11月29日 星期一

11月30日 星期二

障害児教育分野における派遣隊員サポート事業の展開

前川 久男

(筑波大学特別支援教育研究センター長・事業代表者)

瀬戸口 祐二

(筑波大学特別支援教育研究センター・報告者)



事業の概要

- 筑波大学にある心身障害科学専攻、特別支援教育5校と特別支援教育研究センターにおける専門性と実務的知識の蓄積と実践的活用
- 派遣活動による人材の活用
- 様々なニーズへの対応
- 派遣活動で活用してきた活動の成果
- 派遣活動のサポートニーズ調査
- 派遣活動の更なる改善と発展
- 派遣活動の現場に対する的確な対応（即応性・適切性・多様性）
- 派遣活動による各種リソースの集積と提供（教材・人材・指導法等）
- 派遣活動によるスキルアップのフォローアップ
- 派遣活動による人材育成への協力
- 派遣活動によるネットワークの構築

障害児教育分野における隊員活動

1. 障害児教育関連分野で活躍する隊員像

- ① 英語
- ② 音楽
- ③ 言語聴覚士 (ST)、理学療法士 (PT)、作業療法士 (OT)
- ④ 手芸
- ⑤ 音楽
- ⑥ 美術
- ⑦ 体育
- ⑧ 幼児教育
- ⑨ ソーシャルワーカー
- ⑩ 行動分析士

障害児教育分野における隊員活動

- 派遣活動により、多くの隊員が豊富な経験と知識を身につけ、実践的知識がいかさげられた。派遣活動が、ご自身の成長に大きく貢献している。
- 派遣活動により、多くの隊員が豊富な経験と知識を身につけ、実践的知識がいかさげられた。派遣活動が、ご自身の成長に大きく貢献している。
- 派遣活動により、多くの隊員が豊富な経験と知識を身につけ、実践的知識がいかさげられた。派遣活動が、ご自身の成長に大きく貢献している。
- 派遣活動により、多くの隊員が豊富な経験と知識を身につけ、実践的知識がいかさげられた。派遣活動が、ご自身の成長に大きく貢献している。

隊員の作ったブックレット

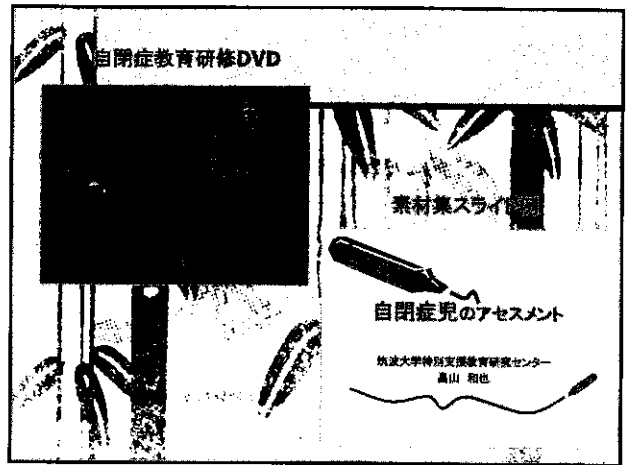
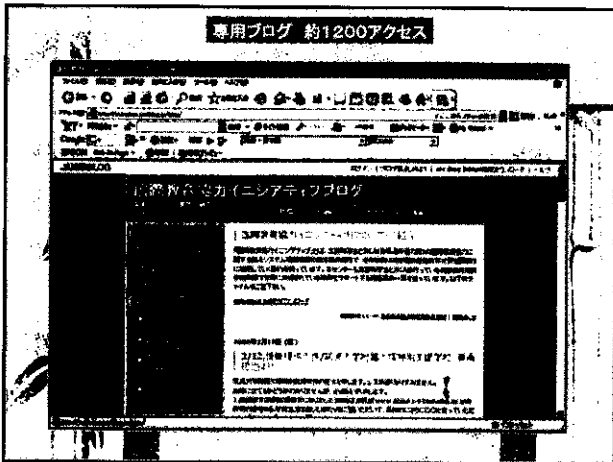
PE(体育教育)ブックレット
木工ブックレット

本センターのサポート事業

1. サポートニーズ調査
2. 現地調査(マレーシア・タイ)
3. チェリサポート(インターネット活用)の調査及び配信実験

- 専用メールによる情報ネットワーク
 - ・派遣活動と特別支援学校附属特別支援学校の教員がサポートパートナーとして連携
 - ・大卒者への提供が可能
- 自明証書制作DVDの作成
 - ・隊員の派遣前及び派遣中の自学教材として
 - ・現地スタッフのスキルアップのための教材として
- 派遣活動の経験知を今後の活動にいかす
 - ・シンポジウム開催及び資料集

- チェリサポート(インターネット活用)の実験
 - ・動画相談・支援(マレーシア)
- 教材集の試作(附属特別支援学校6校の経験知をいかして)
 - ・隊員自身が活用する教材、指導計画、指導法等
 - ・現地スタッフに伝達するスライド資料(ワークショップ等)



派遣現職教員の活動の幅を広げるハンズオン素材と
その活動展開モデルの開発

服部 勝憲

(鳴門教育大学教員教育国際協力センター)

派遣現職教員の活動の幅を 広げるハンズオン素材とその 活動展開モデルの開発

鳴門教育大学教員教育国際協力センター
所長/教授 服部勝憲

目的

- 現職派遣教員を始めとする協力隊員により開発・活用されたハンズオン素材の収集及び評価・改良
- 他地域の隊員が即時的に利用可能とするためのハンズオン素材の活動展開モデルの開発
- 成果の「国際協カイニシアティブ」ライブラリへの登録による派遣隊員への支援体制の充実

※ハンズオン…直接手に触れる、実践的な、体験的な

方法1

- ハンズオン素材に関するニーズ調査の実施
 - ねらい: 隊員の教材開発経験や教材開発に係る困難性、必要とされる教材について明らかにする
 - 対象: 教育関連の職種(小学校教諭, 青少年活動, 環境教育, 幼児教育など)に就いている派遣中の隊員と筑波大学CRICEDの管理する現職派遣隊員ML登録のOB/OG隊員
 - 実施方法: JICA事務所を通じての協力呼びかけとMLを介してのメールによる依頼

方法2

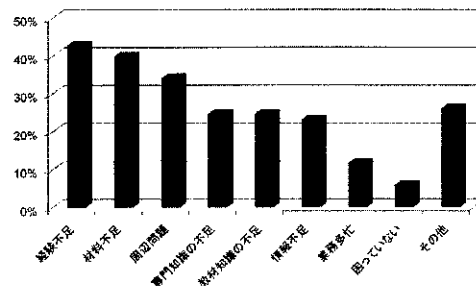
- ハンズオン素材の収集及び評価・改良
 - ニーズ調査の際に教材提供に関する呼びかけも実施
 - 実施分担者の持つネットワークを通じての提供依頼
 - ニーズ調査への回答者に対して個別に依頼
- 活動展開モデルの開発
 - 収集したハンズオン素材の一部を実際に途上国で活用することで、さらなる評価・改良と、今後の隊員が即時的に利用可能な活動展開モデルを開発する
- 「国際協カイニシアティブ」ライブラリへの登録

ニーズ調査結果1

- 実施時期: 平成19年8月～9月
- 有効回答数: 138件(調査対象人数1019名)
- 結果: 隊員による教材開発の状況について
 - 教材開発経験: 87.0%
 - 対象学年: 初等学校段階を中心に(30%強), 就学前から大学生, 教員向け, 一般市民向けのものまで
 - 教科: 数学(24.0%), 理科(14.5%), 日本語(13.8%)体育・音楽(13.0%), 図工(12.3%)など
 - 参考資料: 大半が日本の教材を参考にしており(70.3%), 現地のもの(42.0%), その他の国のものと続く(13.0%)

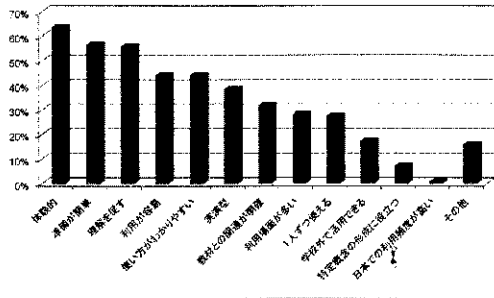
ニーズ調査結果2

■ 教材開発における困難性



ニーズ調査結果3

■ 必要な教材の特徴・質



ハンズオン素材収集状況

- 収集したハンズオン素材: 42点(12月12日現在)
- 教科領域: 算数・数学, 理科(物理, 化学, 生物, 地学), 音楽, 図画工作など
- 対象学年: 就学前の児童用の教材から, 高等学校段階のものまで。また, 地域のコミュニティで活用できるものもある。
- 言語: 日本語を主体としつつ, 一部に英語, 西語, 仏語



ハンズオン素材リスト

国際教養カインシアティブ
ハンズオン素材リスト

No.	教科	タイトル	学年	発元	所属	お話し の場	対象 年齢	対象 言語	必要材料	提供 形態	対象 地域	言語
1	算数	算玉そろばん	不詳	不明	1	算玉そろばん	算玉そろばん	日本語	算玉そろばん	対面	西アフリカ	フランス語
2	算数	グアテマラ算数実践 (2冊)	不詳	不明	1	算玉そろばん	算玉そろばん	日本語	算玉そろばん	対面	グアテマラ	スペイン語
3	算数	ガナマの算数実践 (2冊)	不詳	不明	1	算玉そろばん	算玉そろばん	日本語	算玉そろばん	対面	グアテマラ	スペイン語
4	算数	Mathematics	Grade 1-8	不明	20	算玉そろばん	算玉そろばん	英語	算玉そろばん	対面	スペイン	英語
5	算数	Math bee	Grade 1-4	不明	20	算玉そろばん	算玉そろばん	英語	算玉そろばん	対面	スペイン	英語
6	算数	Math bee II	Grade 1-4	不明	20	算玉そろばん	算玉そろばん	英語	算玉そろばん	対面	スペイン	英語
7	算数	Schemas & Mathematics in Art	Grade 1-4	不明	20	算玉そろばん	算玉そろばん	英語	算玉そろばん	対面	スペイン	英語
8	算数	算玉そろばん	不詳	不明	1	算玉そろばん	算玉そろばん	日本語	算玉そろばん	対面	西アフリカ	フランス語
9	算数	算玉そろばん	不詳	不明	1	算玉そろばん	算玉そろばん	日本語	算玉そろばん	対面	西アフリカ	フランス語
10	算数	算玉そろばん	不詳	不明	1	算玉そろばん	算玉そろばん	日本語	算玉そろばん	対面	西アフリカ	フランス語
11	算数	算玉そろばん	不詳	不明	1	算玉そろばん	算玉そろばん	日本語	算玉そろばん	対面	西アフリカ	フランス語
12	算数	算玉そろばん	不詳	不明	1	算玉そろばん	算玉そろばん	日本語	算玉そろばん	対面	西アフリカ	フランス語
13	算数	算玉そろばん	不詳	不明	1	算玉そろばん	算玉そろばん	日本語	算玉そろばん	対面	西アフリカ	フランス語
14	算数	算玉そろばん	不詳	不明	1	算玉そろばん	算玉そろばん	日本語	算玉そろばん	対面	西アフリカ	フランス語
15	算数	算玉そろばん	不詳	不明	1	算玉そろばん	算玉そろばん	日本語	算玉そろばん	対面	西アフリカ	フランス語
16	算数	算玉そろばん	不詳	不明	1	算玉そろばん	算玉そろばん	日本語	算玉そろばん	対面	西アフリカ	フランス語

ハンズオン素材例

教科: 算数

言語: フランス語 | **対象地域: 西アフリカ**

題名: 算と計算 | **対象年齢: 算の概念**

お話し: 算と計算の概念を一緒に学ぶ。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

時間: 15分程度。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

必要材料: 算玉そろばん。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

提供形態: 対面。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

対象地域: 西アフリカ。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

言語: フランス語。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

発元: 不明。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

所属: 不明。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

お話し: 算と計算の概念を一緒に学ぶ。

対象年齢: 算の概念。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

必要材料: 算玉そろばん。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

提供形態: 対面。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

対象地域: 西アフリカ。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

言語: フランス語。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

発元: 不明。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

所属: 不明。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

教科: 算数

言語: フランス語 | **対象地域: 西アフリカ**

題名: 算と計算 | **対象年齢: 算の概念**

お話し: 算と計算の概念を一緒に学ぶ。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

時間: 15分程度。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

必要材料: 算玉そろばん。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

提供形態: 対面。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

対象地域: 西アフリカ。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

言語: フランス語。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

発元: 不明。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

所属: 不明。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

お話し: 算と計算の概念を一緒に学ぶ。

対象年齢: 算の概念。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

必要材料: 算玉そろばん。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

提供形態: 対面。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

対象地域: 西アフリカ。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

言語: フランス語。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

発元: 不明。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

所属: 不明。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

教科: 算数

言語: フランス語 | **対象地域: 西アフリカ**

題名: 算と計算 | **対象年齢: 算の概念**

お話し: 算と計算の概念を一緒に学ぶ。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

時間: 15分程度。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

必要材料: 算玉そろばん。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

提供形態: 対面。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

対象地域: 西アフリカ。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

言語: フランス語。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

発元: 不明。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

所属: 不明。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

お話し: 算と計算の概念を一緒に学ぶ。

対象年齢: 算の概念。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

必要材料: 算玉そろばん。算と計算の概念を一緒に学ぶ。


提供形態: 対面。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

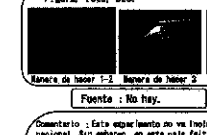
対象地域: 西アフリカ。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

言語: フランス語。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

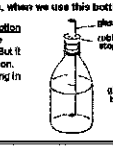
発元: 不明。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

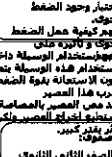
所属: 不明。算と計算の概念を一緒に学ぶ。

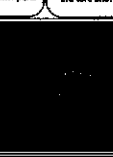
教科: Integrated Science (総合理科) 単元: 特になし。 Practical Activity (実活動) 対象概念: ベルヌーイの定理	言語: 英語 対象領域: センターシナリオの配役、および機械のサブプログラムで実験。 指導する際のポイント: ベルヌーイの定理の理解が前提。工作自体は簡単なものなので、必ず先生一人ひとり実験を体験させること。 留意点: 特になし
時間: 80分 (1コマ45分) 教材の扱い方/教具の扱い: 1. 折りこぶしを作り、折りこぶしの間にプーマンをのせる。プーマンが飛び出すようにのせること。2. 2. 1.の作ったプーマンのはみ出した端を人差し指で強く強く、プーマンが小さい軌道を描いて動く。3. 4. 様々な折り目のプーマンを作成させる。5. 各々作成したプーマンや、実験結果をレポートにまとめる。6. 指導: プーマンの軌道に関して、折り目の角度はどのような影響を及ぼすのか? プーマンの形(長さ、勾玉の形)はどのような影響を及ぼすのか? 自由発想に誘う。	図表・写真等:  作り方1-2 作り方3 飛ばし方 出典(あれば): なし コメント: 本来の授業におけるカリキュラムにない実験である。しかし、授業では実験教育というものが過度に不足している。理系は暗黒科目として教育主体の授業が行われている。また実験も乏しいが、身の回りで行われてる簡単な実験教育が必要とされているのが現状。そこで、理科教育が得意な生徒に理科工作を通じて、楽しんで、進んで、考えようという授業を行うようにした。このプーマンはその一例である。生徒の反応は上々であり、授業後から実験を再開する生徒もいた。また、夏休みなどを利用して地産地消コミュニティで開発されている子供のためのサブプログラム「Science Draft」に特して開発の工作実験を企画した。対象年齢は5~13歳、大人も含め、厚紙プーマン作りを指導する。任意ではScience Draftの子供を減らすために、Solanoをまず作り、実験からの普及活動が求められている。




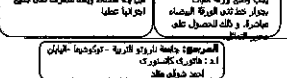
単元: 特になし。 Practical Activity (実活動) 対象概念: ベルヌーイの定理	言語: 英語 対象領域: センターシナリオの配役、および機械のサブプログラムで実験。 指導する際のポイント: ベルヌーイの定理の理解が前提。工作自体は簡単なものなので、必ず先生一人ひとり実験を体験させること。 留意点: 特になし
時間: 80分 (1コマ45分) 教材の扱い方/教具の扱い: 1. 折りこぶしを作り、折りこぶしの間にプーマンをのせる。プーマンが飛び出すようにのせること。2. 2. 1.の作ったプーマンのはみ出した端を人差し指で強く強く、プーマンが小さい軌道を描いて動く。3. 4. 様々な折り目のプーマンを作成させる。5. 各々作成したプーマンや、実験結果をレポートにまとめる。6. 指導: プーマンの軌道に関して、折り目の角度はどのような影響を及ぼすのか? プーマンの形(長さ、勾玉の形)はどのような影響を及ぼすのか? 自由発想に誘う。	図表・写真等:  作り方1-2 作り方3 飛ばし方 出典(あれば): なし コメント: 本来の授業におけるカリキュラムにない実験である。しかし、授業では実験教育というものが過度に不足している。理系は暗黒科目として教育主体の授業が行われている。また実験も乏しいが、身の回りで行われてる簡単な実験教育が必要とされているのが現状。そこで、理科教育が得意な生徒に理科工作を通じて、楽しんで、進んで、考えようという授業を行うようにした。このプーマンはその一例である。生徒の反応は上々であり、授業後から実験を再開する生徒もいた。また、夏休みなどを利用して地産地消コミュニティで開発されている子供のためのサブプログラム「Science Draft」に特して開発の工作実験を企画した。対象年齢は5~13歳、大人も含め、厚紙プーマン作りを指導する。任意ではScience Draftの子供を減らすために、Solanoをまず作り、実験からの普及活動が求められている。



単元: 大気圧 対象概念: 大気圧の存在を確かめたり、大気圧を測ったりすることで、大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。	言語: 英語 対象領域: センターシナリオの配役、および機械のサブプログラムで実験。 指導する際のポイント: 指導する際のポイント: (生徒への説明の仕方やさらに実験させるための利用の仕方など) 留意点: (取り回しの注意事項や(4)形物など)
時間: 8 教材の扱い方/教具の扱い: 大気圧の存在を確かめたり、大気圧を測ったりすることで、大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。	図表・写真等:  作り方: 1. 大気圧の存在を確かめたり、大気圧を測ったりすることで、大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。2. 大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。3. 大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。4. 大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。


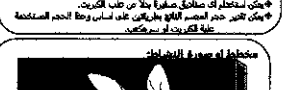


単元: 大気圧 対象概念: 大気圧の存在を確かめたり、大気圧を測ったりすることで、大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。	言語: 英語 対象領域: センターシナリオの配役、および機械のサブプログラムで実験。 指導する際のポイント: 指導する際のポイント: (生徒への説明の仕方やさらに実験させるための利用の仕方など) 留意点: (取り回しの注意事項や(4)形物など)
時間: 8 教材の扱い方/教具の扱い: 大気圧の存在を確かめたり、大気圧を測ったりすることで、大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。	図表・写真等:  作り方: 1. 大気圧の存在を確かめたり、大気圧を測ったりすることで、大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。2. 大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。3. 大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。4. 大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。

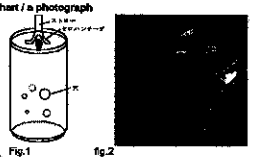
単元: 大気圧 対象概念: 大気圧の存在を確かめたり、大気圧を測ったりすることで、大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。	言語: 英語 対象領域: センターシナリオの配役、および機械のサブプログラムで実験。 指導する際のポイント: 指導する際のポイント: (生徒への説明の仕方やさらに実験させるための利用の仕方など) 留意点: (取り回しの注意事項や(4)形物など)
時間: 8 教材の扱い方/教具の扱い: 大気圧の存在を確かめたり、大気圧を測ったりすることで、大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。	図表・写真等:  作り方: 1. 大気圧の存在を確かめたり、大気圧を測ったりすることで、大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。2. 大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。3. 大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。4. 大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。

単元: 大気圧 対象概念: 大気圧の存在を確かめたり、大気圧を測ったりすることで、大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。	言語: 英語 対象領域: センターシナリオの配役、および機械のサブプログラムで実験。 指導する際のポイント: 指導する際のポイント: (生徒への説明の仕方やさらに実験させるための利用の仕方など) 留意点: (取り回しの注意事項や(4)形物など)
時間: 8 教材の扱い方/教具の扱い: 大気圧の存在を確かめたり、大気圧を測ったりすることで、大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。	図表・写真等:  作り方: 1. 大気圧の存在を確かめたり、大気圧を測ったりすることで、大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。2. 大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。3. 大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。4. 大気圧の存在とそのはたらき方を総合的に理解する。

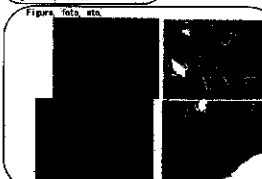
ملاحظة:  ملاحظة:  ملاحظة: 	اللغة العربية: 1. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 2. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 3. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 4. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 5. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي.	المادة: الرياضيات - الرياضيات: الأعداد - خصائص الأعداد المفاهيم: الأعداد الطبيعية - الأعداد الصحيحة - الأعداد الكسرية - الأعداد العشرية - الأعداد النسبية الوقت المستغرق: 25 - 30 دقيقة لكل ورقة عمل الوسائل: أوراق العمل - قلم رصاص - مسطرة
ملاحظة: 	اللغة العربية: 1. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 2. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 3. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 4. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 5. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي.	المادة: الرياضيات - الرياضيات: الأعداد - خصائص الأعداد المفاهيم: الأعداد الطبيعية - الأعداد الصحيحة - الأعداد الكسرية - الأعداد العشرية - الأعداد النسبية الوقت المستغرق: 25 - 30 دقيقة لكل ورقة عمل الوسائل: أوراق العمل - قلم رصاص - مسطرة

Subject: Mathematics & Art Unit: Cuboids Volume of solids (Fractions & Art) Objectives: - Connecting between mathematics and art. - Learning through playing. - As students practice, measure, cut, paste, draw, rearrange, and study at same time. - Deduction of cuboids shape, properties, and volume. Pre-requisite: Fractions, subtraction, area, equality.	Concepts: Puzzle, Cuboids, Volume of solids. Fraction: Meaning, Adding two fractions with result less than 1, Subtracting fraction, Equivalent fractions. Duration: 15 - 25 minutes for Making the puzzle. Necessary material: Match boxes or any small boxes, Glue & Scissors, White paper, Color box.	Language: English For an area:
Method: 1. Fix 6 match boxes beside each other as in picture (1). 2. Attach a white paper at one side of all of these boxes, draw any picture you like and color it. (Picture 2) 3. According to match boxes edge, put marks as picture (3). 4. Draw lines to divide the drawn picture as in picture (4). 5. Using scissors, Cut out parts of the puzzle as in picture (5) or (6) to get puzzle pieces.	Points when teaching it: To add: $\frac{2}{3} + \frac{1}{4}$ A student should put the puzzle to represent $\frac{7}{12}$. Then put one piece to represent $\frac{1}{12}$. Then he counts to get the result.	Points to keep in mind: students should put parts of the puzzle by themselves during different operation.
Chart / a photograph: 	Comments: activity pictures: 	The source: A Handmade by encyclopaedia, dawn light book shop 1997. ISBN-4-854-0751-4 20076

ملاحظة:  ملاحظة:  ملاحظة: 	اللغة العربية: 1. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 2. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 3. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 4. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 5. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي.	المادة: الرياضيات - الرياضيات: الأعداد - خصائص الأعداد المفاهيم: الأعداد الطبيعية - الأعداد الصحيحة - الأعداد الكسرية - الأعداد العشرية - الأعداد النسبية الوقت المستغرق: 25 - 30 دقيقة لكل ورقة عمل الوسائل: أوراق العمل - قلم رصاص - مسطرة
ملاحظة: 	اللغة العربية: 1. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 2. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 3. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 4. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 5. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي.	المادة: الرياضيات - الرياضيات: الأعداد - خصائص الأعداد المفاهيم: الأعداد الطبيعية - الأعداد الصحيحة - الأعداد الكسرية - الأعداد العشرية - الأعداد النسبية الوقت المستغرق: 25 - 30 دقيقة لكل ورقة عمل الوسائل: أوراق العمل - قلم رصاص - مسطرة

Subject: Science (Physics) Unit: World of the sound Concepts: A wave motion phenomenon Objetives: Through the outbreak of the sound by an imminent thing, you understand that it occurs because an object vibrates. Duration: 1 hour Grade (s): Junior high school Necessary materials: An aluminum Can, a straw, cellophane tape, an eyeteeter. Method: 1. Take off the tab of a can. 2. Keep a straw of around 10cm length to the taste place of the can and lock for the position where the sound appears and fix it with cellophane tape.(fig.1) 3. Drill the place where can is suitable with eyeteeters. (fig.2)	Language: English For an area:
Points when teaching it: Let you consider relative of pitch and size with how the sound-producing object vibrates.	Points to keep in mind:
Chart / a photograph: 	The source:
Comments:	A producer:

ملاحظة:  ملاحظة:  ملاحظة: 	اللغة العربية: 1. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 2. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 3. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 4. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 5. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي.	المادة: الرياضيات - الرياضيات: الأعداد - خصائص الأعداد المفاهيم: الأعداد الطبيعية - الأعداد الصحيحة - الأعداد الكسرية - الأعداد العشرية - الأعداد النسبية الوقت المستغرق: 25 - 30 دقيقة لكل ورقة عمل الوسائل: أوراق العمل - قلم رصاص - مسطرة
ملاحظة: 	اللغة العربية: 1. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 2. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 3. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 4. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي. 5. اكتب الأعداد العربية المقابلة للأعداد التي بين قوسين في الجدول التالي.	المادة: الرياضيات - الرياضيات: الأعداد - خصائص الأعداد المفاهيم: الأعداد الطبيعية - الأعداد الصحيحة - الأعداد الكسرية - الأعداد العشرية - الأعداد النسبية الوقت المستغرق: 25 - 30 دقيقة لكل ورقة عمل الوسائل: أوراق العمل - قلم رصاص - مسطرة

Alpatura: Leer libros a los niños y trabajos manuales. Concepto de objeto: El objeto: Es la consideración a la elección de la poca habilidad de manejar lenguaje matemático de los niños, hay que familiarizar a los niños con los libros para la creatividad y conocer la atención. Poner la importancia del libro ilustrado llevando a la casa el libro ilustrado. Forma de utilizar el material: Flujo de la clase: Saber el contenido del cuento a través de hacer la imitación de líneas con dibujos. Después registrar los libros a uno por uno y en cada semana colorear la página indicada. Después de terminar de colorearlo, confirmar la condición de trabajo y pagar una pegatina de recompensa. Grado: (Escribir según el nivel académico de los niños según el criterio de cada docente). Materialesnecesario: Papel, pasta. Forma de elaborar el material: Finisar argumento de libro ilustrado para que los niños disfruten y hacer libros ilustrados. Primer libro entre 3 libros se para solamente disfrutar. De el cuento se de un de cinco que los niños hacen en su familia. El contenido de libros a libros se para aprender colores, nombres, figuras y nombres de objetos. Segundo libro se de "Nombre de vegetales". Tercer libro se de "Nombre de animales". Objetivo:	Punto de la orientación: (Método de preguntar a los estudiantes, manera de utilizar el material (de dibujos, etc.) En Honduras se les enseña a utilizar los colores incluidos y hacer algunas cosas de la manera de nuestra cultura. Es oportuno que aprendan los colores de importante, pero también por la originalidad y enseñar la alegría de colorear y de completar algo de importancia. Observación: (Indicaciones de utilización del material, Satisfacción del material)
Figura foto, etc. 	Comentario: Al principio, era muy difícil de solo leer libros a los niños, ya que no conocían bien los colores, pero al hacer libros ilustrados con los niños, ellos se interesaron mucho por los colores y empezaron a colorear los libros que les enseñamos a leer. Ahora ya van a colorear los libros, están aprendiendo a visitar a jardín y cumplir por los colores. Los niños que pueden dibujar con sus colores y solo algunos también ahora pueden dibujar muy bien con varios colores. Ante todo a él me gusta el momento que los niños encuentran bien y se calman en el aula.

Asignatura: Ciencia (geografía física)

Concepto de objeto: Materia expuesta por el viento, erosión eólica

Objetivo: A través de hacer pastel de tierra cocidos, los hace entender la relación entre la tierra y la vida cotidiana.

Metas de utilizar el material: A través de trabajo manual, realiza este experimento para que los estudiantes entiendan la relación entre la tierra y la vida cotidiana.

Actar/observar: Materiales (Margarina sin sal, Jolón purificado, arena, gránulos de tierra, arcilla (tamaño del grano: menos de 0.25mm), arena, madera), Perforadora para orificio de diámetro 1cm (tubo de diámetro de 1cm), Cuchara, Lata (tubo de goma (estrella de goma) 4cm, 1cm)

Procedimiento:

1. Acumular gránulos de tierra cocida por frotar tierra seca, tierra de grano grueso, o cenizas volcánicas.
2. Meter Jolón puro (5g), margarina sin sal (10g), una vela, tierra y cenizas volcánicas a la lata.
3. Meter la lata al agua caliente a unos 60°C, y frotar las materias (Figura 1).
4. En la condición que las materias están suficientemente mezcladas, meter a la perforadora tapando el fondo con el tapón de goma (Figura 2).
5. Después de apretar un momento, insertar un lápiz a la perforadora y moverlo al tapon de goma algunas veces para solidificar.
6. Después de enfriarlo, insertar un lápiz al cilindro metálico y extraer una muestra de solidificación (Figura 3).

Figura 1, Foto, etc.


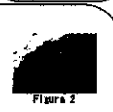
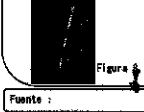

Figura 1  **Figura 2** 

Figura 3  **Figura 4** 

Fuente:

Comentario:

Nombre: Cuarto de estudio de geografía

ハンズオン素材活用と展開モデル開発 -タンザニア(1)-

算数科学習指導案

1. 単元名: 漢字のロビン

2. 単元の目標

3. 本時の目標

4. 授業の展開

5. 評価

6. 振り返り

7. 授業の振り返り

8. 授業の振り返り

9. 授業の振り返り

10. 授業の振り返り

An arithmetic department lesson plan

1. A unit name 100 coin abacus

2. Objectives

3. Lesson development

Student thinking and activity flow	Teacher support Use contents
1- Show 100 coin abacus (for teachers) and understand the structure and the movement of the ball.	1. Teachers can have interest about structure of the 100 coin abacus and its balls movement. Observe attention to the relations of a ball movement and balls.
2- Through activity to move a ball of the 100 coin abacus by a certain rule, think about how its quantity increases or decreases.	2. When a ball moves to the right regularly from the left, how do right balls increase? How do the left balls decrease? When by one step or by two steps move by 1, 2, 3, 4, 5 can you explain the increase a characteristic of the decrease as well.
3- Does the ten-relationship comparison, the sandwich support the movement of what kind of ball of the 100 coin abacus? In addition, think about what kind of pattern the whole 100 coin abacus expresses and explain it when a ball is moved by 1, 3, 3 in the right every step.	3. When left balls come with the increase and decrease of the right balls, the increase and decrease are regular, children pay their attention to the number increase and decrease regularly and the movement of the ball can explain it.
4- Discuss the movement of other regular balls and discover that you understand it from there and announce it.	4. If there are more time, give a child a chance to announce how he sets the activity.



ハンズオン素材活用と展開モデル開発 -タンザニア(2)-

算数科学習指導案

1. 単元名: ボックスパイル

2. 単元の目標

3. 本時の目標

4. 授業の展開

5. 評価

6. 振り返り

7. 授業の振り返り

8. 授業の振り返り

9. 授業の振り返り

10. 授業の振り返り



ハンズオン素材活用と展開モデル開発 -タンザニア(3)-

理科学習指導案

1. 単元名 身の回りの物質

2. 単元の目標

・身の回りの物質・観心を読み、気づいているとき、気づいていないことに気づく。

3. 本時の目標

授業活動の展開と展開の場面	教師の支援・授業展開の留意点
1. 身近な石のなかについて話し合い、本時単元の目標を定めておこう。	1. 身近な石のなかの地層を案内し、表裏に書かせる準備をとつなげる。
2. 教材1から教材7までの実験を行い、書かされているときの様子を観察する。	2. 必要に応じて、それぞれの教材を展覧する順序を決定し、その順序を決定する。 ・教材1 ・教材2 ・教材3 ・教材4 ・教材5 ・教材6 ・教材7
3. 書かされているのかについて、実験の結果を5つから話し合う。	3. 観察し、書きかえられているか、5つから話し合う。
4. 実験を振り返り、疑問しているかどうかを確かめる。	4. 疑問は、いつかまたたいてみる。疑問は、いつかまたたいてみる。

書は、なぜかだらう



タイトル	身の回りの物質
教科	理科 (物理)
学年	中学校 (第1学期)
単元	身の回りの物質
時間	1時間
教材	身近な石のなかの物質の観察を通して、書かされているかどうかを確かめ、疑問を問いながら観察させる。
必要材料	書きかえられたクリップ、セロハンテープ、ワイヤーストック、ポリエチレン、TPシート、ペットボトル、ろうそく、マッチ、ラップ
教材の作り方	1. 書きかえられたクリップを、一方にワイヤーストックをセロハンテープで固定する。 (1) ポリエチレンシートを折り紙で準備し、展開させる(図1)。 (2) 書きかえられたクリップの両端を準備し、準備したクリップの両端にワイヤーストックを固定する(図2)。 (3) ワイヤーストックの両端を準備し、準備したクリップの両端にワイヤーストックを固定する(図3)。 (4) ろうそくをライターで加熱し、準備したクリップの両端にワイヤーストックを固定する(図4)。 (5) ろうそくをライターで加熱し、準備したクリップの両端にワイヤーストックを固定する(図5)。
教材の使い方の流れ	教材の展開として、書かされているかどうかを確かめる(図1)。
指導する際のポイント	(教材への関心の仕方)に留意させるための留意点(図1)。 1. 書かされているかどうかを確かめる(図1)。 2. 疑問を問いながら観察させる(図2)。 3. 疑問を問いながら観察させる(図3)。
観察・写真等	図1 図2 図3 図4 図5
出典(あれば)	
対応地域	
著者	
コメント	地上に存在している物質のなかから、身近な物質を準備させる。

ハンズオン素材活用と展開モデル開発 -タンザニア(4)-

理科学習指導案

1. 単元名 電気のほたる

2. 単元の目標

・電気のほたるを利用したクリップモーターを製作する活動を通して、電気のほたるの働きを深く理解させる。

3. 本時の目標

授業活動の展開と展開の場面	教師の支援・授業展開の留意点
1. クリップモーターの図を見て、電気を流すとどうしてモーターが回るのかを考える。	1. 電気のほたるの働きを深く理解させる。電気のほたるの働きを深く理解させる。
2. 電気のほたるの働きを深く理解させる。	2. 電気のほたるの働きを深く理解させる。
3. クリップモーターを製作する過程で、疑問を問いながら観察させる。	3. 疑問を問いながら観察させる。

電気のほたるの働きを深く理解させる

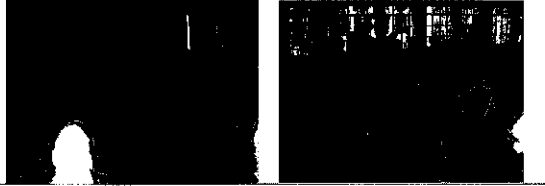


タイトル	クリップモーターの製作
教科	理科 (物理)
学年	小学校 (第2学期) - 高学年
単元	電気のほたる
時間	1時間
教材	クリップモーターの製作を通して、電気のほたるの働きを深く理解させる。
必要材料	エナメル線 (直径約 0.5mm程度)、ゼムクリップ、フレキシブル、クリップ付線、乾電池、乾電池ホルダー、磁石、工作用紙、セロハンテープ
教材の作り方	1. 2本のゼムクリップの一端を折し、斜めにつくる(図1)。 2. 磁石の両端にエナメル線を巻きつけてコイルとし、両端をゼムクリップの両端に固定する。磁石の一方はエナメル線を巻かない。もう一方は折った部分に固定する(図2)。 3. 乾電池ホルダーと乾電池ホルダーの両端の間に磁石を固定する(乾電池ホルダーの両端の間に磁石を固定する)。 4. コイルの両端にフレキシブルを接続する。手で少し回して回らせます。コイルを回らせます。
教材の使い方の流れ	ゼムクリップの両端と電線の両端の間に磁石を固定する。コイルに電気を流したときの働きについて調べるときに本実験を展開する。
指導する際のポイント	方法でコイルの一端のエナメル線を下半分だけ折らなければならない。
観察	(取り回しの注意)の対応(図1)。 1. 磁石の両端にエナメル線を巻きつけてコイルとし、両端をゼムクリップの両端に固定する。磁石の一方はエナメル線を巻かない。もう一方は折った部分に固定する(図2)。 (2) コイルの両端にフレキシブルを接続する。手で少し回して回らせます。コイルを回らせます。 (3) 乾電池ホルダーと乾電池ホルダーの両端の間に磁石を固定する(乾電池ホルダーの両端の間に磁石を固定する)。 (4) コイルの両端にフレキシブルを接続する。手で少し回して回らせます。コイルを回らせます。
観察・写真等	図1 図2 図3
出典(あれば)	様々なクリップモーターがあるが、乾電池ホルダーと磁石の間に磁石を固定する(図1)。
対応地域	
著者	
コメント	

ハンズオン素材活用と展開モデル開発 -バングラディッシュ(1)-

第1回授業実施(ガジブールPTI)

- 「天秤の法則探し」
- 対象: PTI訓練生70名 授業者: 隊員

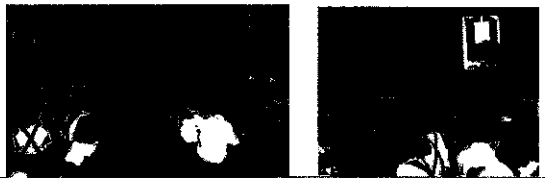


活動の展開(準備)	
<p>準備 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) 	<p>準備 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組)
<p>展開 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) 	<p>展開 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組)
<p>展開 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) 	<p>展開 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組) ○ 重さの異なるおもちゃを用意する(1組1組)

ハンズオン素材活用と展開モデル開発 -バングラディッシュ(2)-

第2回授業実施(テックンPTI実験校)

- なぜなぜ実験教室実験案「空気の不思議」
- 対象: 小学4年生45名 授業者: 隊員



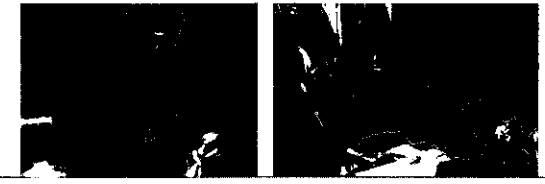
7. 実験案	展開の筋	展開の展開
<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する 	<p>展開 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する 	<p>展開 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する
<p>展開 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する 	<p>展開 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する 	<p>展開 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する

ハンズオン素材活用と展開モデル開発 -バングラディッシュ(3)-

第3回授業実施

(コックスバザール シャヒッティカモデル公立小学校)

- 「すてきなくれよん」
- 対象: 小学3年生72名
- 授業者: 現地教員, 隊員



7. 実験案	展開の筋	展開の展開
<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する 	<p>展開 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する 	<p>展開 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する
<p>展開 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する 	<p>展開 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する 	<p>展開 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する ○ 空気の不思議を体験する

渡航調査概要

- 途上国でのハンズオン素材活用による、さらなる改良と活動展開モデルの開発
- アフリカ地域:タンザニア(1月下旬)
 - 訪問地域:ダルエスサラーム、ムトワラ
 - 教材:「百玉そろばん」、「Box Puzzle」、「音の原理と性質」、「クリップモーター」など
- 東南アジア地域:バングラデシュ(2月中旬)
 - 訪問地域:カリアコル、カンブール、チッタゴン、コックスバザール
 - 教材:「天秤の法則探し」、「空気の不思議」、「すてきなくれよん」など



最終成果物に向けた進捗状況

- 本年度収集、評価、改良した素材は「ハンズオン素材集」としてとりまとめ発刊する
- 途上国への渡航調査を通して、ハンズオン素材に検討を加えるとともに、活動展開モデルの開発、改善につなぐ
- 本学教員教育国際協力センターのHPにハンズオン素材データベースを開設する
- 収集、整理したハンズオン素材及び活動展開モデルの「国際協カイニシアティブ」ライブラリへの登録を行うとともに、現職派遣隊員ML等を活用し、周知を図る

途上国で手に入る材料で子ども達を引き付ける授業ができる

ハンズオン素材集



平成20年3月

専門教育大学教員教育国際協力センター

専門教育大学 教員教育国際協力センター

- トップページ
- 活動紹介
- 活動報告
- イベント
- 国際協力について
- お問い合わせ



2007年11月10日(土)に国際交流フェスタ「Naruto in the World, The World in Naruto」を開催しました。

2008年1月14日(月)に平成19年度「国際協カイニシアティブ」教育協力拠点形成事業シンポジウム「現職教員派遣制度の意義と「現在と未来」を開催しました。シンポジウムライブ

専門教育大学 教員教育国際協力センター



国際協カイニシアティブ

ハンズオン素材データベース
活動協力地域を開設し「九ヶ国」

国際協カイニシアティブ:教育協力拠点形成事業
派遣隊員教員の活動を広げるハンズオン素材とその活動展開モデルの開発

派遣隊員教員は在任において、各教科等の指導はもとより、クラブ活動、同好会、レクリエーション、文化祭等々の多様な活動(以下「多様な活動」)に参加、或いはそれをコーディネートしている。そうした多様な活動の中で、子ども達や地域の人達が積極的に取り組んでいると報告されているものに、折り紙やパズル、数学的なゲーム、地域の材料を用いた簡単な科学実験などの素材(以下「ハンズオン素材」)による活動がある。本活動では派遣隊員教員、在任教員、現職教員等が活用されたハンズオン素材の共有を図るとともに、大学の特長と国際との連携によるその評価、及び改善・再開発をもちいとする。多くの派遣隊員教員は、派遣先国での環境において現地材料を用いて簡単に作成できるハンズオン素材のノウハウと実験事例を持っており、その一部は「国際協カイニシアティブ」ライブラリに登録されている。しかし、多様な活動に活かせるハンズオン素材や実験事例は質・量ともに必ずしも十分ではなく、その活用を支える活動展開モデルの開発にも努めている。そこで、協力拠点によるハンズオン素材の共有・活用をさらに進めると同時に、関心・意欲、学習力、創造性育成等の観点から素材に検討・評価を加えることで、子ども達が積極的に取り組む活動展開の構築を支えるハンズオン素材の再開発を図り、他の派遣隊員が活用する際の汎用性・信頼性を高めていく。

また同時に、現地で入手可能な材料の違いなどを踏まえたアレンジや活用方法についての情報交換を進め、青年海外協力隊(JOCV)事務局や青年海外協力協会(JOCA)との連携のもとハンズオン素材を活用した多様な活動の展開モデルを開発する。

掲載者

国際協カイニシアティブ

環境教育協力者に対する環境教育環境教育実践指導と
教育マテリアルの支援

村松 隆

(宮城教育大学環境教育実践研究センター)

海外教育協力者に対する環境教育実践指導と教育マテリアルの支援

宮城教育大学
教育協力拠点形成事業プロジェクト
代表 村松 隆

宮城教育大学教育協力拠点形成プロジェクト

村松 隆(代表) 宮城教育大学附属環境教育実践研究センター長・教授
 渡邊 孝男 宮城教育大学客員教授
 小金沢 孝昭 宮城教育大学社会教育講座・教授
 安江 正治 宮城教育大学附属環境教育実践研究センター・教授
 斎藤 千枝美 宮城教育大学附属環境教育実践研究センター・准教授
 黒野 智之 宮城教育大学附属環境教育実践研究センター・准教授
 岡 正明 宮城教育大学技術科教育講座・准教授
 平吹 善彦 東北学院大学教養学部地域環境学科・教授
 原子 栄一郎 東京学芸大学附属環境教育実践施設・准教授
 市川 智史 滋賀大学環境総合研究センター・准教授
 佐藤 真久 広島工業大学・講師

サポート内容 教育情報の提供と実践指導

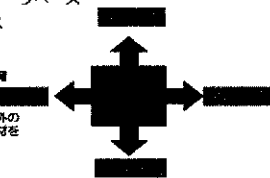
教育情報の整備と提供

- ①環境教育実践事例データベース
- ②青年海外協力隊活動データベース(隊員のみ利用可能)
- ③環境教育関連用語データベース
- ④教育計画支援素材集データベース
- ⑤理科実験データベース

環境教育分野

総合的な教育、教科横断的な教育

日本の教育現場を、環境教育以外の
教育活動にも役立つように、教材を
収集し、整理して提供する



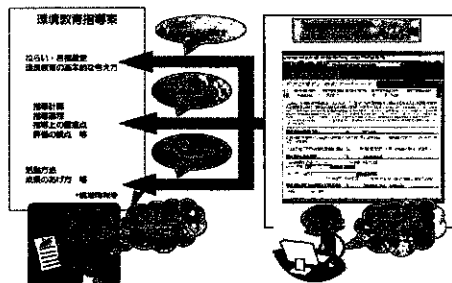
教材データベース

教材への教材・素材の提供
事例活用方法の指導・助言

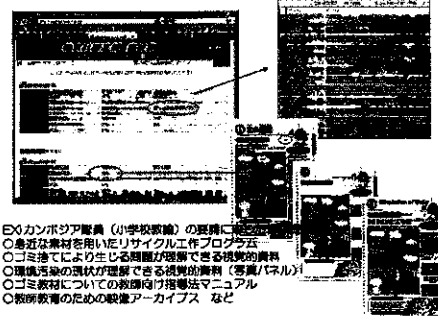


データベースの特徴

環境教育実践事例データベースを活用した指導案の作成例



多岐多様な素材を収録



- E×カンボジア駐員(小学校教諭)の長崎に
- 身近な素材を用いたリサイクル工作プログラム
- ゴミ捨てにより生じる問題が環境で起る視覚的資料
- 環境活動の現状が理解できる視覚的資料(写真/パネル)
- ゴミ教材についての教師向け指導法マニュアル
- 教師教育のための職業アーカイブス など



- ・パナソニックなどの各種材料から紙を作るプログラム
- ・ペットボトル、色紙の異など、身近な素材を使ったリサイクル工作プログラム
- ・折り紙の素材（詳細の写真）
- ・ゴミ捨てによって生じる問題が理解できる視覚的資料
- ・ゴミ問題等の教師用指導マニュアル
- ・公害病など、環境汚染の現状が理解できる視覚的資料（写真パネル）
- ・パネルをセットで事務所に貼ってあれば、巻いて使うことができる。など

CD・DVDの情報（本日提供）

教員の教育に役立つ教材・資料の提供
事例活用方法の指導・助言



日本の森林の環境教育情報

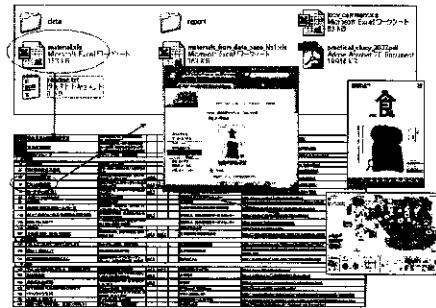
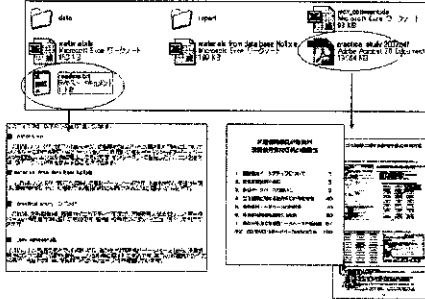


- 教育案件データ**
 - material.xls
 - materials_from_data_base_No1.xls
 - practical_study_2007.pdf
 - joy_comment.xls
 - データベースの使い方と教員向けの資料
 - このパワーポイントのpdf

育成海外協力関係機関

CD/DVDの内容

Windows対応



実施機関	実施年度	実施地区	実施内容
環境教育推進センター	2006	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2007	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2008	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2009	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2010	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2011	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2012	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2013	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2014	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2015	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業

生活・暮らし関係の学校教育「ゴミ問題」

実施機関	実施年度	実施地区	実施内容
環境教育推進センター	2006	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2007	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2008	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2009	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2010	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2011	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2012	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2013	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2014	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業
環境教育推進センター	2015	関東	環境教育推進センター主催の環境教育推進事業

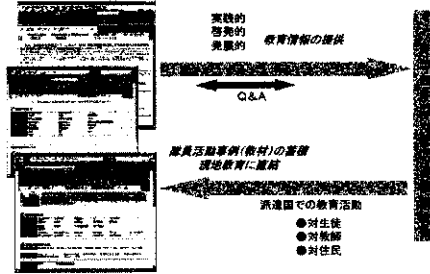
ファイルの中身

material.xls

jocv_comment.xls

practical_study_2007.pdf

隊員活動のための教材収集と提供



筑波大学附属小学校を拠点とした派遣現職教員支援

システムの構築

田中 統治

(筑波大学附属小学校長・事業代表者)

夏坂 哲志

(筑波大学附属小学校・報告者)

題材を決めるポイント

・授業で使うことのできる数や式の範囲、図形の種類を確かめる。

通訳が入る場合は、通常よりも時間が長くなることを念頭におく。

現地のカリキュラムを調べる。(教科書などを手がかりにする。)

・黒板に磁石がつかない。そのために、数字カードなどを貼ったり移動させたりすることが簡単にできない。授業前に予め粘着テープを短く切ったものを黒板の周りに貼って用意しておく対処。

・机が小さかったり、机の盤面が傾斜していたりすることもある。

・紙が貴重な物であったり、学校に印刷機がなかったりする。だから、プリント類(掲示用・児童用)は必要な分印刷をして持っていくとよい。

・教員が、児童用も教師用も、日本と同じようにそろっているわけではない。

・授業に「じゃんけん」を使ったゲームを取り入れようとしたが、「じゃんけん」があまり知られていなかったこともある。

子どもたちに日本からのお土産として千代紙を配り、それを授業の導入に使った。千代紙のような日本の物は、子どもにも喜ばれるし、それが授業の内容と結びつけば、導入もスムーズにできる。

よりよい授業にするために

・通訳者の意識が入らないように。特に、子どもの発した言葉はそのまま日本語に訳してもらう。

・褒め言葉もきちんと訳してもらう。

・数や形の名前、位置(前後左右上下など)を表す単語、子どもの動きを指示する言葉(「立ちなさい」「すわりなさい」「手を挙げてください」「ちょっと待って」など)は使える方がよい。また、褒め言葉(「素晴らしい」「いい考えだね」など)もいくつか覚えておくと、すぐに自分の言葉で褒めることができるとよい。

筑波大学附属小学校

筑波大学附属小学校

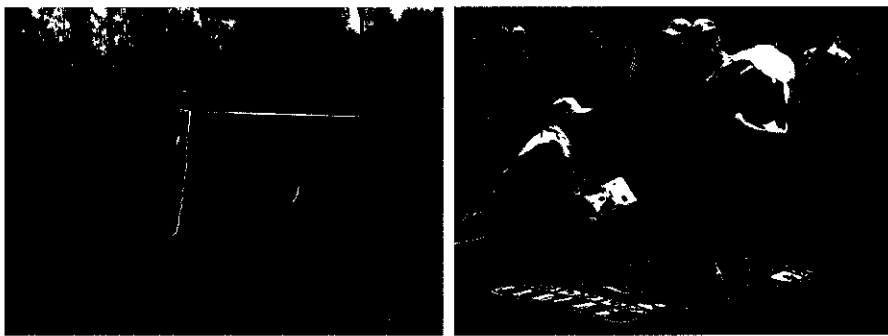


【資料の紹介】

国際教育協力 ハンドブック

～現職派遣教員のための実践事例集～

付録DVD付＜英語字幕入り授業映像(算数・音楽)/ハンドブックPDF版＞



筑波大学附属小学校 国際教育協力拠点形成プロジェクト

はじめに 筑波大学附属小学校の教育協力拠点形成事業の概要について

	筑波大学附属小学校校長	田中 統治
I 現地に赴く前に		
I-1 「帰国隊員の報告書から ー派遣中にどのような支援ニーズをもつかー」	筑波大学附属小学校校長	田中 統治
I-2 国際教育協力(算数協力)の経験から	筑波大学附属小学校教諭	山本 良和
II 現地での活動		
II-1 現地での実践を豊かなものとするために～授業づくりのヒント～		
国語 「日本の文化を題材とした授業づくり」	筑波大学附属小学校教諭	青山 由紀
社会 「日本ってどこにあるの?どんなところ」	筑波大学附属小学校教諭	鎌田 和宏
算数		
「板書とノートを効果的に使って考える楽しさを味わう授業を」	筑波大学附属小学校教諭	細水 保宏
「現地の子どものコミュニケーションを大切にする」	筑波大学附属小学校教諭	夏坂 哲志
「計算の性質を活用する計算の工夫」	筑波大学附属小学校教諭	盛山 隆雄
理科		
「現地の植物を使って、観察力を育てる授業を」	筑波大学附属小学校教諭	佐々木昭弘
図画工作		
「子どもの『三種の神器』で『造形遊び』を～水・棒・土～」	筑波大学附属小学校教諭	林 耕史
家庭		
「包んで楽しむ」	筑波大学附属小学校教諭	勝田 映子
体育		
「体育の授業をもっと楽しくーボールゲームづくりのヒントー」	筑波大学附属小学校教諭	木下光正
「体育の授業をどこでも楽しくー教材づくりのヒントー」	筑波大学附属小学校教諭	清水 由
道徳		
「日本の伝統文化を学ぶ おはし、ちゃんと使えないの?」	筑波大学附属小学校教諭	加藤 宣行
II-2 帰国後の教育実践活動のための具体的な準備	筑波大学附属小学校教諭	鎌田 和宏
III 教育協力体験を生かした国際理解教育の実践		
III-1 ネットワークをつくる～長野県教員等ネットワークの事例から～		
「帰国から長野県教員等ネットワークの立ち上げまで」	長野県須坂園芸高等学校教諭	北原 三代志
「長野研教員等ネットワークの設立とJICA 駒ヶ根の連携」	元独立行政法人国際協力機構駒ヶ根青年海外協力隊訓練所	西山 真由子
III-2 実践事例～帰国隊員等の国際理解教育実践の実際～		
「JICA 駒ヶ根と連携しての国際理解教育の実践～世界情報センター設置とその発展活動～」	長野県上水内郡中条村立中条小学校教諭	西澤 浩
「グローバルイシューから考える国際理解教育の実践」	長野県塩尻志学館高等学校教諭	駒村 英明
「帰国後の活動より～日本・カンボジアの交流授業の実践～」	長野県小諸市立美南ガ丘小学校教諭	中山 晴美
「協力隊経験を生かした国際理解教育の実践」	神奈川県相模原市立上溝小学校教諭	小澤 明子
「帰国隊員をゲストティーチャーに招いた国際理解教育の実践」	筑波大学附属小学校教諭	鎌田 和宏
【授業実践 DVD 解説】		
・付録 DVD について	筑波大学附属小学校教諭	鎌田 和宏
・DVD 収録授業解説		
・1年 音楽		
「音楽授業の実際」	筑波大学附属小学校教諭	熊木真見子
・4年 算数		
「帰納的な発見を楽しみながら計算に親しむ子どもを育てる授業2けたで割るわり算の学習を通して」	筑波大学附属小学校教諭	田中 博史

NGOと大学との連携による食農環境教育支援システムの
構築（フェーズ2）

藤本 彰三

（東京農業大学国際食料情報学部国際バイオビジネス学科・事業代表者）

三原 真智人

（東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科・報告者）

平成19年度教育協力拠点形成事業
「国際協力イニシアティブ」

NGOと大学との連携による食農環境教育
支援システムの構築（フェーズ2）

東京農業大学
国際協力センター

事業の背景 その1

- メコン河流域において、化学肥料や農薬の農地への投入量が年々増大傾向を示す中、土砂流出に加えて肥料成分の流出による富栄養化が懸念されている。
- そのため有機農業の推進を図り土地生産性の回復を図ると同時に、水環境の修復保全を進めることが急務となっている。



東南アジアで使用
されている化学肥料



無防備な農薬散布



作物残渣の火入れ



火入れ後の状況



富栄養化した池



富栄養化の進行した池

事業の背景 その2

- メコン河流域を中心として食農環境教育の必要性が認識されている。
- 小学校における総合演習等の時間を活用して持続的農業や水環境保全を軸とした食農環境教育を展開して、持続的な環境保全型農業の素地づくりを進めることが必要となっている。

小学校における食農環境教育の授業時間数 タイ国

School hours of the elementary school at Thailand Unit: hour

Subject	1	2	3	4	5	6
Art	0	1	1	1	1	1
Body Science	0	1	1	1	1	1
Computer	0	0	0	1	1	1
Education	0	0	0	1	1	1
English	0	0	0	1	1	1
Japanese	1	1	1	1	1	1
Mathematics	1	1	1	1	1	1
Music	1	1	1	1	1	1
Physical Education	1	1	1	1	1	1
Science	1	1	1	1	1	1
Social Studies	1	1	1	1	1	1
Thai	1	1	1	1	1	1
Total	10	10	10	10	10	10

Source: The results from learning survey on the program.

小学校における食農環境教育の授業時間数 カンボジア国

School hours of the elementary school at Cambodia Unit: hour

Subject	1	2	3	4	5	6
Art	0	0	0	0	1	1
Arabic						
Language	13	11	11	10	8	8
Mathematics	5	5	5	5	5	5
Physical Education	1	1	1	1	1	1
Science	1	2	2	2	2	2
Social Studies	5	6	6	7	6	6
Technical						
Music	5	5	5	5	5	5
Total	30	30	30	30	30	30

Source: The results from learning survey on the program.

事業の目的 その1

- NGOと大学とが連携しつつ、メコン河流域に位置するタイ国コンケン県およびカンボジア国プノンペン市の小学校を対象として、食農環境教育の支援システムの構築を図るものである。

- ①東京農業大学(TUA)
- ②特定非営利活動法人環境修復保全機構(ERECON)
- ③タイ国カセサート大学(KU)
- ④カンボジア王立農業大学(RUA)
- ⑤Asian Environmental and Rural Development(AERD)

事業の目的 その2

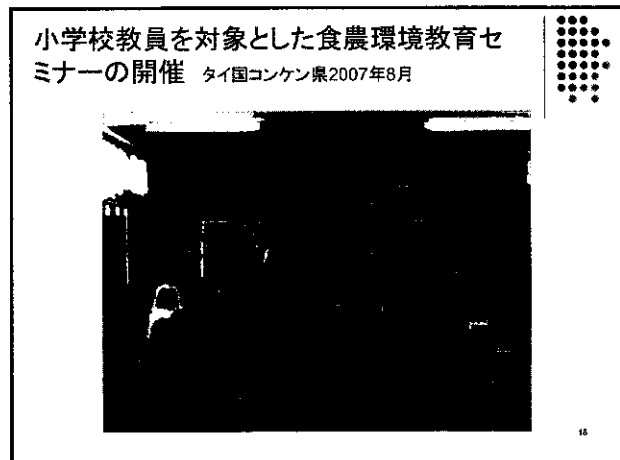
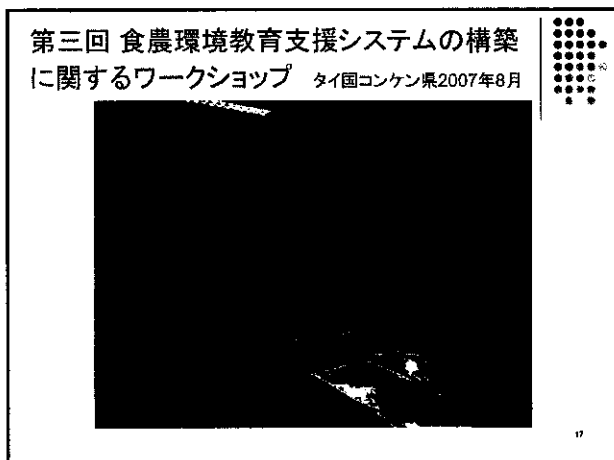
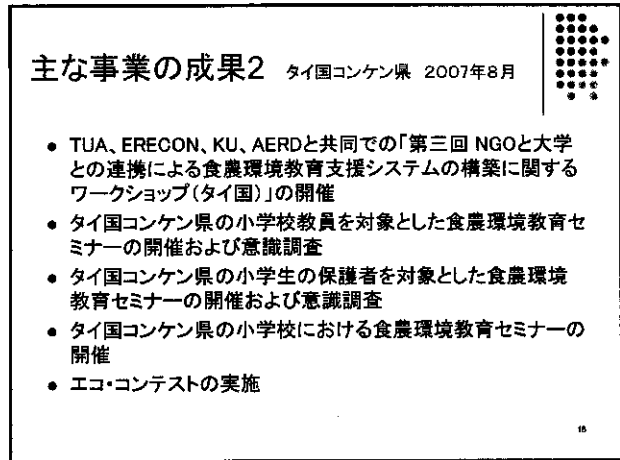
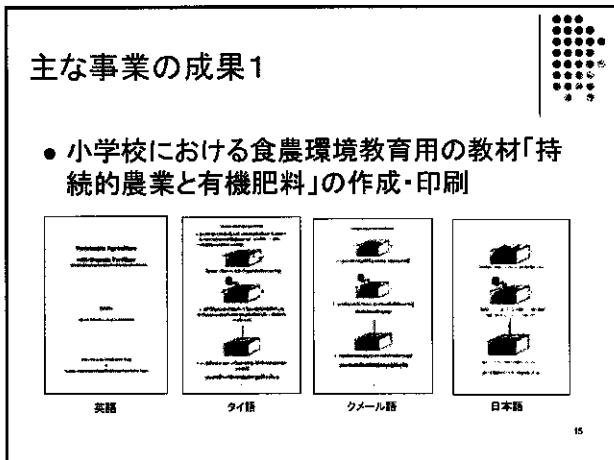
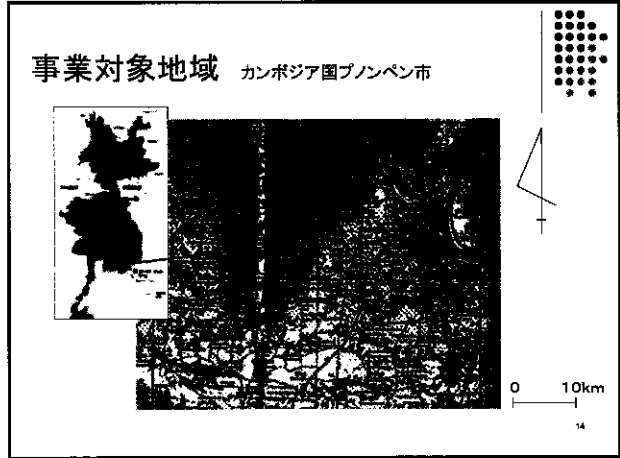
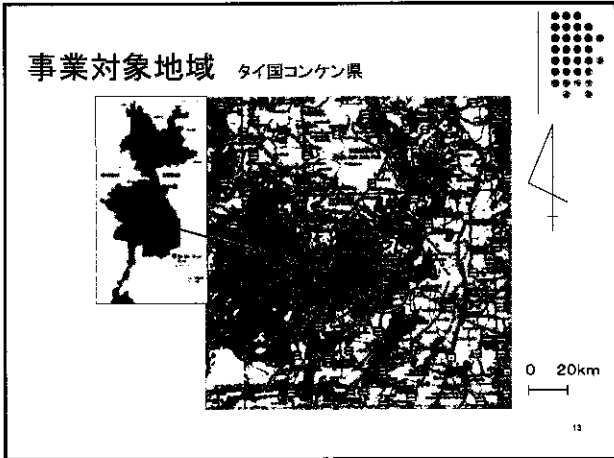
- 小学生を対象に有機農業を通じた食農環境教育を実施し、短期的な視点ではなく、長期的な視点からみた有機農業を通じた土づくりや水環境保全の重要性を理解し、環境に調和した持続的農業を實踐できる人材の育成をモデルとした教材開発や教育支援システムの構築を目的としている。

事業の内容 その1

- 小学校における食農環境教育用の教材「持続的農業と有機肥料」の作成印刷・配布
- TUA、ERECON、KU、RUA、AERDと共同での「NGOと大学との連携による食農環境教育支援システムの構築に関するワークショップ」の開催(タイ国およびカンボジア国、継続)

事業の内容 その2

- タイ国コンケン県、カンボジア国プノンペン市の小学校における食農環境教育セミナーの開催および総合演習等の時間を活用した食農環境教育の実施支援とその評価(特定小学校における有機農園の設置と運営支援ならびに生徒意識変化の追跡調査)
- NGOと大学との連携による食農環境教育支援システムの構築

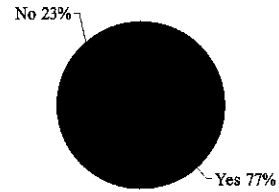


小学校教員を対象とした食農環境教育の
意識調査 タイ国コンケン県2007年8月



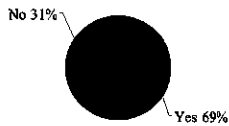
19

Q. Do you have any activity about 'Food, Agriculture and Environment Education' in your school? (Thailand) (Aug. 2007)



20

Q. Do you have any curriculum about 'Food, Agriculture and Environment Education' in your school? (Thailand) (Aug. 2007)



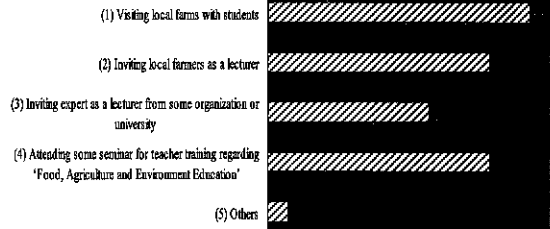
Q. Do you want to have program about 'Food, Agriculture and Environment Education' in your school? (Thailand) (Aug. 2007)

- 100% of answer for this Q is 'Yes'
- Staple answers are;
 - Learning organic farming
 - Making organic fertilizer
 - Making pellet compost
 - Learning effective microorganism
 - Learning fish cultivation
 - Learning planting tree
 - Going study tour



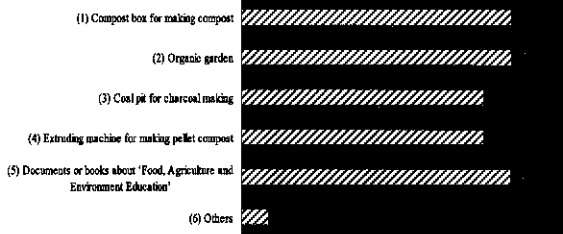
21

Q. How do you enhance the program about 'Food, Agriculture and Environment Education' in your school? (multiple answer) (Thailand) (Aug. 2007)



22

Q. What kind of supports do you want to get for the program? (multiple answer) (Thailand) (Aug. 2007)

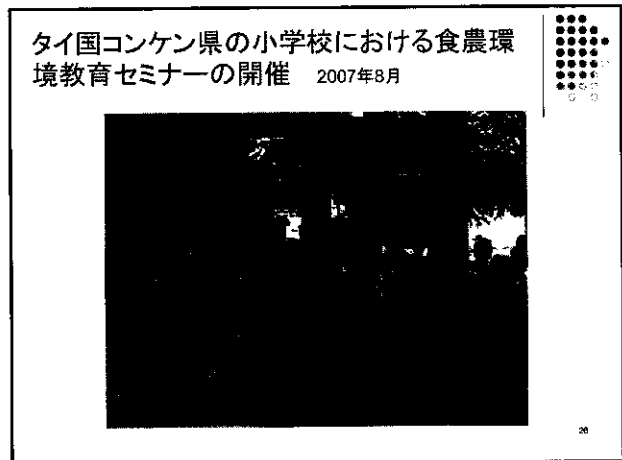
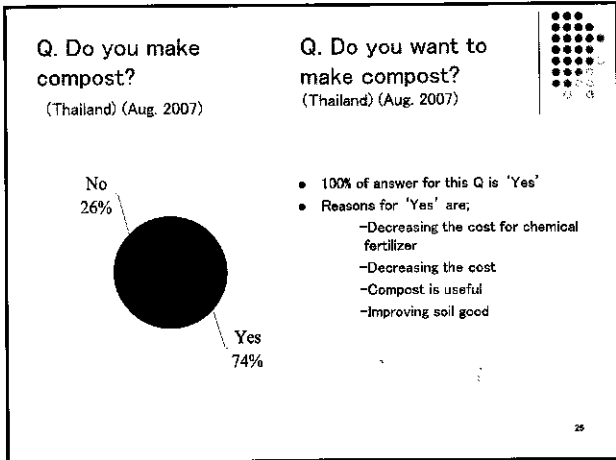


23

タイ国コンケン県の小学生の保護者を対象とした食農環境教育セミナーの開催および意識調査 2007年8月



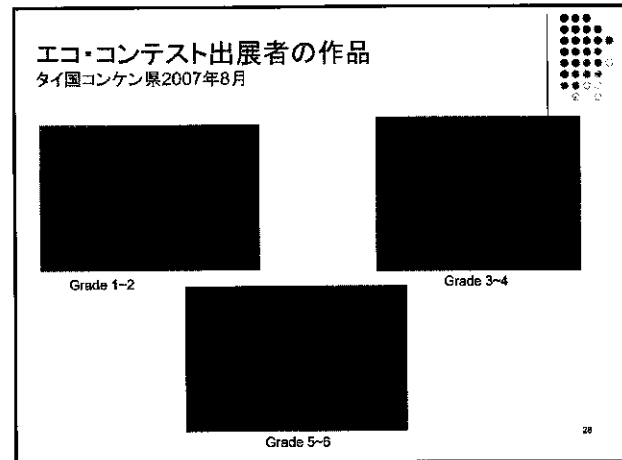
24



エコ・コンテストの実施
タイ国コンケン県2007年8月

- Introduction
The aim of this Eco-Contest is to illuminate the philosophy on food safety, sustainable agriculture and environment conservation at elementary schools in Khon Kaen, Thailand.
- Application
Any students are welcome to draw picture and submit it by the end of September 2007.
But the pictures should be related with sustainable agriculture including food safety or environment conservation.
- Selection of pictures
Some pictures selected and will be published in ERECON publication.

27



主な事業の成果3 タイ国コンケン県 2007年12月

- タイ国コンケン県の小学校教員を対象とした意見交換会および意識調査の実施
- タイ国コンケン県の小学校における食農環境教育の実施支援
- エコ・コンテストの表彰

29

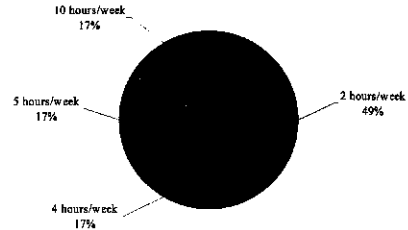


小学校教員を対象とした食農環境教育の意識調査 タイ国コンケン県2007年12月



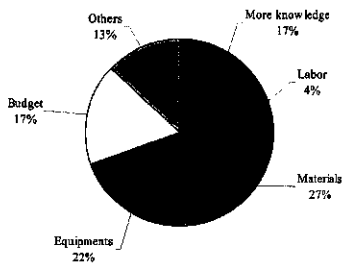
31

Q. How many hours are you taking for the activity on 'Food, Agriculture and Environment Education' per week in your school curriculum? (Thailand) (Dec. 2007)



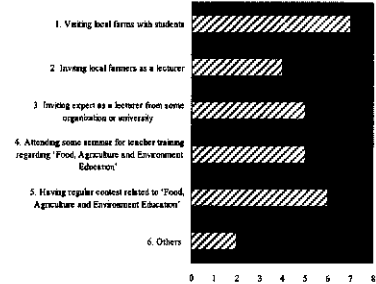
32

Q. What kind of support do you want to get more to continue organic garden in your school? (Thailand) (Dec. 2007)



33

Q. What kind of activity can enhance the program about Food, Agriculture and Environment Education in your school? (multiple answer) (Thailand) (Dec. 2007)



34

タイ国コンケン県の小学校における食農環境教育の実施支援 タイ国コンケン県2007年12月



35

タイ国コンケン県の小学校における食農環境教育の実施支援 タイ国コンケン県2007年12月



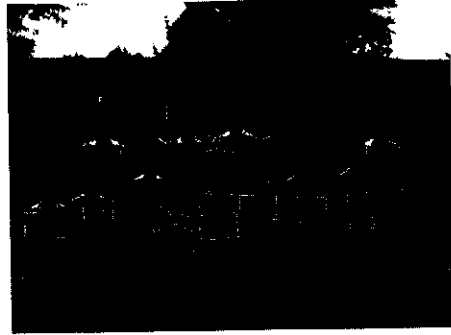
36

エコ・コンテストの表彰
タイ国コンケン県 2007年12月



37

エコ・コンテストの表彰
タイ国コンケン県 2007年12月



38

主な事業の成果4

カンボジア国プノンペン 2007年8月

- TUA、EREGON、RUA、AERDと共同での「第二回 NGOと大学との連携による食農環境教育支援システムの構築に関するワークショップ」の開催(カンボジア国、継続)
- カンボジア国プノンペン市の小学校における食農環境教育セミナーの開催および総合演習等の時間を活用した食農環境教育の実施支援とその評価

39

第二回 食農環境教育支援システムの構築
に関するワークショップ

カンボジア国プノンペン 2007年8月



40

小学校における食農環境教育セミナーの開催
および総合演習等の時間を活用した食農
環境教育の実施支援とその評価

カンボジア国プノンペン市(ダンコール小学校)2007年8月



41

小学校における食農環境教育セミナーの開催
および総合演習等の時間を活用した食農
環境教育の実施支援とその評価

カンボジア国プノンペン市(ダンコール小学校)2007年8月



42

小学校における食農環境教育セミナーの開催および総合演習等の時間を活用した食農環境教育の実施支援とその評価

カンボジア国プノンペン市(プレイサール小学校)2007年8月



43

小学校における食農環境教育セミナーの開催および総合演習等の時間を活用した食農環境教育の実施支援とその評価

カンボジア国プノンペン市(プレイサール小学校)2007年8月



44

小学校における食農環境教育セミナーの開催および総合演習等の時間を活用した食農環境教育の実施支援とその評価

カンボジア国プノンペン市(プレイベン小学校)2007年8月



45

小学校における食農環境教育セミナーの開催および総合演習等の時間を活用した食農環境教育の実施支援とその評価

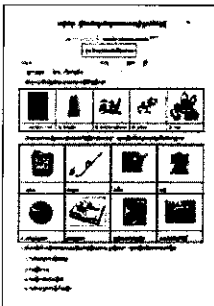
カンボジア国プノンペン市(プレイベン小学校)2007年8月



46

小学校における食農環境教育セミナーの開催および総合演習等の時間を活用した食農環境教育の実施支援とその評価

(セミナー前・セミナー後に行ったアンケート調査)
カンボジア国プノンペン市 2007年8月



Question	Yes	No	Other
1. I am interested in environmental education.			
2. I want to learn more about environmental education.			
3. I will try to do something to protect the environment.			
4. I will try to tell others about environmental education.			
5. I will try to do something to reduce waste.			
6. I will try to do something to save water.			
7. I will try to do something to save electricity.			
8. I will try to do something to protect trees.			
9. I will try to do something to protect animals.			
10. I will try to do something to protect plants.			

47

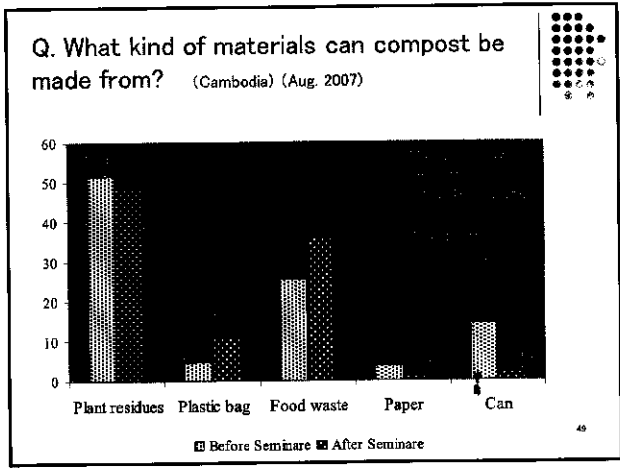
Q What kind of materials can compost be made from? (Cambodia) (Aug. 2007)

1) What kind of materials can compost be made from?



① plant residue ② plastic bag ③ food waste ④ paper ⑤ can

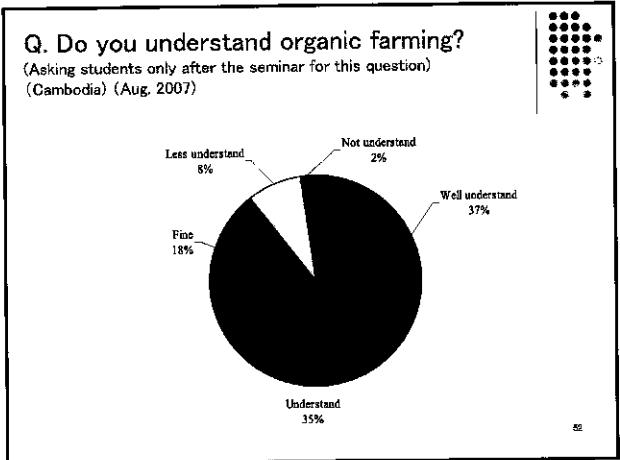
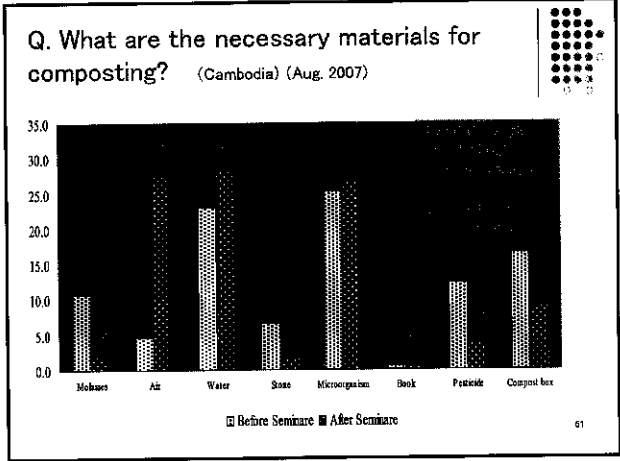
48



Q. What are the necessary materials for composting? (Selecting 3 answers) (Cambodia) (Aug. 2007)

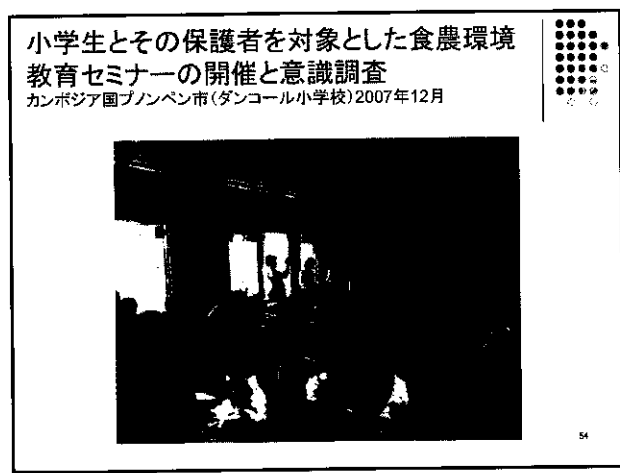
2. What are the necessary materials for composting?
(please select 3 materials from the followings)

① insecticide	② air	③ water	④ stone
⑤ microorganism	⑥ book	⑦ pesticide	⑧ compost bin

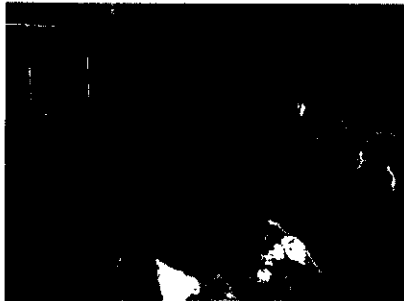


主な事業の成果5
カンボジア国プノンペン 2007年12月

- カンボジア国プノンペン市の小学生とその保護者を対象とした食農環境教育セミナーの開催と意識調査
- カンボジア国プノンペン市の小学校における総合演習等の時間を活用した食農環境教育の実施支援
- カンボジア教育省との連携構築



小学生とその保護者を対象とした食農環境
教育セミナーの開催と意識調査
カンボジア国プノンペン市(プレイサール小学校)2007年8月



55

小学生とその保護者を対象とした食農環境
教育セミナーの開催と意識調査
カンボジア国プノンペン市(プレイベン小学校)2007年12月



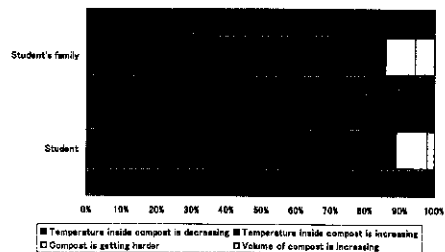
56

小学生とその保護者を対象とした食農環境
教育の意識調査
カンボジア国プノンペン市 2007年12月



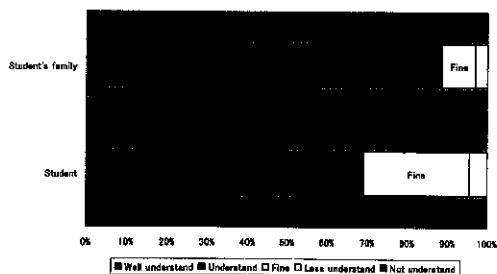
57

Q. What does it occur during
fermentation of compost?
(Cambodia) (Dec. 2007)



58

Q. How much do you understand about
organic farming?
(Cambodia) (Dec. 2007)



59

小学校における総合演習等の時間を活用し
た食農環境教育の実施支援
カンボジア国プノンペン市(ダンコール小学校)2007年12月



60

小学校における総合演習等の時間を活用した食農環境教育の実施支援
カンボジア国プノンペン市(ダンコール小学校)2007年12月



61

小学校における総合演習等の時間を活用した食農環境教育の実施支援
カンボジア国プノンペン市(プレイサール小学校)2007年8月



62

小学校における総合演習等の時間を活用した食農環境教育の実施支援
カンボジア国プノンペン市(プレイサール小学校)2007年8月



63

小学校における総合演習等の時間を活用した食農環境教育の実施支援
カンボジア国プノンペン市(プレイベン小学校)2007年12月



64

小学校における総合演習等の時間を活用した食農環境教育の実施支援
カンボジア国プノンペン市(プレイベン小学校)2007年12月



65

カンボジア国における教育行政機関との食農環境教育支援制度確立にむけた協議
カンボジア国プノンペン市
Ministry of Education, Youth and Sport Cambodia 2007年12月



66

主な事業の成果5

日本国 / タイ国 2006年度 カンボジア国 2007年度

● 大学教員を対象とした社会貢献に関する調査

東京農業大学教員(103回答/105配付)
 タイ国カセサート大学教員(31回答/100配付)
 カンボジア国王立農業大学教員(100回答/100配付)

● NGO団体を対象とした大学との連携実績に関する調査

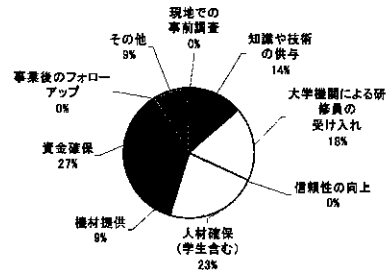
日本のNGO団体(15回答/40配付)
 タイ国NGO団体(13回答/25配付)
 カンボジア国NGO団体(9回答/50配付)



67

Q NGOと大学との連携において大学の役割は何ですか

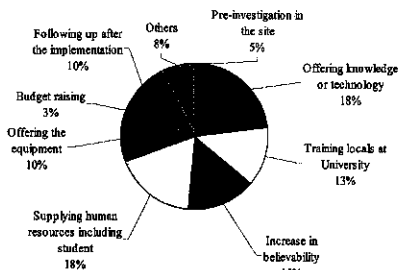
日本国2006年



68

Q. What is the role of University in the collaboration between NGO and University?

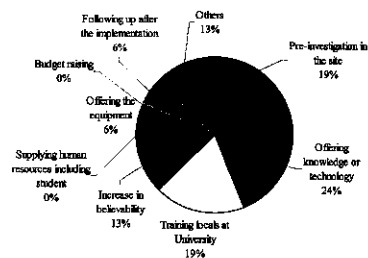
タイ国2006年



69

Q. What is the role of University in the collaboration between NGO and University?

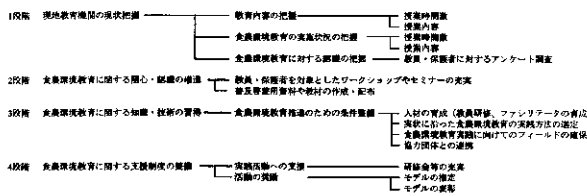
カンボジア国 2007年



70

主な事業の成果6

〈食農環境教育の支援システム〉



71

今後の展望

- 食農環境教育に関する教員研修やファシリテーター研修会の実施(現地教育行政機関と連携)
- 食農環境教育モデルの指定(現地教育行政機関と連携)
- 東京農業大学、環境修復保全機構、タイ国カセサート大学、Asian Environmental and Rural Developmentと共同での「NGOと大学との連携による食農環境教育支援システムの構築に関するワークショップ(タイ国)」の開催
- 東京農業大学、環境修復保全機構、カンボジア国王立農業大学、Asian Environmental and Rural Developmentと共同での「NGOと大学との連携による食農環境教育支援システムの構築に関するワークショップ(カンボジア国)」の開催
- タイ国コンケン県、カンボジア国プノンペン市の小学校における食農環境教育セミナーの開催とその評価



72

青年海外協力隊「現職教員特別研修」－保健教育－

大澤 清二

(大妻女子大学人間生活科学研究所行動疫学研究室)

青年海外協力隊
「現職教員特別研修」
—保健教育—
大妻女子大学
大澤 清二

事業の目標と方向

1. 「学校保健のノウハウの移転と自立的、持続的な開発モデルの構築」
2. 構造化したメニューの開発。
3. 目に見えた形の知識、技術の移転、臨地実習による定着。
4. 相手のニーズに応じた技術の移転とモデルの開発。
5. 効果の創出による動機付け。速効性のあるメニューから運動性のメニューへ、そして持続的な開発へ。
6. 必要不可欠な検査器具の供与と現地調達。
7. 学校から学校へ、そして地域へ。
8. データに基づいた改善運動の展開、HQC。

主な成果物

大澤清二編『学校保健改善実践マニュアル』
(2007年12月、Asia Academic Press Inc.)

※これまでにタイ語、ミャンマー語版を発行。現在、ネパール語版を製作中。

6つのプログラムから構成

- A. 学校保健改善チームの運営プログラム
- B. 保健室を設置して運営するプログラム
- C. HQCと生活習慣の改善指導プログラム
- D. 学校保健環境の改善
- E. 学校安全プログラムの作成、実施
- F. 動植物育成プログラム

A. 学校保健改善チームの運営プログラム

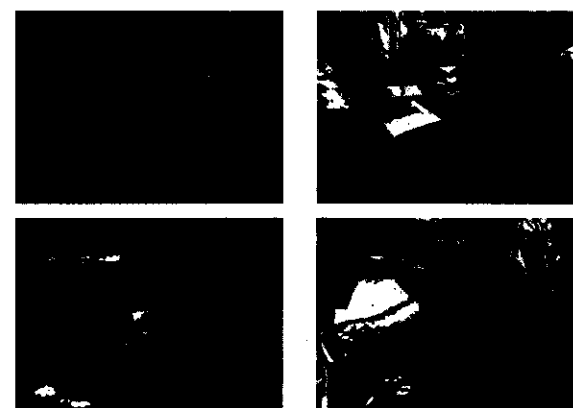
校長、教員、児童生徒、保健所職員、村人の参加。
薬や備品をそろえて、担当者を決める。



日本の学校保健法では沢山の備品をそろえるように指定していますが、開発途上国では保健室すらないことが多い。そのために、まず保健コーナーでもいいからつくり、最低限の備品を揃える。

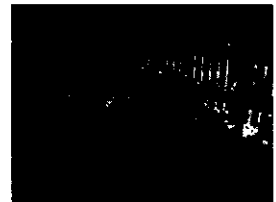
B. 保健室を設置して運営するプログラム

子ども一人一人の発育、栄養状態、健康状態を観察、評価をすることから始めます。
このプログラムは、例えば、発育標準値（体格）、学校保健の統計、耳と眼の健康診断、机、椅子、黒板、トイレなどの設計、最適化、栄養指導に用います。



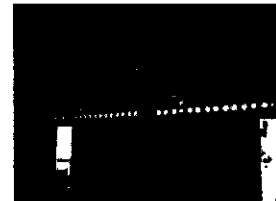
C. HQCと生活習慣の改善指導プログラム

清潔、歯磨き、早寝早起き、規則正しい食事、運動、身の回りの片付け、水浴び、トイレの使い方、衣服についてなどを指導をする。



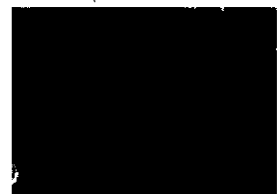
D. 学校保健環境の改善 by HQC法

飲み水、トイレ、教室内の明るさ、黒板のいろ、風通し、教室内の温度…などのチェックと改善の工夫をします。

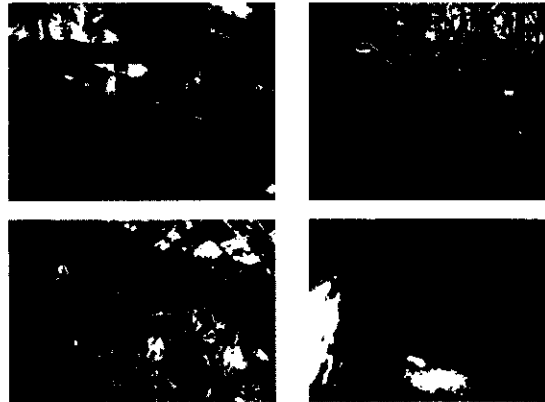


E. 学校安全プログラムの作成と実施 by HQC法

学校内の危険な場所や物の発見、地図の作成、先生と生徒による危険箇所の発見と改善のための提案、改善活動計画と実施、評価をします。



F. 動植物育成プログラム by HGC 法
 校長以下全教員、全児童生徒、農業教育の先生、村の人々とともにさまざまな動植物を育成します。鶏、魚、豆、野菜などを育成し、収穫し、給食に用いることも出来ます。



WSにおける測定実習と問題対応モデル

測定と実習	問題に対する対応方法の例				
B 視力(近見、遠見)	眼鏡検査	座席の最適化	視環境の改善	読書やTVの視聴習慣の改善	視力回復訓練
B 聴力	座席の最適化	補聴器装着	聴環境の改善		
B 身長、座高	机、椅子の最適化	トイレ、黒板の位置の改善	建物の設計	発育評価と指導	
B 皮下脂肪厚 体重、周径	食事の指導	運動の指導	F 動植物育成計画の実施		
D 水質	コップ、タンクなどの清潔、清掃	水車者への指導	消毒して飲用	可能な浄水法の選択	井戸の増設、改修
D 騒音、塵埃	教室環境の改善	生活習慣の改善			
D 照度	カーテンによる調整	立ち木伐採、タシクの除去	窓の改修	電灯、黒板、机の最適化	天井、壁の塗装
C HGC手法	*改善運動への行動化	*生活習慣の改善、	*D 安全活動への応用	*A 組織活動としての実践	*F 活動への応用

6つの学校保健プログラムの期待効果の出現時期

	1~3日	1週	1月	3月	6月	1年以上
A 組織づくり			■	■	■	■
B 保健室と活動			■	■	■	■
C 生活習慣改善		■	■	■	■	■
D 学校環境衛生		■	■	■	■	■
E 学校安全	■	■	■	■	■	■
F 動植物育成			■	■	■	■

ICT 研修

JICA-net の活用

深江 靖子

(JICA 社会開発部 JICA-Net 課)

jica

JICA-Net説明会

2008年4月
社会開発部 JICA-Netチーム

jica

本日の内容

- JICA-Netについて
 - ①マルチメディア教材
 - ②遠隔技術協力
 - ③ライブラリ
- JICA-Netの活用方法と注意点
ボランティア活動におけるJICA-Netの活用例

jica

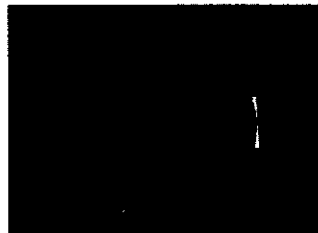
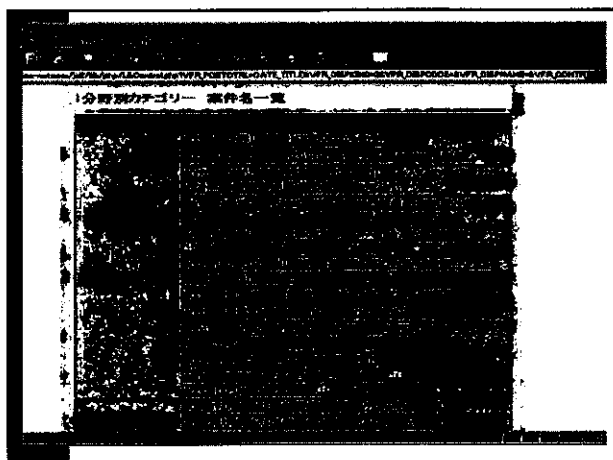
1. JICA-Netについて

jica

JICA-Net事業①

マルチメディア教材

デジタル教材の作成・配布
(CD, DVD / 日本語・英語・西語・仏語、その他)

jica

語学事前学習資料音声データ
(ベンガル語、インドネシア語、マレー語、
ポルトガル語、ベトナム語、フランス語、ロシア語、
キルギス語、ウズベク語、ベンガル語、シンハラ語、
ネパール語、ウルドゥー語、クメール語、タイ語、
モンゴル語、アラビア語、エジプト方言、アラビア語、
スワヒリ語、フランス語)

言語別技術用語集 (理数系教育用語、IT英語、シンハラ語)

伝えよう、あなたの想いを ~開発教育のススメ~

緒方理事長記者会見「JICA改革プラン発表」

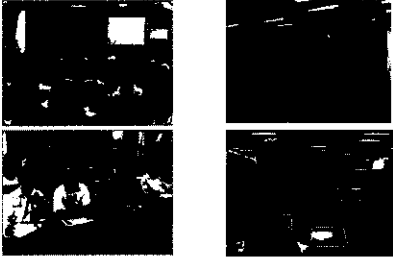
ナマステ体操

単体で～10年間に作成した教材は各在外事務所を巡回して、必ず
また、Webサイト上からダウンロード、複製を禁じます。

JICA-Net事業②

遠隔技術協力

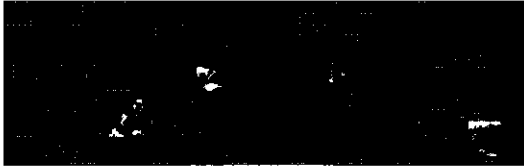
テレビ会議装置とネットワークを利用した
「テレビ会議」や「遠隔講義・セミナー」の実施
日本や他地域と現地を映像・音声で結ぶことができます



JICA

接続の形態

- ・ 日本 — 在外 / 在外 — 在外
- ・ 1対1 / 多地点接続



JICA

拠点分布

アジア1地域	北・中南米地域	アフリカ地域	欧州地域
<ul style="list-style-type: none"> インドネシア事務所* カンボジア事務所* タイ事務所 フィリピン事務所* ベトナム事務所 マレーシア事務所* ラオス事務所 	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国事務所 アルゼンチン事務所 エルサルバドル事務所 グアテマラ事務所 コスタリカ事務所 コロンビア事務所 チリ事務所 ドミニカ共和国事務所 エクアドル事務所 パナマ事務所 パラグアイ事務所 ブラジル事務所* ペルー事務所 ボリビア事務所 ホンジュラス事務所 メキシコ事務所 	<ul style="list-style-type: none"> ウガンダ事務所 エチオピア事務所 ガーナ事務所 ケニア事務所 ザンビア事務所 セネガル事務所 タンザニア事務所 ナイジェリア事務所 ニジェール事務所 ブルキナファソ事務所 マダガスカル事務所 マリウイ事務所 南アフリカ事務所 モザンビーク事務所 	<ul style="list-style-type: none"> バルカン事務所 フランス事務所 日本国内 JICA本部(新宿)* 国際協力総合研修所* JICA地球ひろば* JICA札幌 JICA帯広 JICA筑波 JICA東京 JICA横浜 JICA中野(名古屋) JICA大阪 JICA兵庫(神戸) JICA中国(東広島) JICA九州(北九州) JICA沖縄(浦添) JICA二本松 JICA柳川 JICA東北(仙台) JICA北陸(金沢) JICA四国(高松)
アジア2地域		中東地域	
<ul style="list-style-type: none"> インド事務所 ウズベキスタン事務所 キルギス事務所 スリランカ事務所 ネパール事務所 パキスタン事務所 バングラデシュ事務所 モンゴル事務所 中華人民共和国事務所 		<ul style="list-style-type: none"> アフガニスタン事務所 イラン事務所 エジプト事務所 シリア事務所 チュニジア事務所 トルコ事務所 トルスチナ事務所* モロッコ事務所 ヨルダン事務所 	
太平洋地域			
<ul style="list-style-type: none"> フィジー事務所 ババニューギニア事務所 			

*は複数拠点あり

JICA

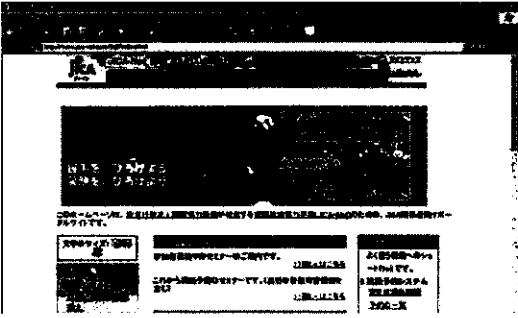
遠隔技術協力の接続範囲

利用方法	拠点	回線種類
① JICA-Net拠点	JICA本部 在外事務所 国内機関	専用線or ISDN回線 インターネット
② 途上国の現場	フィールドオフィス、 プロジェクトサイト他	ISDN回線 インターネット 衛星
③ 他機関	世銀GDLN 文科省SCS 民間レンタル施設	ISDN回線or 衛星 インターネット
④ 日本国内	小・中学校、他 (機材貸出可能)	ISDN回線 インターネット

JICA-Net事業③

JICA-Netライブラリ

<http://www.jica-net.com/>



JICA-Netコンテンツ

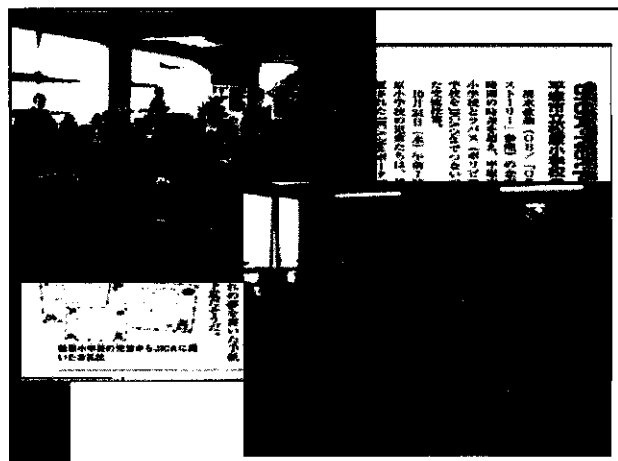
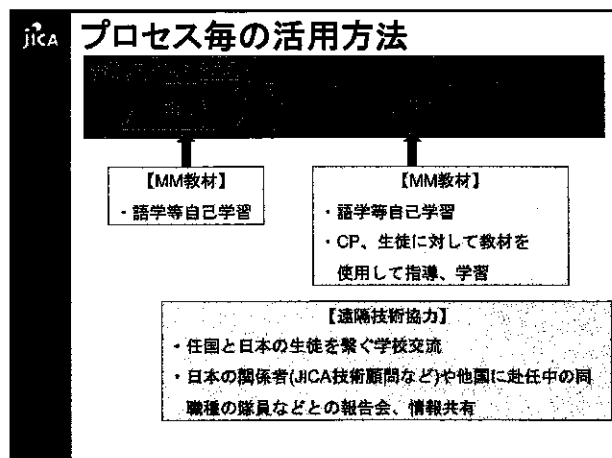
(遠隔講義セミナー・マルチメディア教材)

1. 教育	57件	13. 自然環境保全	49件
2. 保健医療	30件	14. 水産	2件
3. 水資源	20件	15. ジェンダー主流化	12件
4. ガバナンス	47件	16. 都市開発・地域開発	56件
5. 平和構築	2件	17. 貧困削減	7件
6. 社会保障	14件	18. 環境管理	40件
7. 運輸交通	18件	19. 援助アプローチ/戦略	25件
8. 情報通信技術	78件	20. 評価	7件
9. エネルギー・鉱業	38件	21. 南南協力	4件
10. 経済政策	46件	22. 市民参加	19件
11. 民間セクター開発	148件	23. 日本語教育	7件
12. 農業開発/農村開発	27件	24. その他	101件

(2007年12月現在)
注意：重複コンテンツあり

jica

2. JICA-Netの活用方法と注意点



jica

利用上の注意点①

ライブラリのコンテンツ

JICA-Netライブラリには著作権・肖像権等の関係で、JICA内部でのみ利用が可能なものがあります。利用の際には配布等に問題がないか確認願います。

- ・一般向けライブラリのもは自由にご利用いただけます
- ・著作権等の範囲は教材により違います。

複製の依頼を出す際にどのような目的に使用するのか明確に記入して下さい。こちらで可否を判断します。

ご利用の際に不明な点がございましたら、JICA-Netホームページにて、もしくはJICA-Netチームに連絡して確認を取った上でご利用下さい。

jica

利用上の注意点②

テレビ会議の利用申請

1. テレビ会議装置は各在外事務所に設置されています。利用の際には事務所の許可を取った上で予約・利用してください。

2. 学校交流などで、任国と日本や他国をテレビ会議で繋ぐ場合、以下の条件をクリアする必要があります。実現可能性を十分に検討した上で実施を決めて下さい。

- ・任国の事務所の了承・協力が不可欠
- ・接続先の日本や他国に協力者がいること
- ・実施準備に時間がかかる(2,3ヶ月目安)
- ・費用はどかが負担するか

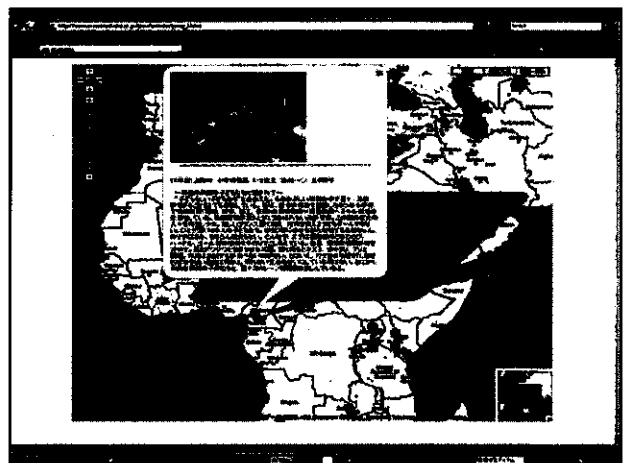
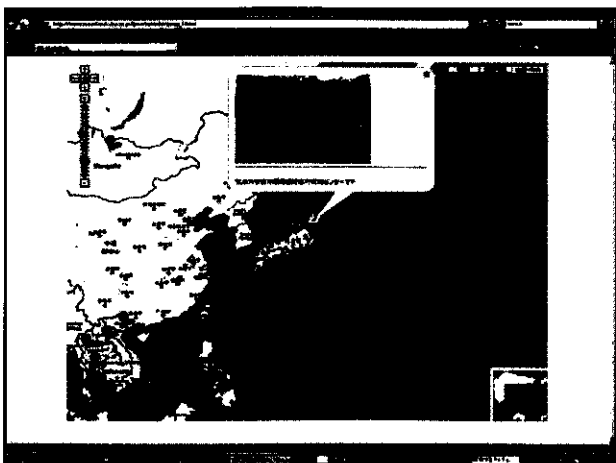
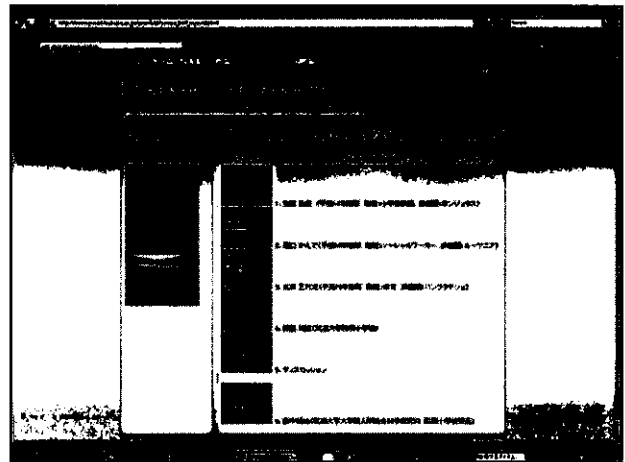
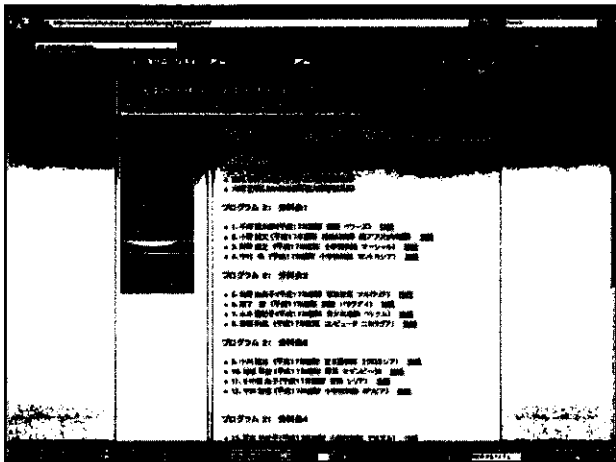
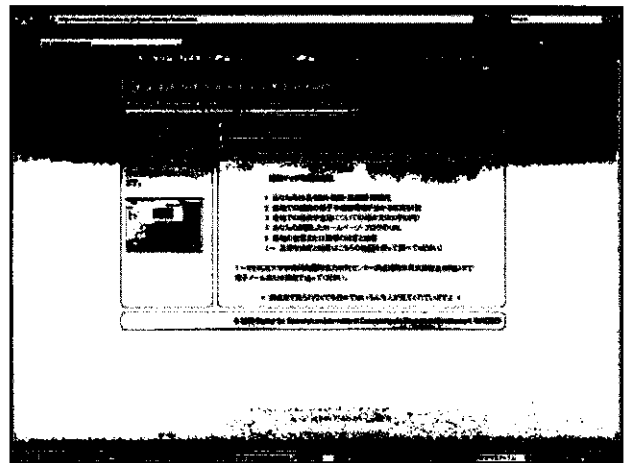
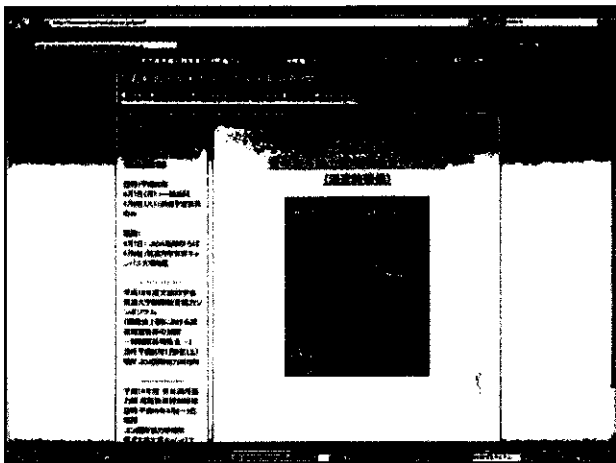
jica

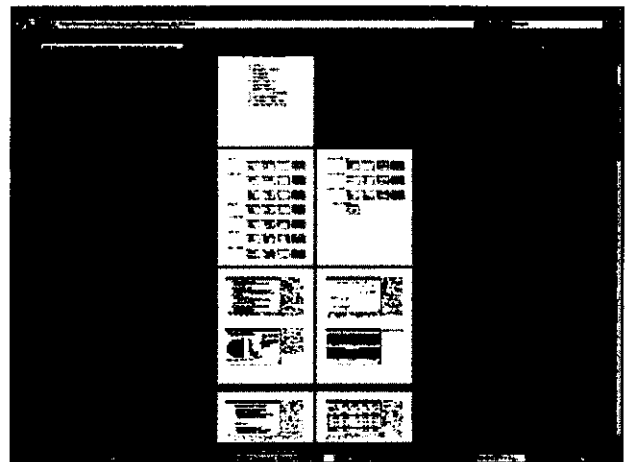
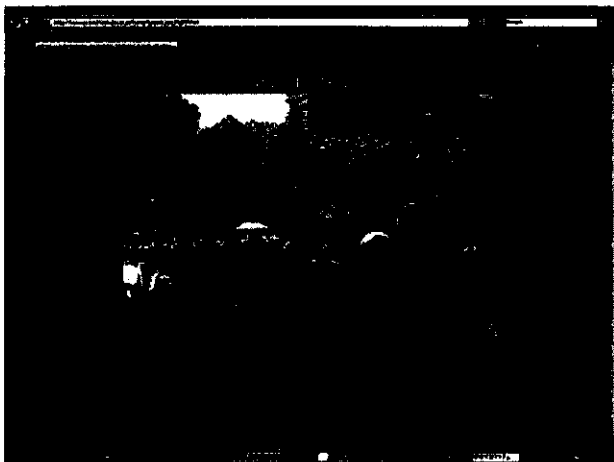
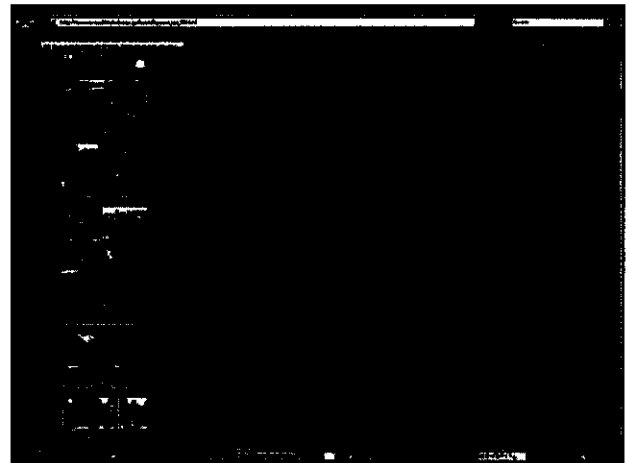
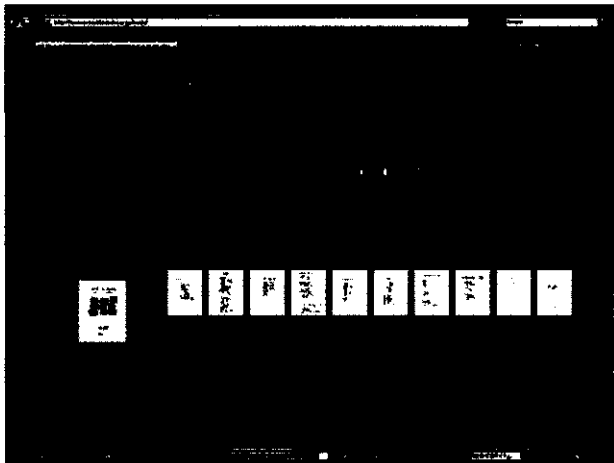
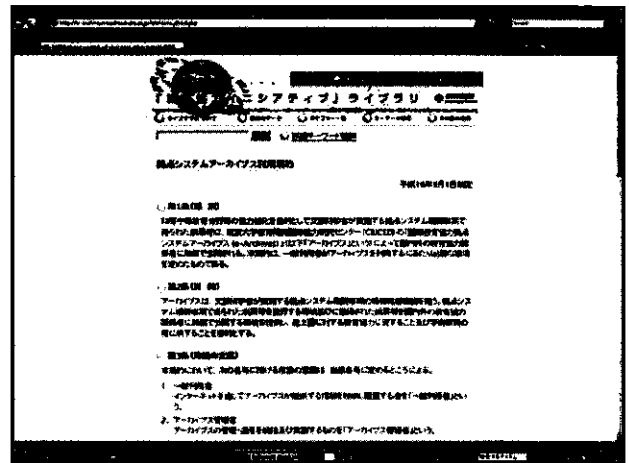
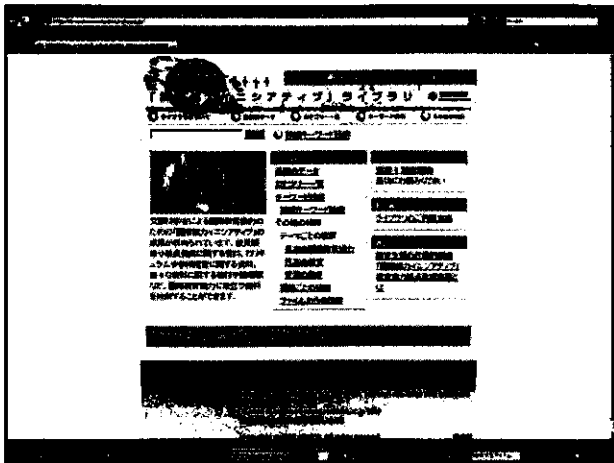
ありがとうございました

派遣現職教員支援ホームページの説明

鎌田 亮一

(筑波大学教育開発国際協力研究センター)





ICT 研修

矢原 弘樹 (筑波大学教育開発国際協力研究センター)

シュラーニ・ペーテル (筑波大学教育開発国際協力研究センター)

鎌田 亮一 (筑波大学教育開発国際協力研究センター)

林 大樹 (筑波大学教育開発国際協力研究センター)

服部 海斗 (筑波大学システム情報工学研究科)

内藤 慧 (筑波大学第三学類工学システム学類)

ICT 研修 資料

平成 20 年度 青年海外協力隊 現職教員特別研修 2 日目（4 月 8 日）

於：筑波大学大塚キャンパス G501, E157, E158

筑波大学教育開発国際協力研究センター（CRICED）

派遣現職教員支援課題

使用機材・ソフト一覧

ウェブカメラ・ヘッドセット： いろいろな商品が市販されています。

研修で使用したものは以下の商品です。

社名: Logicool, 品番: QV-6 1 HSSV, 商品名: Qcam Instant Messenger with Headset

Skype (スカイプ) : フリーウェアソフト

<http://www.skype.com/intl/ja/welcomeback/>

Windows ムービーメーカー: Windows マシンにはたいてい付いています。

ブログ作成: いろいろなブログ開設サイトがあります。

Google blogger <http://www.blogger.com/>

Excite ブログ <http://www.exblog.jp/>

livedoor ブログ <http://blog.livedoor.com/>

Yahoo! ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/>

MSN Spaces <http://spaces.msn.com/>

ココログフリー <http://www.nifty.com/pleasy/cocolog/index.htm>

.....

参考

MSN メッセンジャー: フリーウェアソフト

<http://messenger.msn.co.jp/Xp/Default.aspx>

Yahoo メッセンジャー: フリーウェアソフト

<http://messenger.yahoo.co.jp/>

eメールアカウントを作ろう！！

eメールを使うとインターネットを通して文章を交換できます。

多くのポータルサイト(Yahoo! Japan, MSN Japan, Livedoor, etc.)ではフリーメールのアカウントを無料で作成できます

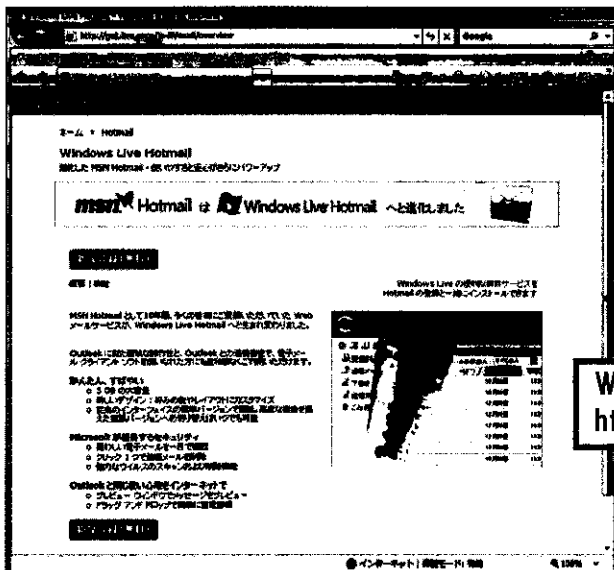
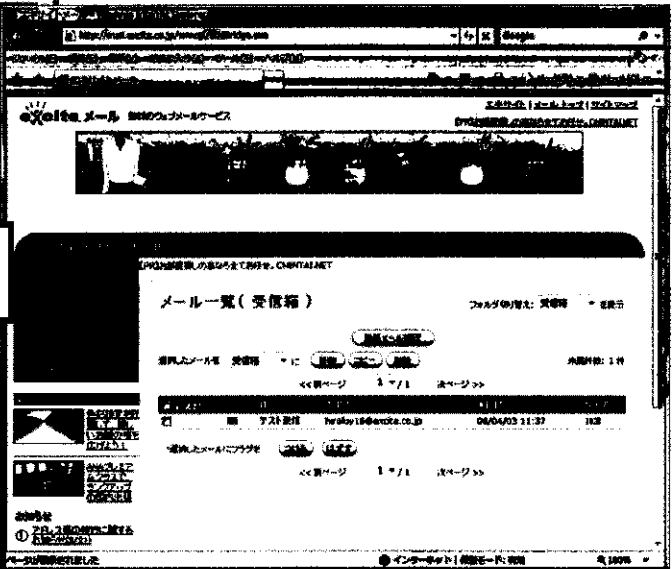
フリーメールはインターネット上に存在するメールサーバ上に受信メールを保存します

Yahoo!メール
<http://jp.f40.mail.yahoo.co.jp/>



eメール作成に必要なもの:
 インターネット接続

Excite メール
<http://www.excite.co.jp/mail/>

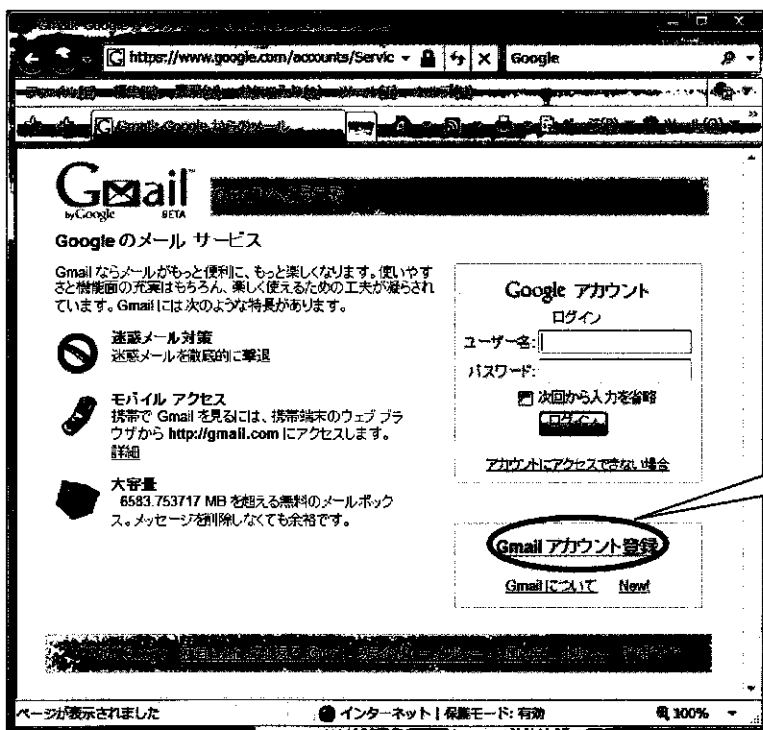
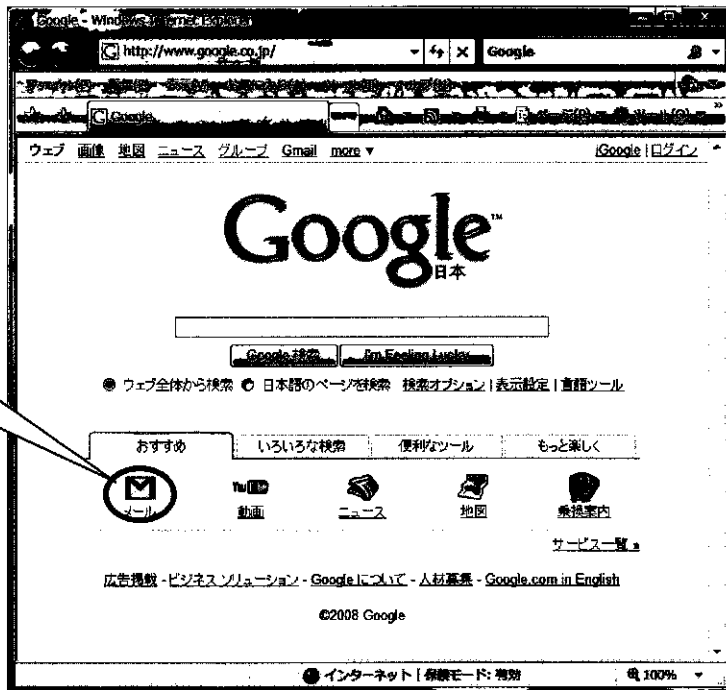


Windows Live Hotmail
<http://get.live.com/>

ポータルサイトにアクセス (Gmailの場合)

http://www.google.co.jp/

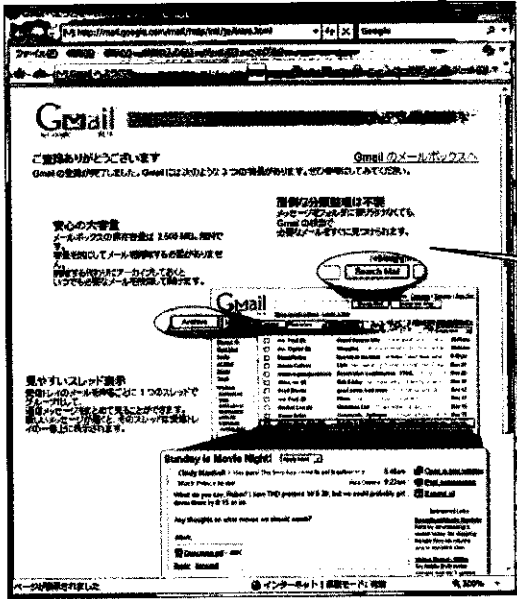
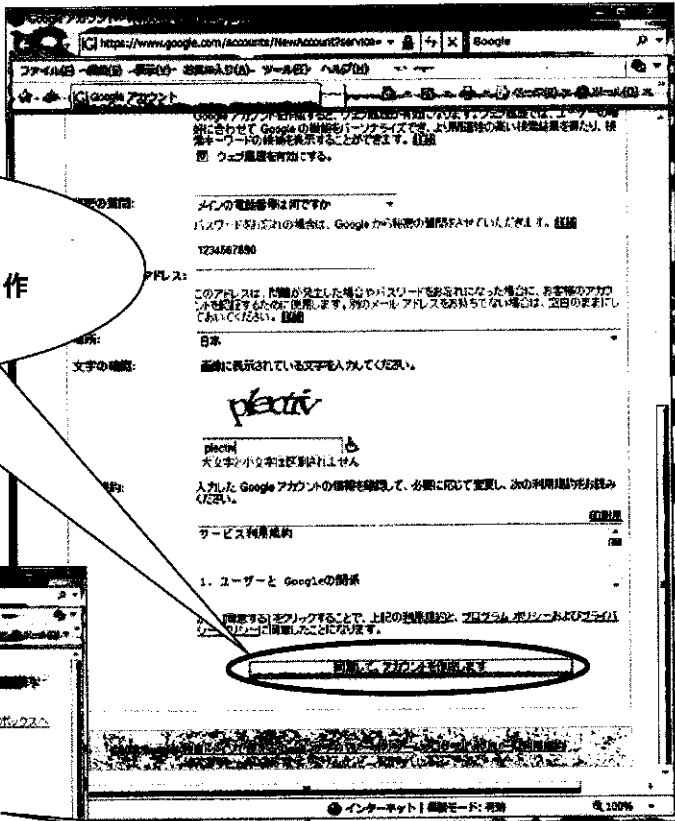
1. http://www.google.co.jp/
にアクセスし、
「メール」をクリック



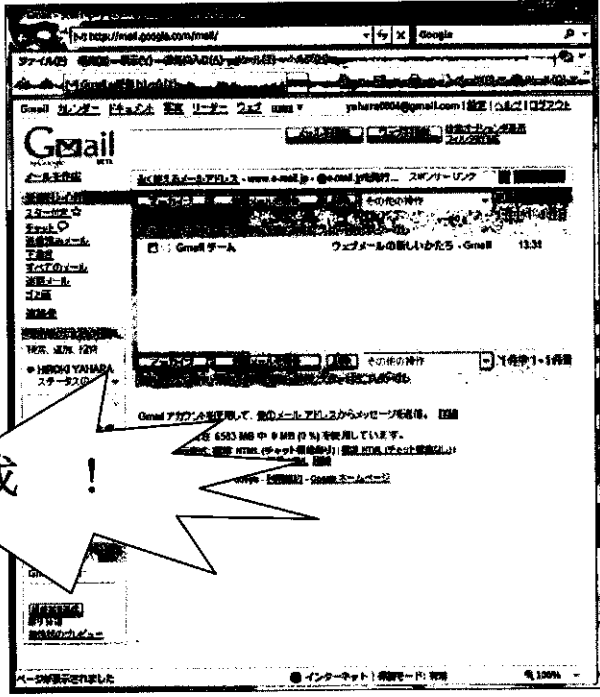
2. 「Gmailアカウント登録」
をクリック

Gmailアカウントの取得

1. 必要事項を記入します
必須項目だけでOKです。
できたら「同意して、アカウントを作成します」をクリック



2. この画面ができればID登録OK
アカウントがすでに利用されている場合は、
別のアカウントを再度入力してください



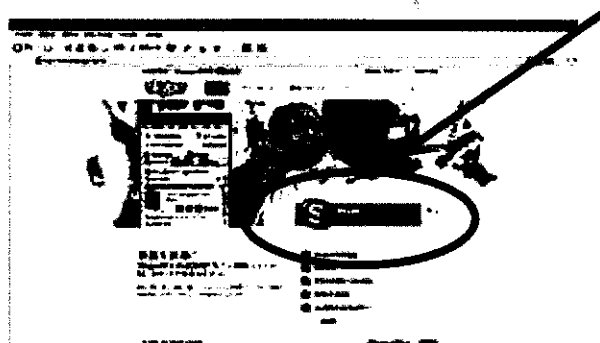
完成！



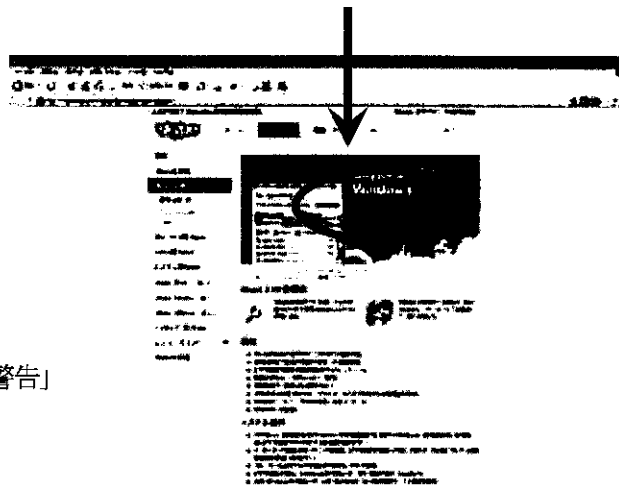
Skype (スカイプ) は、インターネットを使った IP 電話ソフト (ソフト代無料) です。利用者同士なら通話料無料で世界中の相手と通話ができます。派遣隊員同士や帰国隊員との情報交換・連絡をはじめ、ご家族との連絡にも使えます。また、最後に紹介するネットミーティングを使えば、派遣先の教室と日本の教室をつないで、インターネットライブ授業も行えます。

Skype を手に入れよう (ダウンロードしましょう)

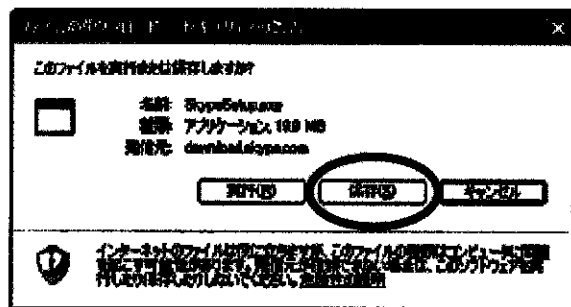
1. 「<http://www.skype.com/intl/ja/>」 にアクセスし、「Skype のダウンロード」をクリック



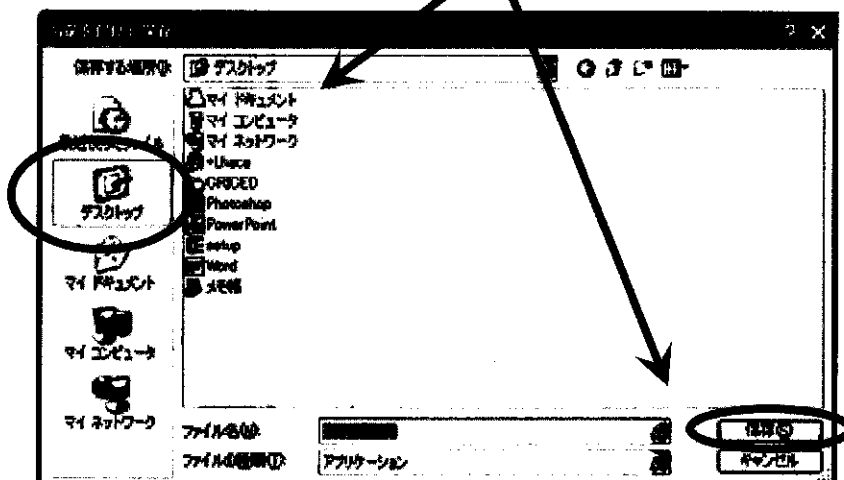
2. 「ダウンロード」をクリック



3. 「ファイルのダウンロード セキュリティの警告」画面で「保存」をクリック



4. 「保存する場所」をデスクトップなどに指定し、「保存」をクリック



Skype をインストールしよう

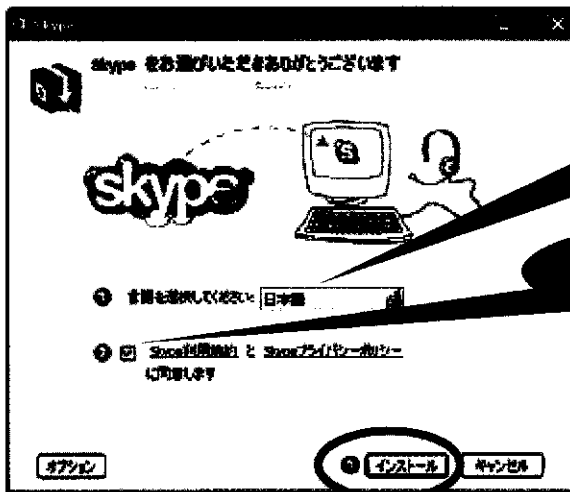
1. (ファイルのダウンロードが完了したら)
「SkypeSetup」 ファイルをダブルクリックする。



2. 「実行」 をクリック。スカイプのインストールが始まります。



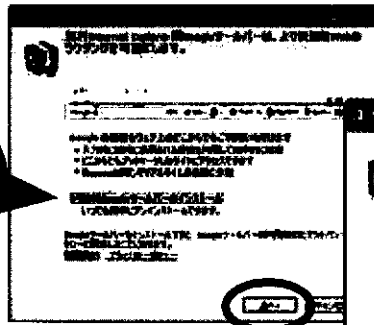
3. 使う言語として①「日本語」を選択,
②「利用規約とプライバシーポリシーに同意する」をクリックし,
③「インストール」をクリック。



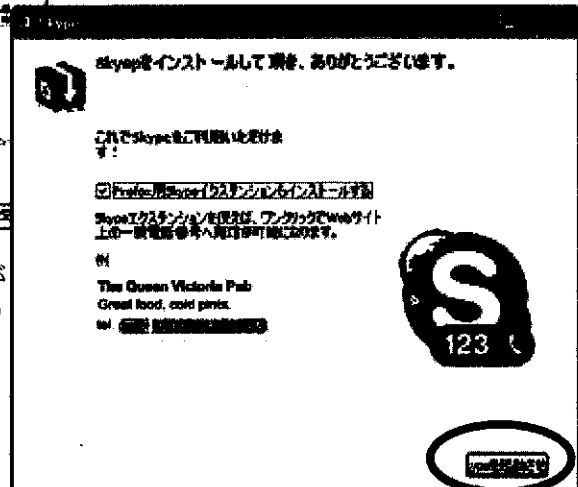
使う言語は「日本語」を選択

利用規約とプライバシーポリシーに同意するをクリック

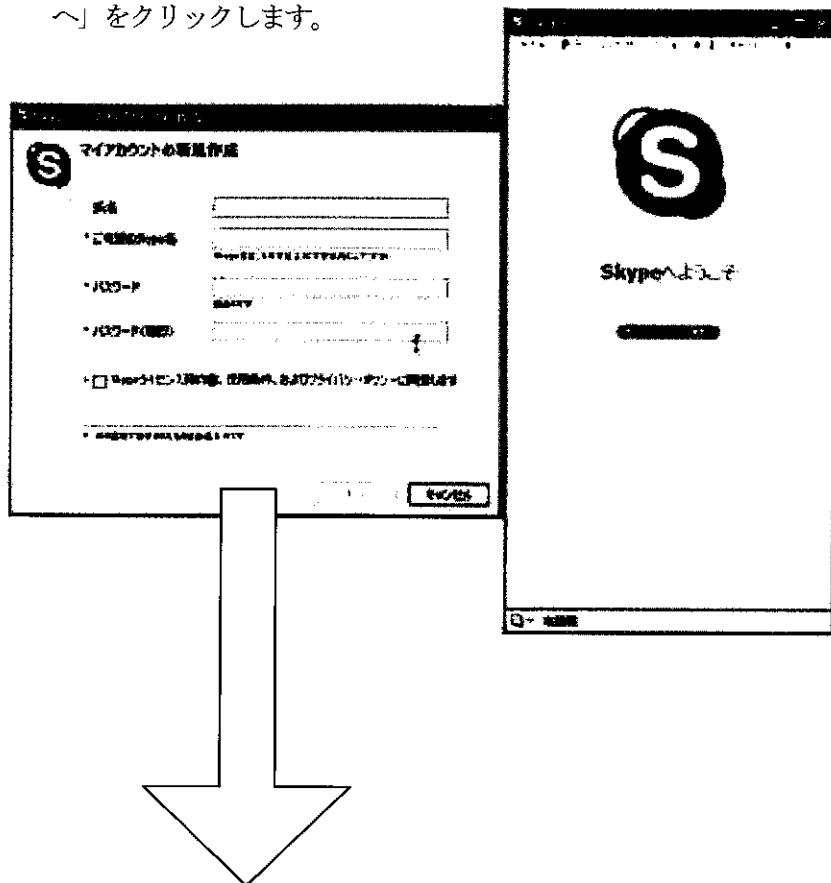
ツールバーをインストールしたくないときはチェックをはずす



4. 途中、Google 「ツールバー」のインストール画面が表示されたときは、必要に応じてチェックを入れたりはずしたりし、「次へ」。※表示されない方もいます。右の画面が表示されれば、インストールは完了です。必要に応じてチェックを入れたりはずしたりし、「Skype を起動させる」をクリック。



5. 自分のアカウント名 (Skype 名) や「パスワード」を設定し、「ライセンス契約書, 使用条件, およびプライバシーポリシーに同意します」をチェックし、「次へ」をクリックします。



※参考
 左上の画面は、スカイプをログアウトし、「アカウントを開設」をクリックしても表示できます。

Skype - マイアカウントの作成

マイアカウントの新規作成

氏名

* ご希望のSkype名
Skype名は、6文字以上32文字以内に入してください

* パスワード
最低4文字

* パスワード(確認)

* Skypeライセンス契約書, 使用条件, およびプライバシーポリシーに同意します

* 赤の星印で表示されたものは必須入力です

希望する
 スカイプ名を入力

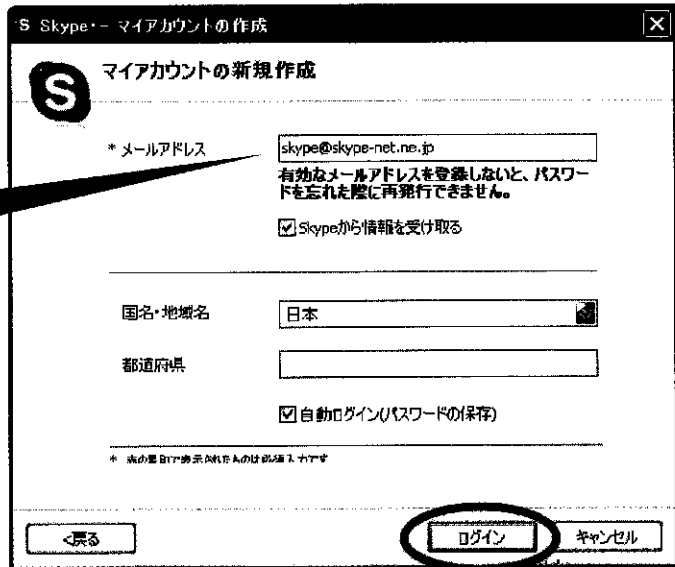
※Skype 名が既登録名と
 重複すると、再入力を
 求められます。

「パスワード」の
 入力

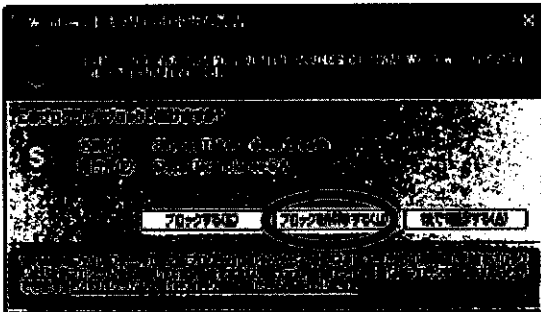
「利用規約に同意
 して登録する」に
 チェック

6. 次の画面ではメールアドレスを入力し、必要に応じてチェックを入れたりはずしたりし、「ログオン」をクリックします。

メールアドレスを入力

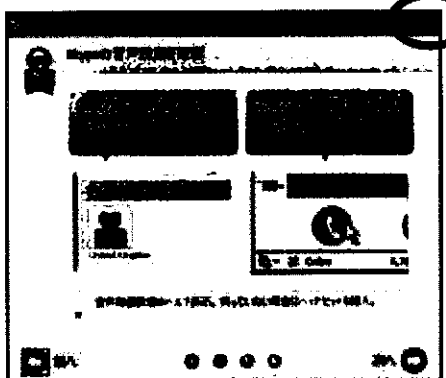


7. Windows セキュリティの重要な警告が表示されたときには、「ブロックを解除」をクリック。



8. 「Skype 開始ウィザード」が表示されますが、今回は使いませんので、閉じます。

「Skype の起動時に開かない」を
チェックしてから閉じると、以後
はこの画面は表示されません

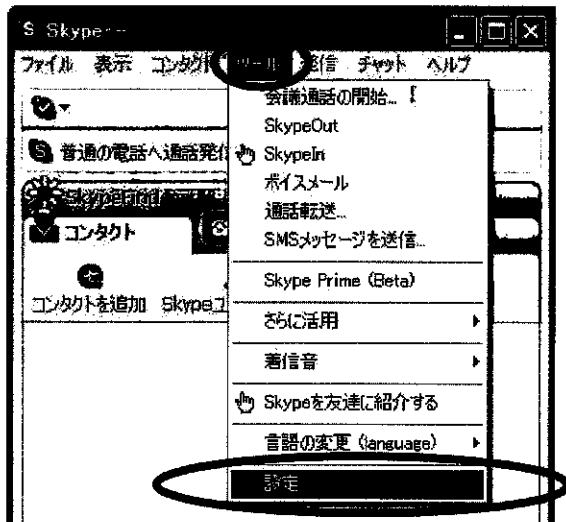


左のような「Skype 開始ウィザード」が表示されたときも、今回は使いませんので、閉じます。

ヘッドセットの設定をしよう

ヘッドセット（マイクとヘッドホン）を用意してください。（店頭では安いもので二千円程度です。）

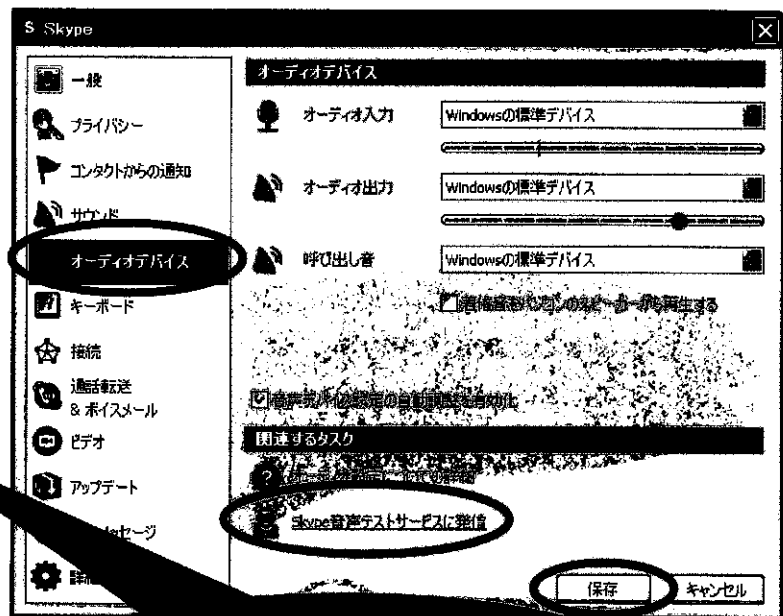
1. ヘッドセットのプラグを、パソコンのマイク端子とヘッドホン端子に差し込んでください。
2. 音声テストを行います。メニューの中の「ツール」をクリックし、下に表示される「設定」をクリックします。



3. 「オーディオデバイス」をクリックし、「Skype 音声テストサービスに発信」をクリックします。

音声案内にしたがって、声を出してみてください。

正常にセットアップできたら「保存」をクリック。

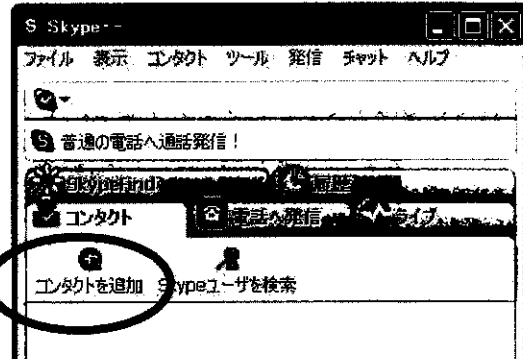


自分の声が再生されないときには、マイク端子の接続などを確認してみてください。

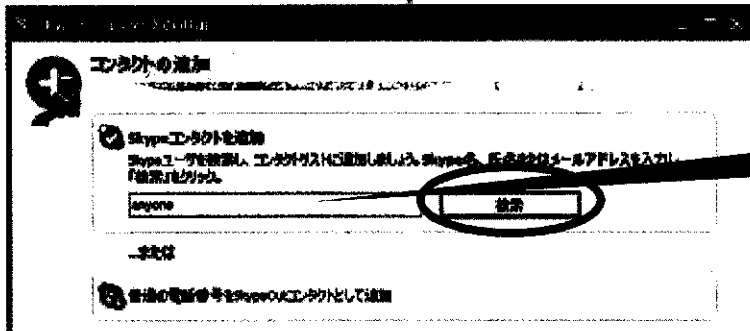
音声案内が聞こえないときには、音声端子の接続やパソコンのボリューム設定を確認してみてください。

会話したい相手を登録しよう

1. 「コンタクトへ追加」をクリックします。

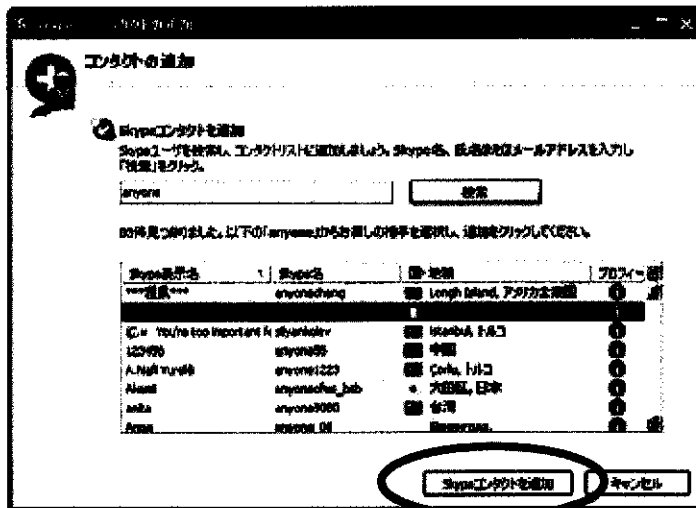


2. 相手の Skype 名を入力し「検索」ボタンを押します。

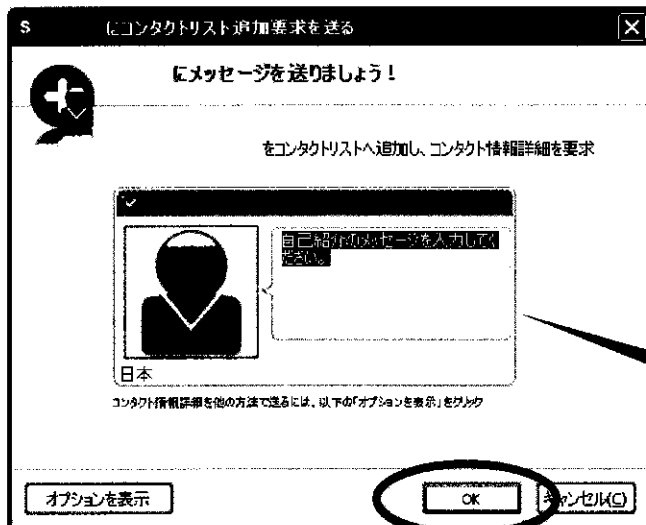


相手の Skype 名を入力

3. 一覧の中から相手を選択し、「Skype コンタクトを追加」をクリックします。



Skypeコンタクトを追加

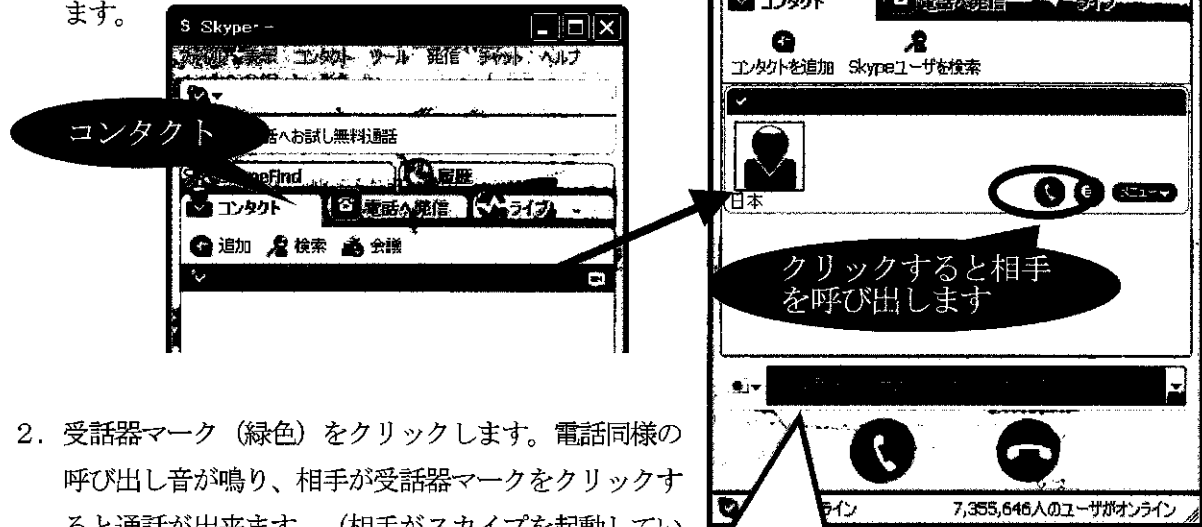


メッセージを入力

4. 相手に送るメッセージを入力し、「OK」をクリックします。

Skypeで会話してみよう

1. 「コンタクト」の中に、先ほど登録した相手が表示されているはずですが。クリックすると、その行が広がります。



2. 受話器マーク（緑色）をクリックします。電話同様の呼び出し音が鳴り、相手が受話器マークをクリックすると通話ができます。（相手がスカイプを起動していないとつながりません）

※ウィンドウの下方左側にある入力画面（日本の電話番号またはSkype名を入力）に直接入力して、受話器マーク（緑色）をクリックしてもつながります。

電話にでる

スカイプを起動してあれば、電話同様の呼び出し音が鳴ります。受話器マーク（緑）をクリックすると通話ができます。

電話をきる

右側の受話器マーク（赤）をクリック。

註1： 各種設定は、「ツール」から「設定」を選択し行います。

註2： SkypeOut（スカイプアウト）という機能を使えば、固定電話や携帯電話にも電話をかけることができます。ただし有料ですので、「スカイプアウトクレジット」を購入する必要があります。一般の固定電話から国際電話をかけるよりは安くなることが多いです。

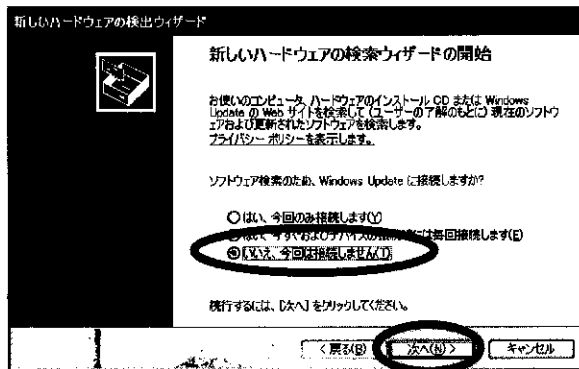
註3： 複数の人と会話することもできます。

註4： 最新版を利用しましょう。

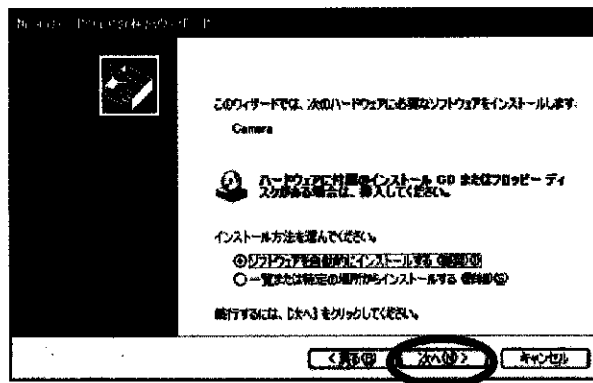
Skype でネットミーティングしてみよう

1. カメラの設定を行います。カメラをパソコンの上に乗せ、USB ポートにケーブルを差し込んでください。

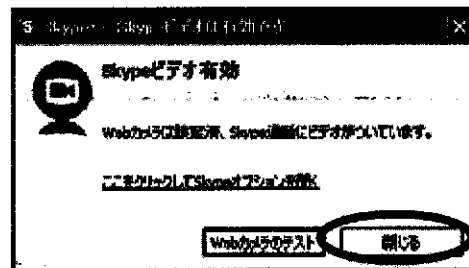
2. Windows Update への接続について聞かれたら、「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。



3. 右の画面が出たら、手元にある Logitech の CD を挿入します。指示に従ってインストールを行います。

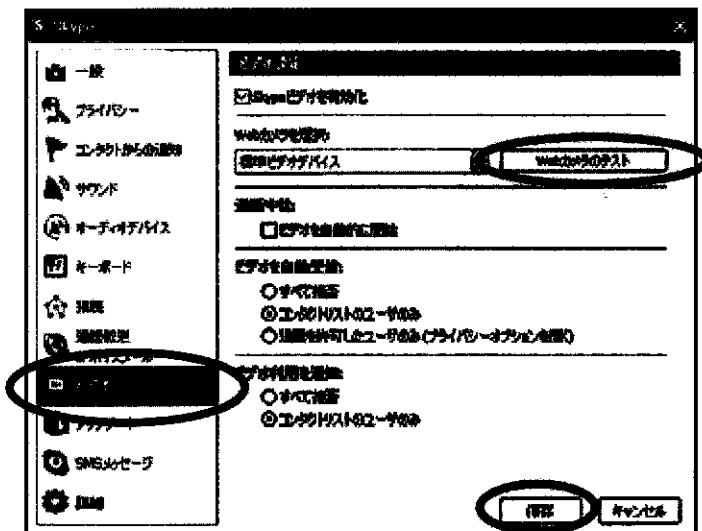


4. 右の画面が表示されたら「閉じる」。



5. Skype でカメラ設定を行います。先ほどと同じように、「ツール」から「設定」を選択します。今回は、「ビデオ」を選択し、「Web カメラのテスト」をクリックします。

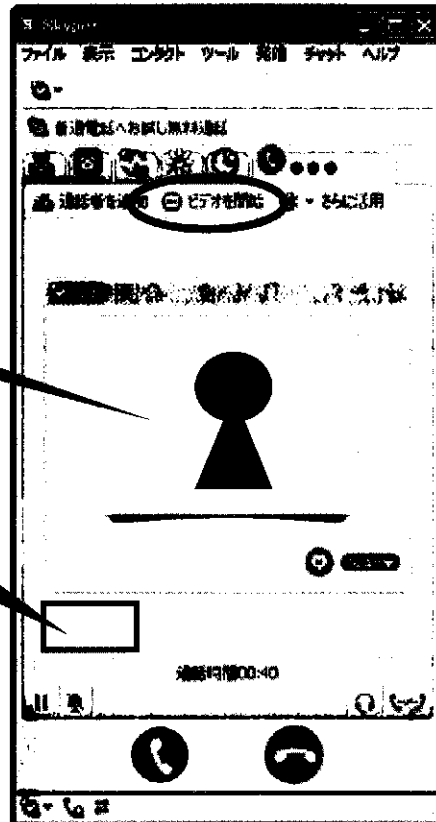
6. 画面に映し出された映像を見ながら、カメラの角度やピントなどを調整し、Web カメラのテストページを「閉じる」。その後、設定画面で「保存」をクリック。



7. 相手との通話中に、「ビデオを開始」をクリックします。
 (相手にあなたの映像が届きます)

相手の映像

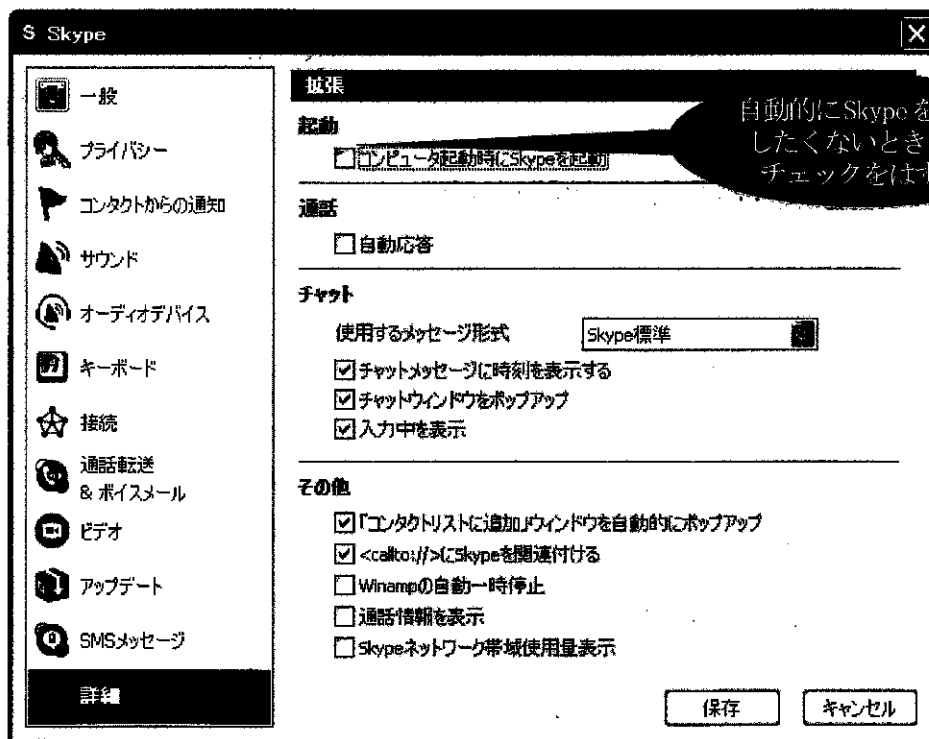
ビデオの開始をクリックすると、自分の映像がここに表示されます



8. 相手も同じように選択すると、お互いの映像を見ながら話すことができます。
 (相手の映像があなたにも届きます)

註5：ネットミーティングは、「Yahoo!メッセンジャー」や「Windows Liveメッセンジャー」でもできます。

註6：コンピュータ起動時に自動的にSkypeを起動したくないときは、「ツール」から「設定」を選択し、さらに「詳細」を選択します。そして「コンピュータ起動時にSkypeを起動」のチェックをはずす。

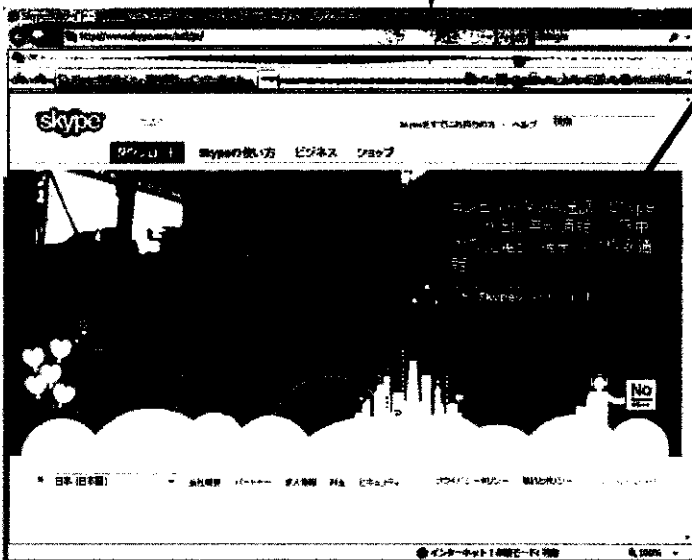




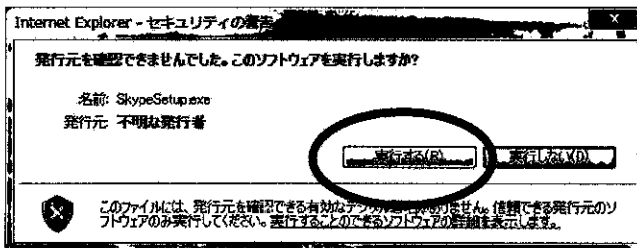
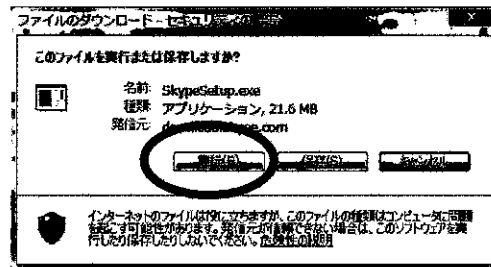
Skype (スカイプ) は、インターネットを使った IP 電話ソフト (ソフト代無料) です。利用者同士なら通話料無料で世界中の相手と通話ができます。派遣隊員同士や帰国隊員との情報交換・連絡をはじめ、ご家族との連絡にも使えます。また、最後に紹介するネットミーティングを使えば、派遣先の教室と日本の教室をつないで、インターネットライブ授業も行えます。

Skype をインストールしよう

1. 「<http://www.skype.com/intl/ja/>」にアクセスし、「Skype のダウンロード」をクリック

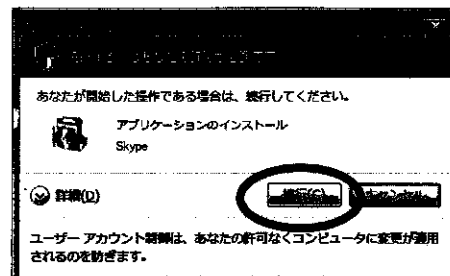


2. 「ファイルのダウンロード-セキュリティの警告」画面で「実行」をクリック



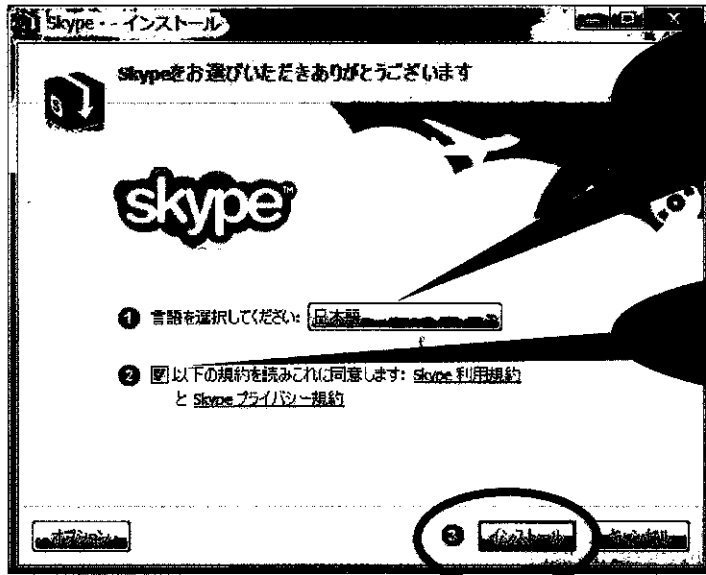
3. 「実行する」をクリック。スカイプのインストールが始まります。

4. このようなウィンドウが出てきた場合は「続行」をクリック。



Windows VISTA

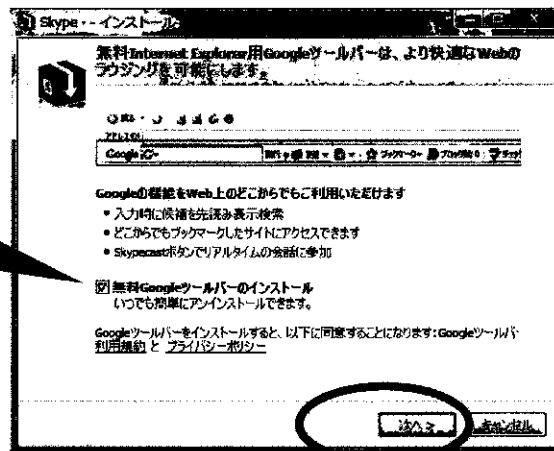
5. 使う言語として「Japanese」を選択、「次へ」をクリック。
表示される画面にしたがって、「使用許諾に同意する」を選び、「次へ」をクリック。



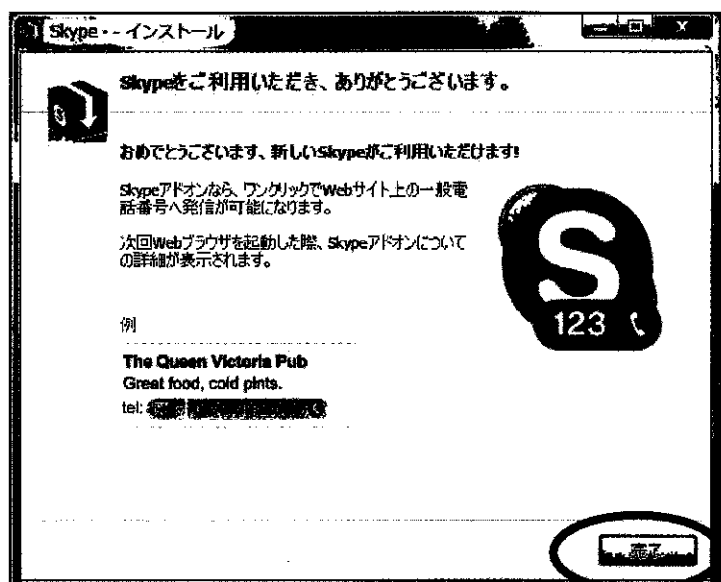
使う言語は
「日本語」を選択

利用規約とプライバシーポリ
シーに同意するをチェック

ツールバーをイン
ストールしたくない
ときはチェック
をはずす

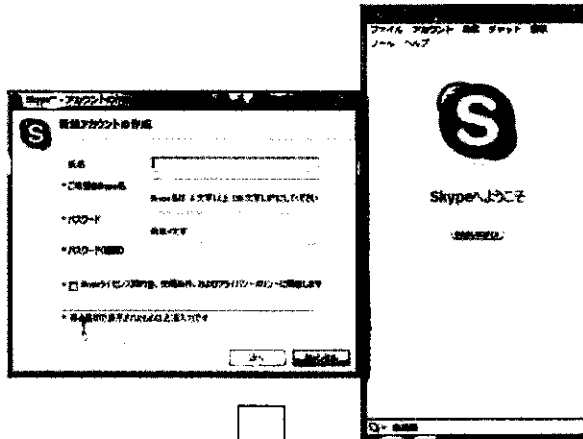


6. 途中、「Google ツールバー」のインストール画面が表示されたときは、必要に応じてチェックを入れたりはずしたりし、「次へ」。右の画面が表示されれば、インストールは完了です。「完了」をクリック。

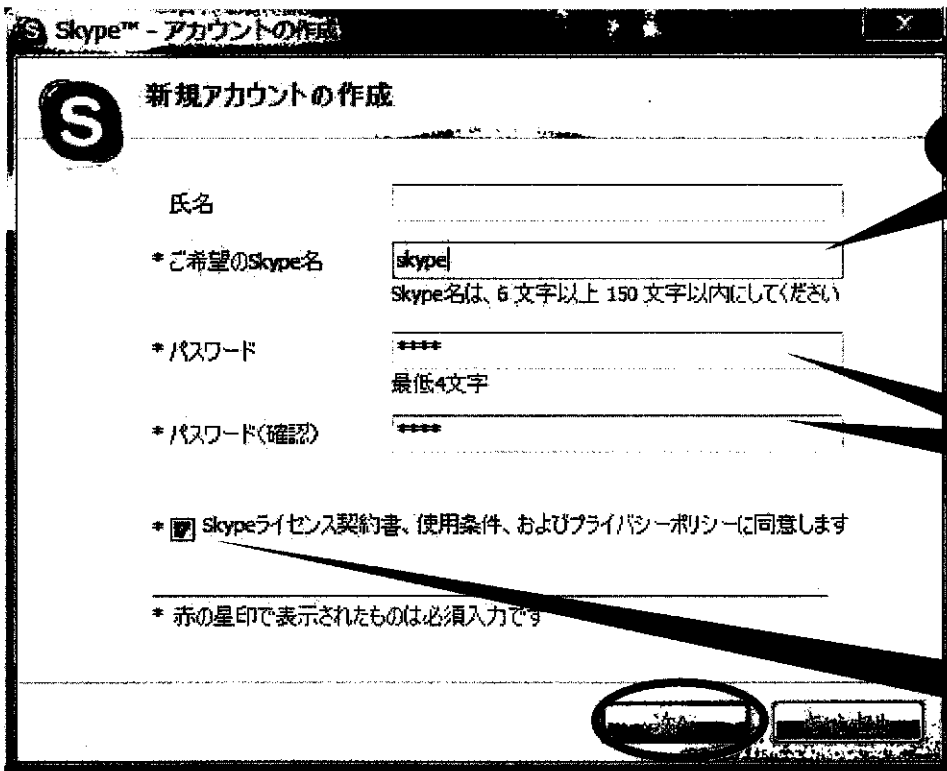
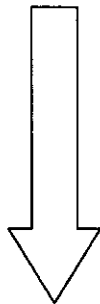




7. デスクトップ上の Skype アイコンをクリックしてスカイプを起動します。スカイプウィンドウとアカウント作成ウィンドウが表示されます。



8. 自分のアカウント名 (Skype 名) や「パスワード」を設定し、「利用規約に同意して登録する」をチェックし、「次へ」をクリックします。



希望する
スカイプ名を入力

※Skype 名が既登録名と
重複すると、再入力を
求められます。

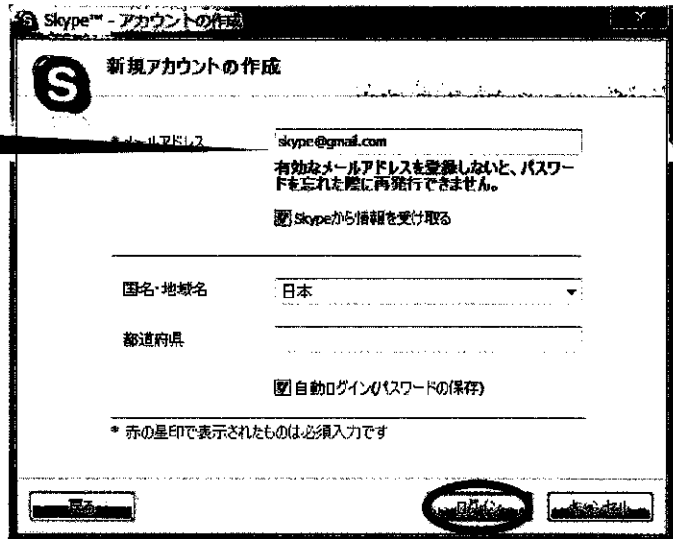
「パスワード」の
入力

「利用規約に同意
して登録する」に
チェック

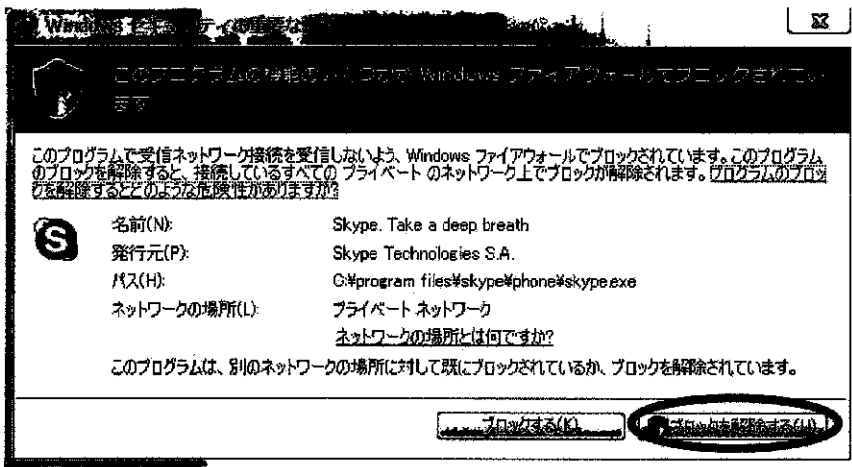
Windows VISTA

9. 次の画面ではメールアドレスを入力します。

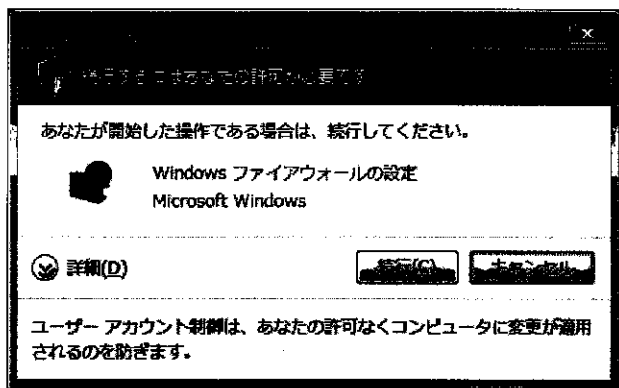
メールアドレスを入力



10. Windows セキュリティの重要な警告が表示されたときには、「ブロックを解除する」をクリック。



11. このようなウィンドウが出てきた場合は「続行」をクリック。



12. 「Skype 開始ウィザード」が表示されますが、今回は使いませんので、閉じます。

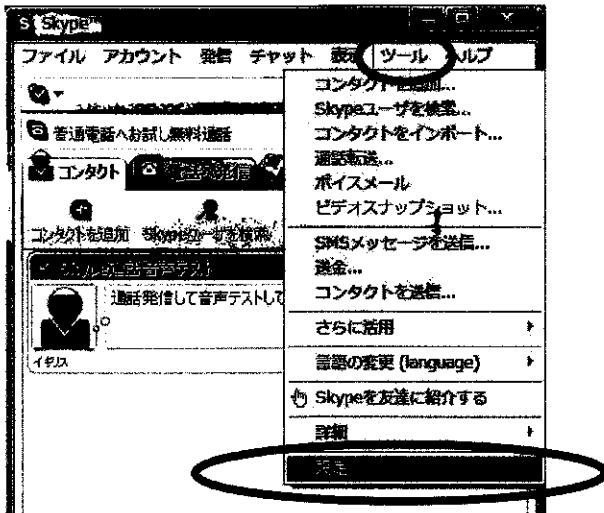


「Skype の起動時に開かない」をチェックしてから閉じると、以後はこの画面は表示されません

ヘッドセットの設定をしよう

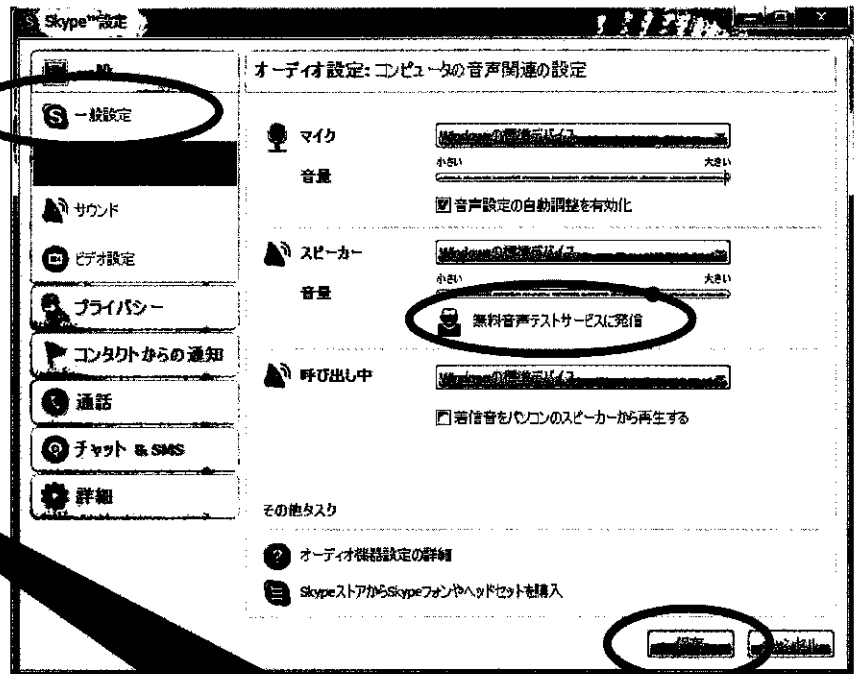
ヘッドセット（マイクとヘッドホン）を用意してください。（店頭では安いもので二千円程度です。）

1. ヘッドセットのプラグを、パソコンのマイク端子とヘッドホン端子に差し込んでください。



2. 音声テストを行います。メニューの中の「ツール」をクリックし、下に表示される「設定」をクリックします。

3. 「オーディオ設定」をクリックし、「Skype 音声テストサービスに発信」をクリックします。音声案内にしたがって、声を出してみてください。正常にセットアップできたら「保存」をクリック。



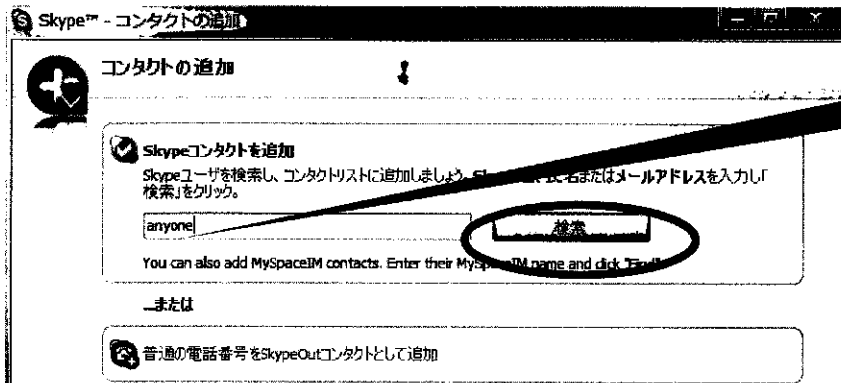
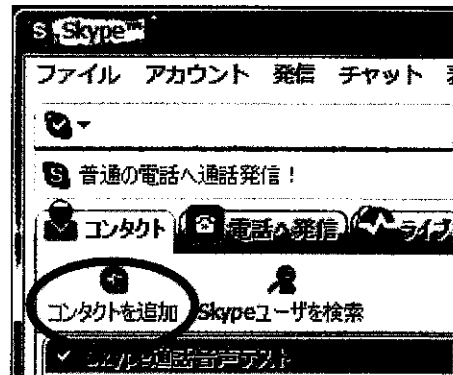
音声案内が聞こえないときには、音声端子の接続やパソコンのボリューム設定を確認してみてください。

自分の声が再生されないときには、マイク端子の接続などを確認してみてください。

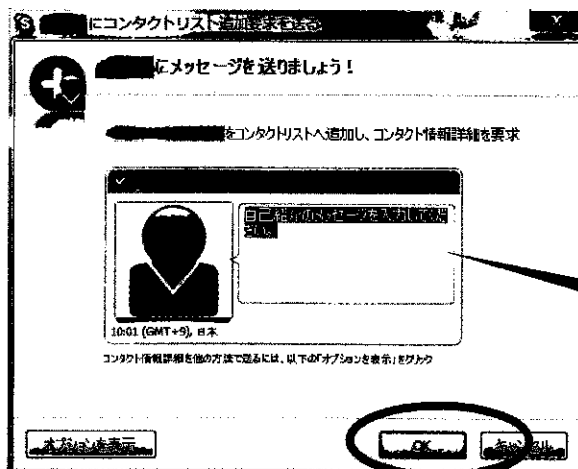
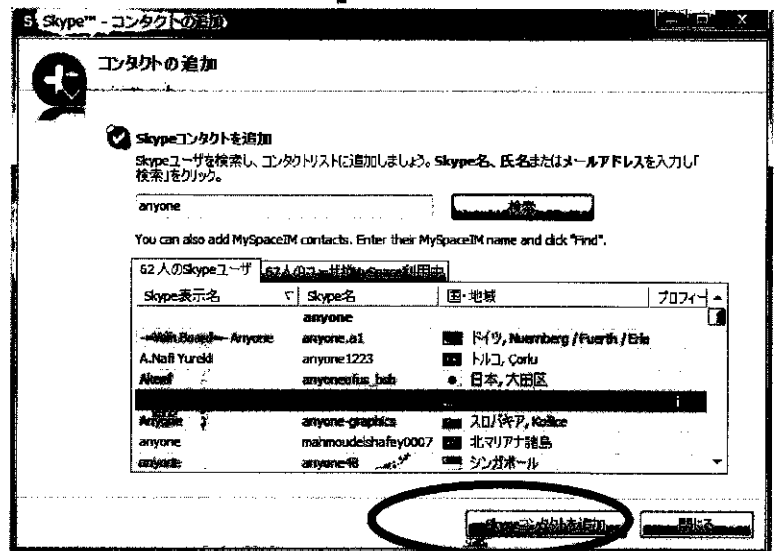
Windows VISTA

会話したい相手を登録しよう

1. 「コンタクトを追加」をクリックします。
2. 相手の Skype 名を入力し、「検索」ボタンを押します。



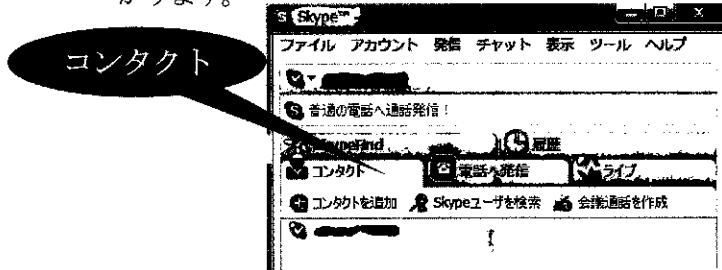
3. 一覧の中から相手を選択し、「選択されたコンタクトを追加」をクリックします。



4. 相手に送るメッセージを入力し、「OK」をクリックします。

Skype で会話してみよう

1. 「コンタクト」の中に、先ほど登録した相手が表示されているはずです。クリックすると、その行が広がります。



2. 受話器マーク（緑色）をクリックします。電話同様の呼び出し音が鳴り、相手が受話器マークをクリックすると通話ができます。（相手がスカイプを起動していないとつながりません）



※ ウィンドウの下方左側にある入力画面（日本の電話番号または Skype 名を入力）に直接入力して、受話器マーク（緑色）をクリックしてもつながります。

電話にでる

スカイプを起動してあれば、電話同様の呼び出し音が鳴ります。受話器マーク（緑）をクリックすると通話ができます。

電話をきる

右側の受話器マーク（赤）をクリック。

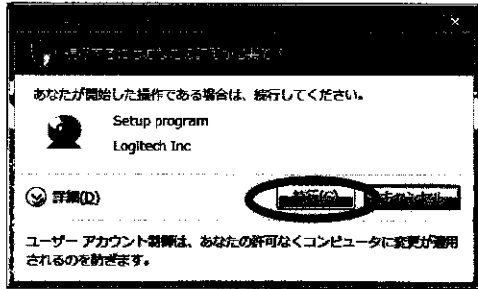
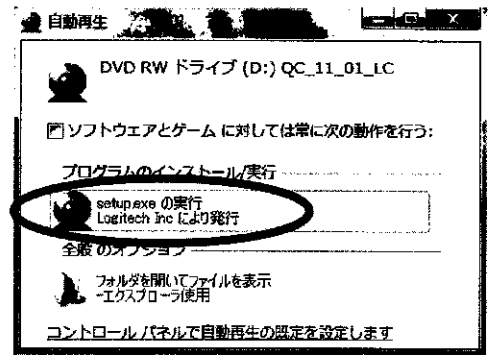
- 註1： 各種設定は、「ツール」から「設定」を選択し行います。
- 註2： SkypeOut（スカイプアウト）という機能を使えば、固定電話や携帯電話にも電話をかけることができます。ただし有料ですので、「スカイプアウトクレジット」を購入する必要があります。一般の固定電話から国際電話をかけるよりは安くなることが多いです。
- 註3： 複数の人と会話することもできます。
- 註4： 最新版を利用しましょう。

Windows VISTA

Web カメラをセットアップしよう

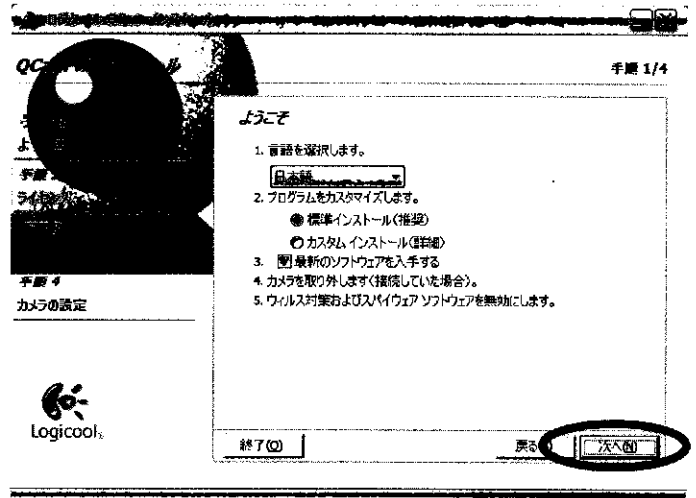
1. カメラのソフトウェアをインストールします。ここではカメラはまだ接続しないください。

まずは「Qcam v11.1」と書かれたインストールディスク（緑色）をドライブに入れます。右のような画面が出たら「setup.exe の実行」をクリックしてください。

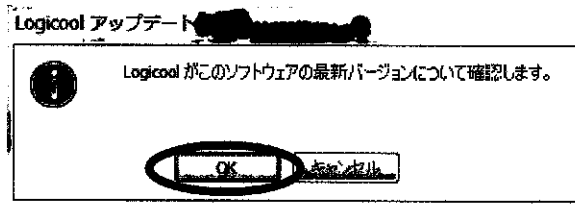


2. 左の「ユーザアカウント制御」の画面が出てきた場合は「続行」をクリックします。

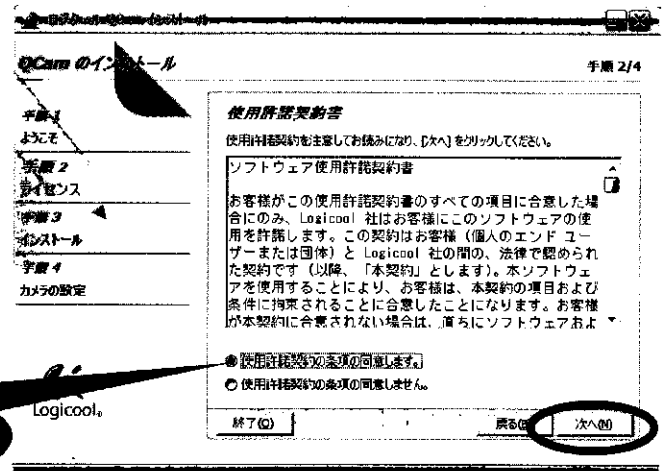
3. 「Qcam のインストール」画面が表示されます。「次へ」をクリックしてインストールを進めます。



4. 「OK」をクリックしアップデートを確認します。

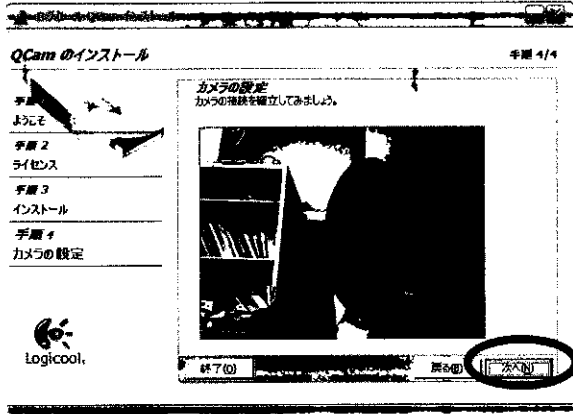


5. 「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリック。



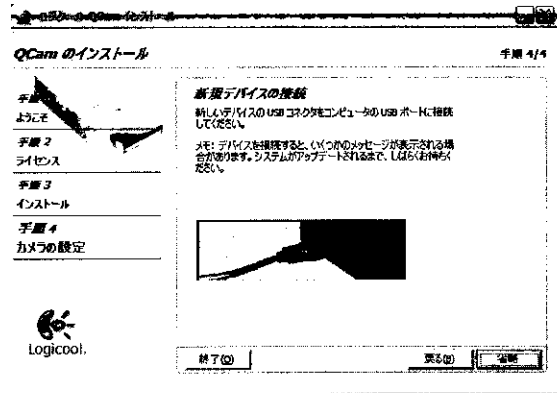
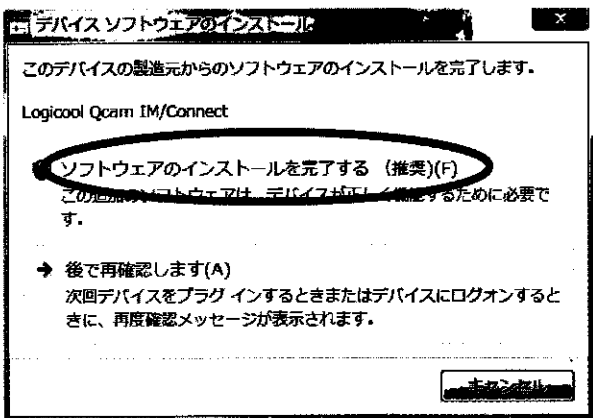
「使用許諾契約の条項に同意します」を選択

6. この画面が表示されたらカメラを接続します。
カメラが認識されたら自動的に次の画面に進みます。

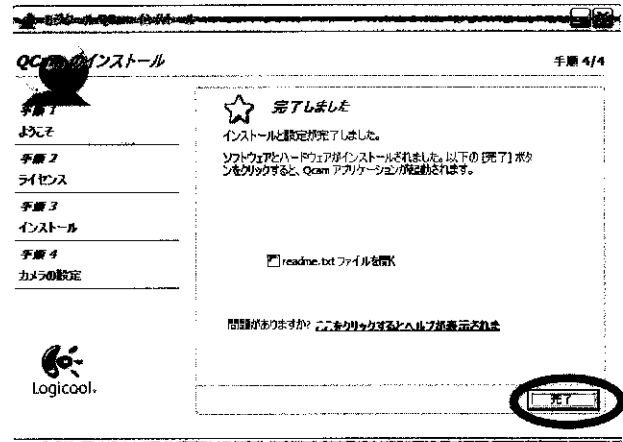


8. 「完了」をクリックします。

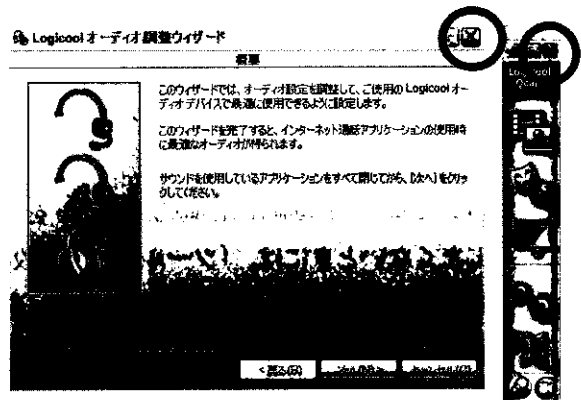
下記のような画面がでたら「ソフトウェアのインストールを完了する」をクリック。



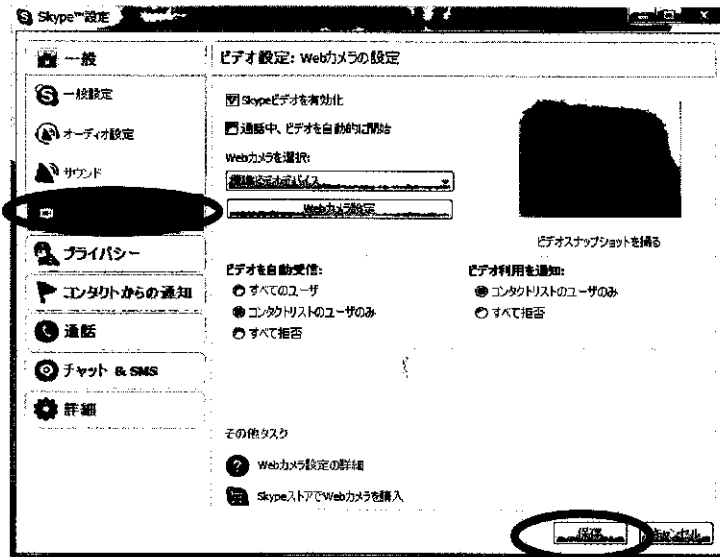
7. カメラの映像を確認し、「次へ」をクリック。



下の画面が表示されますが、今回は使いませんが、それぞれ右上の「×」ボタンをクリックして閉じます。



Skypeでネットミーティングしてみよう



1. Skypeでカメラ設定を行います。先ほどと同じように、「ツール」から「設定」を選択します。今回は、「ビデオ設定」を選択します。Webカメラの映像を調整し確認します。「保存」をクリックして閉じます。

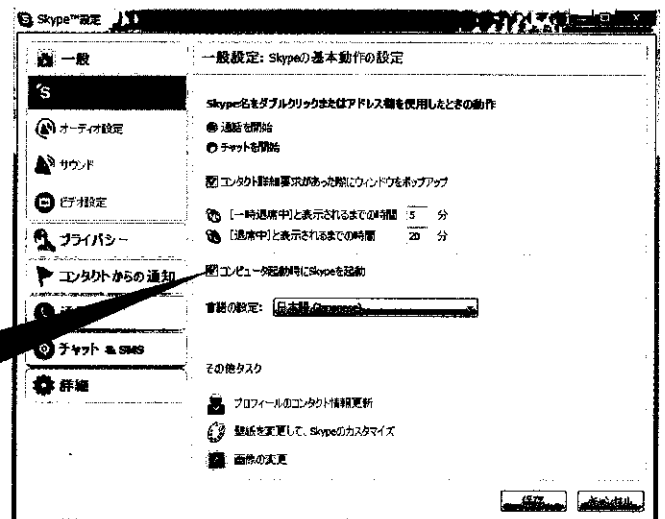
2. 相手との通話中に、下の「ビデオ開始」をクリックします。相手も同じように選択すると、お互いの映像を見ながら話すことができます。



註5：ネットミーティングは、「Yahoo!メッセージ」、「Windows Live メッセンジャー」でも出来ます。

註6：コンピュータ起動時に自動的にSkypeを起動したくないときには、「ツール」から「設定」を選択し、「コンピュータ起動時にSkypeを起動」のチェックをはずす。

自動的にSkypeを起動したくないときは、チェックをはずす





Windows ムービーメーカーは、パソコンにビデオ映像（及び静止画）を取り込み、さらに取り込んだ映像（及び静止画）をつなぎ合わせて1本の映像に編集・保存できます。任地において映像教材を作成したり、任地での活動を映像でまとめたりすることに使えます。

Windows ムービーメーカーを起動しよう

パソコンの画面左下の、①「スタート」をクリックし、②「すべてのプログラム(P)」にカーソルを移動し、③「Windows ムービーメーカー」をクリックします。

The image shows a Windows XP Start menu with three callouts: ① pointing to the Start button, ② pointing to 'すべてのプログラム(P)', and ③ pointing to 'Windows ムービーメーカー'. Below the Start menu is a preview window titled '【Windows ムービーメーカーが起動した画面】' showing the software's main interface with a menu and a video preview area.

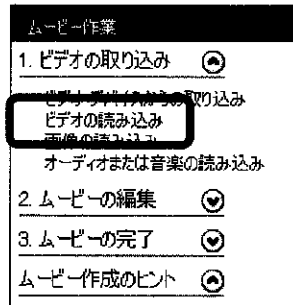
ビデオ映像をつなぎ合わせて編集しよう

1. パソコンに保存されているビデオ映像を、ムービーメーカーに取り込みます。

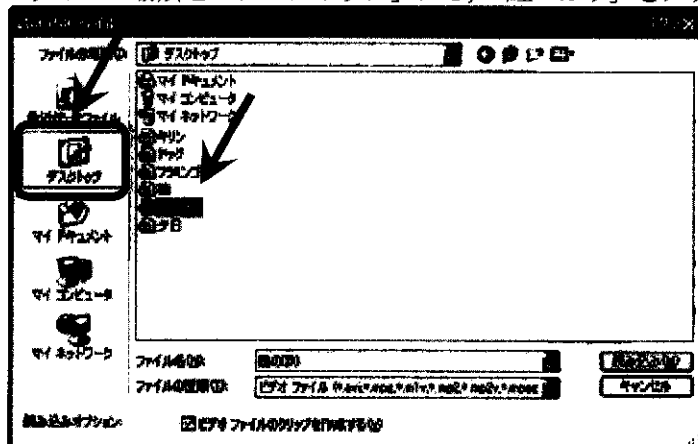
①「ビデオの取り込み」の右横のボタンをクリック



②「ビデオの読み込み」をクリック



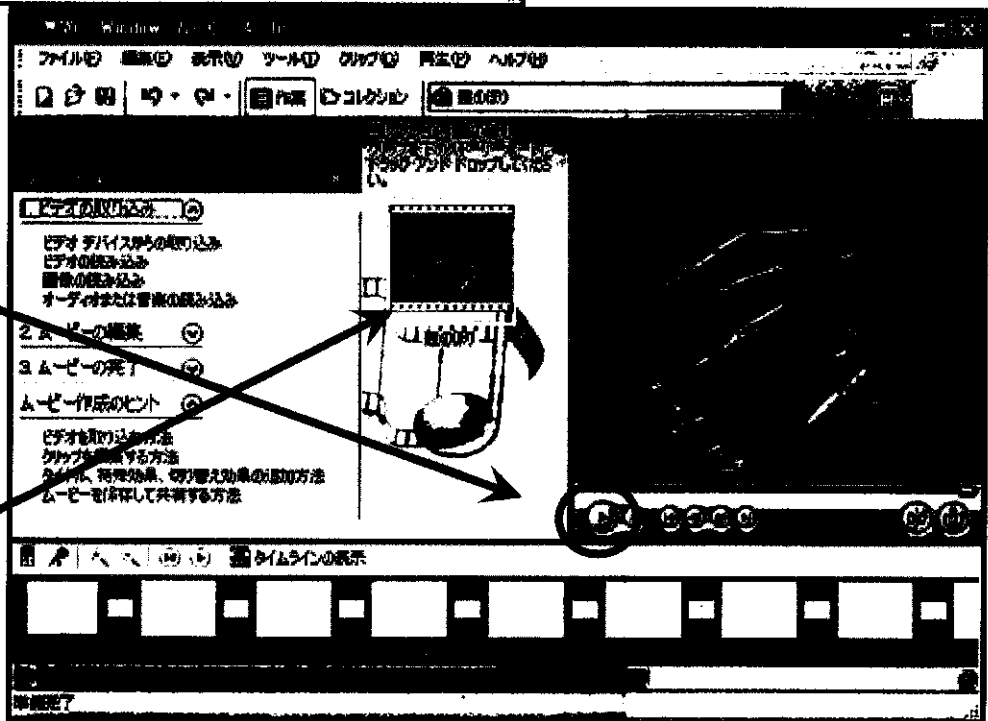
③ファイルの場所を「デスクトップ」にし、「鯉のぼり」をクリック



註：「鯉のぼり」を選んで、右下の「読み込み」をクリックしてもかまいません

再生ボタンをクリックすると、取り込んだ映像が再生されます。

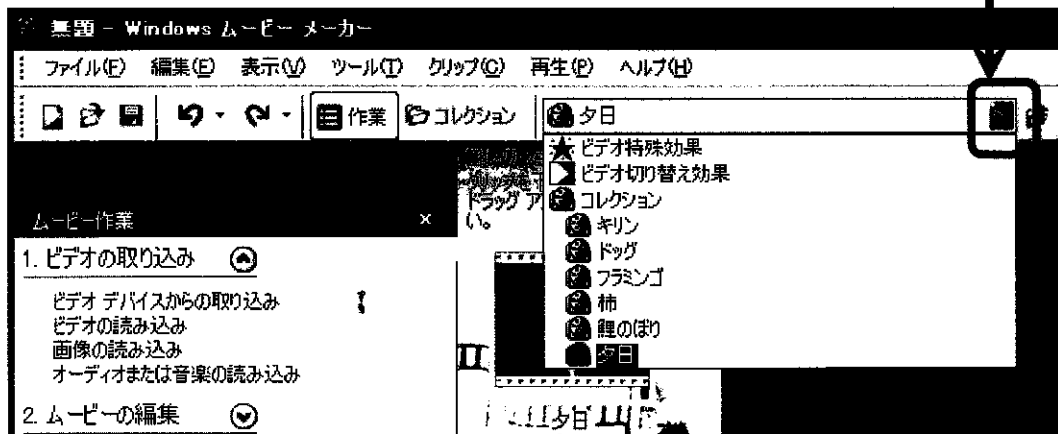
※再生画面に映像が表示されていないときには、画面中央の「鯉のぼり」をクリックしてください



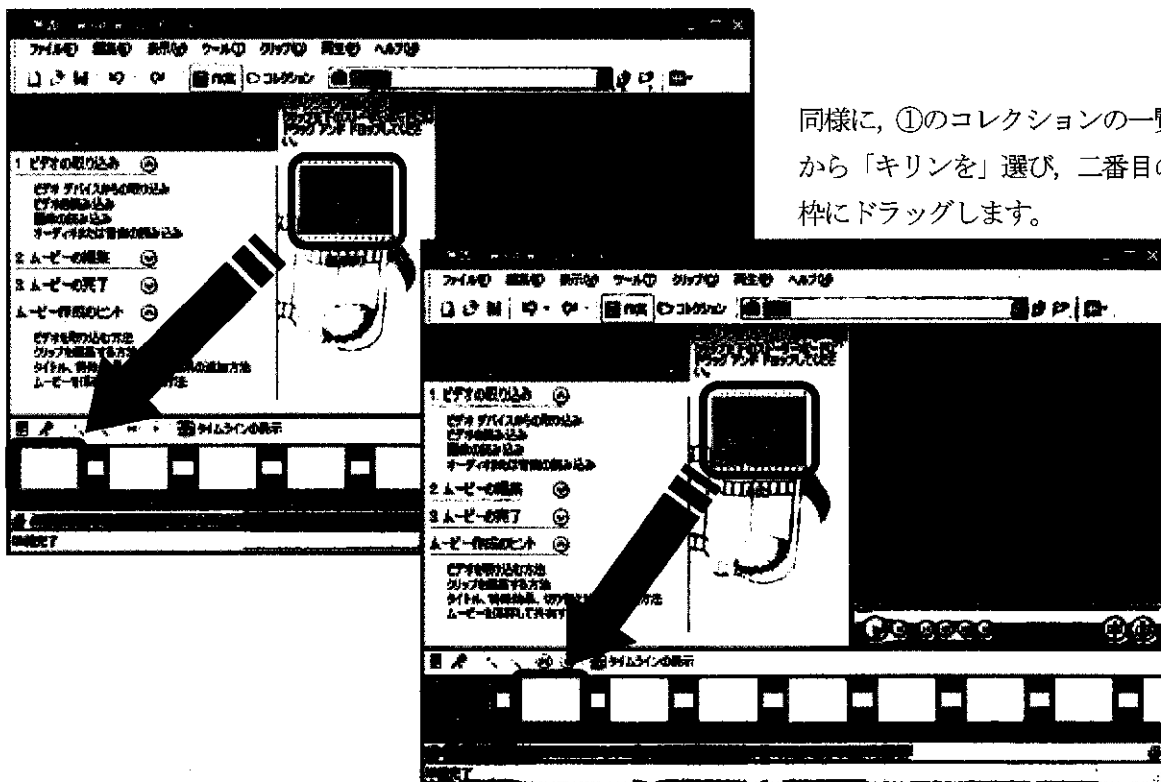
④同様に、②と③を繰り返して「キリン」、「ドッグ」、「フラミンゴ」、「柿」、「夕日」を読み込みます。

2. ビデオ映像をつなぎ合わせます。

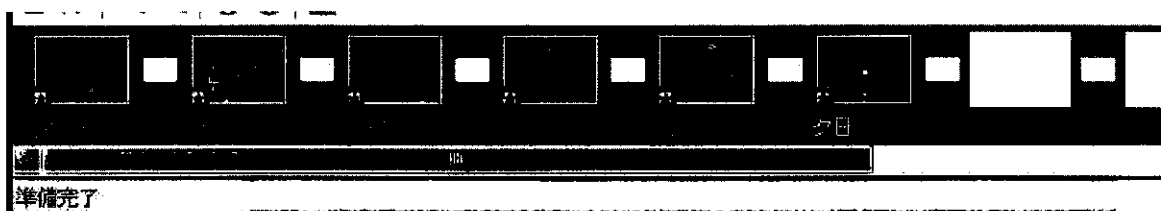
- ①ムービーメーカーに取り込まれた映像等の一覧は、「コレクション」右横のボタンをクリックすると表示されます。



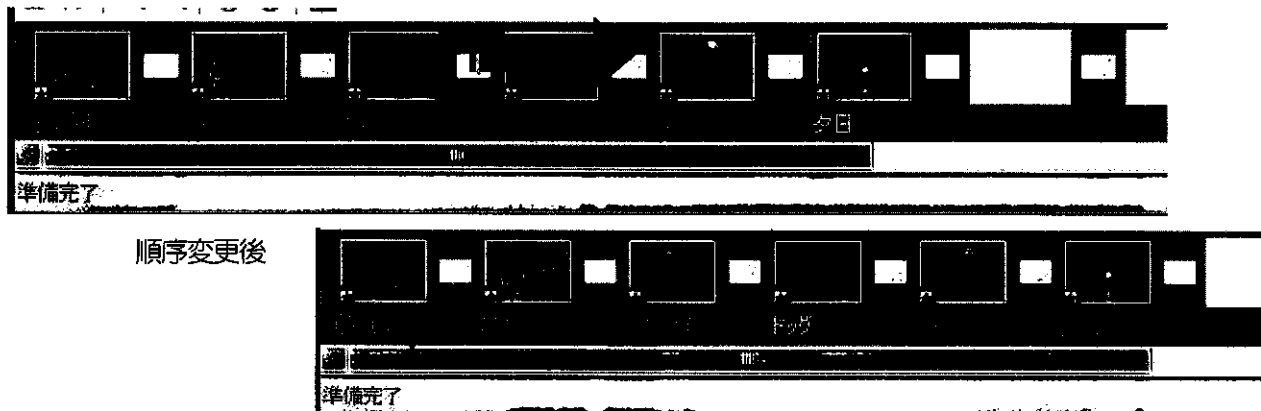
- ②「鯉のぼり」、「キリン」、「ドッグ」、「フラミンゴ」、「柿」、「夕日」の順につなぎ合わせるとします。まず、①のコレクションの一覧から「鯉のぼり」を選びます。次に、画面中央の「鯉のぼり」を画面左下の枠にドラッグします。



「ドッグ」、「フラミンゴ」、「柿」、「夕日」についても同様に枠にドラッグします。

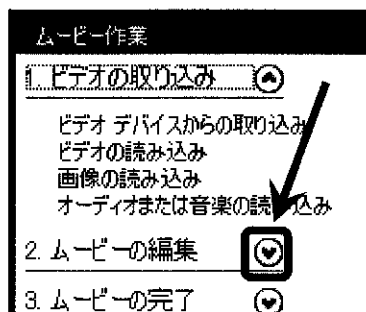


※③ビデオをつなぐ順序を、「ドッグ」、「フラミンゴ」から「フラミンゴ」、「ドッグ」へ変えたいときは、画面下に表示されている「ドッグ」を「柿」の左横へドラッグします。

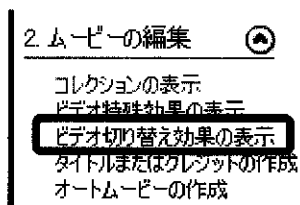


3. ビデオ映像を切り替えるときの効果をつけます。

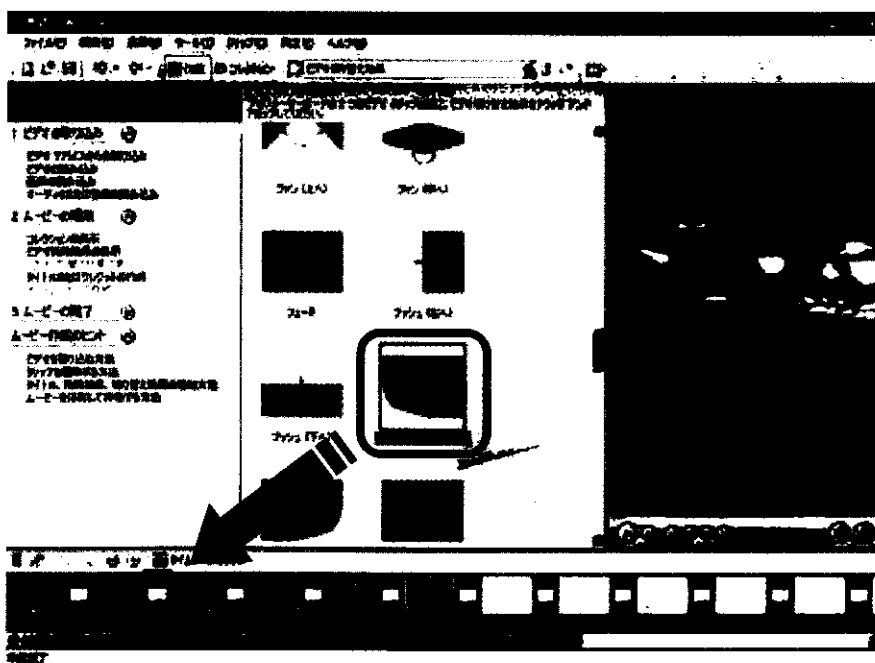
①「ビデオの取り込み」の右横のボタンをクリック



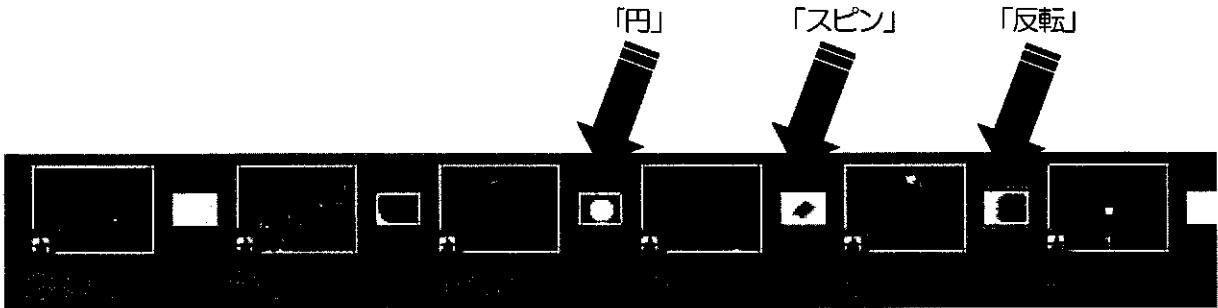
②「ビデオ切替え効果の表示」をクリック



③「麒麟」の映像を、ページを右上へめくるようにしながら「フラミンゴ」の映像へと切り替えます。画面中央に表示される「ビデオ切替え効果」一覧の中にある、「ページカール」を画面下の「麒麟」と「フラミンゴ」の間の枠にドラッグします。



- ④同様に、ビデオ切替え効果「円」を「フラミンゴ」と「ドッグ」の間、
 ビデオ切替え効果「スピン」を「ドッグ」と「柿」の間、
 ビデオ切替え効果「反転」を「柿」と「夕日」の間、の枠にそれぞれドラッグします。



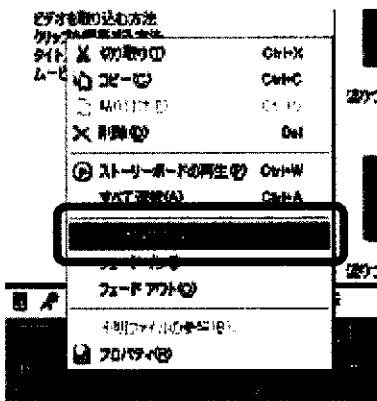
4. ビデオ映像に特殊効果をつけます。

「鯉のぼり」の映像に、「イーズイン」及び「フェードアウト(黒へ)」をつけます。

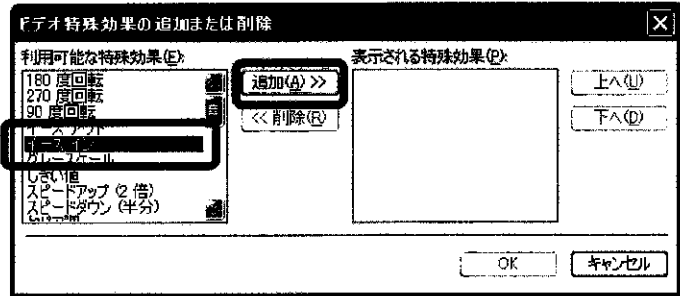
- ①まず、画面下の「鯉のぼり」を右クリック。



- ②次に、「ビデオ特殊効果」をクリック。

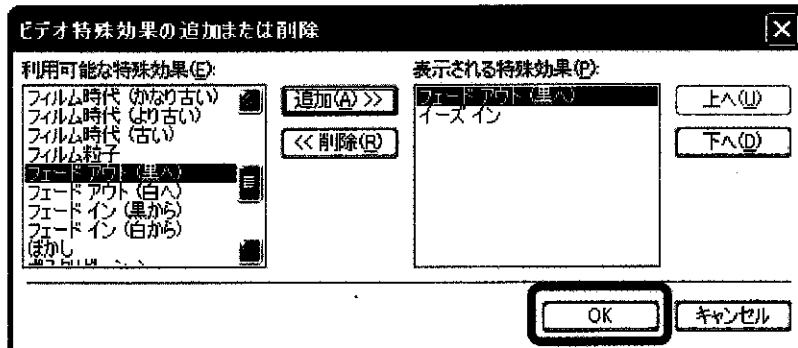


- ③「イーズイン」をクリックし、「追加」をクリック。

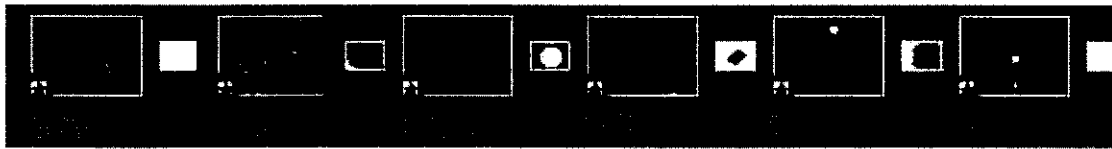


- ④同様に、「フェードアウト(黒へ)」をクリックし、「追加」をクリック。

- ⑤「OK」をクリック。



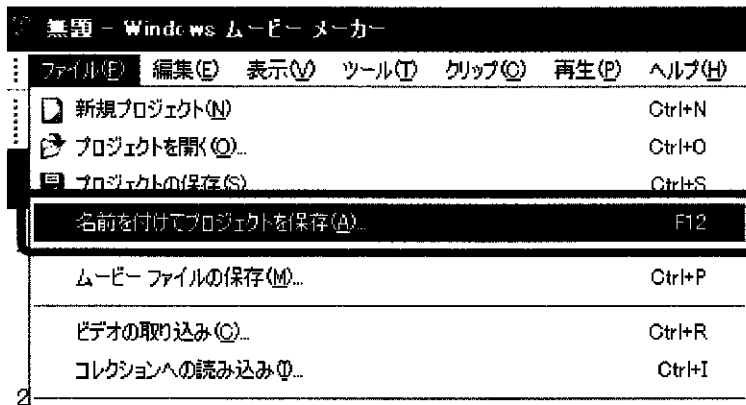
「キリン」についても、同様に、ビデオ特殊効果「フェードイン(黒から)」をつけます。



5. ファイルの保存 (Windows ムービーメーカーでは「プロジェクトの保存」と呼びます)



「ファイル」から「名前を付けてプロジェクトを保存」をクリックし、Word 文書や一太郎文書のように Windows ムービーメーカーのファイルとして保存します。



6. 映像ファイルとして保存



- ムービー作業
1. ビデオの取り込み
 - ビデオデバイスからの取り込み
 - ビデオの読み込み
 - 画像の読み込み
 - オーディオまたは音楽の読み込み
 2. ムービーの編集
 - コレクションの表示
 - ビデオ特殊効果の表示
 - ビデオ切り替え効果の表示
 - タイトルまたはクレジットの作成
 - オートムービーの作成
 3. ムービーの完了

- ・「ムービーの完了」から「コンピュータに保存」をクリック。
- ・「コンピュータの最高の品質で再生(推奨)」を選択し、「次へ」。
- ・ファイル名を入力し、保存場所を指定し、「次へ」。
- ・[完了]をクリックしたときに、「ムービーを再生する」にチェックし「完了」。

3. ムービーの完了

コンピュータに保存

1. 保存するムービーファイルを入力する

2. ムービーの保存場所を選択する

ムービーの品質

ファイルの種類: Windows Media EPB (AVI)

ビットレート: 17 Mbps

表示サイズ: 229 x 400 ピクセル

画数: 48

フレーム/秒: 30

ムービーファイルのサイズ

名前: 保存場所

130 MB

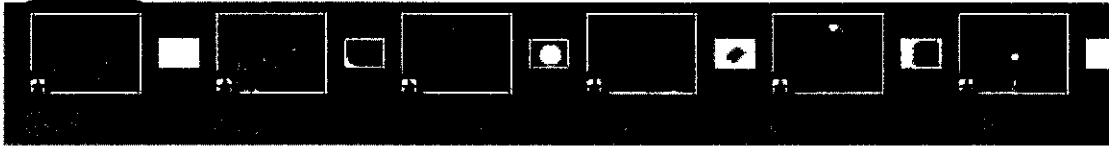
PS/PQ で保存可能なビデオファイル

2205 GB

7. タイトルとクレジットをつけます。

「鯉のぼり」の映像に重ねてタイトルをつけてみましょう。

①画面下の「鯉のぼり」をクリック



②「ムービーの編集」から「タイトルまたはクレジットの作成」をクリック

2. ムービーの編集

- コレクションの表示
- ビデオ特殊効果の表示
- ビデオ切り替え効果の表示
- タイトルまたはクレジットの作成**
- オートムービーの作成

③「選択したクリップにタイトル」をクリック

ムービーの最初にタイトルを追加する。

ストーリーボードで選択したクリップの前にタイトルを追加する。

ストーリーボードで選択したクリップにタイトルを追加する。

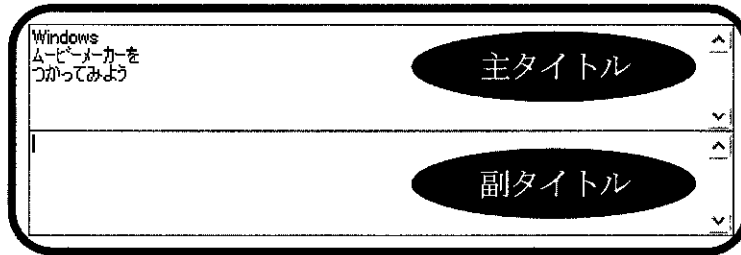
ストーリーボードで選択したクリップの後にタイトルを追加する。

ムービーの最後にクレジットを追加する。

キャンセル

④タイトルを入力します

タイトルを入力する
タイトルをムービーに追加するには、「終了」をクリックしてください。



終了、タイトルをムービーに追加する

キャンセル

詳細オプション:

タイトル アニメーションを変更する

フォントと色を変更する

⑤「終了、タイトルをムービーに追加する」をクリック。

クレジットをつけてみましょう。

① 「ムービーの編集」から「タイトルまたはクレジットの作成」をクリック

2 ムービーの編集

- コレクションの表示
- ビデオ特殊効果の表示
- ビデオ切り替え効果の表示
- タイトルまたはクレジットの作成**
- オートムービーの作成

② 「最後にクレジット」をクリック

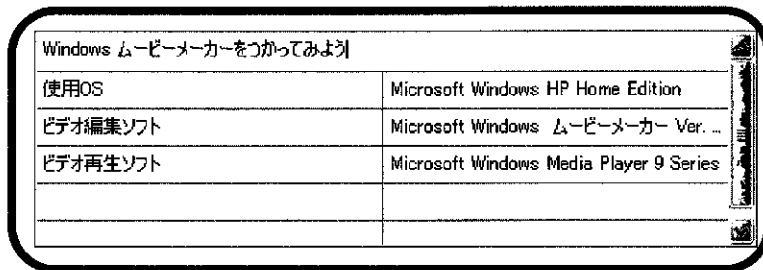
- ムービーの最初にタイトルを追加する。
- ストーリーボードで選択したクリップの前にタイトルを追加する。
- ストーリーボードで選択したクリップにタイトルを追加する。
- ストーリーボードで選択したクリップの後にタイトルを追加する。

ムービーの最後にクレジットを追加する。

キャンセル

③ クレジットを入力します

タイトルをムービーに追加するには、「終了」をクリックしてください。



終了

キャンセル

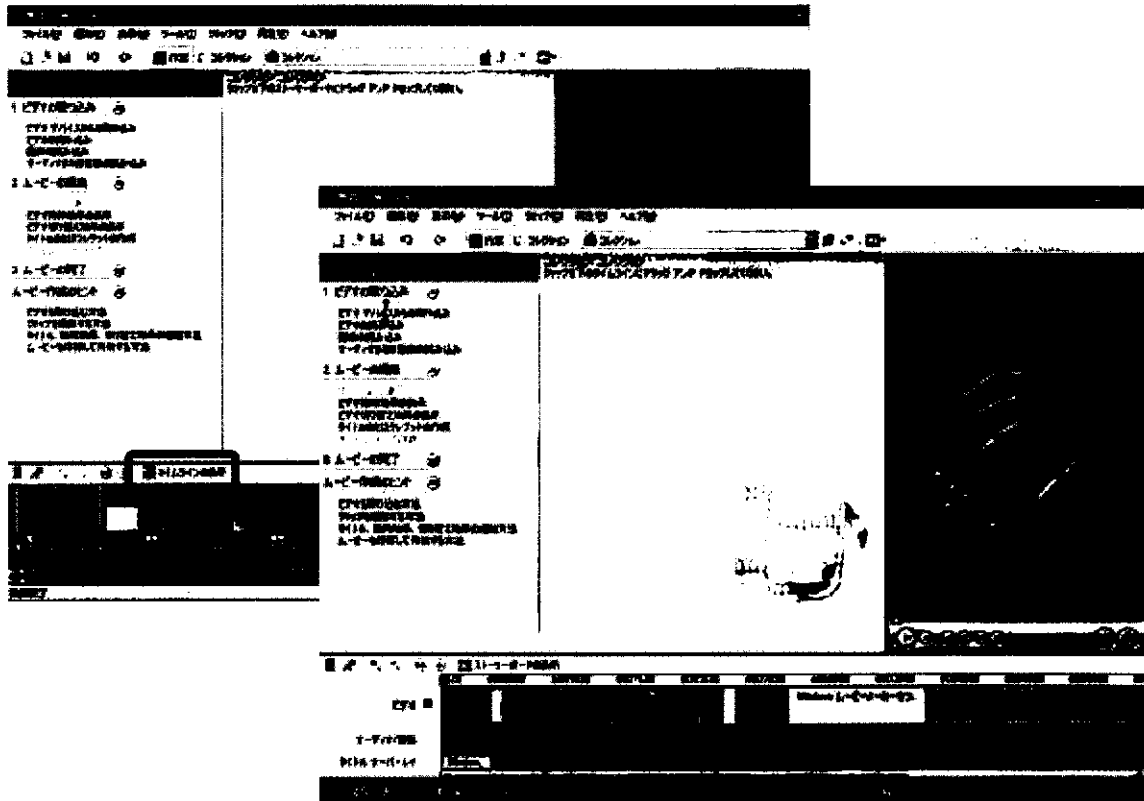
詳細オプション:

- タイトルアニメーションを変更する
- フォントと色を変更する

④ 「終了」をクリック。

8. 全体の微調整をします。

①「タイムラインの表示」をクリック。画面下の表示がタイムラインに切り替わる。

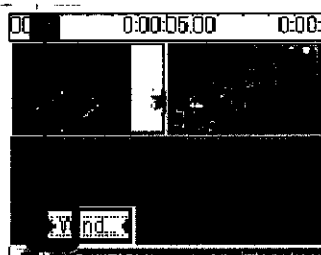


②タイトルを表示する時間帯を変更する

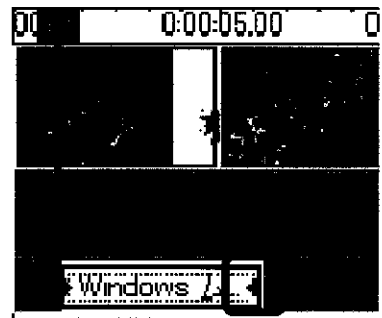
「タイトルオーバーレイ」のタイトル部分をクリック



左端をドラッグして「鯉のぼり」の途中から開始に変更



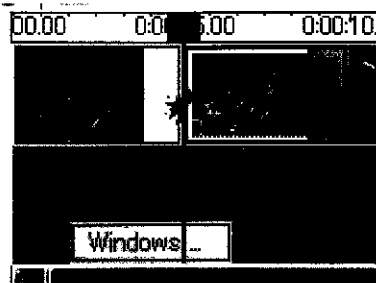
右端もドラッグして「麒麟」の途中で終了に変更



③映像の中から必要な箇所だけを採用する（トリミング）

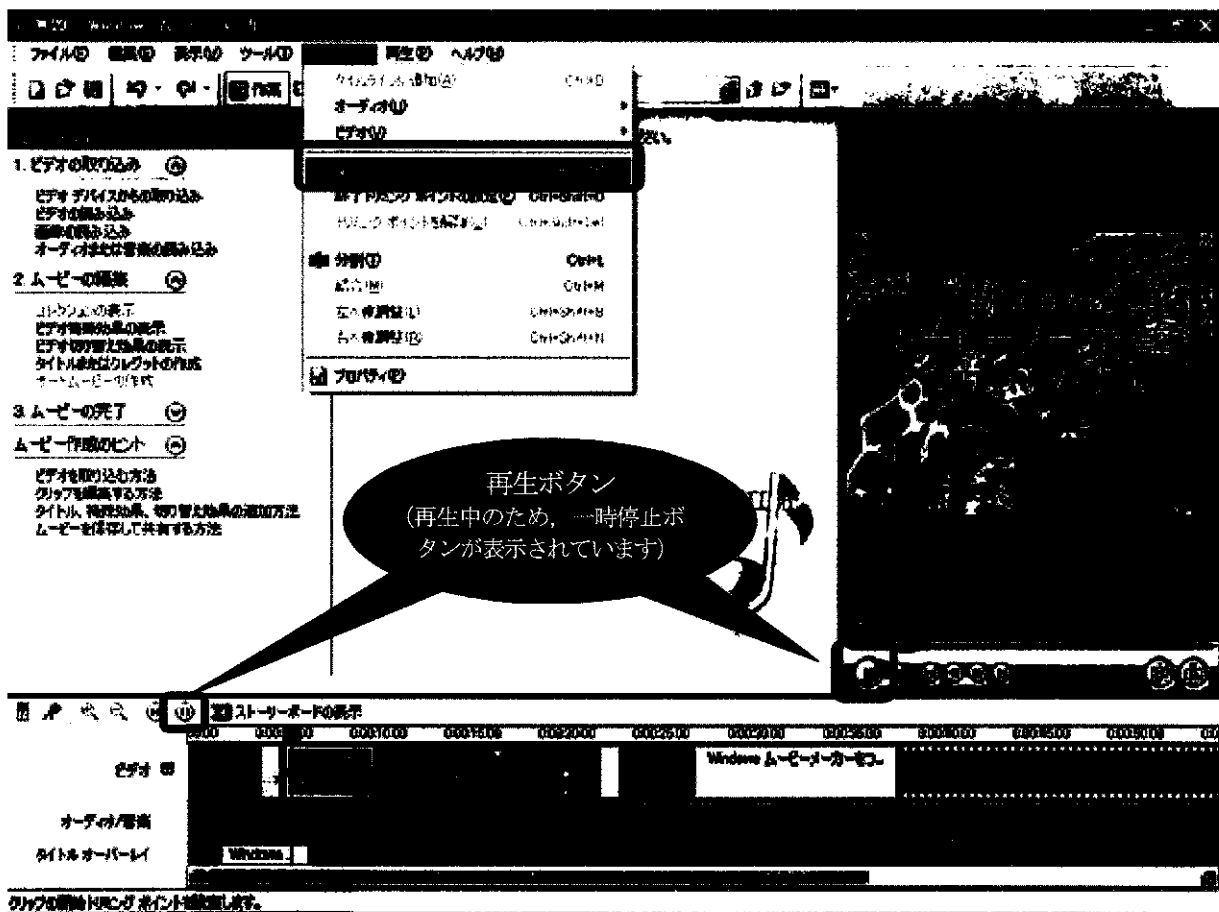
「麒麟」の先頭部分を削除してみましょう。

映像を選択して、再生します。



再生しながら、「クリップ」から「開始トリミングポイントの設定」をクリック。

（再生しながら、「Ctrl+Shift+I」の方が素早くポイントを設定できます）



これで、開始トリミングポイント設定位置以前の「麒麟」部分は編集画面上から消去されました。

※ 同様に、映像を再生しながら「終了トリミングポイントの設定」または「Ctrl+Shift+O」を行うと、設定ポイント位置以降の「麒麟」部分は編集画面上から消去されます。

「5. ファイルの保存」「6. 映像ファイルとして保存」を再度しましょう。完成です!!

動画をムービーメーカーに取り込もう (参考)

1. デジタルビデオカメラの IEEE1394 端子とパソコンの IEEE1394 端子を、IEEE1394 用のケーブルで接続します。
2. Windows ムービーメーカーを起動し、画面左のムービー作業の「1. ビデオの取り込み」の中から「ビデオデバイスからの取り込み」をクリック。
3. 取り込んだビデオファイルにつける名前と保存先を指定し、「次へ」をクリック。
4. 「コンピュータの最高の品質で再生 (推奨)」を選択し、「次へ」をクリック。
※目的に応じて画面に表示される指示に従って選択してください。
5. 取り込み方法 (テープ全体を自動 or テープの一部を手動) を選択し、「取り込み中にプレビューを表示する」にチェックを入れ、「次へ」をクリック。
6. プレビュー表示しながら取り込みが始まる。
7. 画面中央のコレクションに、いくつかの映像 (「クリップ」とムービーメーカーでは呼びます) が並びます。

以降は、**ビデオ映像をつなぎ合わせて編集しよう**を参照ください。


補足: Windows ムービーメーカーは、音声についてアフレコが可能です。テロップを入れることもできますが、表示位置や大きさの調節には制限があります。また、画面を分割したりすることはできません。本格的なビデオ編集ツールとして、「Adobe Premiere Pro」があります。このソフトでは、もっと詳細な編集を行うことができます。

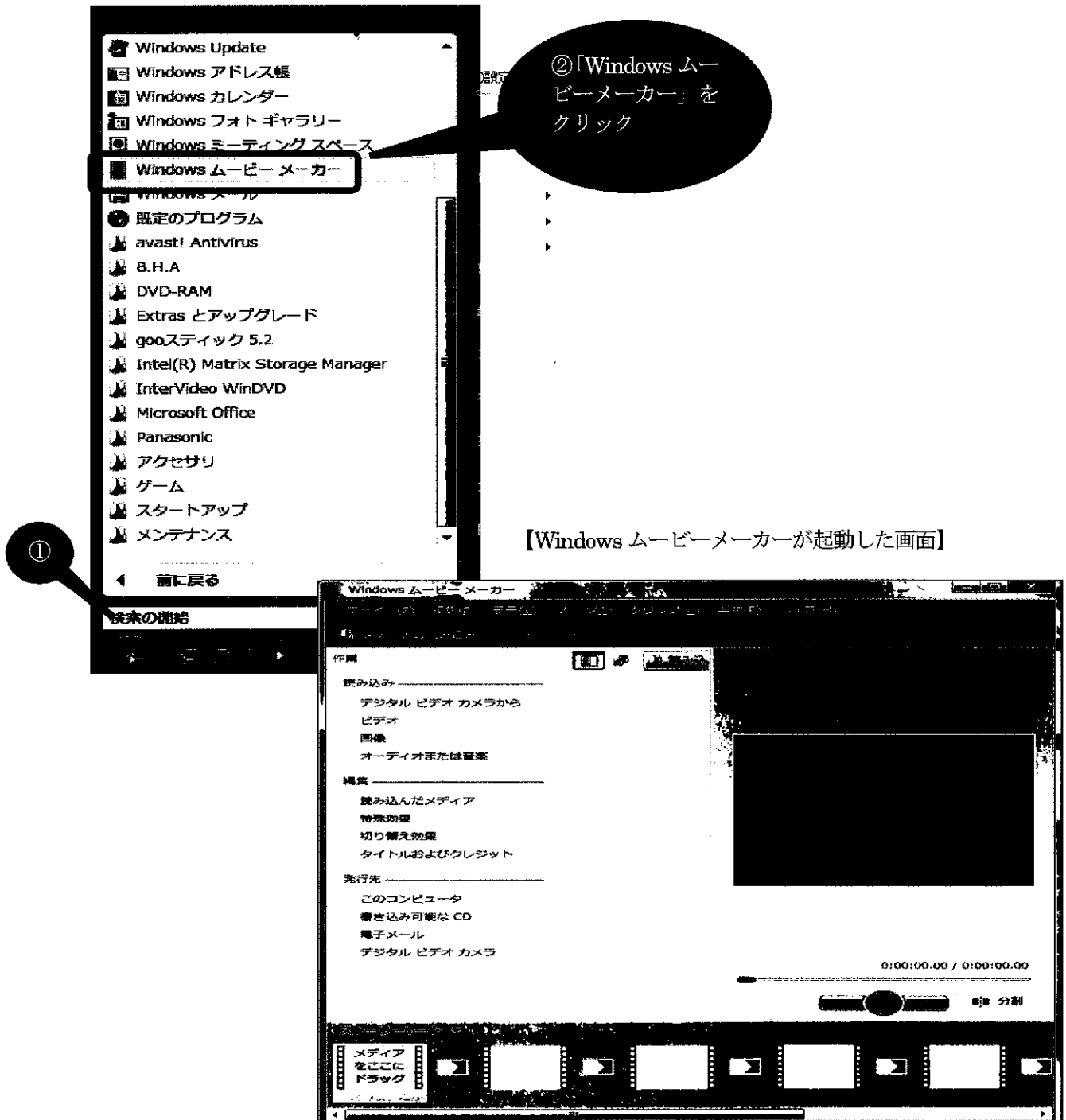
Windows VISTA



Windows ムービーメーカーは、パソコンにビデオ映像（及び静止画）を取り込み、さらに取り込んだ映像（及び静止画）をつなぎ合わせて1本の映像に編集・保存できます。任地において映像教材を作成したり、任地での活動を映像でまとめたりすることに使えます。

Windows ムービーメーカーを起動しよう

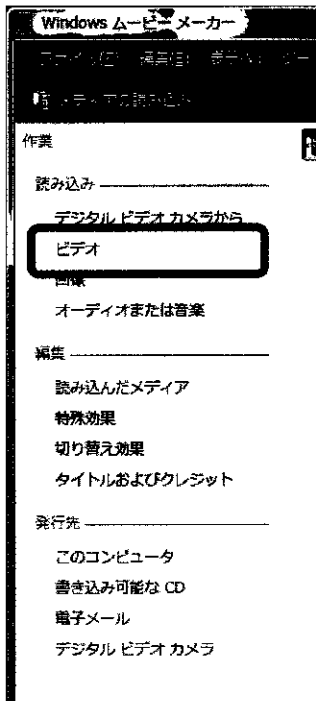
パソコンの画面左下の、①「」をクリックし、②「すべてのプログラム」にカーソルを移動し、③「Windows ムービーメーカー」をクリックします。



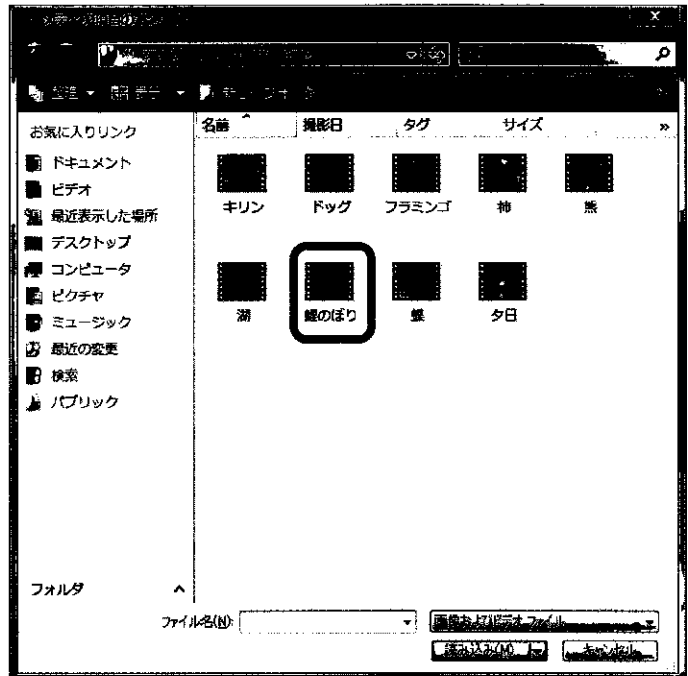
ビデオ映像をつなぎ合わせて編集しよう

1. パソコンに保存されているビデオ映像を、ムービーメーカーに取り込みます。

① 「ビデオ」 ボタンをクリック

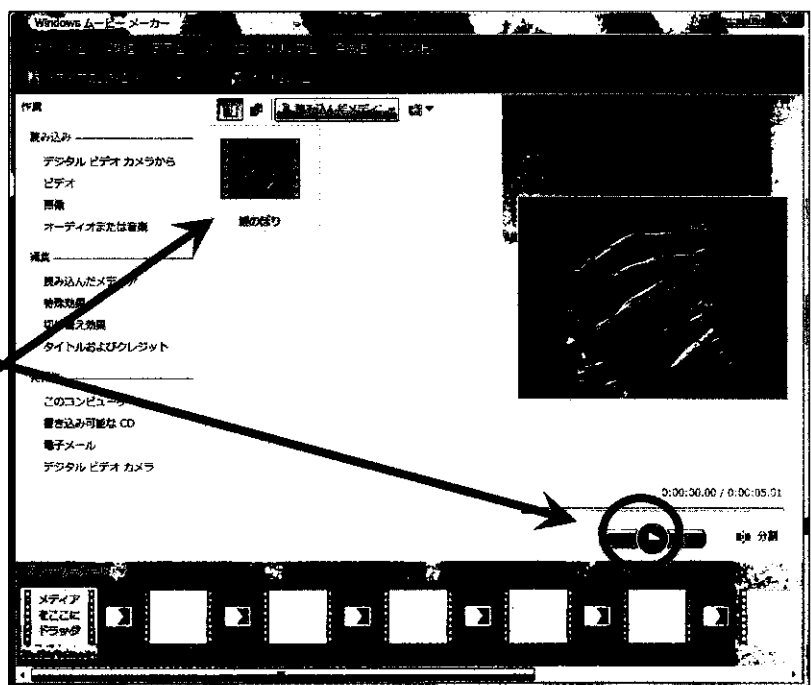


②ビデオ「鯉のぼり」を選んで、ダブルクリック。
右下の「読み込み」をクリックしてもかまいません。



再生ボタンをクリックすると、取り込んだ映像が再生されます。

※再生画面に映像が表示されていないときには、画面中央の「鯉のぼり」をクリックしてください

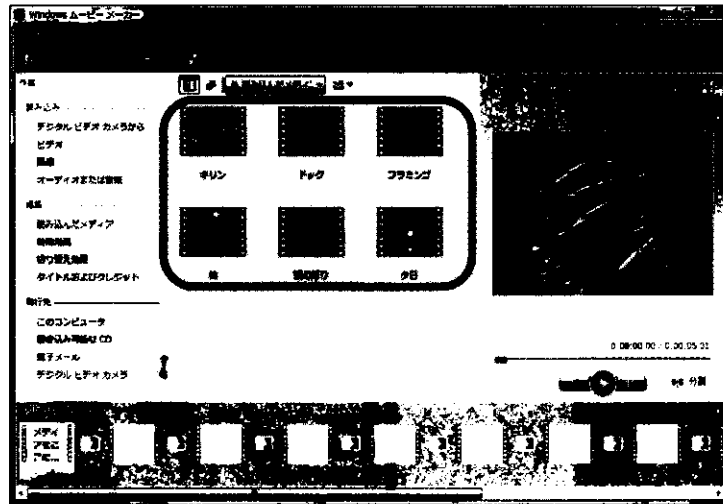


③同様に、①と②を繰り返して「キリン」、「ドッグ」、「フラミンゴ」、「柿」、「夕日」を読み込みます。

Windows VISTA

2. ビデオ映像をつなぎ合わせます。

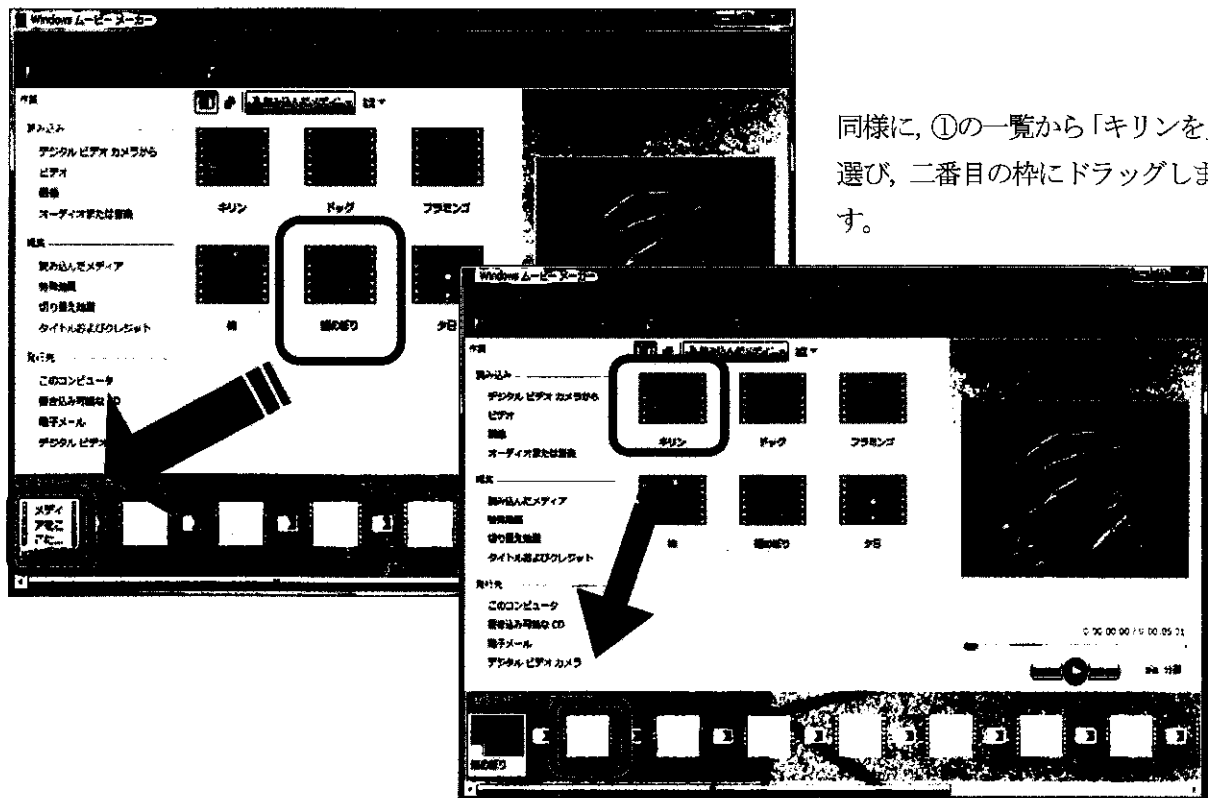
①ムービーメーカーに取り込まれた映像が表示されています。



②「鯉のぼり」、「キリン」、「ドッグ」、「フラミンゴ」、「柿」、「夕日」の順につなぎ合わせるとします。

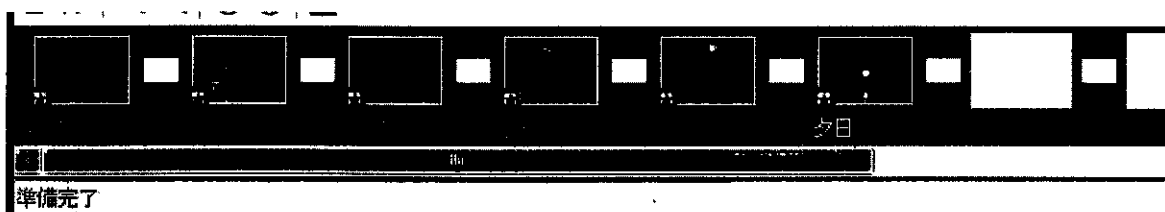
まず、①の一覧から「鯉のぼり」を選びます。

次に、「鯉のぼり」を画面左下の枠にドラッグします。



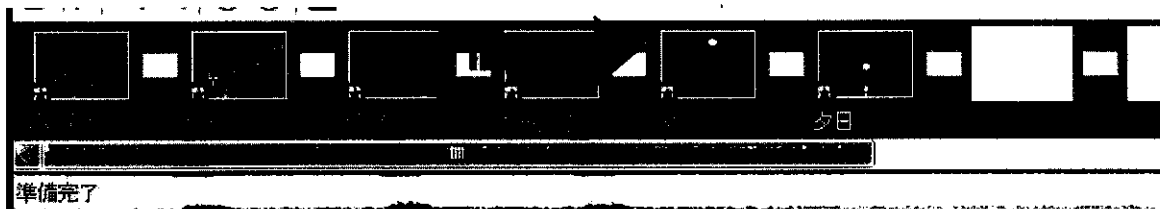
同様に、①の一覧から「キリンを」選び、二番目の枠にドラッグします。

「ドッグ」、「フラミンゴ」、「柿」、「夕日」についても同様に枠にドラッグします。

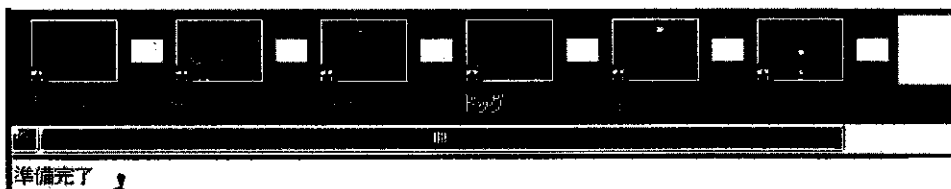


※③ビデオをつなぐ順序を、「ドッグ」、「フラミンゴ」から「フラミンゴ」、「ドッグ」へ変えたいときは、

画面下に表示されている「ドッグ」を「柿」の左横へドラッグします。

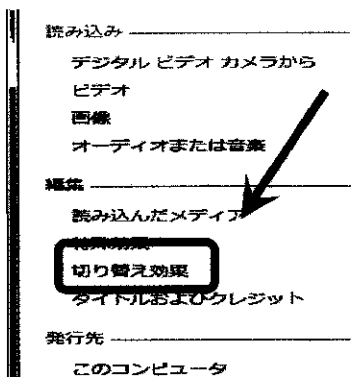


順序変更後

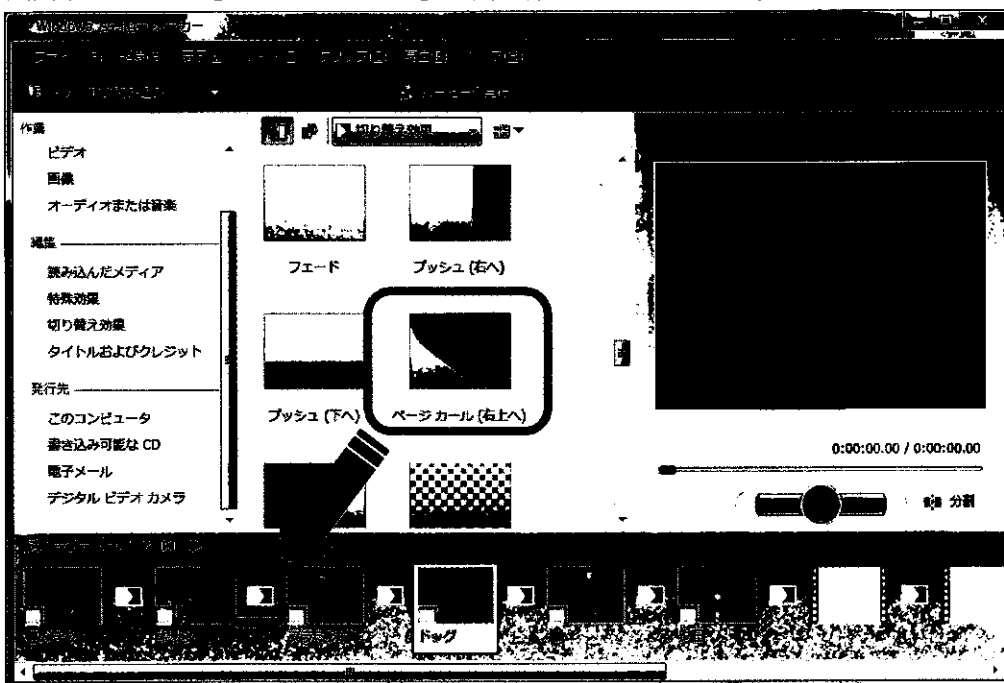


3. ビデオ映像を切り替えるときの効果をつけます。

- ① 「編集」の下にある「切り替え効果」をクリック

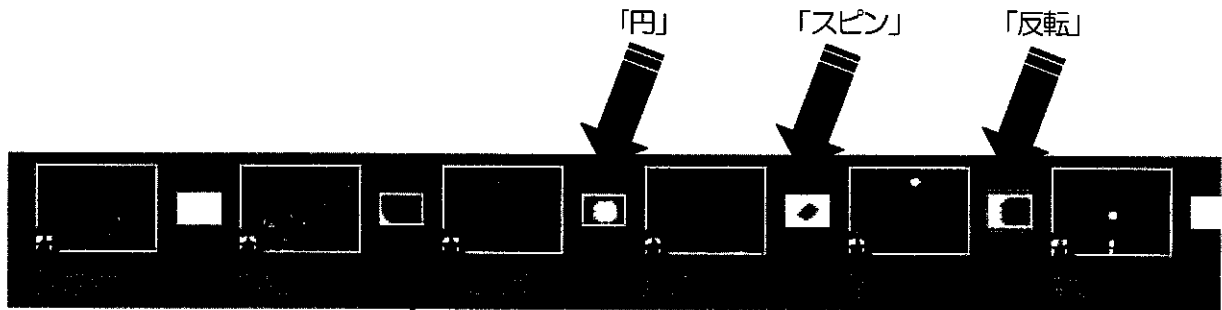


- ② 「キリン」の映像を、ページを右上へめくるようにしながら「フラミンゴ」の映像へと切り替えます。画面中央に表示される「ビデオ切替え効果」一覧の中にある、「ページカール」を画面下の「キリン」と「フラミンゴ」の間の枠にドラッグします。



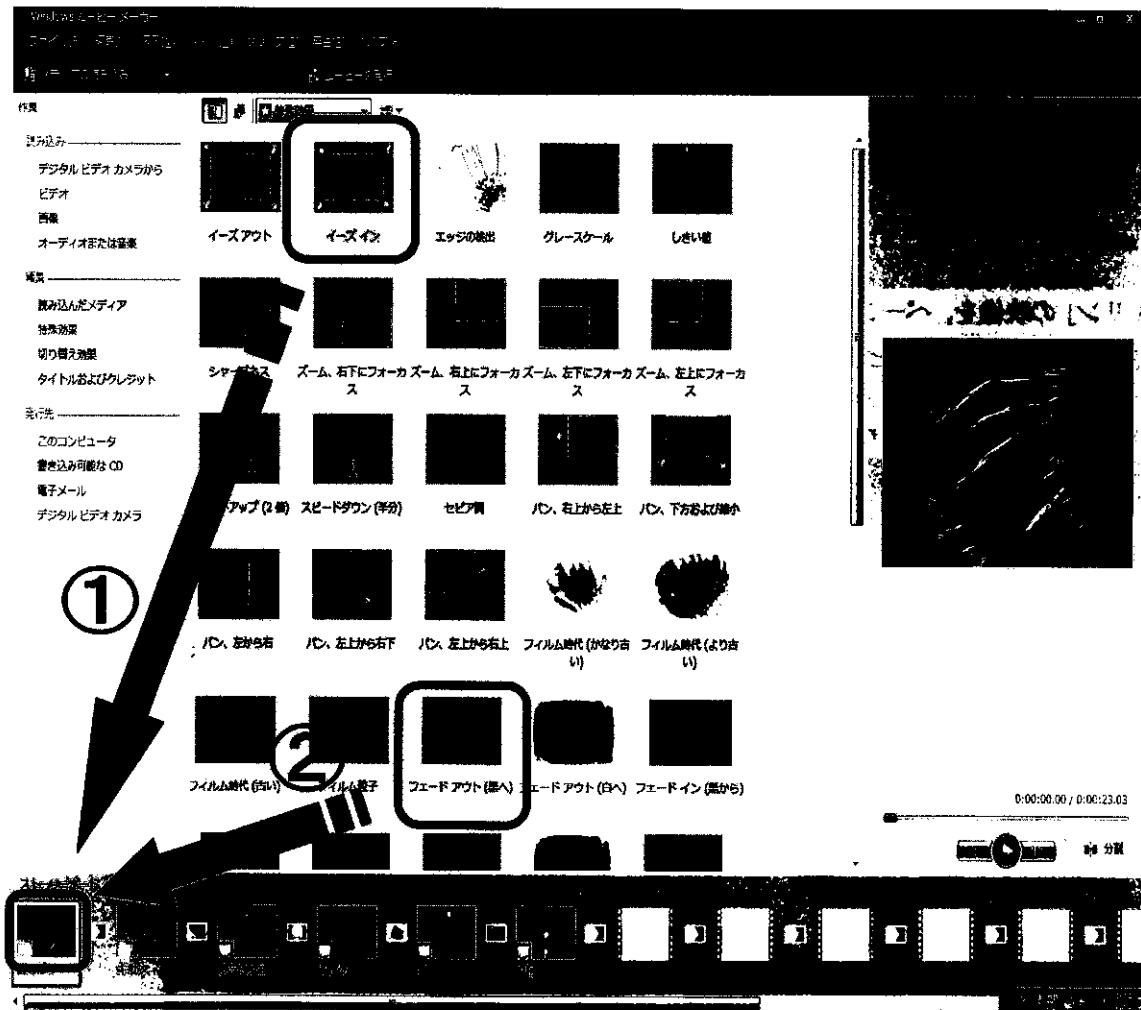
Windows VISTA

- ③同様に、ビデオ切替え効果「円」を「フラミンゴ」と「ドッグ」の間、
 ビデオ切替え効果「スピン」を「ドッグ」と「柿」の間、
 ビデオ切替え効果「反転」を「柿」と「夕日」の間、の枠にそれぞれドラッグします。

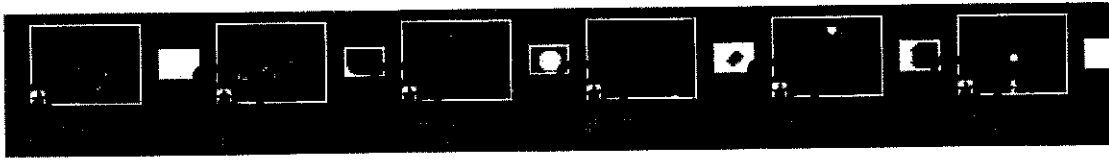


4. ビデオ映像に特殊効果をつけます。

「鯉のぼり」の映像に、「イーズイン」及び「フェードアウト(黒へ)」をつけます。



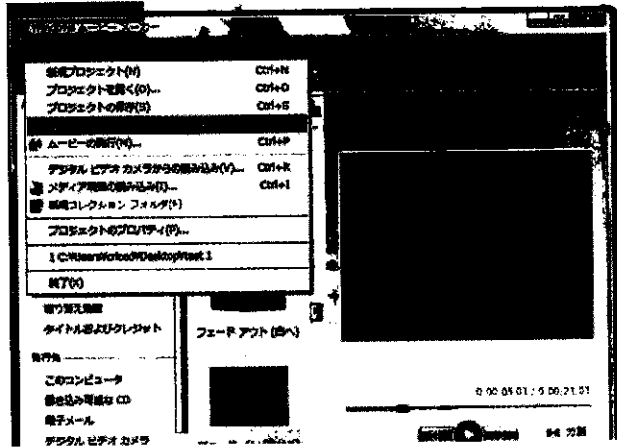
「キリン」についても、同様に、ビデオ特殊効果「フェードイン(黒から)」をつけます。



5. ファイルの保存 (Windows ムービーメーカーでは「プロジェクトの保存」と呼びます)



「ファイル」から「名前を付けてプロジェクトを保存」をクリックし、Word 文書や一太郎文書のように Windows ムービーメーカーのファイルとして保存します。

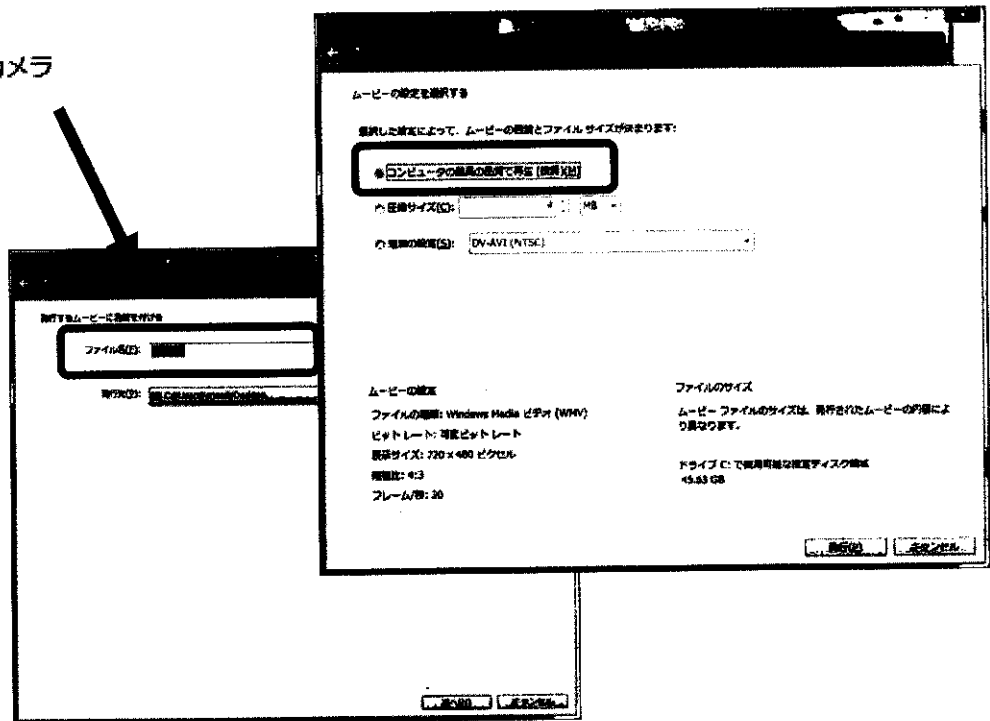


6. 映像ファイルとして保存



- 発行先
- このコンピュータ
 - 書き込み可能な CD
 - 電子メール
 - デジタル ビデオ カメラ

- ・「発行先」から「このコンピュータ」をクリック。
- ・ファイル名を入力し、保存場所を指定し、「次へ」。
- ・「コンピュータの最高の品質で再生(推奨)」を選択し、「発行」。

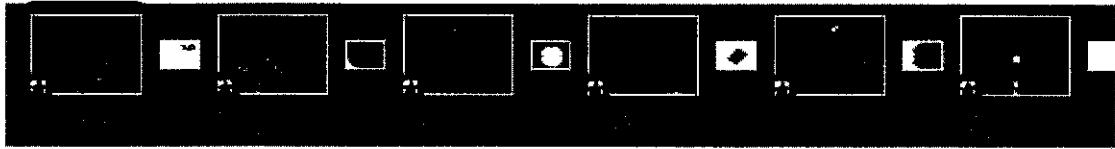


Windows VISTA

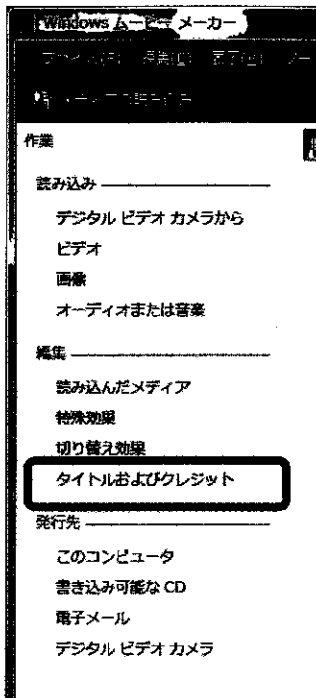
7. タイトルとクレジットをつけます。

「鯉のぼり」の映像に重ねてタイトルをつけてみましょう。

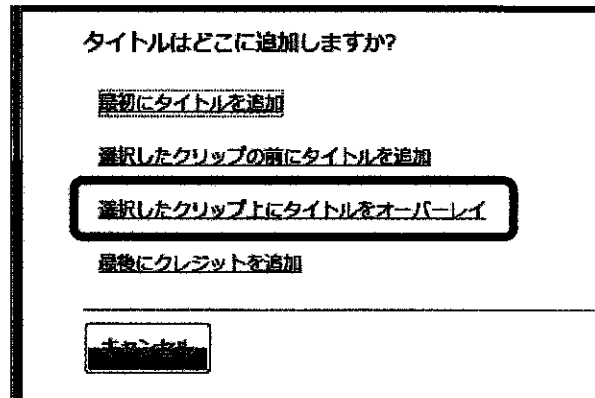
①画面下の「鯉のぼり」をクリック



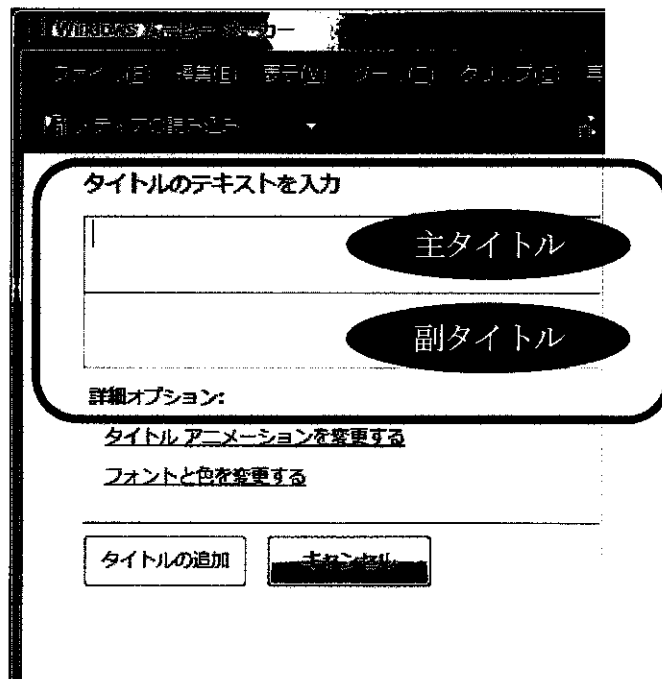
②「編集」から「タイトルおよびクレジット」をクリック



③「選択したクリップにタイトル」をクリック



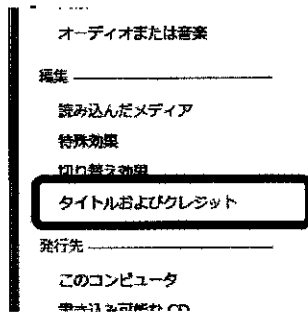
④タイトルを入力します



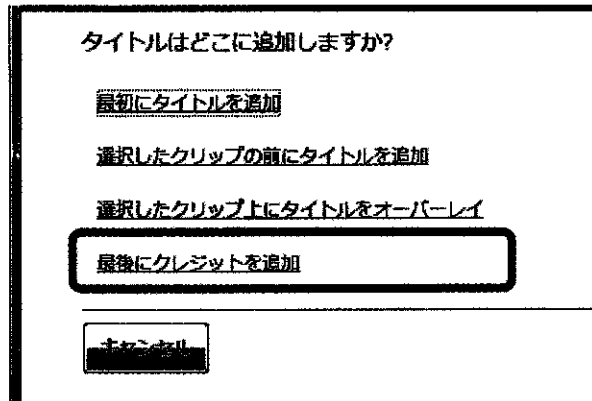
⑤「タイトルの追加」をクリック。

クレジットをつけてみましょう。

① 「ムービーの編集」から「タイトルまたはクレジットの作成」をクリック

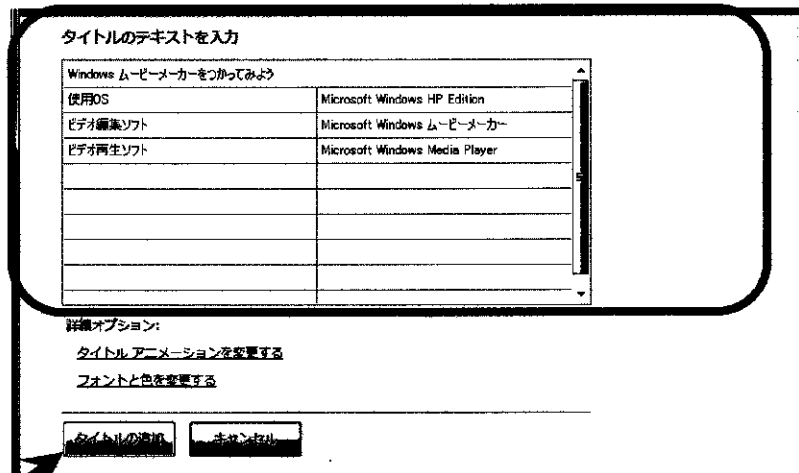


② 「最後にクレジットを追加」をクリック



③ クレジットを入力します

タイトルをムービーに追加するには、「終了」をクリックしてください。

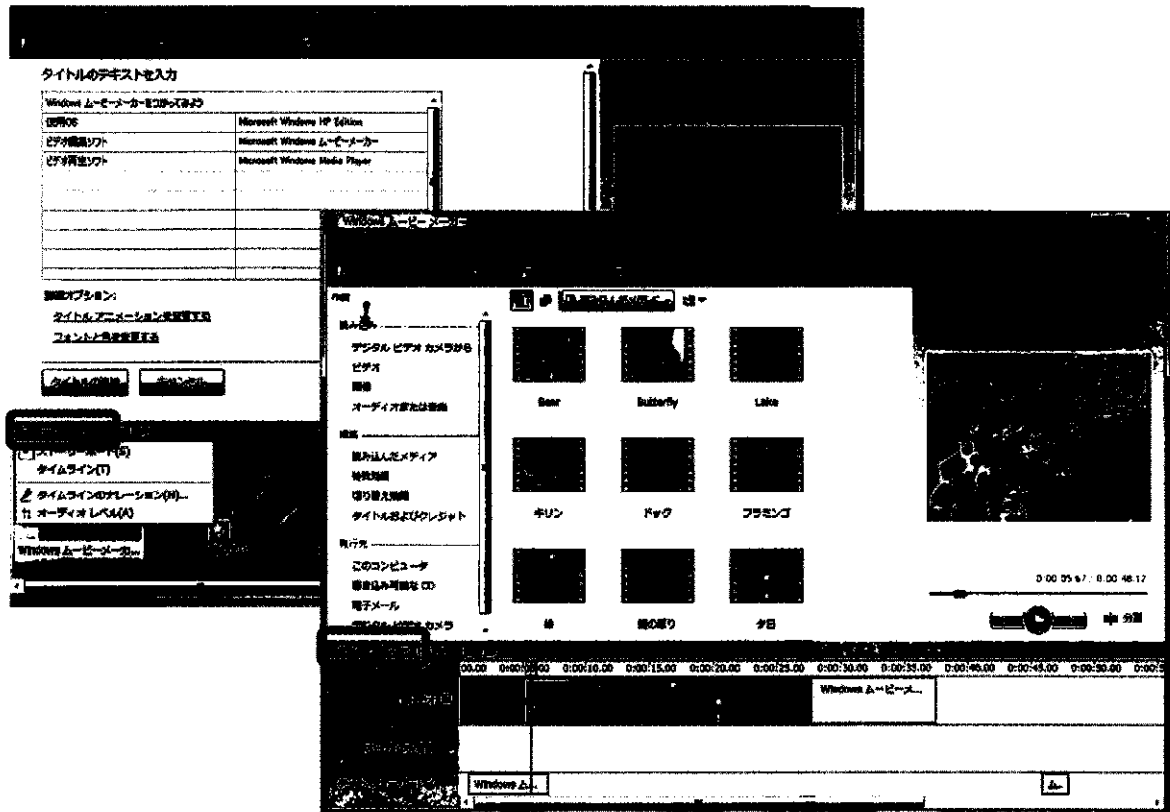


④ 「タイトルの追加」をクリック。

Windows VISTA

8. 全体の微調整をします。

- ① 「ストーリーボードの表示」をクリック。画面下の表示が「タイムライン」に切り替わる。



- ② タイトルを表示する時間帯を変更する

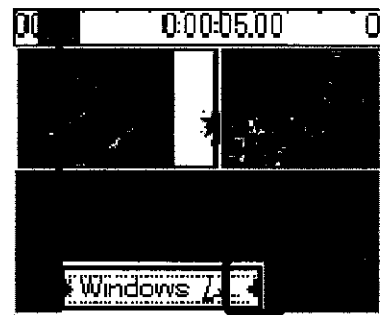
「タイトルオーバーレイ」のタイトル部分をクリック



左端をドラッグして、「鯉のぼり」の途中から開始に変更



右端もドラッグして
「麒麟」の途中で終了に変更

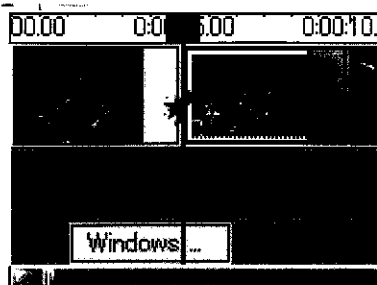


Windows VISTA

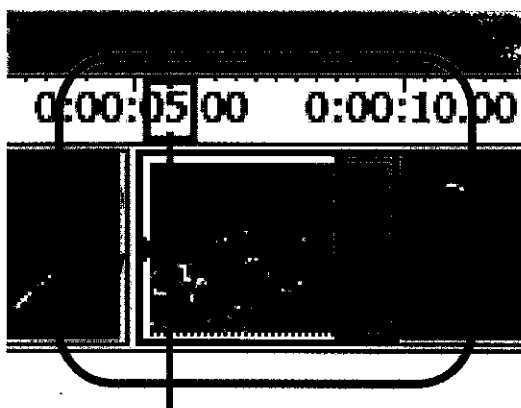
③映像の中から必要な箇所だけを採用する（トリミング）

「キリン」の先頭部分を削除してみましょう。

映像を選択します。



「クリップ」の両脇をドラッグすることでトリミングできます。



「5. ファイルの保存」「6. 映像ファイルとして保存」を再度しましょう。完成です!!

Windows VISTA

動画をムービーメーカーに取り込もう (参考)

1. デジタルビデオカメラの IEEE1394 端子とパソコンの IEEE1394 端子を、IEEE1394 用のケーブルで接続します。(SD カードを使うこともできます)
2. Windows ムービーメーカーを起動し、画面左のムービー作業の「1. ビデオの取り込み」の中から「ビデオデバイスからの取り込み」をクリック。
3. 取り込んだビデオファイルにつける名前と保存先を指定し、「次へ」をクリック。
4. 「コンピュータの最高の品質で再生 (推奨)」を選択し、「次へ」をクリック。
※目的に応じて画面に表示される指示に従って選択してください。
5. 取り込み方法 (テープ全体を自動 or テープの一部を手動) を選択し、「取り込み中にプレビューを表示する」にチェックを入れ、「次へ」をクリック。
6. プレビュー表示しながら取り込みが始まる。
7. 画面中央のコレクションに、いくつかの映像 (「クリップ」とムービーメーカーでは呼びます) が並びます。

以降は、**ビデオ映像をつなぎ合わせて編集しよう**を参照ください。

補足: Windows ムービーメーカーは、音声についてアフレコが可能です。テロップを入れることもできますが、表示位置や大きさの調節には制限があります。また、画面を分割したりすることはできません。本格的なビデオ編集ツールとして、「Adobe Premiere Pro」があります。このソフトでは、もっと詳細な編集を行うことができます。

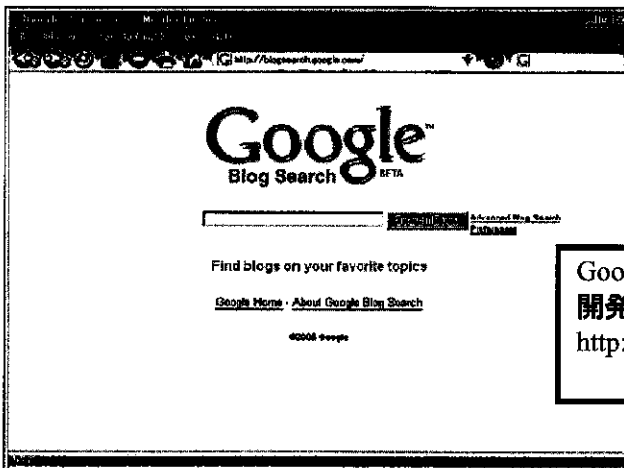
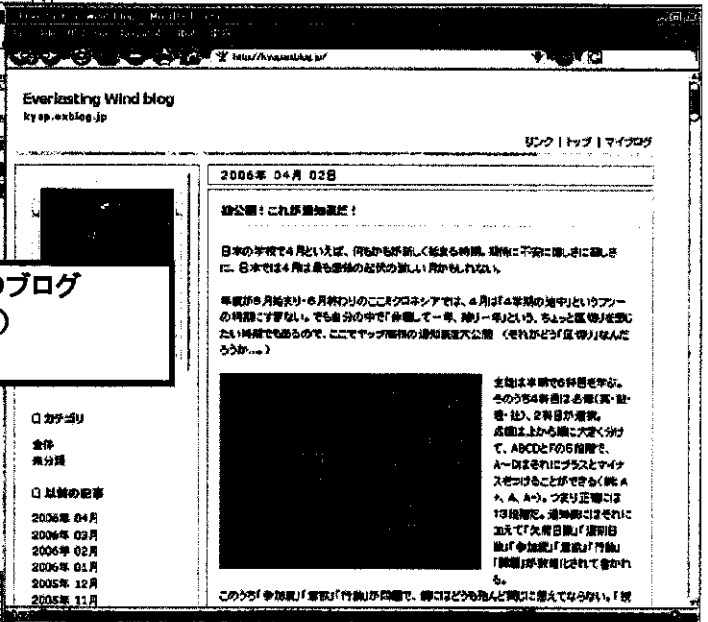
ブログを作ろう！！

ブログ (Weblog) は、インターネット上で構築できる日記形式のWeb サイトです
 Web ページを作成するために必要なHTML 言語の知識がなくても簡単に作成できます
 多くのポータルサイト(Yahoo! Japan, MSN Japan, Livedoor, etc.)では無料で作成できます



ブログ作成に必要なもの:
 インターネット接続

平成17 年度1 次隊小川建治先生(ミクロネシア)のブログ
<http://kyap.exblog.jp/> (エキサイトを使っています)

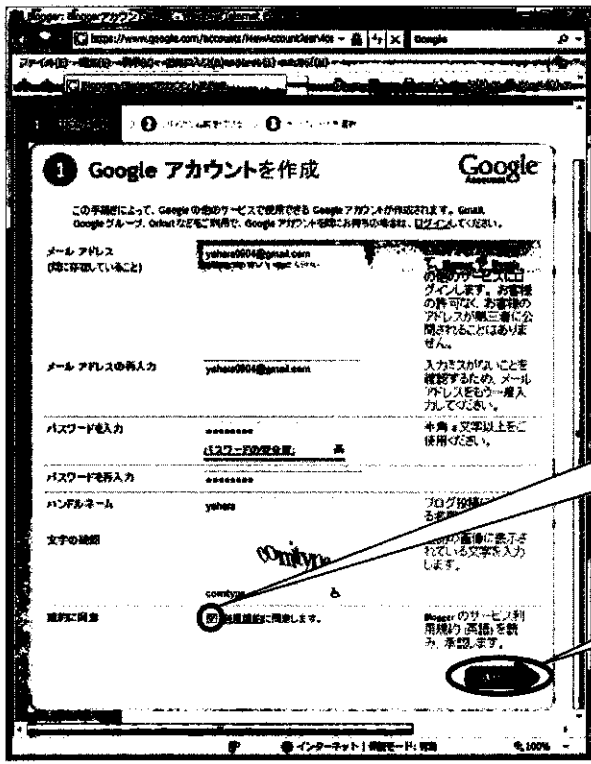
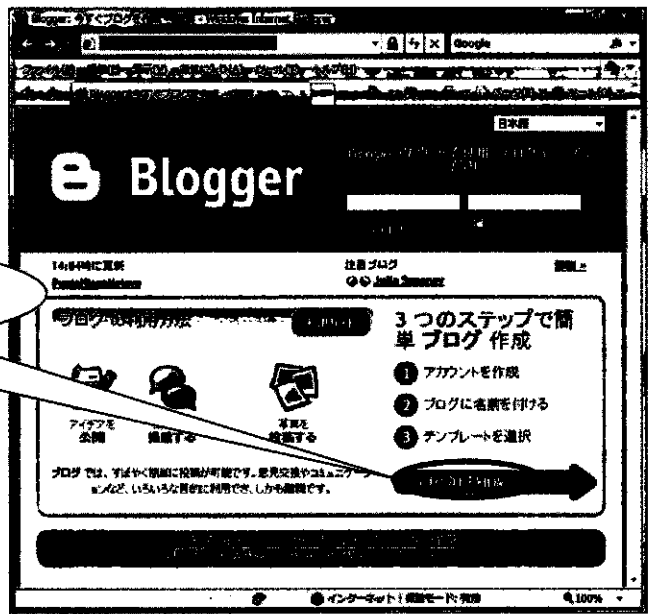


Google ではブログのみの検索エンジンも
 開発されています
<http://blogsearch.google.com/>

ブログを開設しよう (blogger の場合)

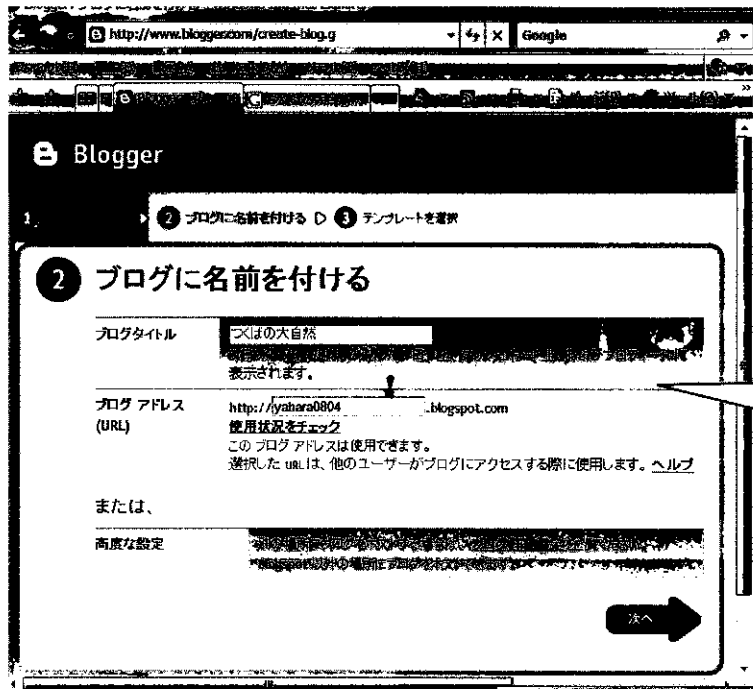
https://www.blogger.com/

1. https://www.blogger.com/ にアクセスし、「今すぐブログを作成」をクリック

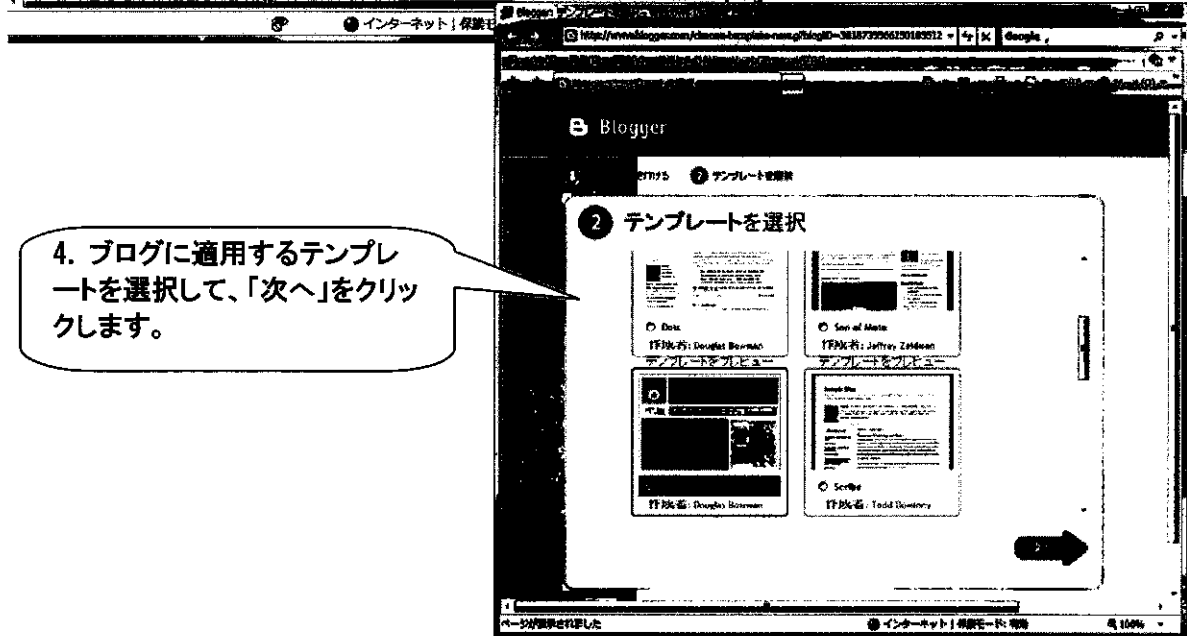


2. 「利用規約に同意します。」をクリック

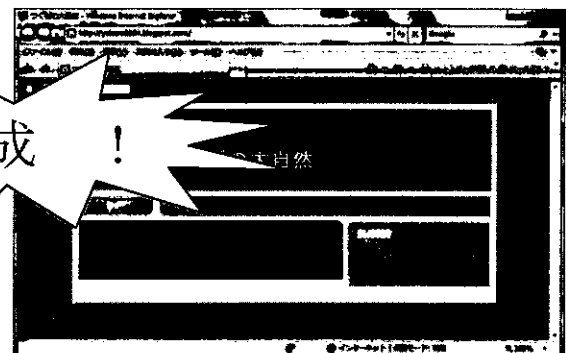
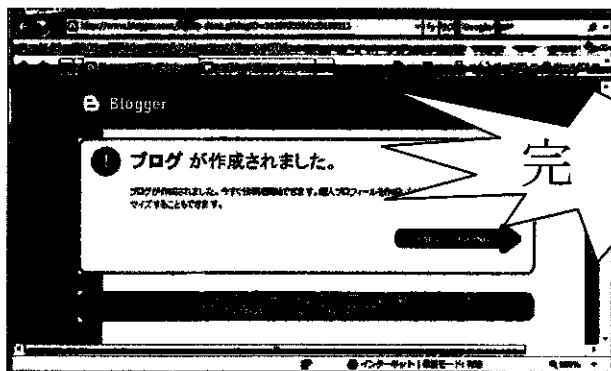
3. 必要事項を記入して、「次へ」をクリック



3. ブログのタイトル、アドレスを記入して、「次へ」をクリックします。



4. ブログに適用するテンプレートを選択して、「次へ」をクリックします。



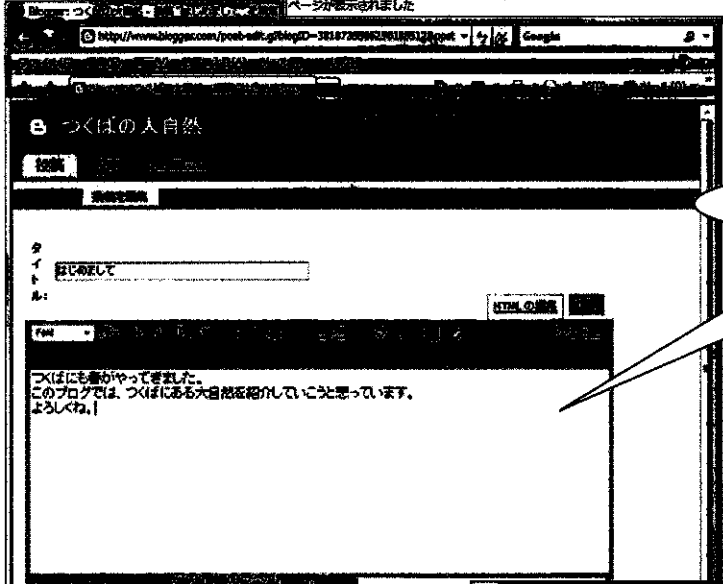
完成!

記事を投稿しよう

1. 「投稿(Atom)」をクリック



2. 投稿内容を書き込みます




3. 送信

4. できあがり

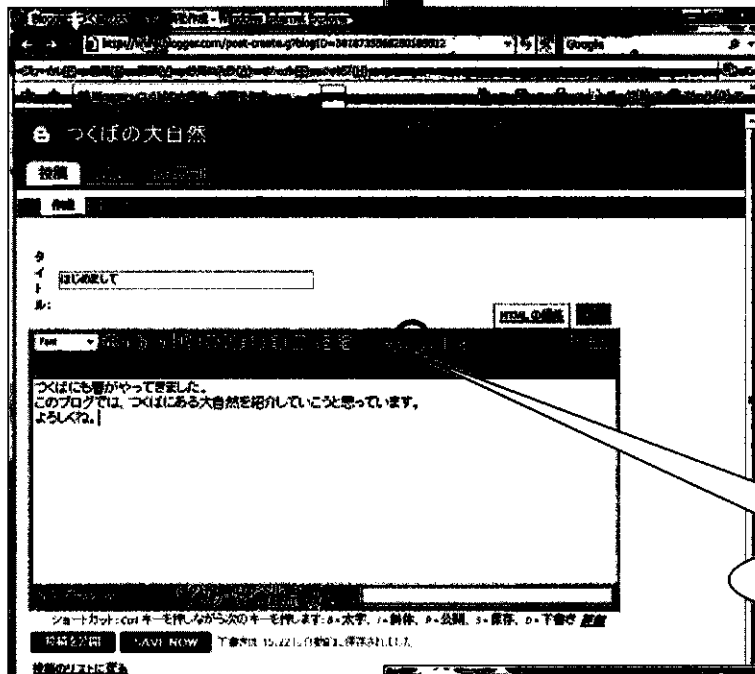


画像を投稿しよう

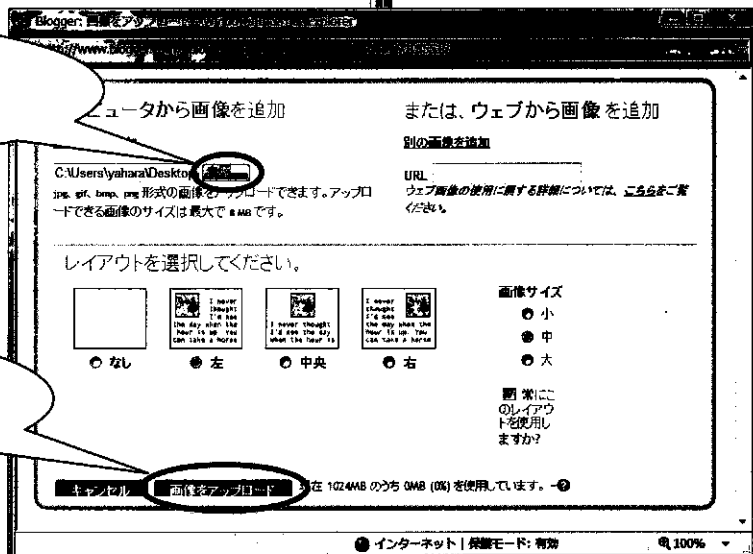
1. 画像を入れようとするコメントの  ボタンをクリック



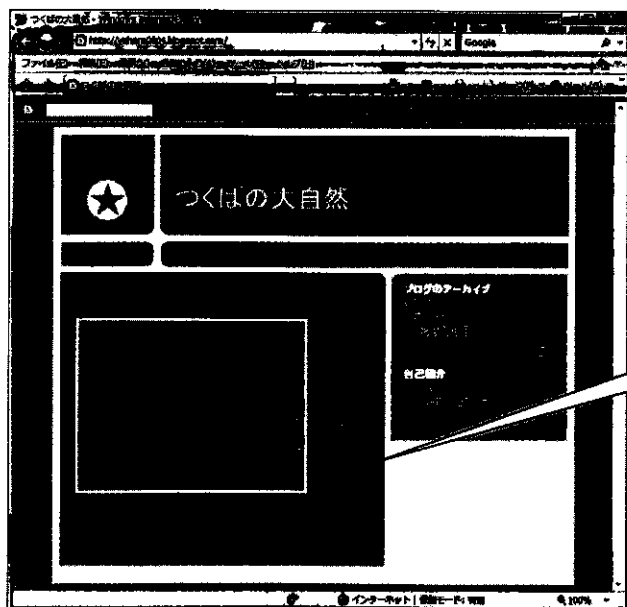
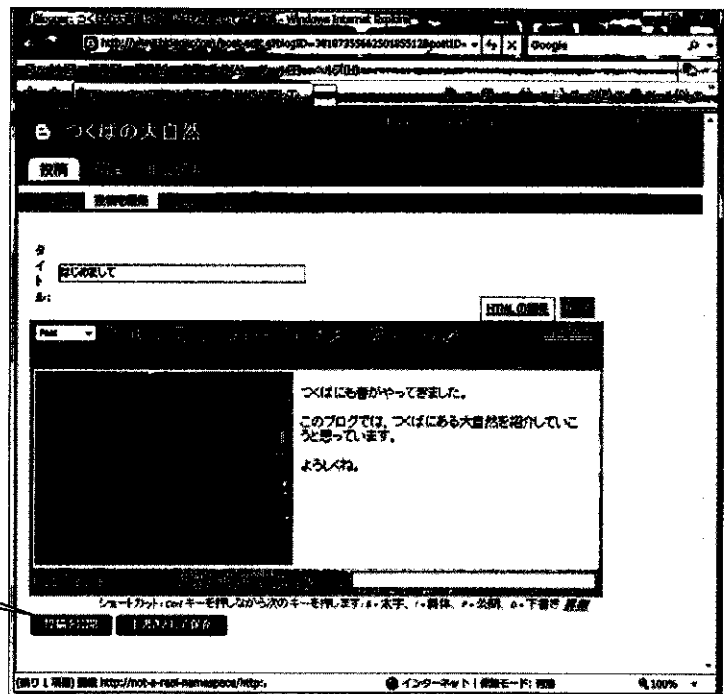
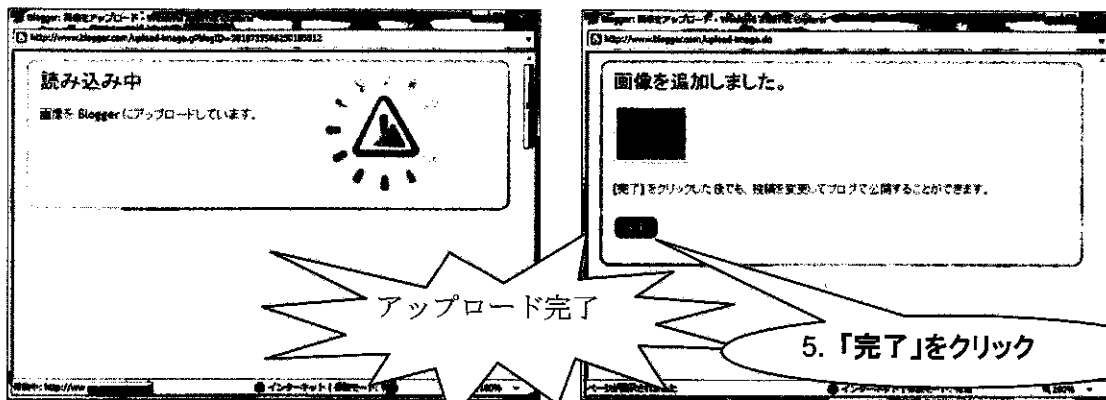
2.  ボタンをクリック



3. 参照ボタンをクリックして、画像ファイルを選択




4. 「画像のアップロード」をクリック



記事を編集・修正しよう

希望例:表示される画像が大きすぎる。もっと小さくしたい!

1. コメントの  ボタンをクリック

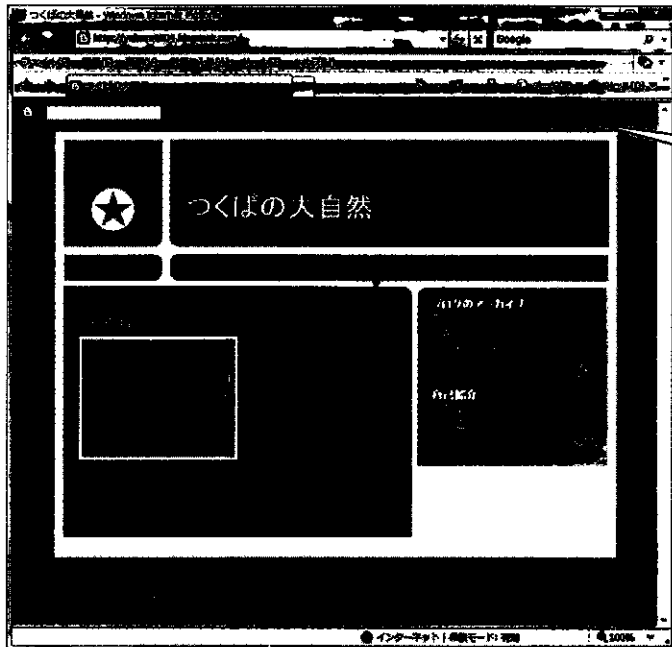
2. 画像を選択すると、画像の周りに□マークが出るので、右下の□をドラッグして大きさを調整する

3. 「投稿を公開」をクリック

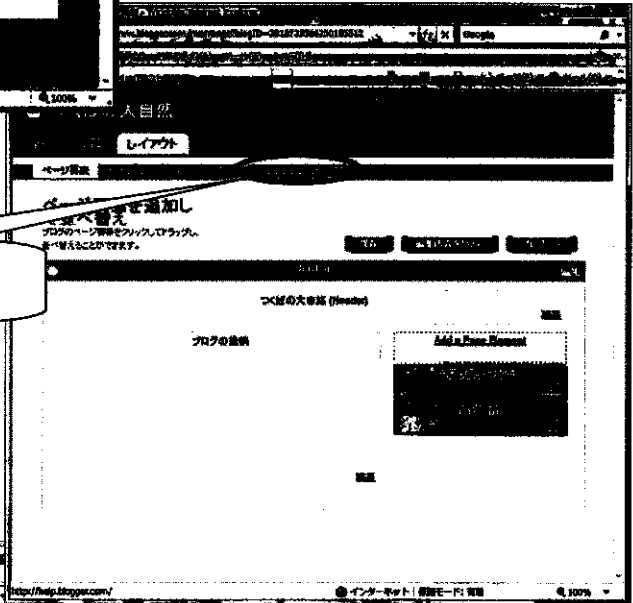
4. できあがり

ブログをカッコよくしよう (ブログの設定)

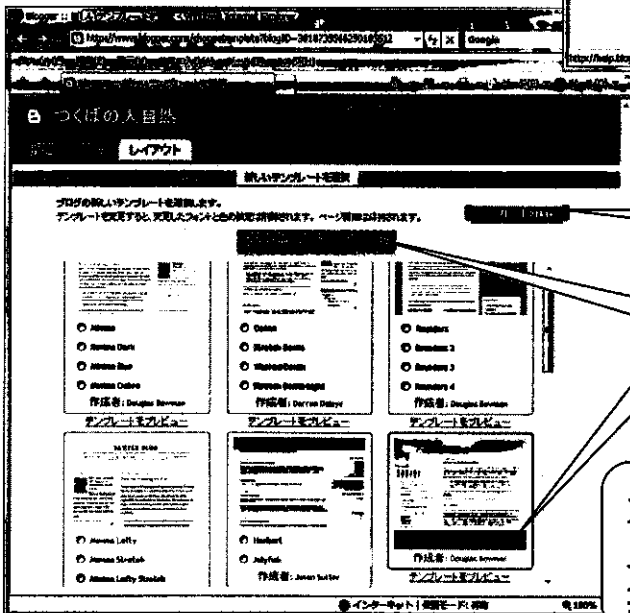
希望例: もっとサファリっぽくしたい!



1. 「カスタマイズ」をクリック



2. 「新しいテンプレートを選択」をクリック



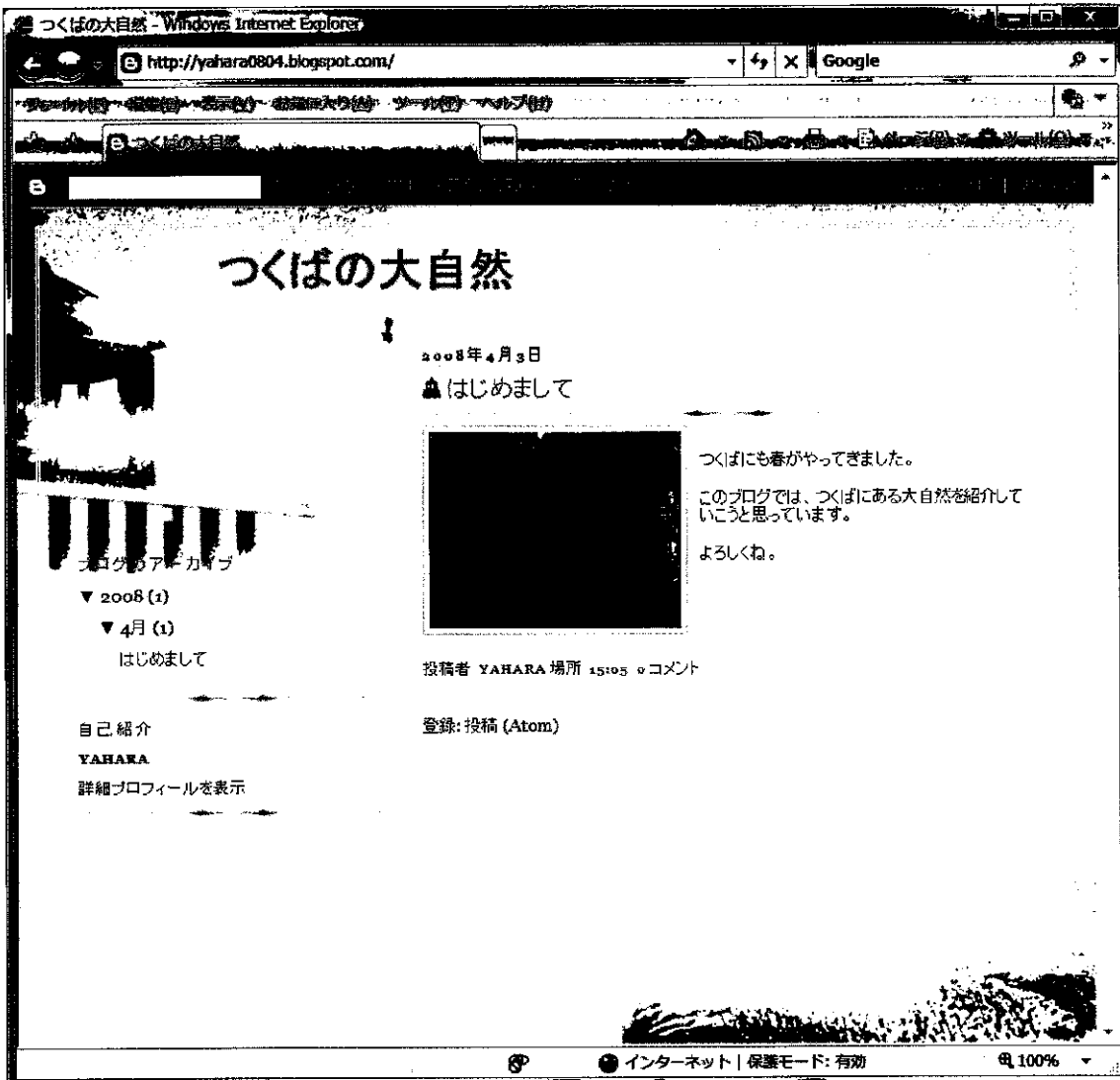
3. 「Harbor」を選択

4. 「テンプレートを保存」をクリック

5. 「ブログを表示」をクリック

スキンはより細かくカスタマイズできます。興味のある方は「編集」からカスタマイズしてみてください。
要HTML, CSS 知識。

完成！



参考

エキサイト以外のポータルサイトでも無料でブログを作成できます。サイトによってデザイン等、設定できるものが異なりますので、色々試してみてください。以下、参考ブログサイトです。

- <http://www.excite.co.jp/>
- <http://blog.livedoor.jp/>
- <http://blog.goo.ne.jp/>
- <http://blogs.yahoo.co.jp/>

ICT 研修 参考資料

Yahoo! メッセンジャーを利用したネットミーティング

Windows Live メッセンジャーを利用したネットミーティング

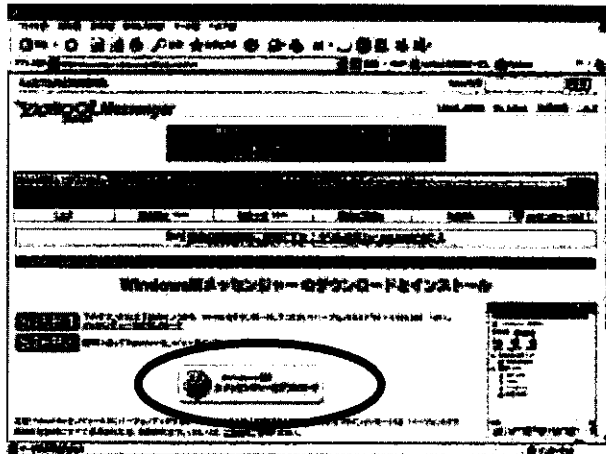
(旧 MSN メッセンジャー)

YAHOO! Messenger JAPAN

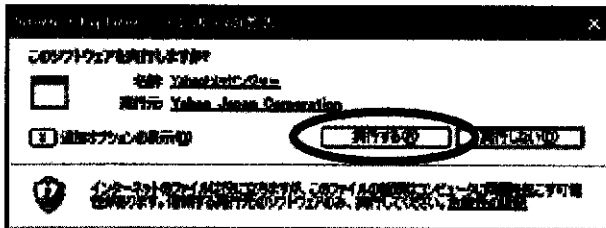
Messenger では、テレビ電話のように話
をすることができます。派遣隊員同士で
の情報交換や、帰国隊員との連絡、さら
には派遣先の教室と勤務校とをつないで
インターネットライブ授業等も行えます。

Yahoo! メッセンジャーを使えるようにしよう

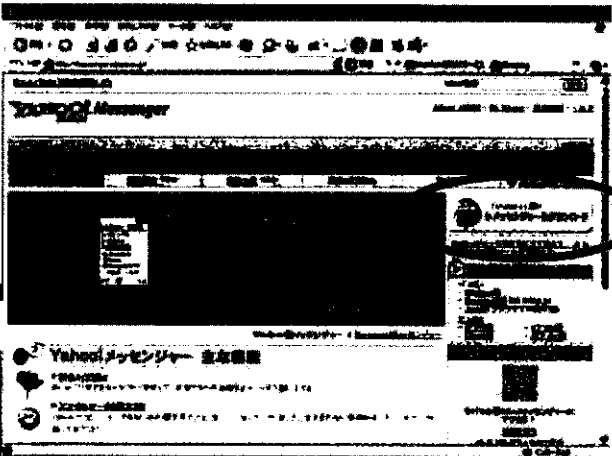
1. <http://messenger.yahoo.co.jp/> にアクセスし、
「いつでもどこでもメッセンジャーから
Windows 版」をクリックします。



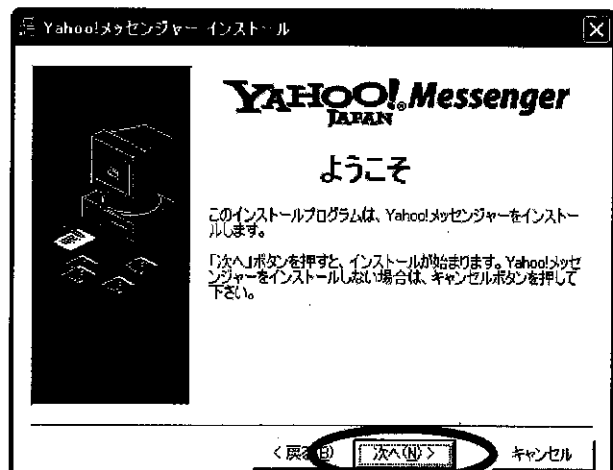
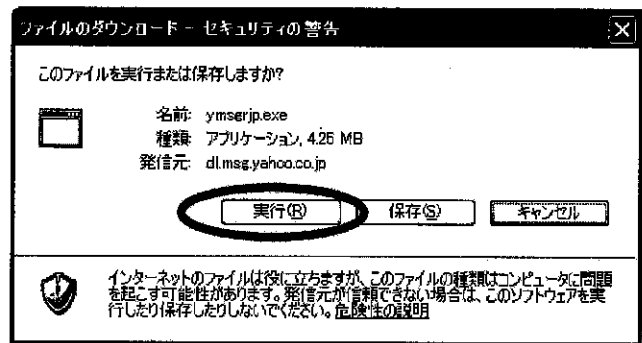
3. 「実行する」をクリックします。

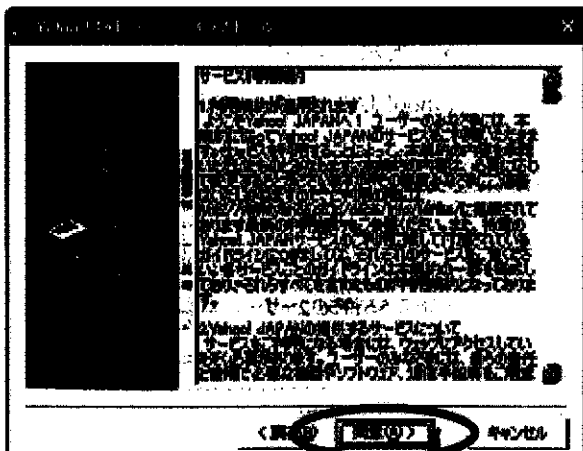


4. 「次へ」をクリックします。



2. STEP1, STEP2 の指示に従い、「(Windows 版)
メッセンジャーをダウンロード」をクリック。



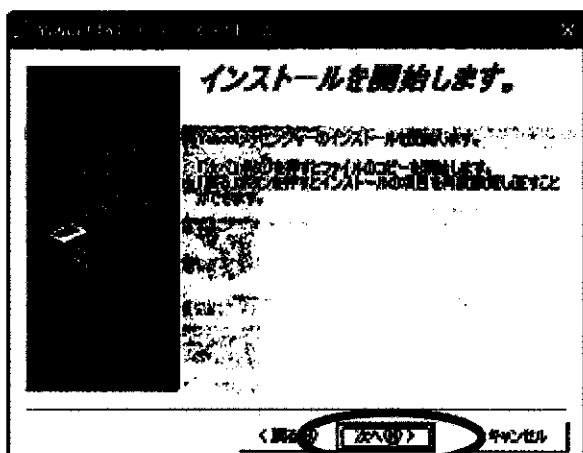


5. サービス利用規約について、「同意」をクリックします。

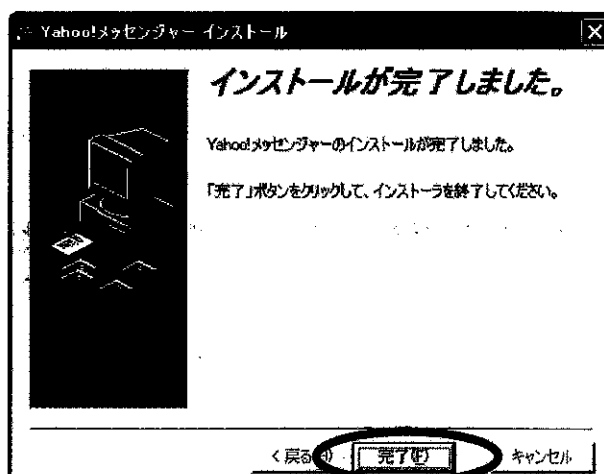
6. インストール先フォルダの選択と表示されたら、「次へ」をクリックします。
(※フォルダを変更することもできます)



7. 「インストールを開始します。」と表示されたら「次へ」をクリックします。



8. 「インストールが完了しました。」と表示されたら、「完了」をクリックします。



9. 「Yahoo! JAPAN ID」をお持ちの方は、ID とパスワードを入力。(次頁へお進み下さい)
 「Yahoo! JAPAN ID」をお持ちでない方は、「Yahoo! JAPAN ID を取得」をクリック。
 <「Yahoo! JAPAN ID」あり> <「Yahoo! JAPAN ID」なし>

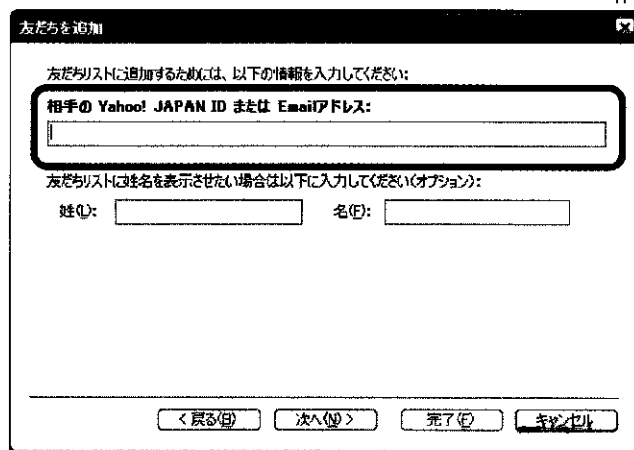
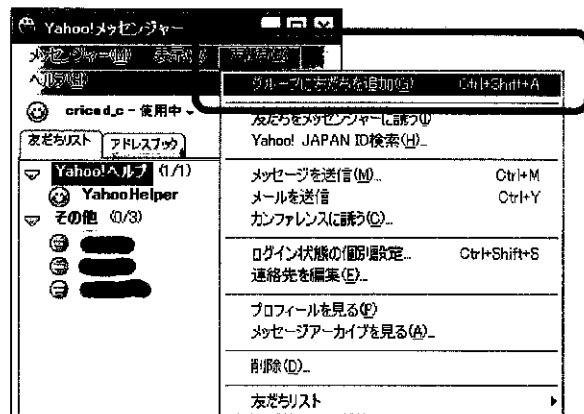
(次頁へお進み下さい)

10. 必要事項を入力し、「利用規約に同意して登録する」をクリックします（「Yahoo! JAPAN ID を取得」する方の手続きです）。

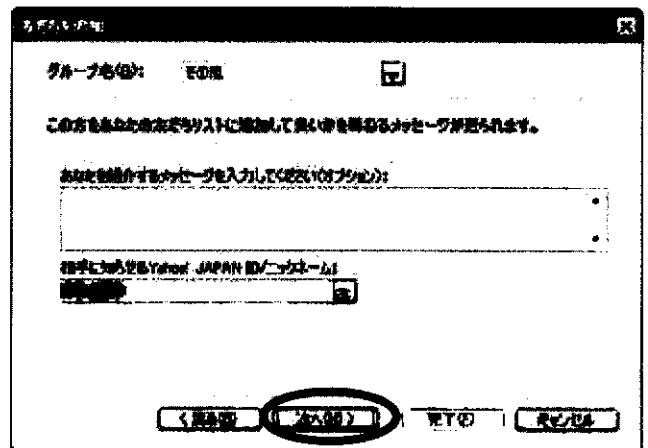
11. Yahoo! JAPAN ID 登録完了の画面で、情報を確認したら、画面右上の「× (赤地に白字)」をクリックして画面を閉じます。10の画面でID とパスワードを入力します。(次頁へお進み下さい)

Yahoo! メッセンジャーのメンバを追加しよう

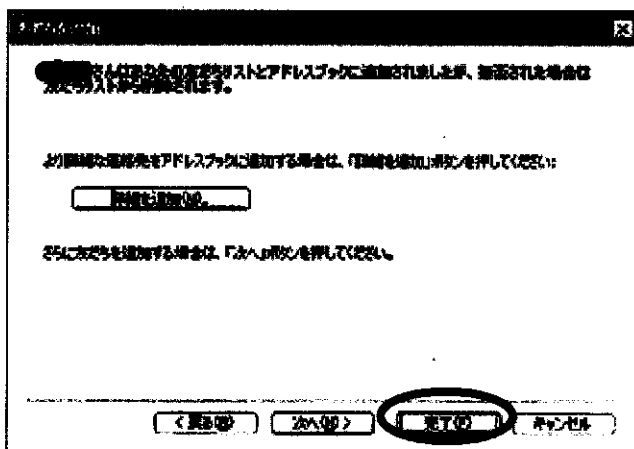
1. 「友だち」メニューから「グループに友だちを追加」をクリックします。



2. 相手の「Yahoo! JAPAN ID」または「E-mail アドレス」を入力し、「次へ」をクリックします。



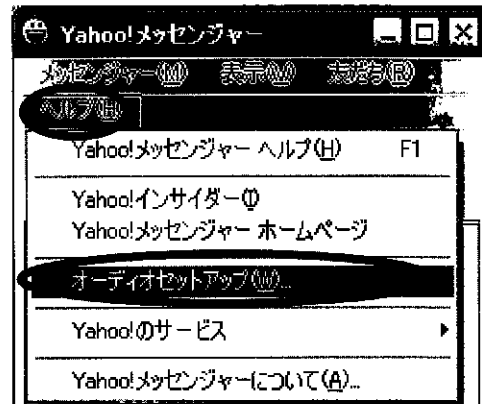
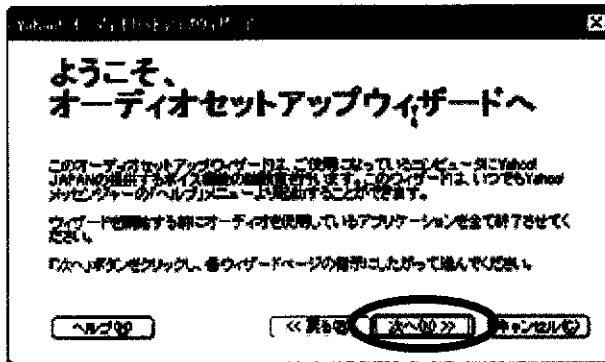
3. 相手に、あなたを紹介するメッセージを入力することもできます。「次へ」をクリックしてください。



4. 「完了」をクリックします。(友だちを複数追加するときは、「次へ」をクリックし、最後に「完了」をクリックします。)

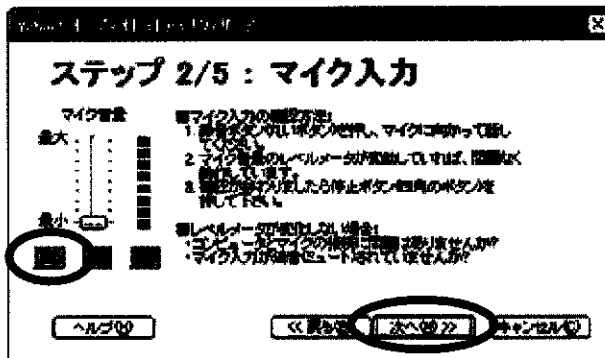
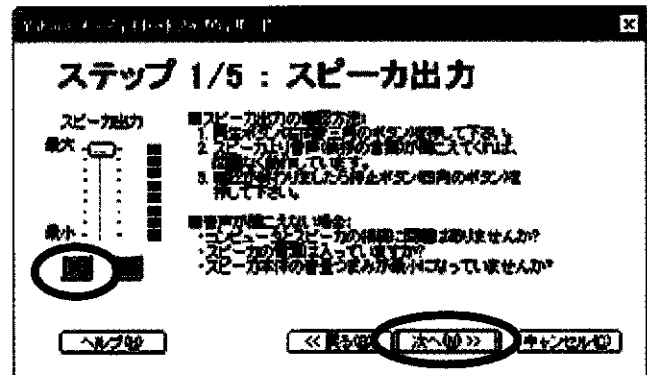
ヘッドセットを設定しよう

1. 「ヘルプ」メニューから「オーディオセットアップ」をクリックします。



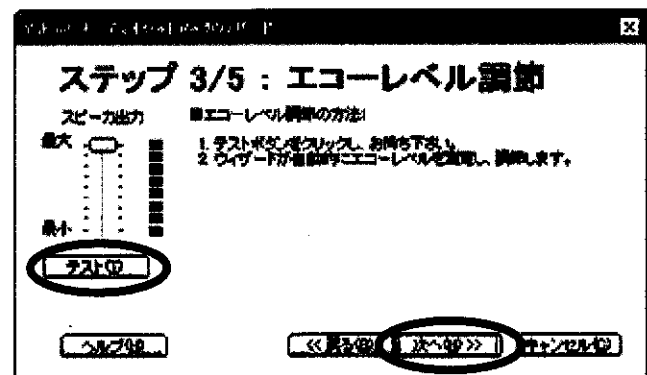
2. 「オーディオセットアップウィザード」が表示されたら「次へ」をクリックします。

3. スピーカーもしくはヘッドフォンの音声出力について確認します。画面左の「右向き三角ボタン」をクリックしてよければ、「次へ」をクリックします。

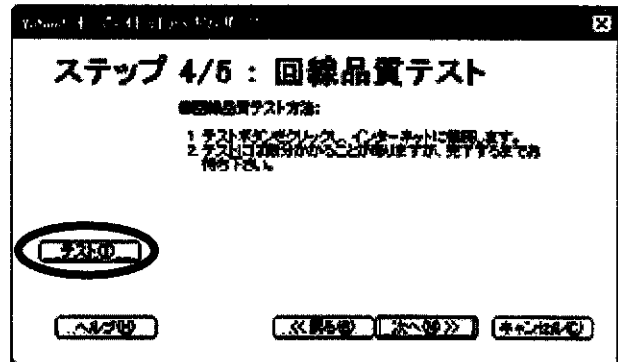
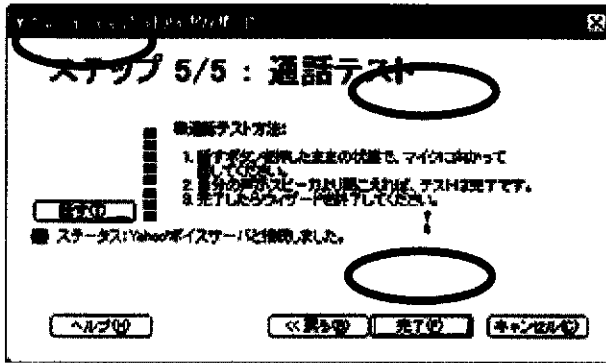


4. マイク入力について確認します。よければ画面左の「丸いボタン」をクリックしてよければ、「次へ」をクリックします。「次へ」をクリックします。

5. エコーレベルについて確認します。テストボタンを押して、指示を確認し、「次へ」をクリックします。



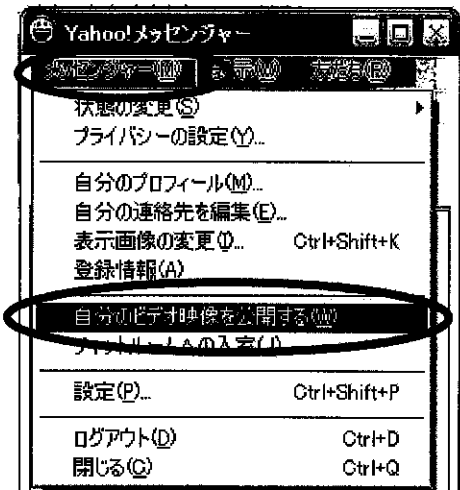
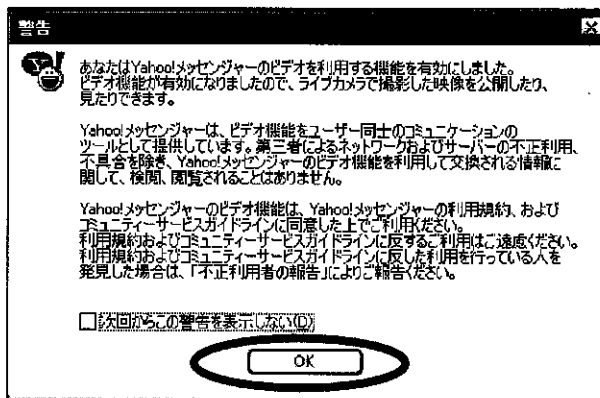
6. 回線の品質について確認します。テストボタンを押して、指示を確認し、「次へ」をクリックします。



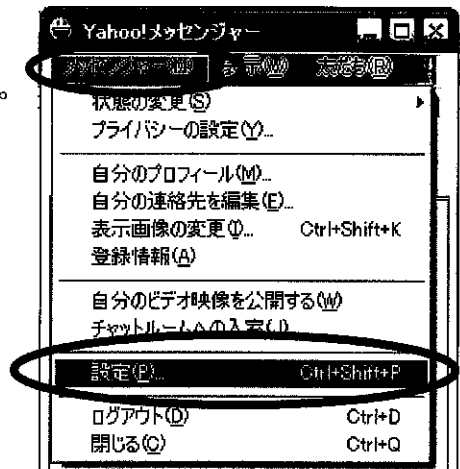
7. 通話について確認します。話すボタンを押してよければ、「完了」をクリックします。

Web カメラを設定しよう

8. 「メッセージャー」メニューから「自分のビデオ映像を公開する」をクリックします。警告画面が表示されたら「OK」をクリックします。(画面に自分自身のビデオ映像が表示されます)

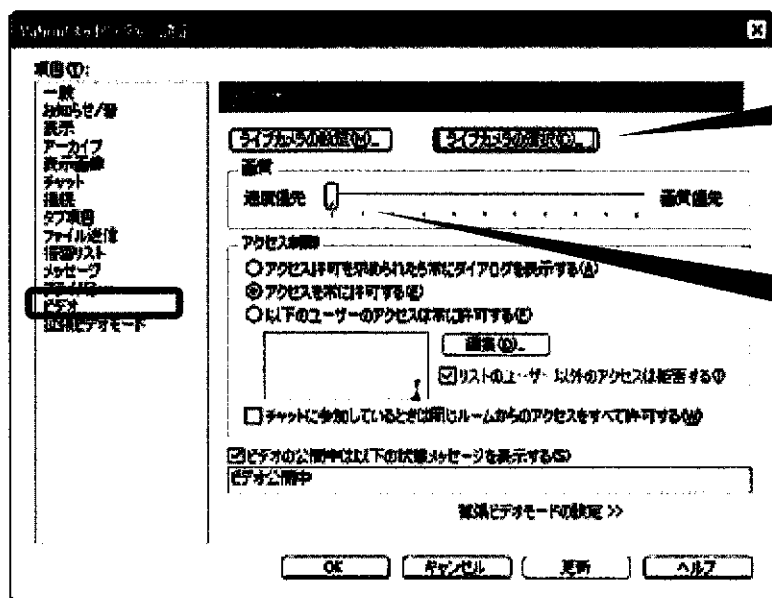


9. 「メッセージャー」メニューから「設定」をクリックします。



10. 「ビデオ」をクリックし、「ライブカメラの選択」で「Logitech QuickCam Pro 4000」を選択します。

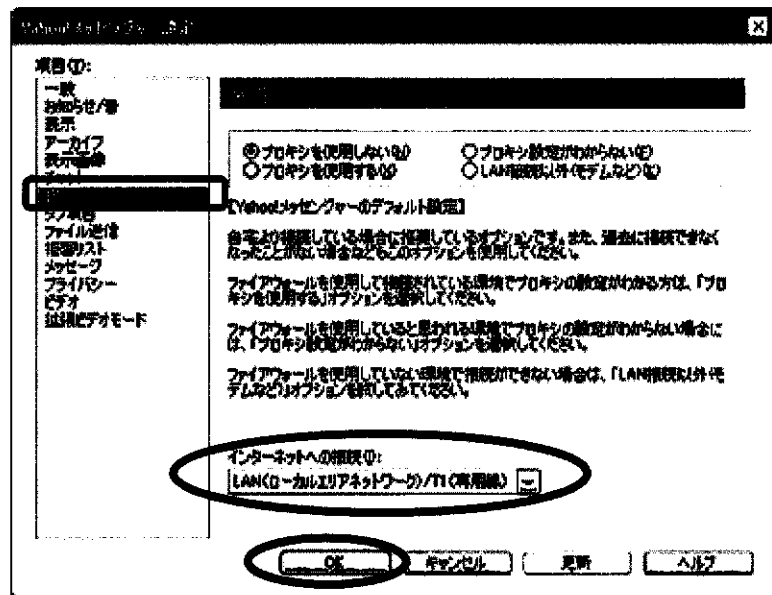
また、速度を優先するか画質を優先するかを指定します。



Logitech QuickCam Pro 4000 を選択

通信回線が遅い環境下では、速度を優先

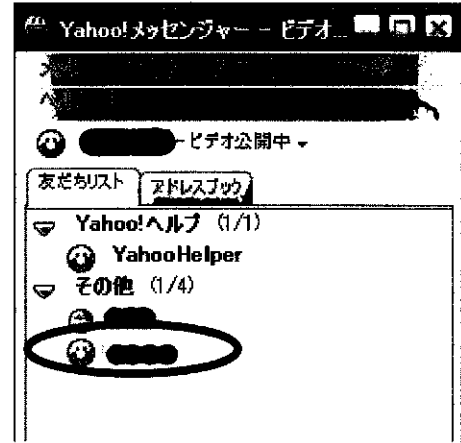
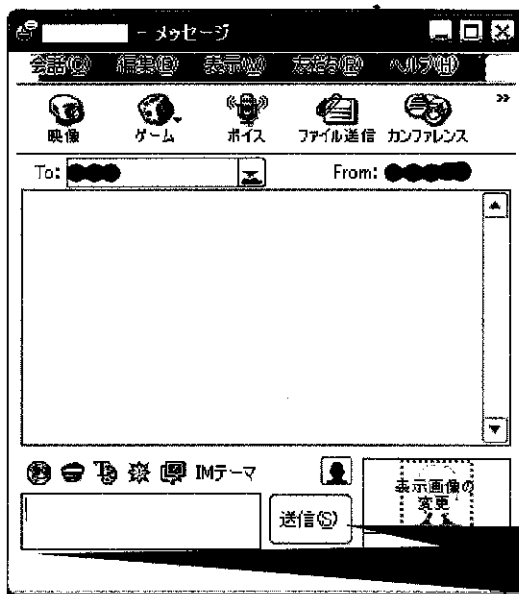
- 「接続」をクリックし、インターネットへの接続方法を選択します。次に、「OK」をクリックして終了です。



ネットミーティングをしよう

※2人1組で試してもらいます。ネットミーティングは、片方の参加者がもう片方の参加者を招待する形式で行いますので、1人の方はYahoo!メッセージャーをオンラインにした状態で待機してください。

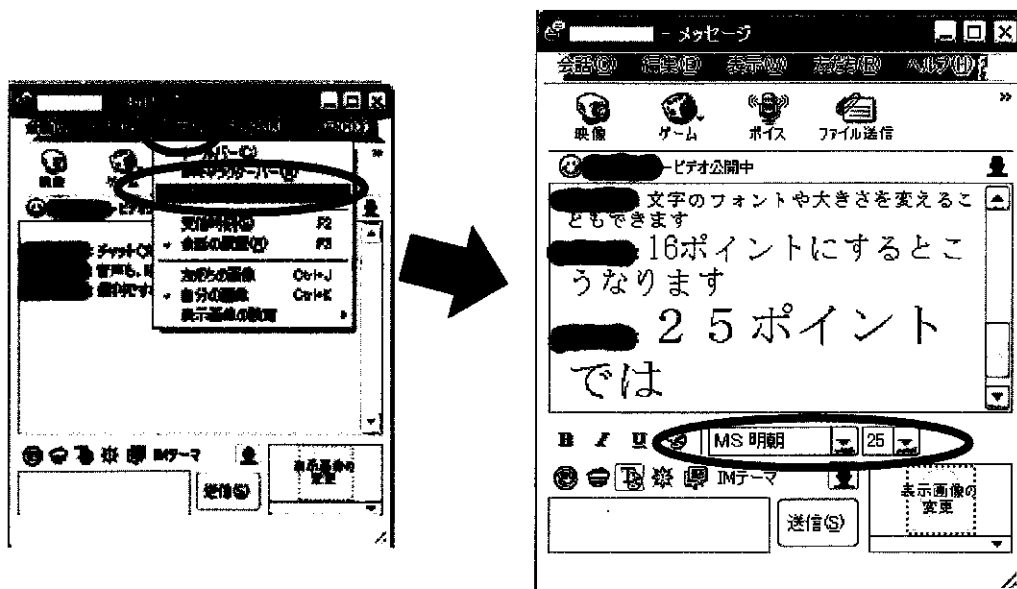
1. ネットミーティングする相手をクリックします。



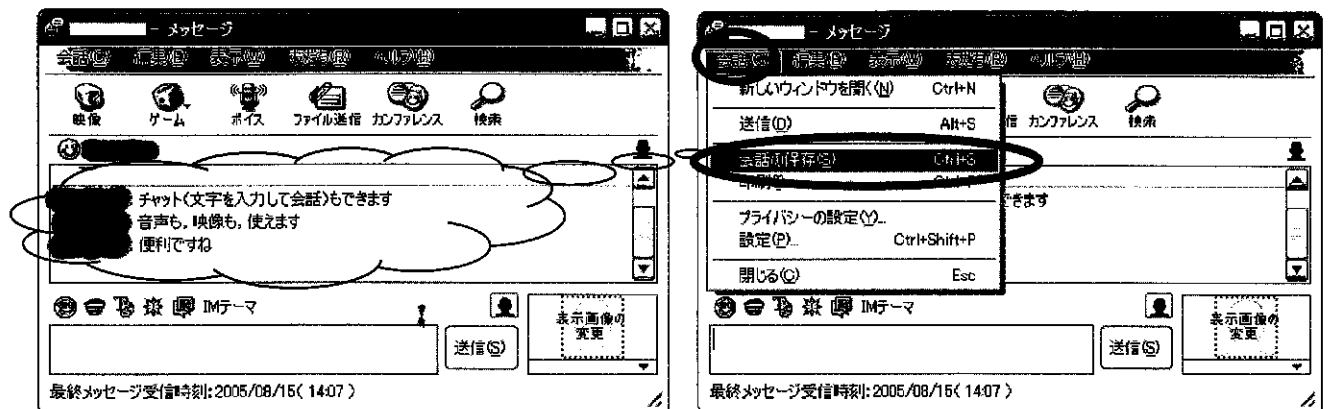
2. チャットするときは、新しく開いた画面下の欄に文章を入力し、送信ボタンをクリックします。

文章を入力し、送信ボタンをクリックすることで、チャットできます

3. 画面に表示される文字のサイズは、「表示」メニューから「書式バー」をクリックします。フォントとポイントを指定すると、以後の表示が変わります。



4. チャット会話の記録をとることができます。「会話」メニューから「会話の保存」を選択し、ファイル名と保存場所を指定します。



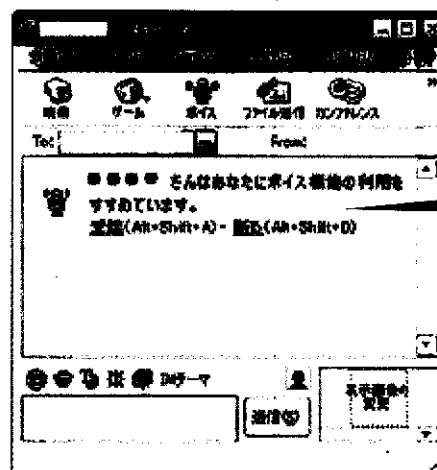
5. 音声で会話するときには、マイクの絵が描かれた「ボイス」ボタンを押します。相手の「〇〇さんはボイス機能を有効にしました」と表示されたら、会話の開始です。ヘッドセットを使用しているときには、「ハンズフリー」の左横にチェックを入れておくと便利です。（そうでないと、トランシーバーのように、隣にある緑色の「話す」ボタンを押しながら話すこととなります。）



「〇〇さんはボイス機能を有効にしました」

ハンズフリーにチェック

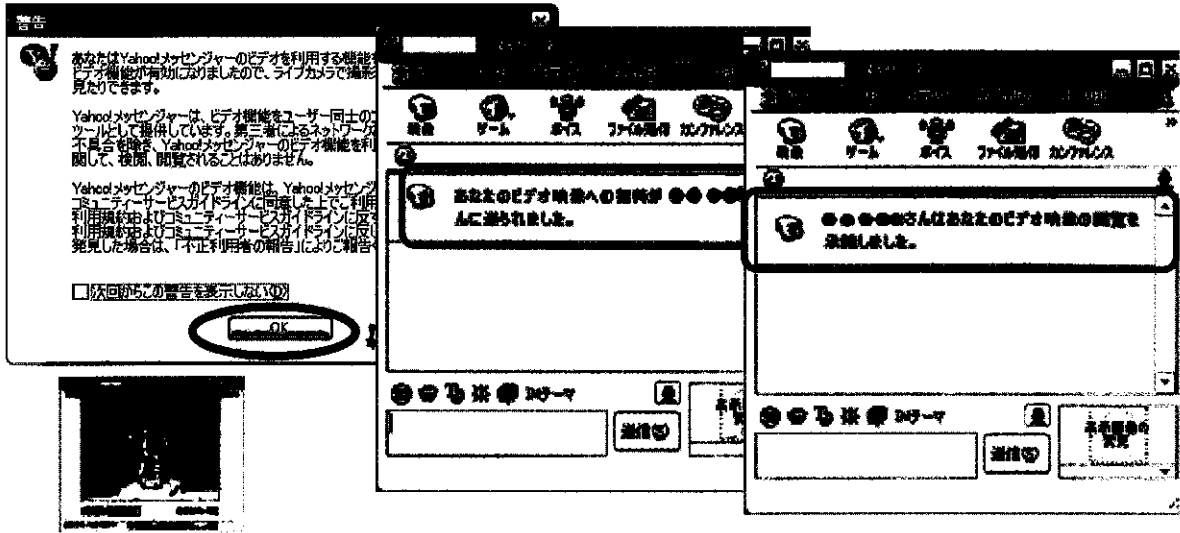
※<相手の画面>もしくは、<相手から音声会話を求められたときの画面>



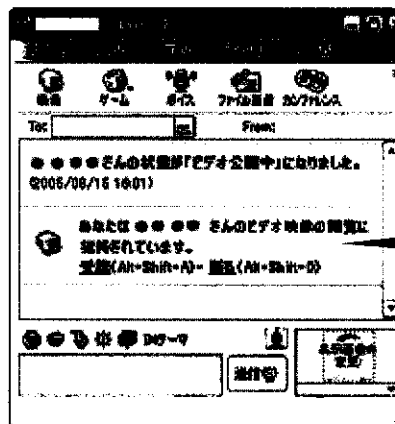
「受諾」をクリック

6. 相手に映像を送るには、カメラの絵が描かれた「映像」ボタンを押します。警告画面がでますが、

「OK」をクリックします。「あなたのビデオ映像への招待が〇〇さんに送られました」との表示から、「〇〇さんはあなたのビデオ映像の閲覧を承諾しました」との表示になれば、映像の送信完了。

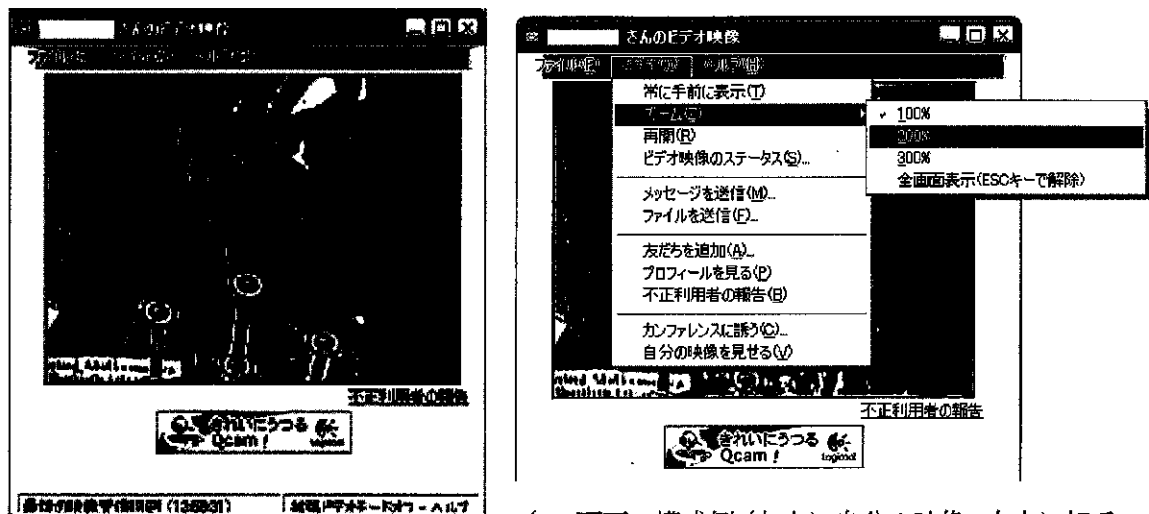


※<相手の画面>もしくは、<相手から映像閲覧を求められたときの画面>



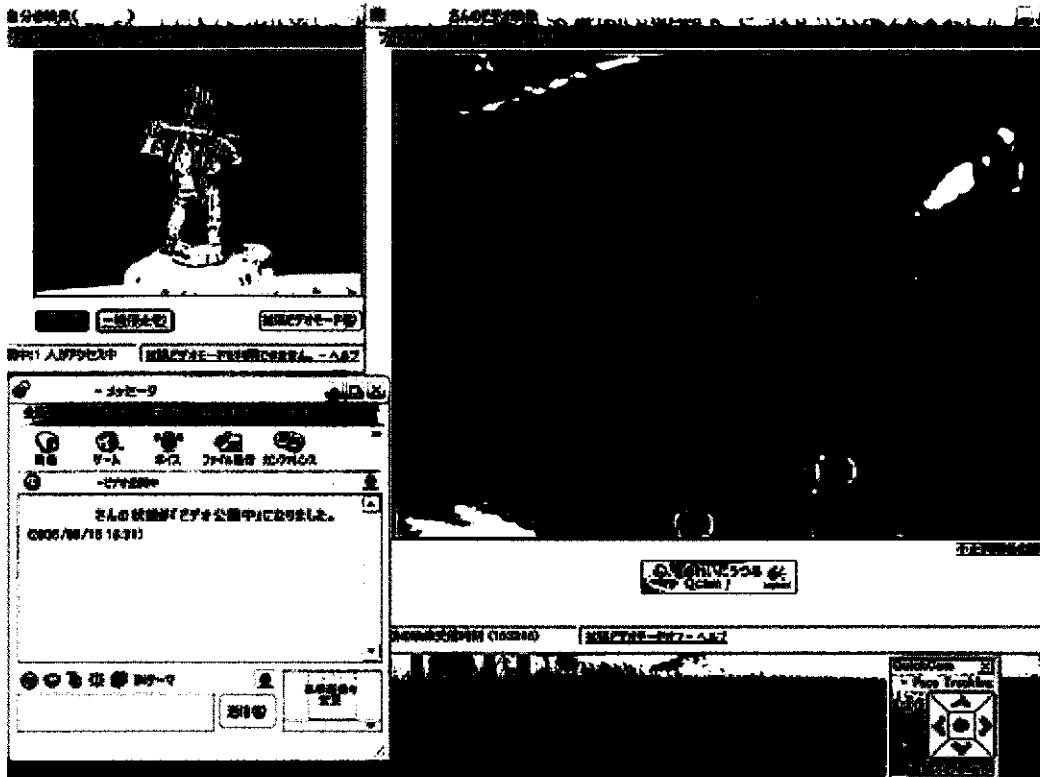
「承諾」をクリック

- 相手の映像の表示サイズを変えるには、「ビデオ」メニューから「ズーム」を選び、「200%」などを選択します。



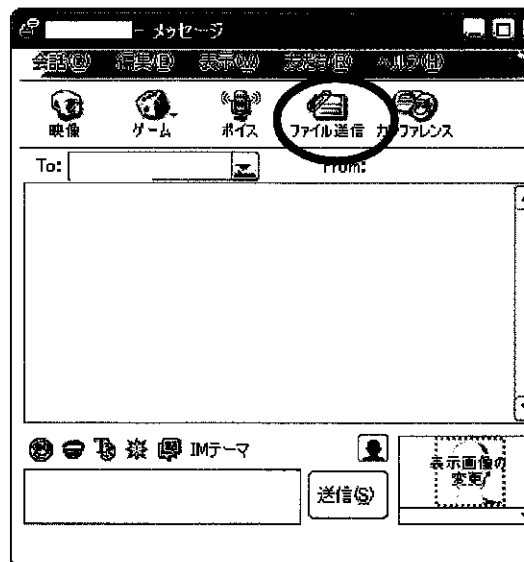
(PC画面の構成例 (左上に自分の映像, 右上に相手の

映像 200%, 左下にチャット)



ネットミーティング上では次のようなことができます。

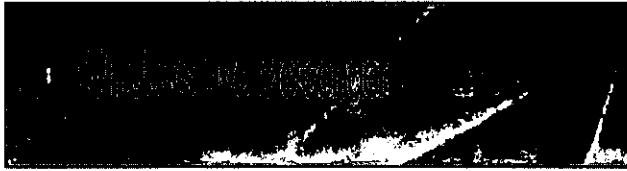
- ・ファイルの送受信
- など



註1：ネットミーティングを行うためには、ファイヤーウォールとの関連から、TCP のポートを設定する必要がある場合があります。

註2：最新版を利用しましょう。

<http://messenger.yahoo.co.jp/>

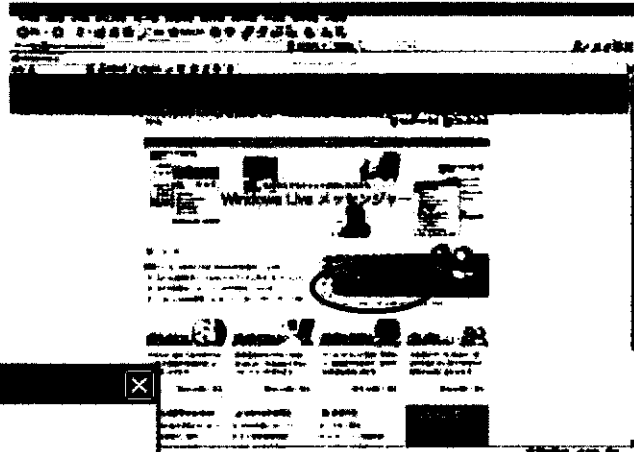


Messenger では、テレビ電話のように話
をすることができます。派遣隊員同士で
の情報交換や、帰国隊員との連絡、さら
には派遣先の教室と勤務校とをつないで
インターネットライブ授業等も行えます。

Windows Live メッセンジャー

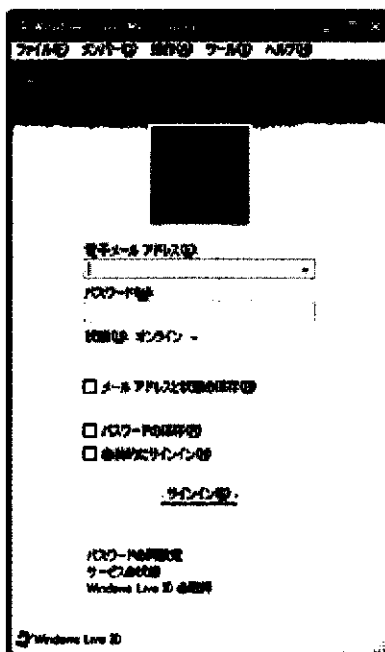
をえるようにしよう

1. <http://messenger.live.jp/> にアクセス
し、「MSN メッセンジャー7.0 ダウン
ロードする」をクリック

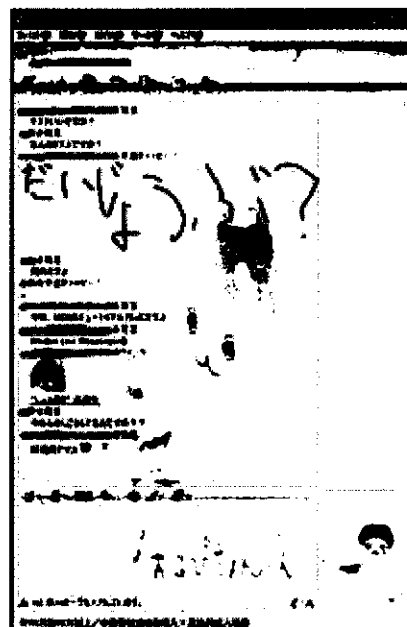


2. 「実行」をクリックします。
以降、Yahoo!メッセンジャー同様に
インストールを行います。

3. インストールが終わったらアカウントを作成して使ってみよう。



ログイン画面



チャット画面

平成 20 年度

一般聴講者募集

青年海外協力隊 現職教員特別研修

日時 4月7日(月) 13:00～17:50

場所 JICA 地球ひろば

主催 文部科学省 筑波大学 共催 国際協力機構 (JICA)



～「現職教員特別参加制度」とは～

現職教員の青年海外協力隊への参加促進を目的とし、文部科学省が外務省、JICA、都道府県教育委員会等の協力の下、平成13年度に創設。以来5年間で437名の教員を派遣。

- 12:30～13:00 受付
- 13:00～13:10 開会挨拶
- 13:10～13:25 文部科学省の教育協力について
- 13:25～13:35 ビデオ「世界に飛び出すみんなの先生」
- 13:35～14:05 JICAの教育協力について
- 14:05～14:15 休憩
- 14:15～15:35 帰国後の社会還元について
- 15:35～15:45 休憩
- 15:45～16:15 派遣現職教員のサポートについて
- 16:15～16:45 帰国隊員報告1 小澤明子(愛知県立津島高等学校教諭)
- 16:45～17:15 帰国隊員報告2 真田真(福岡県立筑紫高等学校教諭)
- 17:15～17:45 帰国隊員報告3 藤原敬(山形県立山形高等学校教諭)
- 17:45～17:50 閉会挨拶

参加申込:

<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/hakenzen/>

会場: JICA 地球ひろば

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-2-24

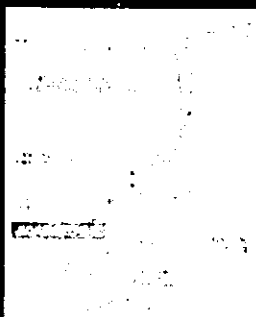
TEL 03-3400-7717 Fax 03-3400-7394

1) 現職教員参加費: 研修期間中に発生する旅費等

CRICED

〒305-8572 茨城県つくば市大塚 1-1-1

TEL 029-255-7251 Fax 029-255-7259



文部科学省国際協カイニシアティブ教育協力拠点形成事業

平成 20 年度青年海外協力隊現職教員特別研修報告書

発行：平成 20 年 6 月 20 日

発行者：佐藤 眞理子 (CRICED)

筑波大学教育開発国際協力研究センター (CRICED)

文部科学省国際協カイニシアティブ教育協力拠点形成事業

青年海外協力隊派遣現職教員の支援

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

電話 029-853-7287 FAX 029-853-7288

E-mail: jocv@criced.tsukuba.ac.jp

<http://initiative.criced.tsukuba.ac.jp/index.html>

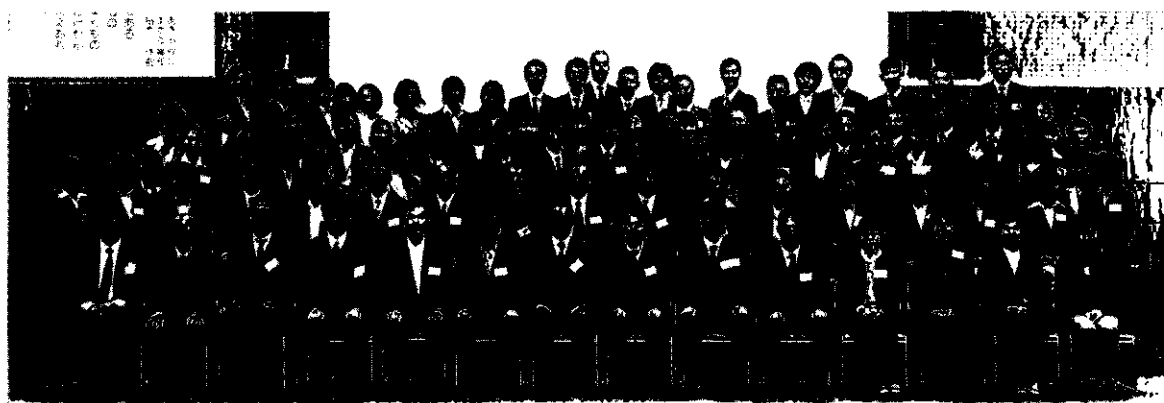
編集：鎌田 亮一 (CRICED)

印刷：前田印刷株式会社 筑波支店

平成 20 年度
青年海外協力隊 現職教員特別研修
報告書

平成 20 年 4 月 7 日 JICA 地球ひろば

平成 20 年 4 月 8 日 筑波大学東京キャンパス大塚地区



筑波大学教育開発国際協力研究センター (CRICED)

文部科学省国際協カイニシアティブ教育協力拠点形成事業
青年海外協力隊派遣現職教員の支援